兵庫津遺跡

－第51次発掘調査報告書－

2010

神戸市教育委員会

1. 兵庫津遺跡第51次調査出土　土師質土器皿類

2. 第7遺構面竪穴建物址検出状況（北西から）

3. 第5遺構面かわらけ埋納遺構（SK505）検出状況（北から）

兵庫津遺跡

－第51次発掘調査報告書－

2010

神戸市教育委員会

目 次

兵庫津遺跡　第51次発掘調査報告書

第１章　はじめに

１．都市の力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

２．調査に至る経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

３．調査組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

第２章　兵庫津遺跡の概要

１．地理的特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

２．歴史的特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

第３章　遺構

１．基本層序・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

２．第１遺構面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

３．第２遺構面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

４．第３遺構面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

５．第４遺構面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

６．第５遺構面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

７．第６遺構面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

８．第７遺構面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

９．遺構番号について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

第４章　遺物

１．はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

２．土器・陶磁器の産地および機能的分類・・・・・・・・・・・37

３．土器・陶磁器の型式分類・・・・・・・・・・・・・・・・・40

４．遺構ごとの共伴関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40

５．第２遺構面出土の遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・41

６．第３遺構面出土の遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・51

７．第４遺構面出土の遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・58

８．第５遺構面出土の遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・67

９．第６遺構面出土の遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・77

10．第７遺構面出土の遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・82

11．瓦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・123

12．金属製品・鉄製品製作関連遺物・・・・・・・・・・・・・・127

第５章　兵庫津遺跡題51次調査出土の動物遺存体

丸山真史（奈良文化財研究所・客員研究員）

１）概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・133

2)種類別の特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
3)兵庫津遺跡に見る動物利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 138
4)まとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 141

第6章　中世都市の消費と再生　－考察にかえて－
1．はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
2．土器の消費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
3．中世竪穴建物について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 151
4．建物構造に見る中世と近世の境界・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153
5．かわらけのまつり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156
6．小結・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 161

巻頭図版目次

1．兵庫津遺跡第51次調査出土　土師質土器皿類　　2．第7遺構面竪穴建物址検出状況(北西から)
3．第5遺構面かわらけ埋納遺構(SK505)検出状況(北から)

写真図版目次

1．第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK505)土器出土状況(北から)
2．第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SP555手前・SK513奥)土器出土状況(東から)
3．第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK516)土器出土状況(南から)
4．第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK508)土器出土状況(東から)
5．第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK512・左　SP569・右)土器出土状況(北東から)
6．第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK512・奥　SP569・手前)土器出土状況(北西から)
7．第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK513)土器出土状況(北から)
8．第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK505)土器出土状況(北から)
9．第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK506手前・SK505奥)土器出土状況(北から)
10. 第7遺構面全景(北から)
11. 第7遺構面　堀状遺構(SD701)かわらけ埋納遺構(SK711)土器出土状況(北から)
12. かわらけ埋納遺構(SK711)土器出土状況(北から)
13. 第7遺構面　落ち込み状遺構(SX704)検出状況(北から)
14. 第7遺構面Ⅳ区全景(南から)
15. 第7遺構面Ⅳ区全景(北西から)
16. 第7遺構面　竪穴建物(SH701)北西部検出状況(北から)
17. 第7遺構面　落ち込み状遺構(SX704)壁体周辺ピットおよび礎石検出状況(南西から)
18. 第7遺構面　かわらけ埋納遺構(SK717・手前)竪穴建物(SH703・奥)検出状況(北東から)
19. 第7遺構面　竪穴建物(SH704)土器溜　土器出土状況(北西から)
20. SX201出土土器
21. SX203出土土器
22. SX204出土土器
23. SD201出土土器
24. SP203出土土器
25. SP234出土土器
26. SP205出土土器
27. SK204出土土器
28. SK505出土土器
29. SK513出土土器
30. SK516出土土器
31. SP639出土土器
32. SK607出土土器
33. SH703出土土器
34. SD701出土土器
35. SX704出土土器
36. Ⅰ区第1遺構面　全景(南から)
37. Ⅰ区第2遺構面　(SP204左・SP205右)胞衣壷出土状況(南から)
38. Ⅰ区第3遺構面　壁立建物(SH301)および街路検出状況(東から)
39. Ⅰ区第3遺構面　井戸(SE301)検出状況(東から)

40. Ⅰ区第３遺構面　井戸(SE301)断ち割り状況
41. 第４遺構面　全景(南東から)
42. Ⅰ区第５遺構面　礎石立建物(SH501)検出状況(東から)
43. Ⅰ区第６遺構面　掘立柱建物(SH601)検出状況(東から)
44. Ⅰ区第７遺構面　全景(南から)
45. Ⅱ区第１遺構面　全景(南東から)
46. Ⅱ区第２遺構面　全景(南東から)
47. Ⅱ区第２遺構面　(SP230左・SP231右)(南から)
48. Ⅱ区第３遺構面　全景(北西から)
49. Ⅱ区第３遺構面　円形石組遺構(SX401)検出状況(北西から)
50. Ⅱ区第４遺構面　全景(北西から)
51. Ⅱ区第５遺構面　全景(北西から)
52. Ⅱ区第７遺構面　全景(北西から)
53. 第２遺構面　全景(南東から)
54. 第３遺構面　全景(南東から)
55. 第２遺構面　便所遺構　手前からSK204・203・202・206・201(南西から)
56. 第３遺構面　床に暗渠構造のある壁立建物(SH303)(南東から)
57. 第３遺構面　井戸(SE302・手前)　壁立建物(SH303・奥)(南東から)
58. 第３遺構面　井戸(SE302)断ち割り状況
59. 第３遺構面　かわらけ埋納遺構(SP319左・SK301右)土器出土状況(東から)
60. 第４遺構面　全景(南東から)
61. 第４遺構面　かわらけ埋納遺構(SK412)土器出土状況(西から)
62. 第４遺構面　かわらけ埋納遺構(SP418)土器出土状況(北西から)
63. 第５遺構面　全景(南東から)
64. 第６遺構面　全景(南東から)
65. 第６遺構面　かわらけ埋納遺構(SK604手前・SK639奥)土器出土状況(北西から)
66. 第６遺構面　かわらけ埋納遺構(SK607)土器出土状況(南東から)
67. 第６遺構面　かわらけ埋納遺構(SK610)土器出土状況(北東から)
68. 第６遺構面　かわらけ埋納遺構(SP630)土器出土状況(北西から)
69. 土器質小皿A類
70. 土器質小皿B1類
71. 土器質小皿B2類
72. 土器質中皿A類
73. 土器質中皿B1類
74. 土器質中皿B2類
75. 土器質大皿A類
76. 土器質大皿B類
77. SP208出土土器
78. SP418出土土器
79. SK412出土土器
80. SP438出土土器
81. SK502出土土器
82. SK717出土土器
83. SK728出土土器
84. SH704出土土器
85. SH706出土土器
86. 整地層ほか出土・鞴羽口
87. 石鍋
88. 中世軒丸瓦および軒平瓦
89. 近世軒丸瓦
90. 近世軒丸瓦
91. 中世丸瓦凸面
92. 中世丸瓦凹面
93. 近世丸瓦凸面
94. 近世丸瓦凹面
97. 兵庫津遺跡第51次調査出土　鉄製建築材
98. 同上　X線透過像
99. 兵庫津遺跡第51次調査出土　銅銭
100. 兵庫津遺跡第51次調査出土　銅銭X線透過像
101. 兵庫津遺跡第51次調査出土　銅製品
102. 同上　X線透過像
103. 兵庫津遺跡第51次調査出土　銅製品製作関連遺物
104. 同上　X線透過像

例言

1．本書は現住所・兵庫県神戸市兵庫区西宮内町３丁目にあたる地区の埋蔵文化財発掘調査報告書です。当該地区およびその周辺は、埋蔵文化財包蔵地「兵庫津遺跡」として周知されています。

2．本報告の調査は民間事業者による集合住宅建設を原因とするもので、神戸市教育委員会が平成21年７月17日から、平成21年12月28日まで実施したものです（出土遺物整理調査含む）。

3．本書で使用した方位は座標北を示し、水準値（標高）は東京湾中等潮位（T.P.）を表わしています。国土座標は世界測地系第Ⅴ系を用いています。

4．本書に掲載されている写真は、巻頭写真およびカラー写真図版の遺構写真については丸山潔が、遺物写真についてはすべて杉本和樹氏が撮影したものを使用しています。モノクロ写真図版に使用した遺構の写真は、調査担当学芸員　石島三和が撮影しました。

5．航空測量図については㈱GEO・ソリューションズに作業を委託し撮影・図化されたものを使用しています。

6．本書の執筆・編集は神戸市教育委員会文化財課　学芸員　石島三和が担当し、第４章12節については学芸員　中村大介が執筆しました。第５章については、独立行政法人奈良文化財研究所客員研究員　丸山真史氏に分析と執筆を依頼したものです。

7．現地での発掘調査及び出土品の調査・整理作業は、調査原因者である㈱日商エステムの費用負担によって行われました。関係者の皆様より、神戸市の文化財保護行政に関する理解と協力を得られましたことをここに記して、厚く御礼申し上げます。

第１章　はじめに

１．都市の力

18世紀も終わり近い寛政二年のある日の事。一人の男が、兵庫の町に足を踏み入れた。まだ若者と言ってもよいその男は、着物の尻を端折り、帯の後ろに使い古した柄杓を斜めに差している。いわゆる『抜け参り』のいでたちだが、着ている物はこれ以上ないというほどに襤褸で、顔はすすけ、髪は埃にまみれた散々の風体であった。

男の目には、殷賑を極めるこの湊町はどのように映っただろう。同時代に刊行された『摂津名所図会』には、町の様子がこう活写されている。

「…町数四十四名、西海道の駅にして、大阪入船の要津なり…諸国の商船ここに泊まりて風波の平難を窺ひ、諸品を交易す。町小路の賑ひ、昼夜のわいだめなく、繁花の地なり」

淡路の小村から逃げ出してきたばかりの、見るから山出しのこの若者がこういった版本を眼にする機会があったかは疑わしいが、当時の町のにぎわいぶりは、すでに船乗りの端くれであった男の耳には、人づてという形で入っていたに違いない。東西南北に行き交う小路を、船乗りに特徴的ないくらかガニ股の脚どりで歩きながら、男は生まれて初めて目にする都市空間をそわそわと物珍しげに見回して歩いただろうか。それとも、男の頭には己の行く末のみしかなく、地面の一点を見据え足早に雑踏を歩き抜けたか。

この男こそ、後世高田屋の屋号で呼ばれるようになる、兵庫随一の船乗りにして冒険家、豪商・高田屋嘉兵衛その人である。この時はまだ、嘉兵衛自身さえ、波乱に飛んだ己が人生の行く末など知る由もない。

…実はこれは、司馬遼太郎という作家の目を通して描かれた兵庫津と嘉兵衛から得たイメージであり、そういう意味において、あくまでもフィクションである（司馬遼太郎著『菜の花の沖』1979年　産経新聞初出）。

しかし、この博覧強記の人が嘉兵衛の眼を通して描いた近世兵庫津の姿は、時に現実を凌駕するほどの力をもって我々の前に迫ってくる。

物語は、高田屋嘉兵衛という異才の男が、その異才と貧困ゆえに故郷

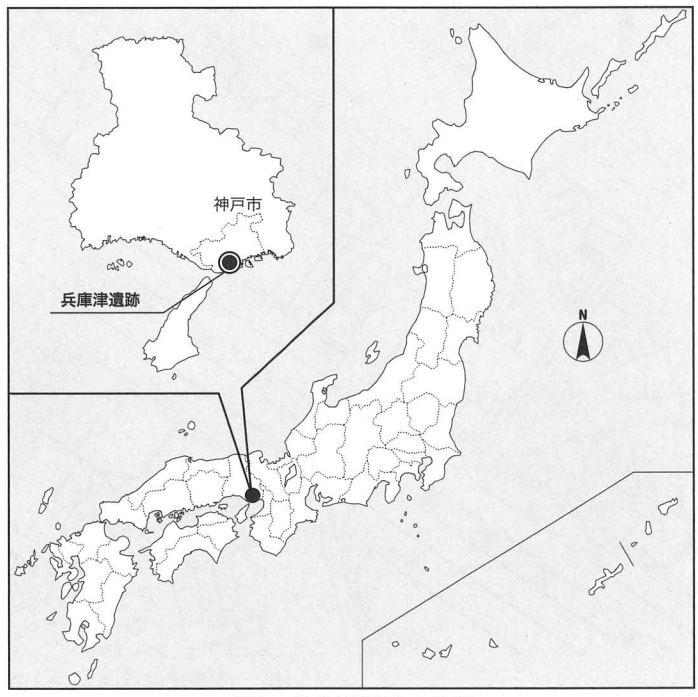


図1　兵庫津遺跡の位置

から『万力のような力で』押しひしがれ、放逐され、兵庫津という都市にたどり着いてのち、北海航路を切り開いて功なり名を遂げるまでの一代記である。しかし、司馬の視点で物語を追う限り、嘉兵衛という男は功名心に冒険心が勝る、名より実を追い求めるタイプのようだ。この場合の実とは金銭的利益ではなく、損得を越えて己が情念にどこまで殉じられるか、という意味に受け取ったほうが正確である。そういう性質の人が異才を与えられこの世に生まれ出たとすれば、親和性を旨とする農村共同体では、はじき出されるより他生き残る術は無かったであろう。

嘉兵衛という異端児を、近世社会が圧搾することなく生かすことが出来たのは、彼自身が活路を兵庫という当時随一の繁華の場に求めたからに他ならない。

都市は、辺境の農村にあって受け入れがたい異質な存在をも受け止め、押し包み、容赦なく見捨てる場所である。農村社会には無い精神的間口の広さと冷淡さ、人も物も次から次へと新陳代謝を繰りかえす猥雑な活力こそが、都市空間独特のありようである。おそらく、名を遂げることなく歴史の隙間に埋もれて行った幾人もの嘉兵衛のような男が、この町には存在したに違いない。

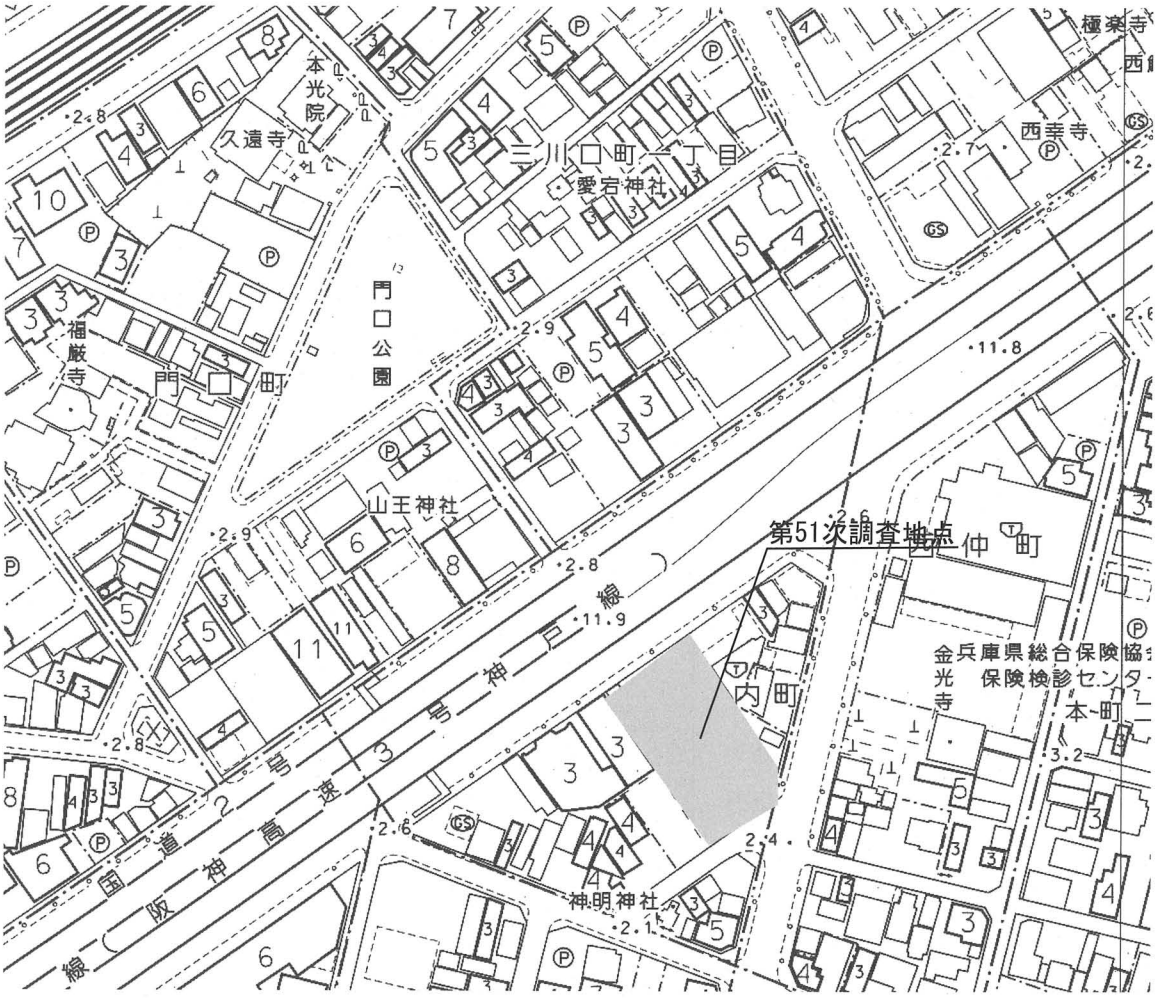


図2　調査地位置図（S＝1/5,000）

物語も終盤、高田屋となった嘉兵衛は、一度は己を押し潰さんとした世界と和解を果たして短い生涯を終えるが、これもまた、都市の力のなせる技である。嘉兵衛という男が、己が才をその五体と魂で歴史に刻みつけるには都市という場のもつ力が不可欠であった。

本書は、この嘉兵衛が生きた近世都市・兵庫津に関する発掘調査報告書である。

今回の調査によって、嘉兵衛が駆け抜けた町並みを、あるいは若き日に奉公人として柄杓を手に水を打った事もあっただろう大路に続く道を、我々も目にした。ばかりでなく、それよりさらに古い時代の町の姿も垣間見ることができた。幾重にも重なり合いながら、遺跡は過去へ過去と時代を遡り、この湊町を湊町たらしめた最初の地層・浜堤帯と呼ばれる自然堆積層まで達していたのである。

ところが、遥か中世にまで殷賑の祖形を辿った今回の調査結果と裏腹に、こんにちこの界隈は、どちらかといえばうら寂しさを隠しえない風景となっている。しかし往時の賑わいを取り戻すことは無くとも、今でもこの場に立てば、ここここそわがふるさと神戸発祥の地であるとの感慨を得る事はできる。そして発掘調査によって得られた膨大な出土品を前に、現代人は今に続く都市の圧倒的な力を、数百年分まとめて体感させられる。我々は、中世から近世近代という気の遠くなるような過去を生きた都会人たちの日々の哀歓を、彼らが大地に刻み込んだ人生を、遺跡という形で新たに得たのだ。

遺跡とはすでに一度死したものではあるが、今を生きる私たちが正しく見つめることによって、再びの生を得ることができるものでもある。それによって、はるか千数百年の時を経て積み重ねられてきたこの湊町は、私たちの眼前でもう一度大輪に花開く。

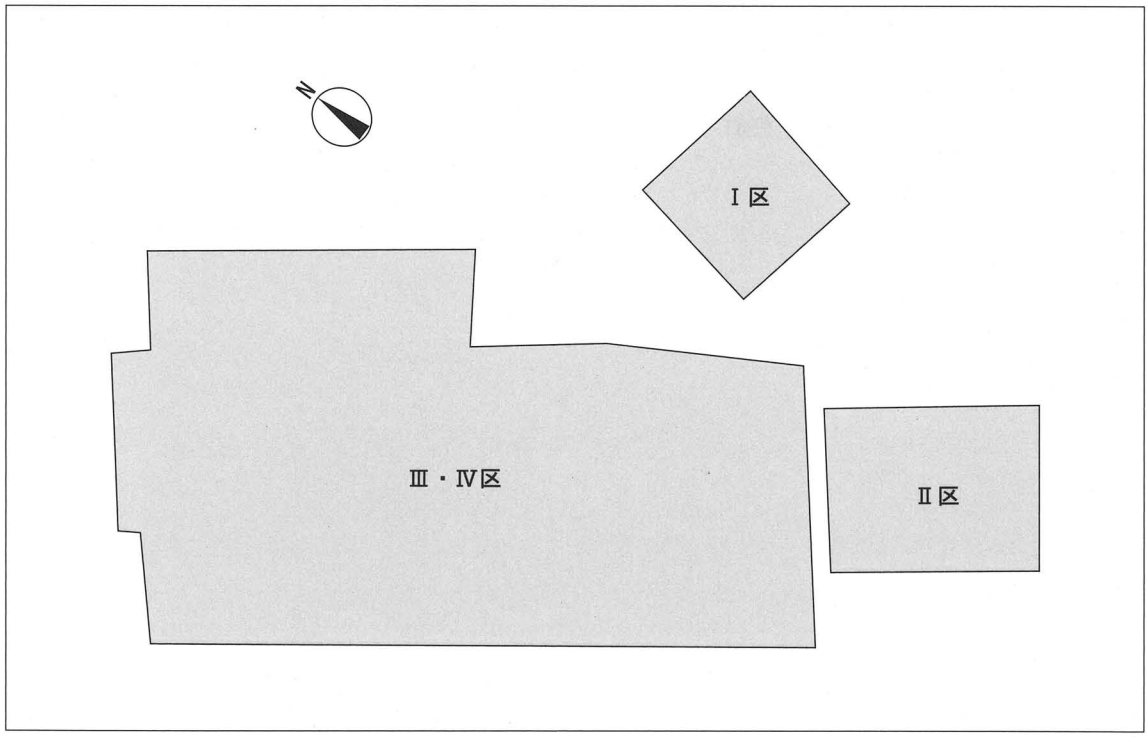


図3　調査区配置図

2．調査にいたる経緯

本書で報告する兵庫津遺跡第51次調査は、現住所神戸市兵庫区西宮内町３丁目において行われたもので、同地における集合住宅（マンション）建設を契機とする。延べ調査面積は3,152㎡にのぼる。現地での調査は平成21年７月17日から同年10月30日まで行い、その後平成22年12月まで西区に所在する神戸市埋蔵文化財センターで出土遺物の整理および調査を実施した。

本報告書の刊行をもって、兵庫津遺跡第51次におけるすべての調査を完了とする。

3．調査組織

兵庫津遺跡第51次調査における調査組織は以下の通りである。

神戸市教育委員会事務局

教育長	橋口　秀志
社会教育部長	大寺　直秀
教育委員会参事	柏木　一孝（文化財課長事務取扱）
埋蔵文化財指導係長	丸山　　潔
埋蔵文化財調査係長	千種　　浩
調査担当学芸員	石島　三和
出土品整理担当学芸員	黒田　恭正（平成21年度）
	西岡　誠司（平成22年度）
保存科学担当学芸員	中村　大介
事務担当学芸員	中谷　　正（平成21年度）
	佐伯　二郎（平成22年度）

第２章　兵庫津遺跡の概要

１．地理的特徴

本書で報告する兵庫津遺跡は、神戸市の中央部、現在は兵庫港の名で呼ばれる湾岸地域に所在する。古くは「大和田泊」と称された湊町で、六甲山系に源流を持つ宇治川と古湊川という二つの河川が遺跡の東西を南流し、海にそそぐ。

これらの河川が六甲山系より多量の土砂を運ぶ沖積作用を起した結果、北側に湊岬、南側には和田岬と呼ばれるふたつの砂嘴がせり出すように形成された。原初の町は、この岬たちに挟まれる形で広がる海浜堆積物が作る砂丘上に営まれた。湊は岬に地形を規定されるようにして西に湾入する。すなわち東に向かって開港する地形をなしている。

水深の深い良港であったため、湊は長く繁栄した。航海術の発達と軸を一にして、町は繁栄の度を刻々に増していったと思われる。近世には西国街道の宿場町となることから、陸路にとってもこの地は重要拠点であったとわかる。陸路・海路ともに、はるか古代から近世に至る気の遠くなるほど長い年月、町は旅人たちの往還を支え続けた。難波を出発して西に向かう人も船も、西宮・武庫を経由して兵庫津に至る。その逆を還るものもある。旅人は皆ここでしばしの休息と補給ののち、再びこの地を発ってさらなる路を求めるのである。

２．歴史的特徴

万葉集巻六　千六十七　過敏馬浦作歌一首　反歌二首　作者　田辺福麻呂

浜清み　浦うるわしみ　神代より　千船の泊つる大和太浜(1)

この湊町の初源がいつかを知るすべは我々にはないが、『日本書紀』弘仁三年（812）の「大和田泊」としての記事が、湊に関して確認できるもっとも古い文献である(2)。このことから万葉の時代には、すでに兵庫津は港湾施設として整備されていたと思われる。

その名がより広く知れ渡るのは、平安時代末である。この時期大和田泊は人工埠頭・経ケ島の造営など平清盛による大改修を受け、日宋貿易の拠点港となる。湊の北方約2.5キロ地点には、平清盛が遷都の地に選んだ福原京跡と目される雪御所遺跡(3)、祇園遺跡(4)、大和田泊関連施設の可能性が高い大溝が確認された楠・荒田町遺跡(5)などこの時期の遺跡が点在する。

鎌倉時代には、湊はその名を「兵庫」と変えていたようだ。この時期すでに湊周辺に町場が形成されていたらしく、この繁華地を目指して当時新興の宗教家たちが布教の場として多く訪れたことが知られている。時宗の人、一遍が示寂したのは現在の真光寺付近の観音堂であったとされ、『一遍上人絵伝』(6)（1381）『遊行上人縁起絵』(7)（14世紀）などにその姿が描かれている。世界でも類例の少ない、当時の関銭賦課記録帳である『兵庫北関入船納帳』が作成されたのも、この時期である(8)。

室町時代には、日明貿易のための遣明船の基地港となるなど、港湾機能は国際性を帯びていく。

1．兵庫津遺跡　2．大開遺跡　3．塚本遺跡　4．湊川遺跡　5．楠木・荒田町遺跡
6．雪御所遺跡　7．祇園遺跡　8．兵庫松本遺跡　9．上沢遺跡　10．元町遺跡
11．花隈城跡　12．旧三宮駅構内遺跡　13．生田遺跡　14．和田岬砲台　15．湊川砲台跡
A．柳原惣門　B．湊口惣門　C．兵庫陣屋跡

図4　兵庫津遺跡周辺の遺跡分布（S＝1：25,000）

この伝統はその後も続き、近世には朝鮮通信史の接待地となる。

戦国時代、織田方の池田恒興が町場のほぼ中央部に兵庫城を築城し、都賀堤を整備するが、従来の研究では、この兵庫城築城を持って町場は構造的・景観的に近世への転換期を迎えたと言われている(9)。

元和元年（1615）大阪夏の陣の勝利により徳川が列島の覇権を握ると、豊臣家の蔵入地であった兵庫津はいったん幕府領となった後、元和三年には尼崎藩領となり、兵庫城は尼崎藩兵庫陣屋に姿を変えるが、明和六年（1769）には再び幕府直轄となり、兵庫陣屋は兵庫奉行所へとさらに変転する。

この時期幕府は大坂を保護する経済政策をとっており、商都兵庫津にとって逆風の時期であったはずだが、兵庫商人の逞しさが原動力となって逆に町は発展の一途をたどり、豪商と呼ばれるほどの船主も輩出している。

北前航路で名を馳せ、司馬遼太郎の小説にも描かれた高田屋嘉兵衛は、文化九年（1812）幕府との間で緊張状態が続いていたロシアによってカムチャッカで抑留されるも、逆にその立場を生かして幕府が拘留していたロシア人の測量艦艦長ゴローニンの釈放に尽力し、両政府間の和平交渉を買って出た豪儀の人である。淡路は津名の生まれ。母方の親類堺屋喜兵衛を頼って兵庫で身一つのまま所帯をもち、のちこの地で一家を成すまでに至る(10)。

高田屋以前にも、兵庫には北風荘右衛門なる豪商が知られている。武家風の家風と当時はまだ珍しいコマーシャリズムの手腕に優れた人物で、兵庫を随一の港に育てあげた功労者である。今も北風家に伝えられる「北風家文書」は、近世兵庫を知る一級史料である(11)。

このほかにも、絵図、古文書、絵画資料など多くの史料がこの時代に残され、往時の繁栄を今に伝えている。もっとも古い絵図は元禄九年（1696）に作成された(12)。この絵図から得られる本調査地周辺の情報は主に３点。

①今回調査区周辺、西宮内町一帯は元禄九年の段階では、逆瀬川町と三川口町に挟まる『長福寺』と呼ばれる寺院の隣接地であった。

②当調査区南側に、西宮内町と西中町に挟まれる形で走る東西道路は、元禄九年の段階ですでに街道として存在している。すなわちこの道路は元禄以来こんにちまで変わらずにここにある。

③当調査区は長福寺敷地に南隣する、町人地である。元禄九年絵図では、街路に面して瓦葺　き屋根の町屋が立ち並んでいる。

幕末から明治時代にかけて、神戸開港によって港湾機能の主力が神戸港に移行すると兵庫津は衰退期に入るが、兵庫奉行所は兵庫鎮台からさらには兵庫裁判所と名前を変えながら行政施設として機能し続け、最終的には坂本村に移転するまでの4ヶ月間だけの兵庫県庁所在地となり、初代兵庫県知事伊藤博文を迎えるのであった(13)。

《注》

（１）『新日本古典文学大系　萬葉集』一～四　岩波書店　1998

（２）喜田貞吉「五泊の制定は行基の事業にあらず」『喜田貞吉著作集　４』平凡社1982

（３）『兵庫津遺跡発掘調査報告書　第14・20・21次調査』神戸市教育委員会　2010

（４）『祇園遺跡第５次発掘調査報告書』神戸市教育委員会　2000

（５）（３）に同じ

（６）『一遍上人絵伝』日本の絵巻　20　中央公論社　1988

（７）『遊行上人縁起絵』角川源義編　新修日本絵巻物全集23　角川書店　1979

（８）『よみがえる兵庫津　－港湾都市の命脈をたどる－』神戸市立博物館　特別展図録　2004

（９）（８）に同じ

(10)『豪商　高田屋嘉兵衛』高田屋嘉兵衛展実行委員会　編　兵庫県立歴史博物館・洲本市立淡路文化博物館　豪商高田屋嘉兵衛展　図録　2000

(11)『新修　神戸市史　歴史編Ⅲ　近世』新修神戸市史編集委員会　編　1992

(12)（９）に同じ

(13)(11) に同じ

《参考文献》

司馬遼太郎『菜の花の沖』文春文庫版全６巻　文藝春秋社刊

『兵庫津遺跡発掘調査報告書　第14・20・21次調査』神戸市教育委員会　2010

『兵庫津遺跡第36次発掘調査概要報告書』神戸市教育委員会　2006

『兵庫津遺跡第42次発掘調査報告書』神戸市教育委員会　2008

『兵庫津遺跡第45次発掘調査報告書』神戸市教育委員会　2008

『兵庫津遺跡第50次発掘調査概要報告書』神戸市教育委員会　2010

『兵庫津遺跡Ⅰ（西出地区の調査）』兵庫県教育委員会　2002

『兵庫津遺跡Ⅱ』兵庫県教育委員会　2004

『兵庫津の総合的研究　-兵庫津研究の最新成果－』大手前大学史学研究所編　2008

『よみがえる兵庫津　－港湾都市の命脈をたどる－』神戸市立博物館　特別展図録　2004

第３章　遺構

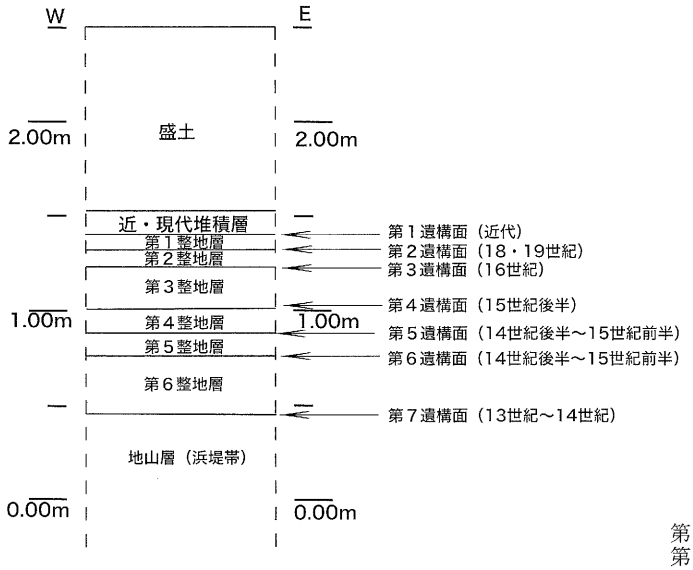
１．基本層序

今回調査した３ヶ所４地区の調査区内では、標高1.5m前後から0.5m前後までの地点に計７面におよぶ遺構面の存在を確認しているが、最下層の第７遺構面が、海浜地形がもたらした砂層＝浜堤帯の上に築かれたものである以外、すべて整地層と通称される人工的な堆積層からなる。

この整地層は人口密集地に特有の堆積物で、神戸市内では兵庫津遺跡にもっとも顕著に見られ、兵庫津の町場が短期間に住宅普請や火災による更地化を繰り返す、都市部独特の新陳代謝を繰り返していたことが読み取れる。

また、兵庫津遺跡では通常遺跡の存在と不可分な遺物包含層はほとんど存在せず、整地層の直上にまた整地層が連続し、各層の厚さは10㎝にも満たず、しかもそれぞれの整地層が遺構面をなすというという状況を呈す。

ただしこの整地層は均質に広がるものではなく、随所でスポット的に再整地した痕跡を持つ。一枚織の大きな布ではなく、継ぎはぎを繰り返したパッチワークのようである。そういった《まだらな》地面のどこからどこまでを同一と捉えるかに関しては、発掘調査本来の方法論に従えば、各整地スポット単位で分割して遺物を取り上げ、時期差を明確化する作業が必要となるが、今回の調査では時間的あるいは担当者の技術的限界から、そこまで精緻な把握はなし得なかった。各層を平坦かつ均質なものと捉えざるを得なかったのである。雑駁ではあるが、景観変化の大きな画期としては７面あったという理解で調査を進めた。



第１整地層＝7.5Y4/1灰色砂
第２整地層＝5Y5/1灰色砂に焼土・炭粒混
第３整地層＝2.5Y5/1黄灰色砂に焼土・炭粒混
第４整地層＝2.5Y5/2暗灰色砂に焼土・炭粒混
第５整地層＝2.5Y4/1黄灰色砂に焼土・炭粒混
第６整地層＝2.5Y3/2黒褐色砂
地山層＝2.5Y7/3浅黄色粗砂

図5　調査地地層堆積状況　柱状模式図（S＝1/40）

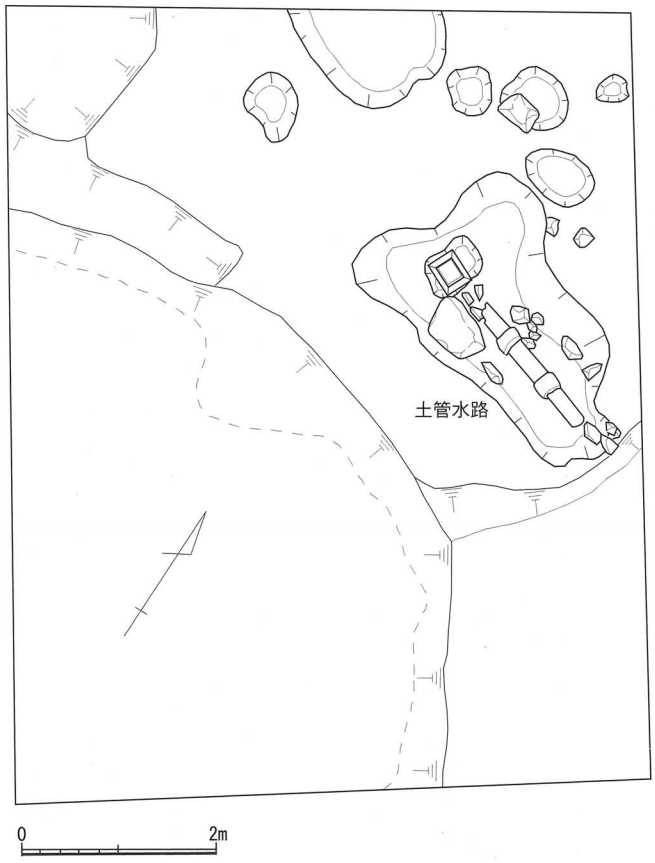


図6　Ⅱ区第1遺構面　平面図

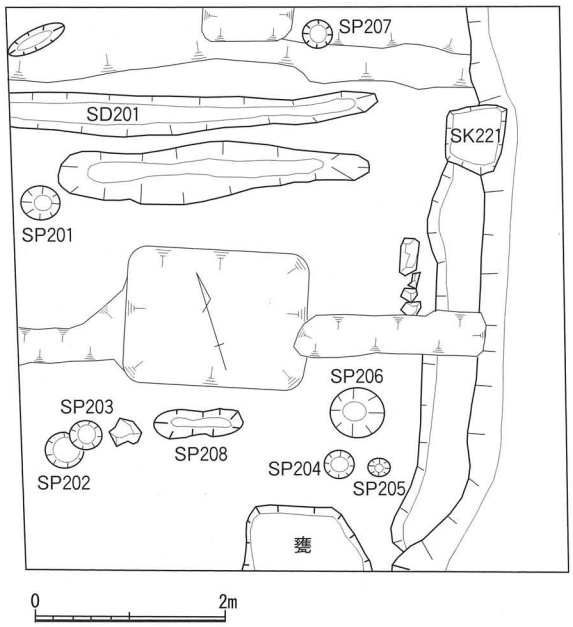


図7　Ⅰ区第2遺構面　平面図

各堆積層の層序・水準は、図５の柱状模式図に示した通り。

第１遺構面については、後世の削平が原因となり、確認できたのはⅡ区のみで、第６遺構面についても、Ⅱ区とⅢ区では明確に整地層が捉えられなかった。第７遺構面の地層は標高0.5m付近に堆積しており、臨海地帯特有の湧水著しい状況での調査となった。ために範囲の狭小なⅠ・Ⅱ区では十分な排水手段が確保できず、水中において遺構上面のプランを確認・一部で断ち割りを実施したにとどまる。遺構の完掘は事実上不可能であった。Ⅲ・Ⅳ区ではある程度排水手段を整えて臨んだが、やはり一部遺構を完掘しないままに、激しい湧水で調査を断念している箇所がある。

２．第１遺構面

標高1.5m付近、Ⅱ区のみで確認された。他の調査区では後世の削平によりすでに失われていた。土管樋の一部である。上下水道施設の一部と考えられる。今回の調査区では明確に時期を判定するに足る遺物を出土しなかったが、平成20年神戸中央卸売市場跡地における兵庫津遺跡試掘調査で同様の土管樋が広域で確認されており、その時期はレンガ材などから幕末～明治前半期と推定される。今回の遺構もこれに近似の構造であり同様の時期の可能性が高い。土管樋の検出長約2.7m、一本0.6m程度の土管を漆喰で連結する。

3．第２遺構面

調査区全域の標高1.4m付近で整地面を確認した。検出遺構は、Ⅰ区で胞衣埋納遺構２ヶ所、街路の一部、建物土間、Ⅲ・Ⅳ区で建物の可能性があるピット列、便槽と思われる土坑列１ヶ所、ごみ穴と思われる土坑６箇所、その他土坑、ピット複数である。

a. 胞衣埋納遺構および建物

明瞭に建物であると確認できたのはⅠ区とⅡ区で、Ⅰ区は特に調査区全体が大路に面した建物で、南端に竈も確認している。西面する街路より一段高く土を突き固めたもので、土間の可能性が高い。北端の一角に瓦をかためて投棄した方形の土坑（SK221）が存在することから、瓦葺屋根建物だった可能性もある。竈近くで、墨書のある土師質の壺の上に、産地不明の灰釉土瓶を合せ口にして納める胞衣壺を検出した。その南隣にも、胞衣壺埋納遺構と思われるピットを検出した。東西軸方向に溝状に素掘りした箇所があり壁基礎の下に根石を敷くための溝とも考えられるが、栗石や基礎となる石材は残っていなかった。

Ⅱ区では、Ⅰ区と同軸に並ぶピット列と、大路に面する側の壁基礎下の根石となる石列を確認している。Ⅲ・Ⅳ区では、これらと同軸に並ぶピット列を確認しているが残存状態が悪く互いの関係が不明確である。Ⅰ区で１棟、Ⅱ区で１棟、Ⅲ・Ⅳ区で１棟ないし２棟を検出したと思われるが、構造的にはⅠ・Ⅱ区で検出したような石列の上に壁を構築する布基礎を据えた壁立ち建物と思われる。軸方向は均一で、すべて座標北から東に20°程度振れる。これが当時の町割りの軸方向である。Ⅰ・Ⅱ区の建物は、東側の街路に向かって開口していたと考えられる。

b. 街路

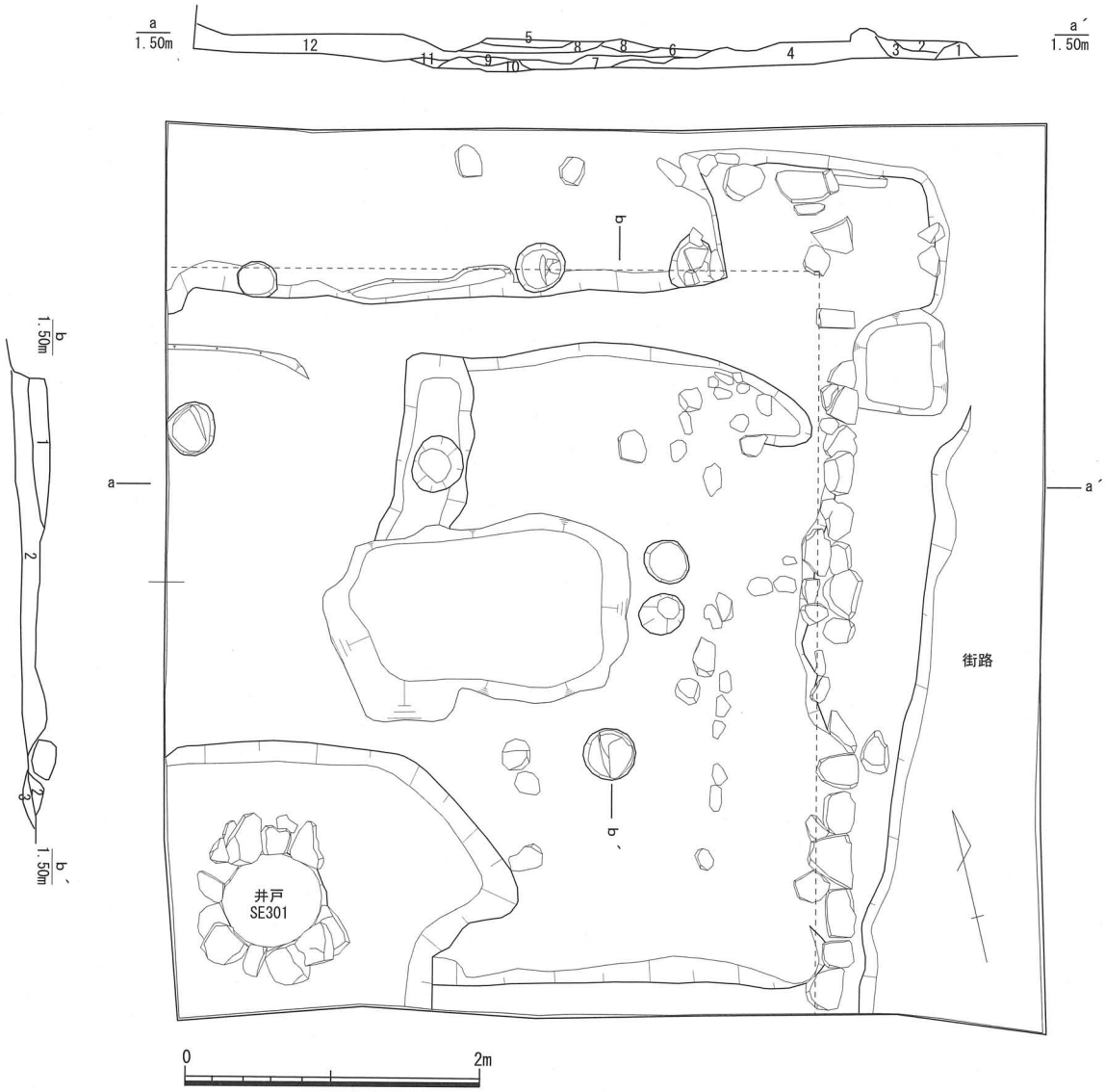
Ⅰ区とⅡ区の南辺に沿って、建物東西軸方向に直行する街路の一部を確認している。街路は南北に走り、座標北から約20°東に振れる。家地より一段下がる形で、現道とほぼ平行である。元禄の絵図に見られる大路の一部であろう。

c. 便所遺構　SK201～204、SK206

建物軸方向と同軸で直列する５基の土坑のうち、埋甕が残っていたものは１基、他は円形素掘りの穴である。SK201と206は切り合っており、201→206の前後関係が把握できる。SK206は灰白色系の粘土層が充満していた。SK201は直径約1.4m、深さ約50cm、SK202は直径約1.1m、深さ40cm程度、SK203は直径約80cm、深さ40cm程度、SK204は直径約70cm、深さ約50cmで埋甕が残存していた。SK206は直径約1.0m、深さ1.1m程度である。

d. ゴミ処理遺構　SX201、SX204、SX203、SK212、SK216、SK218

SX201は径約2.7mを測る円形の平面形で、ほぼ垂直に素掘りされ、深さ約1.0mである。



a-a´ sec.
1. 5Y3/2オリーブ黒色砂
2. 7. 5Y4/1灰色砂に2. 5Y6/4にぶい黄色粘土ブロック混
3. 5Y5/1灰色砂に10Y5/6黄褐色砂帯状混
4. 5Y3/2オリーブ黒色砂に焼土ブロック混
5. 5Y7/2灰白色粘土
6. 5Y4/1灰色粘質細砂
7. 5Y4/2灰オリーブ粗砂
8. 5Y3/1オリーブ黒色砂
9. 5Y6/3オリーブ黄色砂
10. 5Y7/2灰白色粗砂
11. 5Y5/2灰オリーブ砂
12. 5Y4/2灰オリーブ細砂に5Y6/6オリーブ粘土ブロック混

b-b´ sec.
1. 2. 5Y6/4にぶい黄色粘土
2. 2. 5Y4/1黄灰色粗砂
3. 2. 5Y６/8明黄褐色粗砂
4. 2. 5Y7/6黄灰細砂に焼土と
2. 5Y7/6明黄褐色粘土ブロック混

図8　Ⅰ区第3遺構面　平面・断面図

図９　第２遺構面　平面図

+76,895
+76,890
+76,885
+76,880
+76,875
+76,870
+76,865
-147,285
-147,280
-147,275
-147,270
-147,265
-147,260
-147,255
-147,250
-147,245
-147,240
0
5m
N
Ⅱ区
Ⅰ区
Ⅲ・Ⅳ区
SP233
SP227
SP228
SP229
SP230
SP231
SP232
SP234
SK213
SK216
SK217
SX204
SX203
SK215
SK214
SK212
SK218
SP209
SK219
SP210
SK211
SP212
SP211
SP213
SK205
SK209
SK204
SK202
SK203
SK206
SK207
SK220
SK210
SK201
SX201
SX202
SP215
SP216
SP219
SP214
SP217
SP218
SP230
SP222
SP236
SP223
SP224
SP220
SP221
SP231
SP226
SP225
SP235
SK222
SP205
SP204
SP206
SP208
SP202
SP203
SP201
SP207
竈

SX204とした遺構もゴミ穴と考えられるが、この穴からは鍛冶に用いる鞴の羽口がまとまって出土している。SX204は建物軸方向と同軸に長い不整長方形の穴で、長辺約2.4m、短辺約1.3m、深さ約60㎝を測る。

４．第３遺構面

調査区全域の全域で整地面を確認した。Ⅰ・Ⅱ区でそれぞれ第２遺構面とまったく同じ位置・走方向の街路の一部を検出したほか、壁立建物の土間部分を１箇所ずつ（SH301・302）と、それに南面する街路の一部、Ⅲ・Ⅳ区でも同軸方向の礎石立建物１棟（SH304）、床に礫を敷き詰めて暗渠構造にした建物１棟（SH303）を確認した。SH301とSH303には、その範囲内で井戸が確認されている。このことから土間に井戸を有する構造の可能性もある。これらの建物と街路は第２遺構面とまったく同じ軸方向でる。そのほか、SH302に伴う可能性が高い土師質土器皿類を埋納した土坑とピット（かわらけ埋納遺構）それぞれ１ヶ所である。建物の軸方向、街路の方向は第２遺構面と同じで、座標北から東に20°振れる。

図10　Ⅱ区第3遺構面　平面図

a. 街路　図８

第２遺構面で検出した街路と完全に同じ位置、同じ軸方向で検出している。このことから、現在の道路や第２遺構面の近世大路は、これを踏襲したものであるとわかる。街路は屋敷地より一段下がる形で、現道とほぼ平行に走る。硬くしまった砂質の土壌で、下記の土間同様整地されたものと思われる。

b. 建物

SH301　図８

Ⅰ区の全域を占めるもので、土間である。一部Ⅲ・Ⅳ区に続く。軸方向は第２遺構面で検出したものとまったく同じ座標北から東へ20°振れる。残存状況も良好である。街路に面する民家で、街路と接する妻部分の基

礎は栗石を一列に並べた布基礎である。このことから第２遺構面の建物と、この面の建物は構造的に同質であると見てよい。土間は非常に硬化しており、その断面は厚さ１㎝前後の薄い層の連続で、版築技法的な突き固め工法で造られたものであった。部分的に柱穴列、栗石列が確認されていることから板間の配置の可能性が高い。土間の北西側に石組みの井戸（SE301）を確認しているが、、建物に伴うとすれば屋内井戸となる。井戸の内径約70㎝、深さ約1.6m、井戸底の標高は0.00m前後である。井戸は直径１m程度の小ぶりなものだが、標高0mを超えて下層まで穿たれたものである。井戸底に木枠・曲げ物等有機質は残存していなかった。建物の角部分と推定されるピットをⅢ区で検出しており、復元できる建屋の全体像は間口７m程度、奥行き13m程度、床面積91㎡ほどである。座敷部分がほとんど調査区外となっている。床面の随所で焼けた壁材、焼土、炭などが確認でき、Ⅰ区の北東隅には、焼土をまとめて片付けたらしき整地が認められる。火災後の跡地を地業してこの家を普請したことがわかる。街路に面する南妻のL字状石囲いは足洗い場の可能性も考えられる。

SH302

Ⅱ区で検出した。石列を検出していることから、外壁は栗石を一列に並べた上に布基礎として長方形の切石を置いたと思われる。板間部分は浅い柱穴が残っていることから礎石立ちであったと推定される。SH301と近接してともに大路に面して並びあっていたと思われるが、続き棟か否かは不明である。復元できる建屋の全体像は間口７m程度、奥行き13m程度、床面積91㎡ほどである。

SH303

SH302の西側に同軸で並ぶ。SH302との間隔は2.5m程度である。開口部は不明だが、SH301同様南側で井戸（SE302）が確認されている。井戸の内径約70㎝、深さ約1.6m、井戸底の標高は0.00m前後である。小ぶりなもので、井戸底に木枠が残存していたが、砂地の湧水と土圧で、掘削直後に崩壊したたため、最深部まで掘削不能であった。建物の南半は地面を一部掘り込んで砂利を充填した暗渠構造の床をなし、井戸もここに据えられている。外壁は前記２棟よりやや大きめの栗石を並べたもので、上に礎石となる切石を置く布基礎となると思われる。柱穴も根石を籠めたものが並んで２ヶ所確認されている。上記２棟とは上屋構造や機能も異なる可能性が考えられる。間口7.8m程度、奥行きは調査区北外に続くため不明。

SH304

SH301の西、SH303の北隣に位置する。一部に礎石、一部に礎石下の地業と思われる浅いピットを確認している。布基礎状に栗石を並べるほかの３棟と異なり、独立基礎・礎石立工法であったと考えられる。間口7.3m程度、奥行きは検出できた限りでは12m程度ある。土師質皿類を埋納したかわらけ埋納遺構が、この建物にかかる範囲で２箇所確認されている。

図11　第３遺構面　平面図

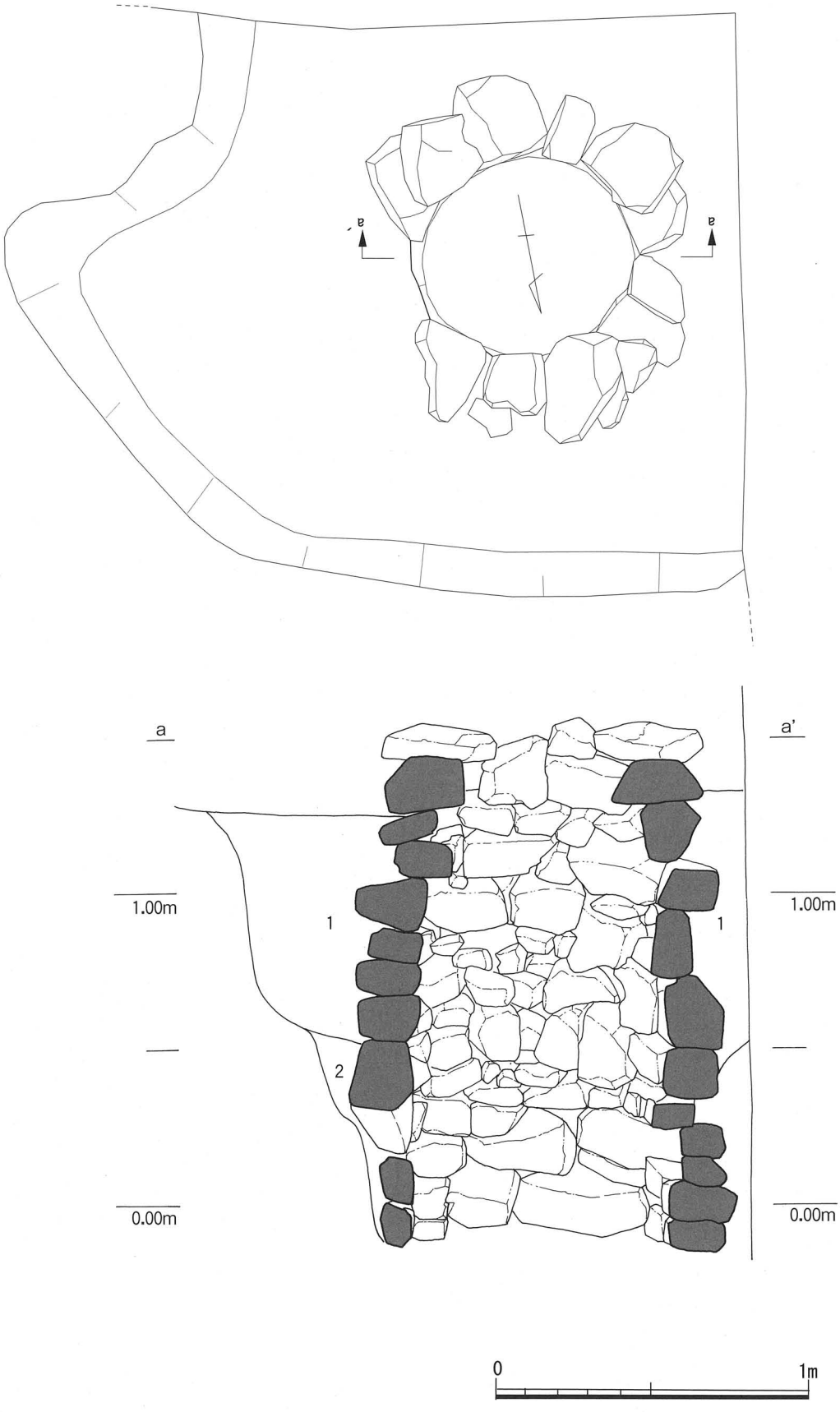


図12　Ⅰ区SE301　平面図および立面図

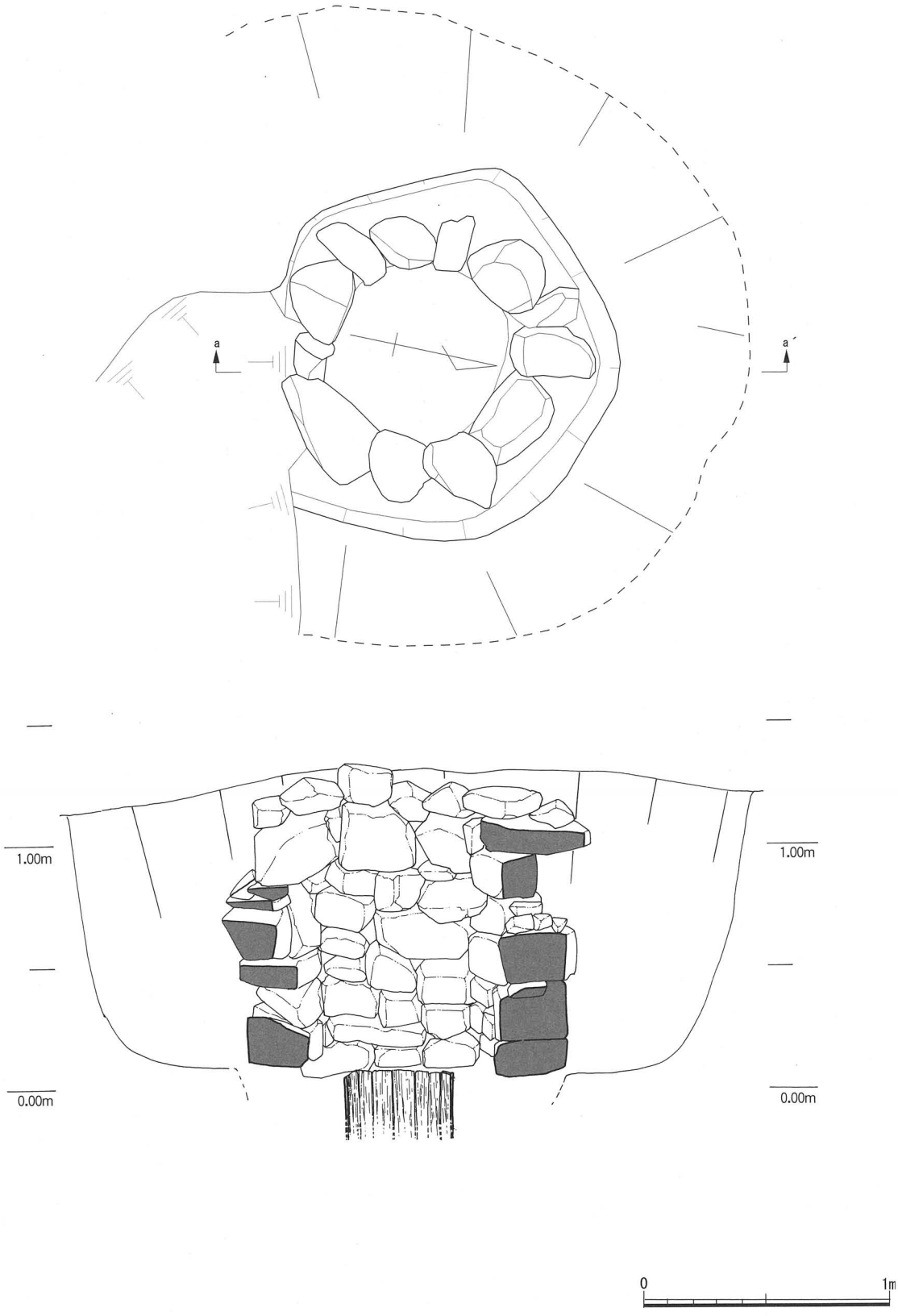


図13　SE302平面および立面図

c．かわらけ埋納遺構

SK301・SP319　図22

SH302の範囲内で確認された土坑である。長径約1.0m、短径約50cm、深さ約20cmを測り、平面楕円形、断面擂鉢状を呈する。長軸はほぼ座標北に沿う。なおこの土坑の北側に付随する直径約40cmの円形ピットSP319にも、土師皿が残されていた。

SP344

SH304にかかる範囲で確認された。SP344は長径90cm、深さ10cm程度と浅く、瓢箪形の平面形をなす。本調査で確認したかわらけ埋納遺構としては小ぶりである。外壁を構成するピット列のひとつをなしており、建物を解体したあとの整地・改築等にともなう祀りの可能性が考えられる。

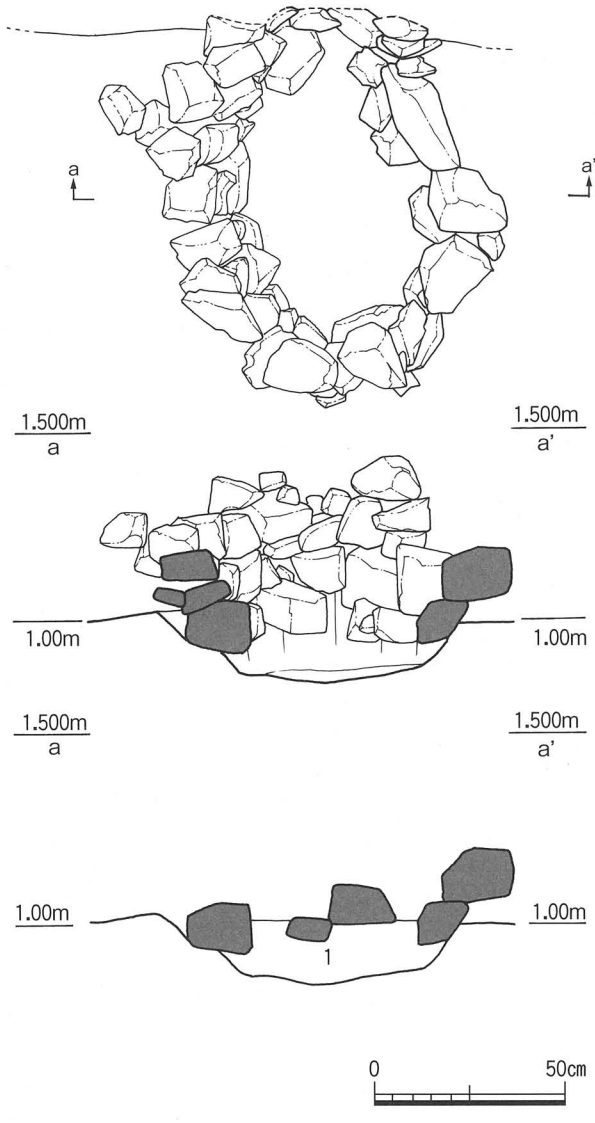


図14　SX401平面および立面図

5．第４遺構面

調査区全域で確認した。Ⅰ・Ⅱ区で街路の一部とそれに伴う柵列、Ⅱ区で円形石組み遺構１箇所、全区で礎石立建物三棟、かわらけ埋納遺構３箇所である。この面以下第６遺構面までは、建物の基礎構造は地下に浅く掘りこみをなして石を据えるか、あるいは地業を施さない直置きの礎石立ちである。土間の有無も不明瞭。残存状態のよい場所では、総柱の建物を捉えているが、礎石が失われて建物の輪郭さえ不明瞭になっているものもあった。建物の軸方向、街路の走方向は第２・３遺構面と全く同じである。

a．街路（柵列）　図15

第２・第３遺構面の街路が建物より一段低い硬化した地面であったのと比して、こちらは民家と柵を隔てただけで地続きの面をなす。この柵の南側が街路、北側が屋敷地となるが、検出位置は第２・第３遺構面の街路よりわずかに南側に下がる。走方向は同じ。

柵は直径30㎝程度のピット列からなり、検出した範囲では柵を構成するピットは６ヶ所、北隣する礎石立ち建物とはピットの間隔が異なること、上位の遺構面の街路部分に相当する位置であることから、柵列と街路であると判断した。

b. 円形石組み遺構　SX401　図14

Ⅱ区で検出した、長径１ｍ高さ40㎝程度の、円形に栗石を組んだ遺構である。一見井戸状の外見を呈するが、Ⅰ区とⅢ・Ⅳ区の井戸と構造が大きく異なり、掘りも浅いことから井戸ではないと考える。機能は不明である。

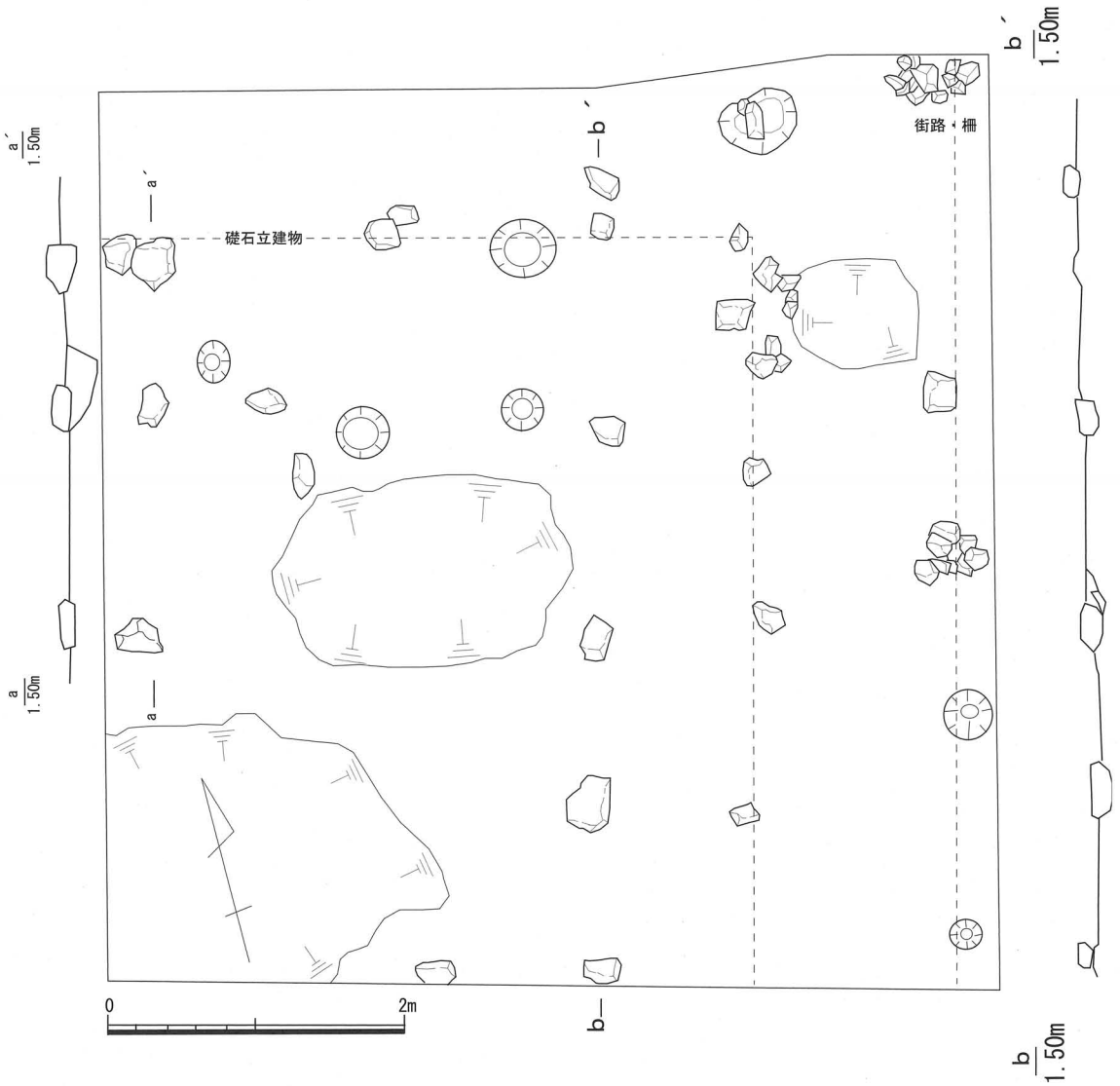


図15　Ⅰ区第4遺構面平面図

図16　第４遺構面　平面図

c．礎石立ち建物

SH401　図15

SH301と同じ位置、同軸方向に立つ礎石立ち建物である。ただし５～10㎝未満の浅い穴を穿って、底に石を据えている場合もあり、礎石上面のレベルが一定していない。これは腐食した柱の補修痕であると考えられる。

検出した範囲では５間×４間分の柱、面積にして28㎡程度を確認しているが、北側ほど残存状態が悪く、飛び飛びに柱位置を確認したにすぎない。全体の規模はおそらく外寸で間口７m、奥行き11m程度、77㎡程度の建物と考えられる。軸方向は座標北から東へ約20-振れる。建物の範囲内にかわらけ埋納遺構SP418が存在する。

SH402

SH302とほぼ同じ位置、同軸方向に立つ礎石立ち建物である。直置きの礎石が確認できる位置と、５～10㎝未満の浅い穴を穿って底に石を据えている場合もあり、礎石上面のレベルが一定していない。これは腐食した柱の補修痕であると考えられる。SH401に比べて残存状態が悪く、飛び飛びに柱位置を確認したにすぎない。全体の推定規模は間口９～7.2m程度×奥行き９m以上、81㎡～64.8㎡程度と考えられる。

SH403

SH304とほぼ同じ位置、同軸方向に立つ礎石立ち建物である。残存状態が悪く、ごく一部に礎石と柱の補修痕と考えられるピットの並びを確認しただけである。このため全体の規模も推定になるが、間口８m以上×奥行き８m以上、64㎡以上の建物と考えられる。

d．かわらけ埋納遺構

SK412　図22

北半分が明治時代頃の建物で削平されて失われており、南半分が半円形に残るのみである。残存径約1.0m、深さ約1.2mを測り、平面楕円形と推定され、断面は筒状を呈する。埋土最上層に土師質皿類が重ね置きされていたほか、最下層に一枚だけ土師質土器中皿が置かれていた。この出土層位の違いが意味するところは不明である。

SK411　図23

長径約1.2m、短径約1.0m、深さ約30㎝を測り、平面楕円形、断面は筒状を呈する。上位と下位、２層にわたって一括で土師質皿類が投棄されたような状態で出土した。同じ土坑で二度祭祀行為を繰り返したものか、埋納が二回に分けられたのか、上位と下位それぞれの土器の時期差がほとんどないためわからない。

SK414下層

直径1.6m・深さ23cm程度の不整円形の土坑で、上層からは近世遺物が出土している。この土坑の下に、下位の遺構面のかわらけ埋納遺構が存在していたものを、ひとつの遺構のようにいちどきに掘削してしまったものである。そのため下位の遺構の正確な検出面、平面形などがわからなくなった。事実に即して、第４遺構面検出として記載するが、実際は第５遺構面以下層の可能性も残す。

あるいは、検出面は正しいが、上位の近世遺構に切り込まれたため上層部が削平されてしまっているかである。

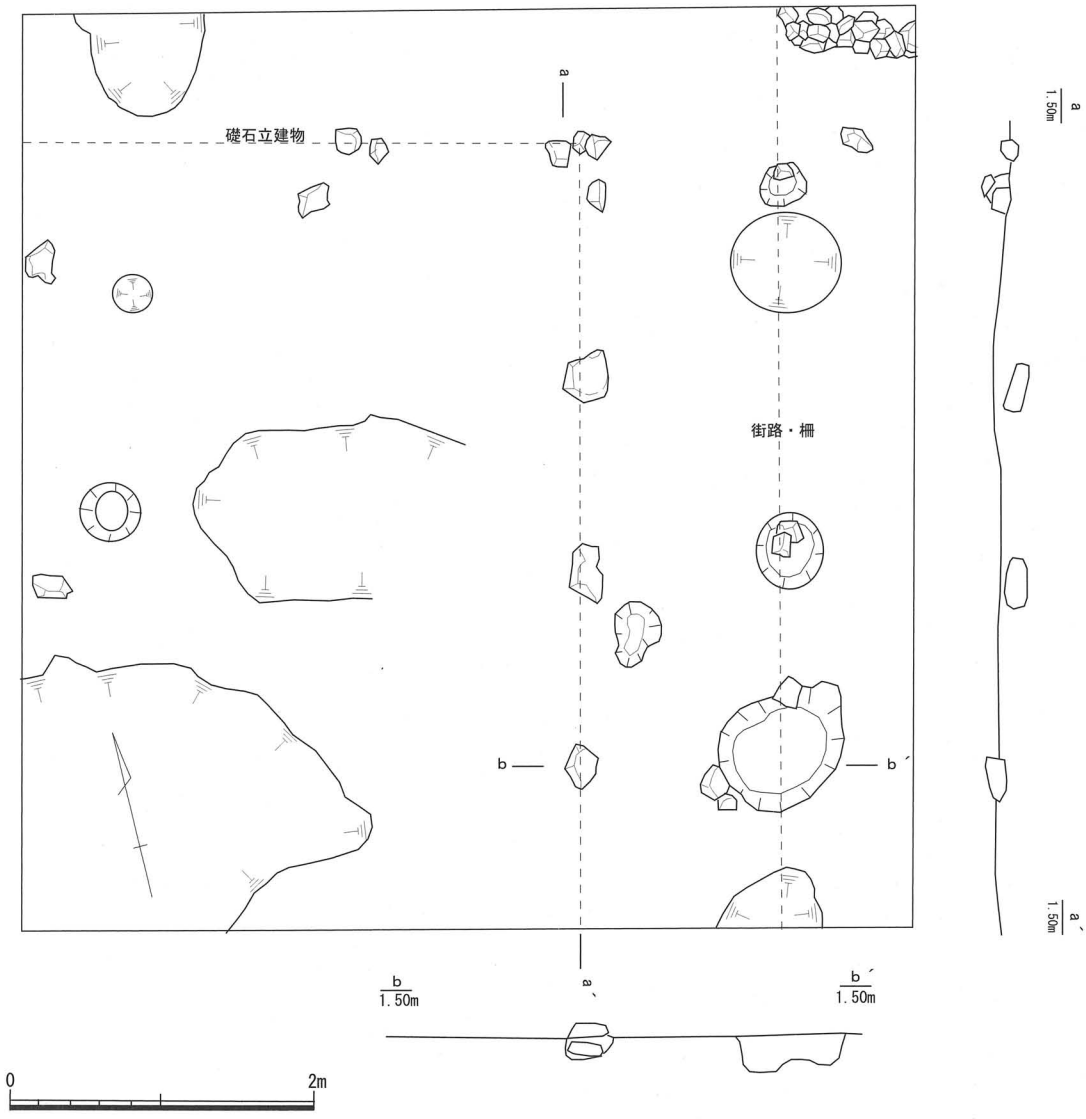
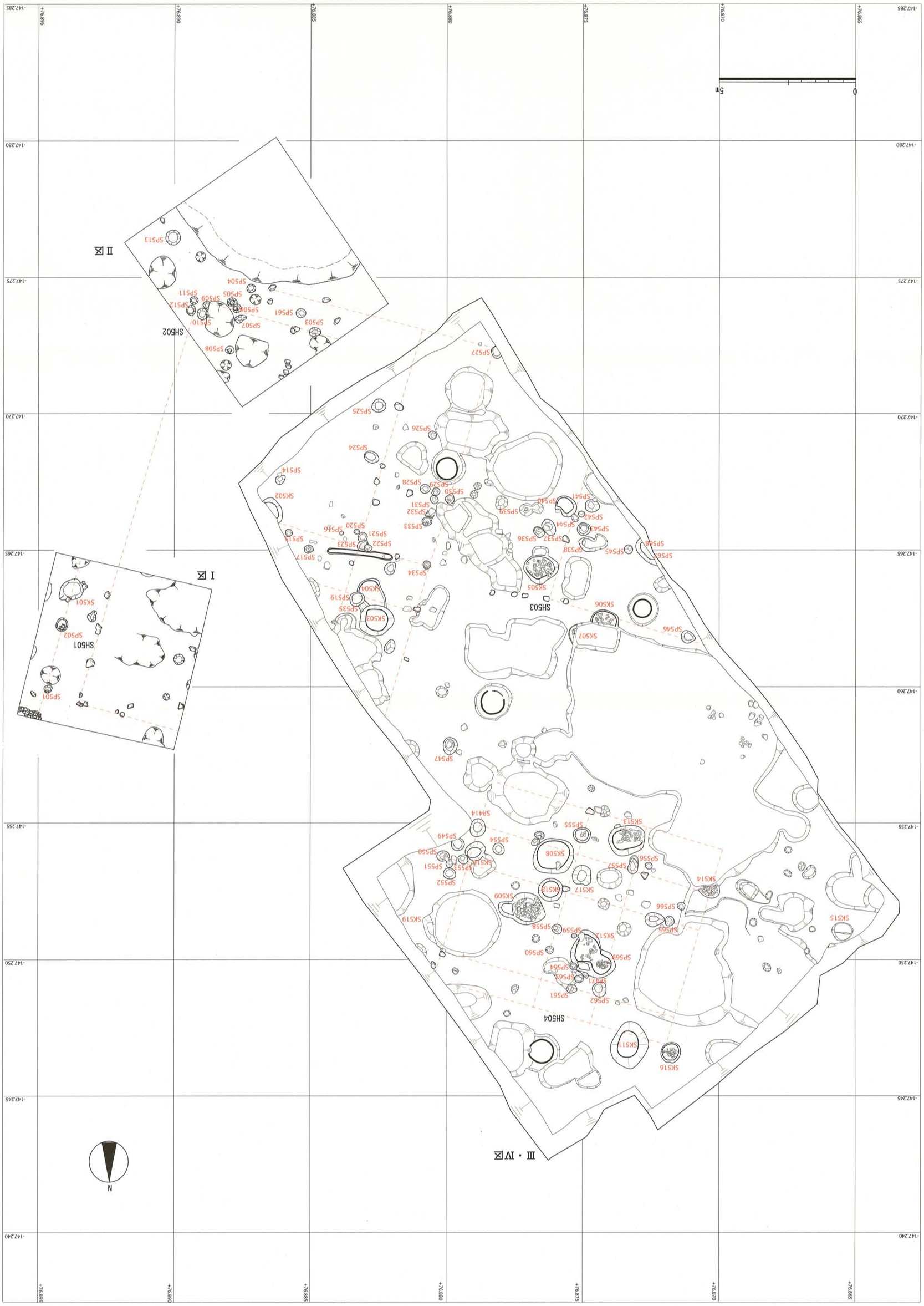


図17　Ⅰ区第5遺構面　平面図

図18　第5遺構面　平面図



SP418　図22

東側が調査区外で、詳細な形状、規模等不明である。検出した限りでは長径約80cm、深さ約44cmを測る。SK404、SP413が土師質中皿中心の埋納あるいは投棄であるのに比べて、こちらは土師質大皿を用いている。色調も濃い橙色系で、その他の土師質大皿、いわゆる白色系土器とは明らかに異なる。下を向けて伏せて重ねた八枚程度が一単位の土師質皿とその下から動物の骨の一部が出土している。祭祀遺構であろう。建物の普請、廃絶などにともなう可能性もある。

６．第５遺構面

調査区全域で整地面を確認した。検出遺構は、Ⅰ区で街路柵列、ⅠないしⅣ区で礎石立建物四棟、かわらけ埋納遺構６箇所である。建物の残存状態のよい場所では礎石を確認しているが、礎石が失われ建物の輪郭さえ不明瞭になっているものもあった。建物の軸方向、街路の方向は第２～４遺構面と全く同じである。

a．街路　図17

Ⅰ・Ⅱ区で確認した。第４遺構面で検出したものより一世代古い街路の柵である。街路に面する民家と柵を隔てて区画された地続きの面をなし、第４面とまったく同じ構造である。この柵を隔てて南側が街路、北側が屋敷地となるが、検出位置・走方向は完全に第４遺構面に同じ。柵は直径30cm程度のピットとやや大きめの土坑に近いものとが交互に並ぶ。検出した範囲では柵を構成するピットは５箇所。

b．礎石立ち建物

SH501　図17

Ⅰ区とⅢ・Ⅳ区にまたがり、SH301、SH401とほぼ同じ位置、同軸方向に立つ礎石立ち建物である。柵を隔てて街路に面していたと思われる。建物間口部分の可能性が高い礎石列と、北西コーナー部分の可能性が高い礎石とを確認しているが、総柱状に礎石が並ばなかった。礎石が失われてしまったためなのか、本来の構造なのかは判定しがたい。検出した範囲では５間分の妻側の柱列が最も明瞭である。コーナー部と合わせて復元すると、全体の規模は間口６m以上×奥行き11m程度、66㎡程度の建物と考えられる。建物軸方向は、座標北から東に約20°振れる。

SH502

Ⅱ区とⅢ・Ⅳ区にまたがり、SH302、SH402とほぼ同じ位置、同軸方向に立つ礎石立ち建物である。一部に礎石と補修痕状のピットとを確認しているが、残存状態が悪く詳細は不明である。検出した範囲で復元すると、全体の規模は間口7.3m以上×奥行き11m程度、80.3㎡程度の建物と考えられる。

SH503

Ⅲ・Ⅳ区のSH203、SH303とほぼ同じ位置、同軸方向に立つ礎石立ち建物である。一部に礎石と補修痕状のピットとを確認しているが、残存状態が悪く詳細は不明である。検出した範囲では、全体の規模は間口9.2m以上×奥行き９m以上、82.8㎡程度の建物と考えられるが、調査区外に続いており正確な規模は不明である。

SH504

SH204、SH304、SH403とほぼ同じ位置、同軸方向に立つ礎石立建物である。礎石と補修痕状のピットを確認しているが、残存状態が悪く詳細は不明である。検出した範囲de復元すると、全体の規模は間口6.7m以上×奥行き9.5m程度、63.7㎡程度の建物と考えられる。

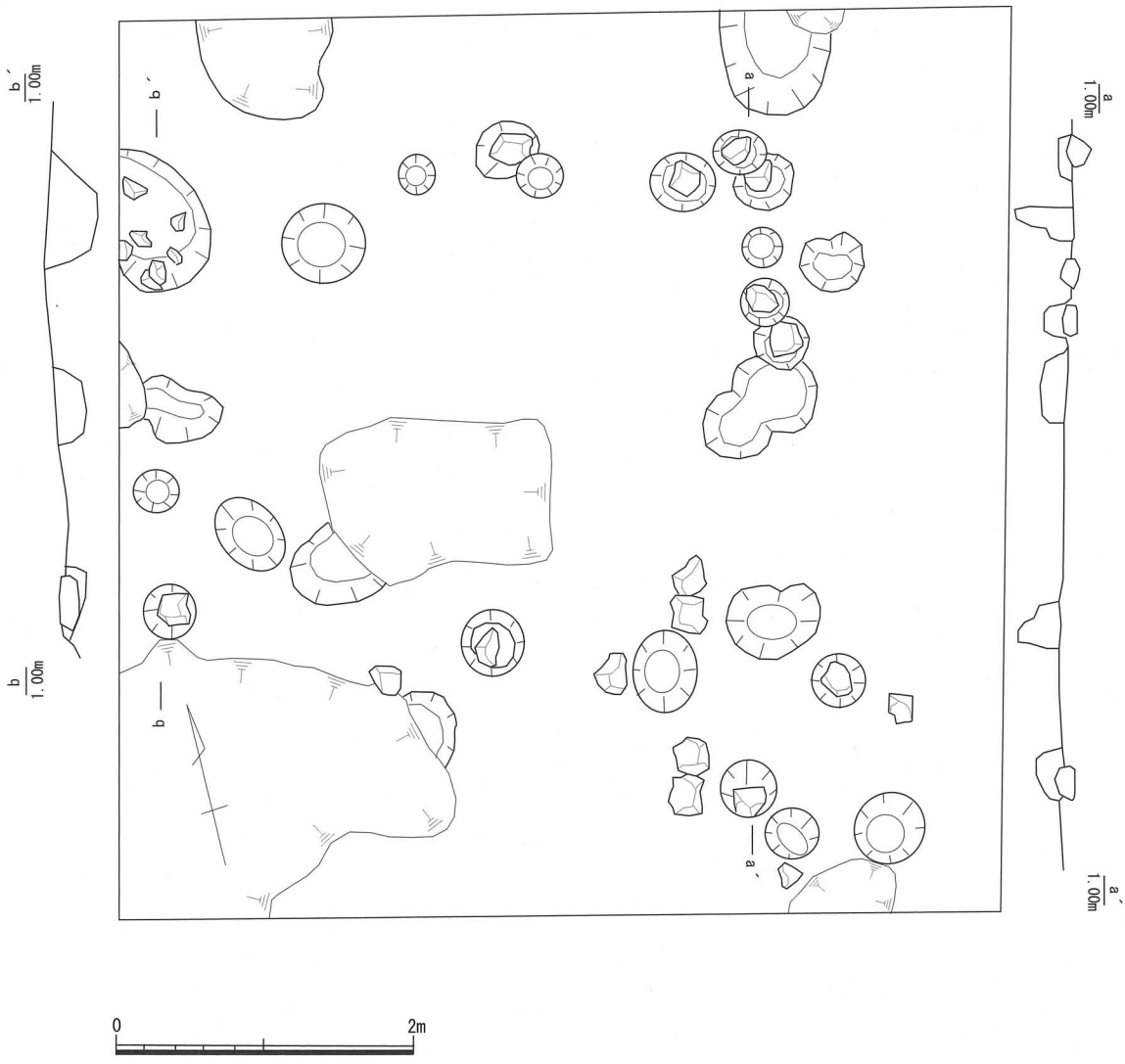
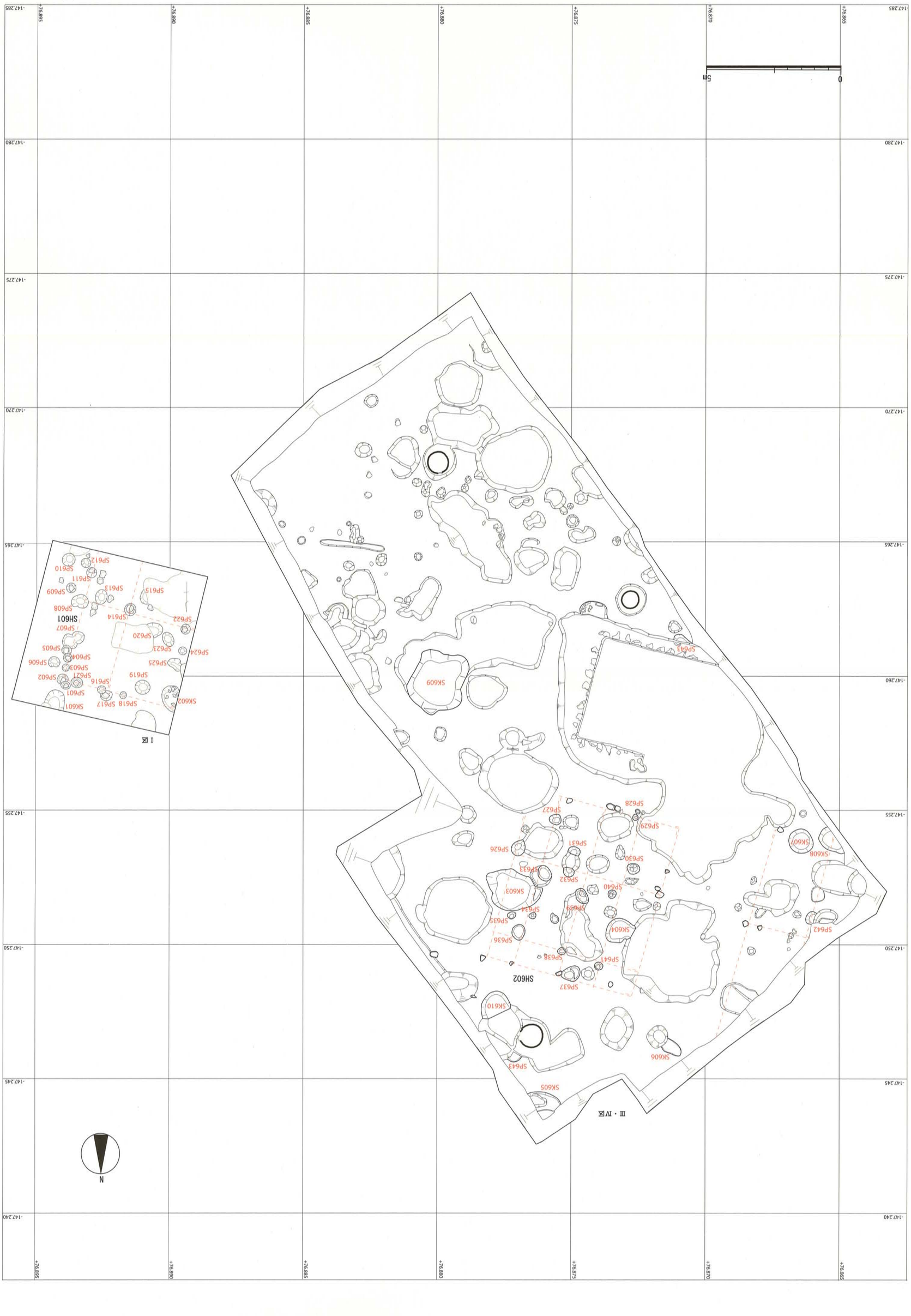


図19　Ⅰ区第6遺構面　平面図

図20　第６遺構面　平面図



c．かわらけ埋納遺構

SK505　図23

SH503の範囲内で確認された。径約1.5cm、深さ約40cm、平面不整円形と推定され、断面はすり鉢を呈する。10枚程度を一単位とした土師質土器中皿を何単位も土坑内に充填するように並べている。

SK506　図24

同じくSH503の範囲内で確認された。東半分が明治時代頃の建物で削平されて失われており、南半分が半円形に残るのみである。径約1.0cm、深さ約35cmを測り、平面円形と推定され、断面はすり鉢状を呈する。土師質土器中皿が散在する出土状況である。

SP555　図24

SH504の範囲内で確認された。径約60cm、深さ約20cmを測り、平面円形と推定され、断面はすり鉢状を呈する。ピット程度の穴に10枚程度の土師質土器中皿を重ねて埋納している。

SK513

SH504の範囲内で確認された。径約1.3m、深さ約40cmを測り、平面円形と推定され、断面は筒状を呈する。単位が確認できない状況で土師質土器中皿の破片がつまっていた。

SK512・SP569　図24

SH504の範囲内で確認された。長径約1.7m、短径約1.2m、深さ約30cmを測り、平面瓢箪形であるが、本来的には二つの時期を異にするかわらけ埋納遺構が切りあっていたものである。断面はすり鉢状を呈する。土師質土器小皿と一緒に金属器、石鍋の破片などが散在していた。土師質土器皿類の出土状況が、上記の遺構とやや相を異にしており、埋納というより、無造作な投棄を思わせる。

SK516　図22

SH504の範囲で確認した。径約80cm、深さ約30cmを測り、円形平面である。埋土上層で、土師質土器中皿が重ねられた状態で出土した。断面は筒状を呈する。SH504の北西角にあたり、建物に伴う祭祀であろうか。

７．第６遺構面

調査範囲のうちⅢ・Ⅳ区の南半分とⅡ区は残存状態が悪く、面として捕らえることができなかった。したがって整地層および遺構が検出できたのはⅠ区とⅢ・Ⅳ区の北半分のみである。検出遺構は、Ⅰ区で掘立柱建物１棟、Ⅲ・Ⅳ区で同じく掘立柱建物１棟、かわらけ埋納遺構２箇所

である。建物軸と同じ方向・延長線上にならぶ土坑も数基Ⅲ・Ⅳ区西端で確認しているが、調査区外に続くため、この配列が意味するところは解明できなかった。あるいは別の建物の可能性もある。この遺構面では、街路を区画する柵列は確認できなかったが、建物軸は第２～第５遺構面までとまったく同じ、座標北から東に20°振ったものである。

a. 掘立柱建物

SH601

Ⅰ区で建物北東角部分を確認した。SH301、SH401、SH501とほぼ同じ位置、同軸方向に立つ掘立柱建物である。建物間口部分の可能性が高いピット列を一部確認しているが、どのピットも浅い。本来礎石立ちであった建物の礎石が失われてしまったためなのか、掘立柱建物の柱穴が浅いのかは判定しがたいが、上位で確認した礎石立ち建物にくらべてピットが顕著であるため、今回は掘立柱建物と最終的に判断した。検出した範囲では３～４間×４間分程度の柱列が最も明瞭である。北側部分がまったく確認できておらず、全体の規模は不明である。総柱構造の可能性が高い。

SH602

SH304、SH403、SH504とほぼ同じ位置、同軸方向に立つ総柱の掘立柱建物である。ピットと礎石を一部確認している。検出した範囲では４間程度の東側平側部分の柱列が最も明瞭である。西側部分の残存状態が悪いが、一見土間柱配列が異なるようにも思われこの部分が土間である可能性もある。間口6.5m、奥行き９m以上、58.5㎡以上の建物と考えられる。

柱列が顕著でなかった部分が土間、総柱を確認している部分が板間とすれば、SH601と逆に、北西に開口部を持つ家屋となる。

b. かわらけ埋納遺構

SK607　図25

径約90㎝、深さ約20㎝を測り、平面円形、断面は浅い筒状を呈する。10枚程度を一単位とした土師質土器中皿を何単位か並べている。伴う建物が不明瞭であるが、その他のかわらけ埋納遺構と比較して、祭祀関連遺構と判断して差し支えなかろう。

SK608　図25

西半分が調査区外のため、正確な形状は不明である。検出された範囲では径約1.2㎝、深さ約20㎝を測り、平面円形あるいは楕円形、断面は浅い筒状を呈する。土師質土器中皿の破片とともに獣骨が出土しており、何らかの祭祀の痕跡と思われるが、土師質土器中皿は、出土量も少ないうえ、出土状況も、原位置をとどめておらず、何かを片付けた穴・あるいは投棄のための穴の可能性もある。

SK610　図25

北半分が撹乱されているため、正確な形状は不明である。検出された範囲では径約1.1m、深さ約30cmを測り、平面円形、断面は深いすり鉢状を呈する。土師質土器小皿の破片とともに美濃焼、備前焼、石鍋など什器類の破片が出土しており、かつ、土坑壁体に張り付くような出土状況であった。ごみと化した破片が滑落したような状況を呈する。同様の土坑が第７遺構面でほかに２基（SK701・SK702）、合計３基並列して確認されているが、これも出土遺物の時期から本来的には第６遺構面で検出されるべき遺構であった。この２基は著しい湧水のため、遺構掘削直後に崩落した。そのため、この種の土坑で遺物の出土状況を確認できたのはSK502の１基のみとなった。土器の出土状況から廃棄土坑の可能性が高い。

SK606　図25

第５遺構面のかわらけ埋納遺構SK516に重なる位置で検出した。あるいはこの遺構の最深部を掘り残していた可能性も考えられるが、事実に即して別遺構として報告する。出土状況は、ほかのかわらけ埋納遺構より散漫でこのことも掘り残しの可能性を疑わせる。

SK604　図26

長径１m深25cm程度、断面すり鉢状を呈する。北西端を撹乱されているが、不整円形の土坑である。土師質土器中皿が、数枚重なって出土した。

８．第７遺構面

標高0.5m前後地点で、調査区全域に、地山となる砂層の堆積を確認した。これは、兵庫津特有の、風性および海浜堆積物からなるもので、地質学で言う「浜堤列」である。この一帯、標高が0.0mを超えたあたりからは地下水域となる。

Ⅰ区・Ⅱ区では排水手段の不備により、湧水下で平面形のみを確認したにとどまる。Ⅲ・Ⅳ区では、常時排水しながらの作業となったが、著しく高い密度で遺構を検出した。ただし一部については標高0.00mよりさらに下層まで掘り下げた途中で、著しい湧水に見舞われ、遺構を完掘できずに終了している。

この面の最大の特徴は、第１から第６遺構面までが整地層上に築かれた遺構であるのに比べ、地山上の遺構であるという点にある。したがってこれが兵庫津遺跡初源期の地層となる。検出遺構は、Ⅲ・Ⅳ区で建物址と思われる半地下構造の遺構６棟、、不明落ち込み３ヶ所、直角に屈曲する堀状遺構２箇所、かわらけ埋納遺構１箇所のほか、無数のピット、土坑である。このうち、半地下構造のものは「中世竪穴建物」の可能性を指摘したい。堀状遺構は、これらに切られていることから、竪穴建物より古い時期の区画ではないかと考えている。屋敷地の区画の可能性が高いが、区画の内側が調査区外であったり大きな撹乱であったりして、詳細不明であった。

a. 竪穴建物　SH701～706

いずれの遺構も平面形は長方形で、規模は個性がある。

SH701

長辺18m、短辺9.5m以上と最も大きいが、遺構西端が後世の撹乱によって失われている。垂直に地山砂層を掘り下げて壁体となす。検出できただけでも壁体の深さは約40cm以上と深いが、湧水で明確に底と確認できずに終わっている。辺縁部に沿って直径70cm前後の土坑が点在する。北西妻部分は、一段高くなっており、溝状に掘り込んだ両端に礎石を配置し、さらにその奥にもピットを穿っている。出入り口の可能性が考えられるが、中央のピットがどのよな働きをするのか不明である。辺縁部の土坑は、壁基礎の石材抜き取り痕の可能性も考えられる。建物の軸は第２～第６遺構面とまったくで同じ東に20°振れる。

南東妻側に、埋土最上層近くで土師質土器皿類が多量にまとまって出土した。その総量は28リットルコンテナ２箱近かった。土圧でつぶれていたが、出土状況から建物の廃絶・改築などにともなう何らかの祭祀の痕跡ではないかと考えられる。

SH702

SH702と同じ軸方向を持つが、大半が調査区外である。壁体が不明瞭で、SH701に比べるとゆるい傾斜をして下がる。床面にピットを確認しているが、異なる時代の切り合いである可能性も残る。検出した範囲では短辺が6.0m以上ある。

SH703

長辺8.5m、短辺4.5m程度でSH601に比べるとこぶりだが、軸方向は同一である。壁体はやはり垂直に下がる。壁の深さは40cm以上とこれも深い。辺縁部に沿って、ピット２箇所と礎石を一部確認しているが、ピットは全体に巡るものではなかった。南東妻側に、SH701同様に土器溜りがあった。

SH704

長辺約3.7m、短辺約2.8mを計る。小ぶりで不定形な長方形である。壁体は垂直に下がり深さは20cm程度。南東妻側に礎石を据えたピットを確認しているが、周縁部に土坑・ピットなどは巡らない。軸方向は他の建物と同じ。

SH705

4.0m～5.0m分を検出したが、大半が調査区外である。辺縁部に巡るピット、土坑を一部確認しているが、詳細不明である。壁体は垂直に下がり、深さは30cm程度。構造的には上記のものと同じと推測されるため、竪穴建物とした。軸は他の建物と同じ。

図21　第７遺構面　平面図

SH706

長辺11.5m以上、短辺9.5m程度、東側を撹乱されている。大半が調査区外のため詳細が不明だが、軸方向は他と同一である。壁の下がりはややゆるやかな傾斜をなし、深さは10cm未満と浅い。南東隅に直径１m程度の落ち込みがあり、土器が一定量出土しているが、砕片が多く土器溜りと認識できるほどの量ではなかった。辺縁部に沿ってピットが巡る。

b．落ち込み状遺構

SX703

長辺8.0m×短辺5.0m分を検出したが、北側の大半を撹乱されている。おそらく軸方向は竪穴建物と同じと推測されるが、詳細は不明である。垂直に下がる壁体、深さも30cm以上と深いことから、竪穴建物と分類した遺構の可能性も残る。

SX704

この遺構だけ軸方向が大きく異なって検出された。深さ35cm程度の垂直な壁体、周縁部に沿って一部礎石を据えたピットが確認されるなど、竪穴建物と分類した遺構との共通点もあるが、軸方向の異質さからあえて落ち込み状遺構に分類した。長辺4.9m短辺2.3m程度で、不定形な長方形をなす。

SX705

ゆるやかに傾斜しながら落ち込んでいく遺構である。調査区南東角で検出されており、全体像が不明である。検出した範囲では5.0m～6.0m、深さ28cm以上である。

c．かわらけ埋納遺構

SH701とSH703の南東妻部分に土師質中皿の土器溜りが認められたほか、土坑にかわらけを埋納したものも３ヶ所認められた。

SK711　図26

径約1.9m、深さ30cm程度の不整円形土坑である。堀状遺構SD701を切るようにして造られた遺構だが、SD701が15世紀代の遺構と考えられるのに、こちらは14世紀後半と見られる遺物を出土している。このことから両者の年代のどちらかが上がるか下がるかする可能性が高い。土師質土器皿類のほか、土器・陶磁器の破片なども共伴しており、投棄的である。

SK717　図26

径約90cm、深さ約35cmを測り、平面円形あるいは断面は深いすり鉢状を呈する。土師質土器中皿を何枚か重ねて安置したような出土状況で、上位各遺構面のかわらけ埋納遺構と完全に同質である。

SX701

後述する堀状遺構SD701の内側で、一部を確認した。深さ30cm以上のかわらけ埋納遺構のようだが、ごく一部を検出しただけで大半が調査区外である。したがって詳細不明。堀状遺構SD701に伴う施設なのかどうかも不明。時期的には15世紀初頭の可能性が高く、SD701の示す15世紀前半とは重なるか微差の範囲である。

d. 堀状遺構

SD701

調査区北東角で素堀の90-に屈曲する遺構を確認しているが、調査区外に続いており、検出したのはごく一部である。軸方向は竪穴建物と分類したものと同じである。検出できた範囲で幅約3.0m、深さ約50cm、ほぼ垂直に掘り下げた素掘り溝で、断面は方形を呈する。

町割りにそって造られた屋敷地の区画溝、境界溝などの可能性があるが、溝と並行に柵列様の礎石列が並ぶことから、屋敷地の区画溝である可能性が高いのではないだろうか。溝内には多量の土器が投棄されていた。

この遺構の時期は、北西部分で投棄痕のような土器溜りを検出しており、その土器類から15世紀後半が想定される。一方で切りあう他の遺構、SK711、SD02などの示す年代はそれを遡る14世紀後半から15世紀初頭などを示している。切り合いの上下関係が明瞭であり、SD701の年代が15世紀後半より遡る可能性、SK711・SD702のほうが下る可能性両方がある。あるいは土器溜りが遺構の存続時期・掘削時期ではなく、廃絶時期を示す場合も考えられる。

SD703・704

SH701に切られる、90°に屈曲する堀状遺構である。遺構の形状は方形の囲いのようである。検出した範囲から推定される規模は南北幅6.6m以上である。東西幅はSH601に切られてわからない。軸方向は竪穴建物やSD701と同じである。

その他土坑

上記遺構以外にも、紙数の都合上詳述できなかった多数の土坑、ピットを確認している。

SK701とSK702は、本来第6遺構面で検出すべき遺構である。遺物の出土状況や埋土の堆積状況がSK610に酷似しており、時期も同じ頃であることから、同時代の遺構の可能性が非常に高い。SK610の遺物出土状況からは、投棄土坑、ごみ穴であると考えられる。

Ⅰ・Ⅱで検出した遺構のほとんどは、完掘できないまま調査を終了している。Ⅲ・Ⅳ区で確認した遺構と同じ軸方向に並ぶピット列だが、湧水のため正しい平面検出が行われたといいがたい。Ⅰ・Ⅱ区ではⅢ・Ⅳ区のような深く地面を掘り下げた遺構をまったく見出していないが、これも湧水と狭小な調査範囲に左右されて見落としている可能性が高いもので、今回報告した検出遺構以外にも、遺構が存在していた可能性があった。

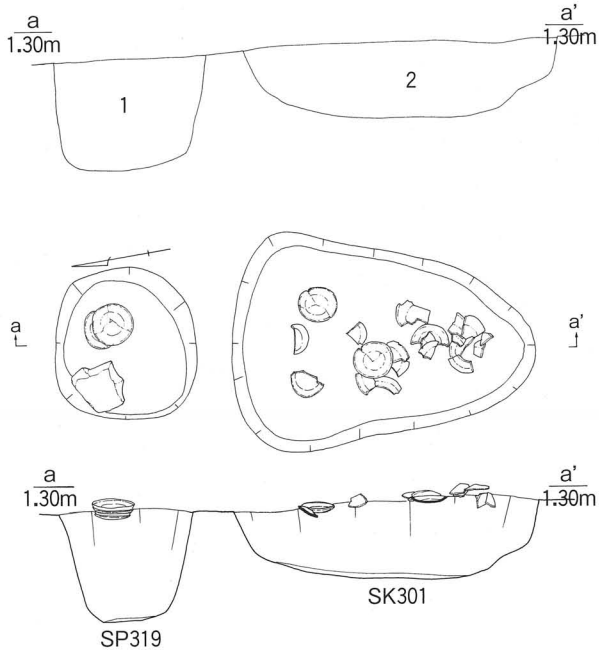
9．遺構番号について

本調査は、開発工事の工程に沿ってⅠ・Ⅱ区、Ⅲ・Ⅳ区と一部同時併行で、一部時間差で実施された。そのため区によって検出面数が異なったり、遺構番号は調査区ごとに付されたりして、後日全体を通してみると、異なる地区同士で同じ遺構番号が重複する結果になった。報告書刊行にあたっては、これらを一括で整理して改めて番号を付け直した。調査時の遺構番号と報告書掲載の番号とは異なっている。遺物への注記は調査時の番号で行われた。資料調査等に際しては、以下の対応表を参照されたい。

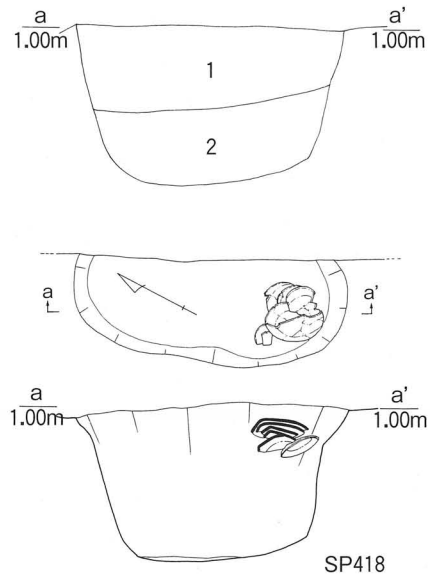
表1　遺構番号対応表

調査時番号	報告書掲載番号	調査時番号	報告書掲載番号	調査時番号	報告書掲載番号	調査時番号	報告書掲載番号	調査時番号	報告書掲載番号
Ⅰ区SD201	SD201	Ⅱ区SP303	SP309	SP327	SP416	SP432	SP538	SX602	SD701
SK101	SK201	Ⅱ区SP301	SP310	SP332	SP417	SP435	SP539	SD605	SD702
SK102	SK202	Ⅱ区SP302	SP311	SP328	SP418	SP439	SP540	SD603	SD703
SK103	SK203	Ⅱ区SK301	SP312	SP335	SP419	SP438	SP541	SH601拡張部	SD703
SK104	SK204	SP240	SP313	SP315	SP420	SP436	SP542	SD604	SD704
SK105	SK205	SP248	SP314	SP310	SP421	SP431	SP543	SX603-1	SD704
SK106	SK206	SP237	SP315	SP317	SP422	SP433	SP544	SX605	SD704
SK107	SK207	SP230	SP316	SP312	SP423	SP430	SP545	SH607	SD704
SK306	SK209	SP231	SP318	SP333	SP424	SP427	SP546	SK601	SK701
SK110	SK210	SP232	SP319	SP306	SP425	SP453	SP547	SK602	SK702
SK111	SK211	SK210	SP320	SP318	SP426	SP414	SP548	SK603	SK703
SK112	SK212	SP236	SP321	SP319	SP427	SP423	SP549	SK605	SK705
SK113	SK213	SP234	SP322	SP307	SP428	SP416	SP550	SK606	SK706
SK114	SK214	SP233	SP323	SP331	SP429	SP418	SP551	SK607	SK707
SK115	SK215	SK206	SP324	SP330	SP430	SP417	SP552	SK608	SK708
SK116	SK216	SP229	SP325	SP332	SP431	SP419	SP553	SK614	SK709
SK117	SK217	SP228	SP326	SP305	SP432	SP415	SP554	SK610	SK710
SK118	SK218	SP227	SP327	SP303	SP433	SP413	SP555	SK609	SK711
番号なし	SK219	SP226	SP328	SP302	SP434	SP427	SP556	SK616	SK712
SK120	SK220	SP224	SP329	SP304	SP435	SP474	SP557	SK611	SK713
Ⅰ区SP201	SP201	SP225	SP330	SP329	SP436	SP479	SP558	SK618	SK714
Ⅰ区SP202	SP202	SP246	SP331	SP301	SP437	SP469	SP559	SK617	SK715
Ⅰ区SP203	SP203	SP223	SP332	SK301	SP438	SP473	SP561	SK619	SK716
Ⅰ区SP204	SP204	SP245	SP333	SP321	SP439	SP474	SP562	SK620	SK717
Ⅰ区SP205	SP205	SP244	SP334	SP322	SP440	SP472	SP563	SK622	SK718
Ⅰ区SP206	SP206	SP242	SP335	SP323	SP441	SP470	SP564	SH609-1	SK719
Ⅰ区SP207	SP207	SP243	SP336	SP313	SP442	SP403	SP565	SH609-2	SK720
Ⅰ区SP208	SP208	SP241	SP337	SP311	SP443	SP404	SP566	SH609-4	SK721
SP123	SP209	SP239	SP338	SP320	SP444	SP428	SP567	SH609-3	SK723
SP122	SP210	SP238	SP339	Ⅰ区SP406	SP445	SP429	SP568	SK624	SK724
SP116	SP211	SK212	SP340	Ⅱ区SE401	SX401	SP406	SP569	SH606-6	SK725
SP117	SP212	SK211	SP341	Ⅰ区SK501	SK501	Ⅰ区SP504	SP570	SH606-3	SK726
SP118	SP213	SK210	SP342	SK417	SK502	Ⅱ区SP511	SP571	SK628	SK727
SP106	SP214	SP206	SP343	SK415	SK503	Ⅰ区SK602	SK601	SK627	SK728
SP113	SP215	SP204/205	SP344	SK416	SK504	Ⅰ区SP618	SK602	SK623	Sk729
SP112	SP216	SP203	SP345	SK410	SK505	SK507	SK603	SH607-2	SK730
SP111	SP217	SP202	SP346	SK413	SK506	SK511	SK604	SX604	SK731
SP105	SP218	SP201	SP347	SK414	SK507	SK505	SK605	Ⅰ区SK702	SK732
SP104	SP219	SP217	SP348	SK408	SK508	SK506	SK606	Ⅱ区SK701	SK734
SP103	SP220	SP209	SP349	SK404	SK509	SK503	SK607	SH601	SH701
SP120	SP221	SP208	SP350	SK403	SK510	SK504	SK608	SH602	SH702
SP110	SP222	SP220	SP351	SK411	SK511	SK501	SK609	SH605	SH703
SP109	SP223	SP221	SP352	SP407	SK512	SK502	SK610	SH610	SH704
SP107	SP224	SP222	SP353	SK412	SK513	Ⅱ区SP601	SP601	SK625	SH705
SP102	SP225	SP211	SP354	SK402	SK514	Ⅱ区SP601	SP602	SH604	SH706
SP101	SP226	SP250	SP355	SK401	SK515	Ⅱ区SP604	SP603	SH607-2	SH730
Ⅱ区SK202	SP227	SP213	SP356	SP421	SK516	Ⅱ区SP605	SP604	SP601	SP701
Ⅱ区SP204	SP228	SP215	SP357	SK405	SK517	Ⅱ区SP605	SP605	SP602	SP702
Ⅱ区SP203	SP229	SP212	SP358	SK409	SK518	Ⅱ区SP626	SP606	SP603	SP703
Ⅱ区SP207	SP230	SP207	SP359	SK407	SK519	Ⅱ区SP628	SP607	SP604	SP704
Ⅱ区SP208	SP231	SP247	SP361	Ⅰ区SP503	SP501	Ⅱ区SP625	SP608	SP605	SP705
SP120	SP231	SP235	SP362	Ⅰ区SP501	SP502	Ⅱ区SP619	SP609	SP606	SP706
Ⅱ区SP206	SP232	SX201	SX301	Ⅱ区SP513	SP503	Ⅱ区SK601	SP610	SP607	SP707
Ⅱ区SK201	SP233	Ⅱ区SK401	SK401	Ⅱ区SP506	SP505	Ⅱ区SK622	SP611	SP608	SP708
Ⅱ区SP205	SP234	SK312	SK402	Ⅱ区SP507	SP506	Ⅱ区SP623	SP612	SP609	SP709
SP102	SP235	SK311	SK403	Ⅱ区SP508	SP507	Ⅱ区SP620	SP613	SP610	SP710
SP108	SP236	SK310	SK404	Ⅱ区番号なし	SP508	Ⅱ区SP614	SP614	SP611	SP711
SX101	SX201	SK313	SK405	Ⅱ区SP509	SP509	Ⅱ区SP627	SP615	SP612	SP712
SX102	SX202	SK306	SK406	Ⅱ区SP503	SP510	Ⅱ区SP606	SP616	SP613	SP713
SX103	SX203	SK308	SK407	Ⅱ区SP514	SP511	Ⅱ区SP607	SP617	SP614	SP714
SX104	SX204	SX301	SK408	Ⅱ区SP515	SP512	Ⅱ区SP608	SP618	SP615	SP715
Ⅰ区SE301	SE301	SX302	SK409	Ⅱ区SP501	SP513	Ⅱ区SP610	SP619	SP616	SP716
SE201	SE302	SP308	SK410	SP459	SP514	Ⅱ区番号なし	SP620	SP618	SP718
SK209	SK301	SK314	SK411	SP457	SP515	Ⅱ区SP613	SP622	SP619	SP719
SK205	SK302	SK309	SK412	SP460	SP516	Ⅱ区SP624	SP624	SP620	SP720
SK208	SK303	番号なし	SK413	SP425	SP517	Ⅱ区SP611	SP625	SP621	SP721
SK207	SK304	SK304	SK414	SP454	SP518	SP522	SP627	SP622	SP722
SK214	SK305	SK303	SK415	SP464	SP519	SP520	SP628	SP624	SP724
SK213	SK306	SK302	SK416	SP461	SP520	SP521	SP629	SP625	SP725
SK214	SK307	SK307	SK417	SP463	SP521	SP512	SP630	Ⅰ区SP717	SP728
SK213	SK308	SK305	SK418	SP455	SP522	SP517	SP631	Ⅰ区SP720	SP729
SK204	SK309	Ⅰ区SP402	SP401	SP456	SP523	SP518	SP632	Ⅰ区SP709	SP730
SK203	SK310	Ⅰ区SP403	SP402	SP466	SP524	SP514	SP634	Ⅰ区SP704	SP731
SP210	SK311	Ⅰ区SP4011	SP403	SP452	SP525	SP515	SP635	Ⅱ区SP731	SP732
SK201	SK312	Ⅰ区SP4014	SP404	SP451	SP526	SP510	SP636	Ⅱ区SP726	SP733
SK202	SK314	Ⅱ区SP402-2	SP405	SP468	SP527	SP503	SP637	SD601	SP734
SK212	SK315	Ⅱ区SP405	SP406	SP449	SP528	SP508	SP638	SD602	SP735
SK206	SK316	Ⅱ区SP404	SP407	SP448	SP529	SP505	SP639	SP629	SP736
Ⅰ区SP301	SP301	Ⅱ区SP403	SP408	SP446	SP530	SP511	SP640	SP626	SP745
Ⅰ区SP302	SP302	Ⅱ区番号なし	SP409	SP447	SP531	SP502	SP641	Ⅰ区SP719	SP746
Ⅰ区SP303	SP303	Ⅱ区SP410	SP410	SP469	SP532	SP501	SP642	SX601	SX701
Ⅰ区SP304	SP304	Ⅱ区SP408	SP411	SP450	SP533	SP504	SP643	SH603最内	SX701
Ⅰ区SP305	SP305	Ⅱ区番号なし	SP412	SP470	SP534	SP513	SP644	SK615	SX702
Ⅰ区SP306	SP306	SP324	SP413	SP465	SP535	SP511	SP671	SX603-2	SX703-2
Ⅰ区SP307	SP307	SP325	SP414	SP435	SP536	SH603	SD701	SH608	SX704
Ⅰ区SP308	SP308	SP326	SP415	SP434	SP537	SH603外濠	SD701	SH606	SX705

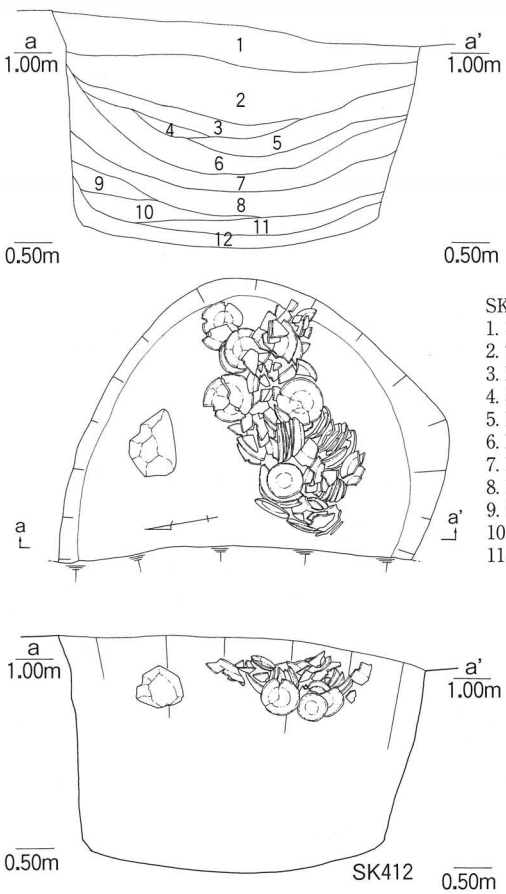
※「調査時」の項で区の記載がないものはすべてⅢ・Ⅳ区検出遺構



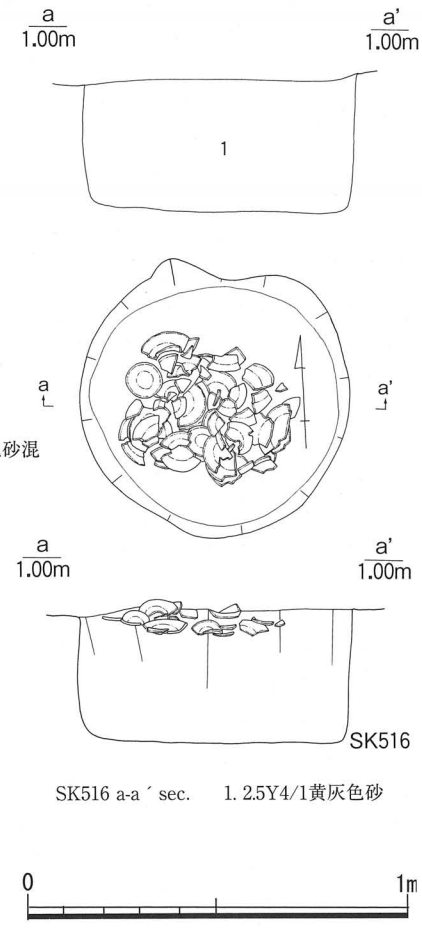
SK301・SP319a-a´sec.　1. 5Y3/2オリーブ黒色砂
2. 2.5Y3/2黒褐色細砂



SP418a-a´sec.
1. 5Y4/1灰色砂に焼土粒混
2. 2.5Y4/1黄灰色砂



SK412 a-a´sec.
1. 10Y6/1灰色シルト質砂
2. 7.5Y5/1灰色シルト質砂
3. N4灰色シルト質砂
4. 5Y4/4暗オリーブ色砂
5. N4灰色粘土
6. N5灰色砂に5Y7/2灰白色砂混
7. N4灰色粘土
8. N4灰色砂質粘土
9. 5Y5/1灰色砂
10. N4灰色粘質砂
11. 5Y6/1灰色粘質砂



SK516 a-a´sec.　1. 2.5Y4/1黄灰色砂

図22　かわらけ埋納遺構　土器出土状況図1

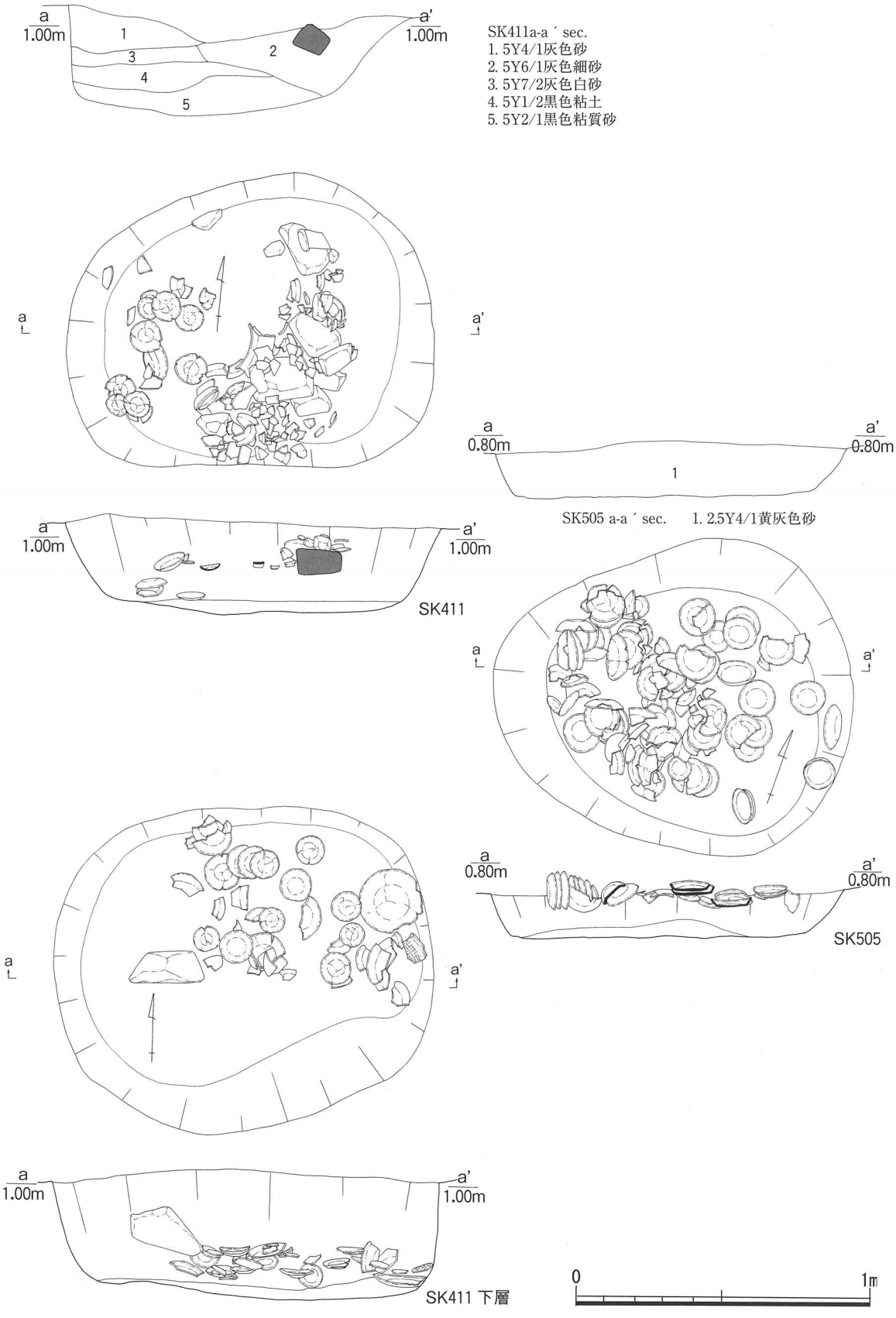
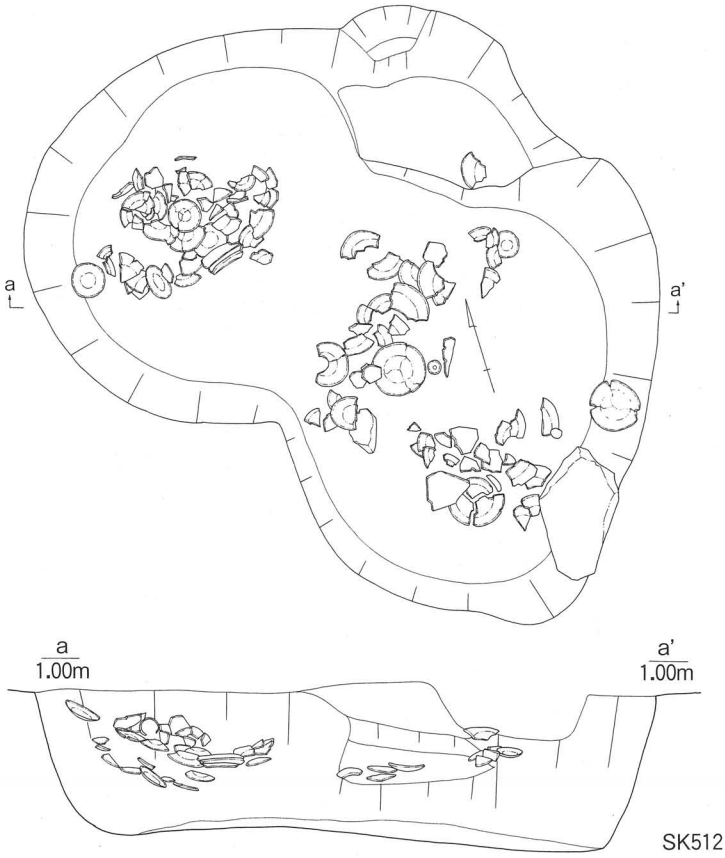
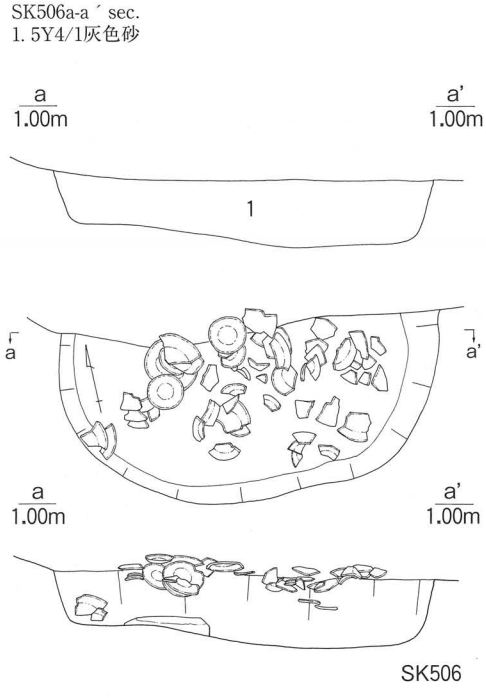


図23　かわらけ埋納遺構　土器出土状況図2





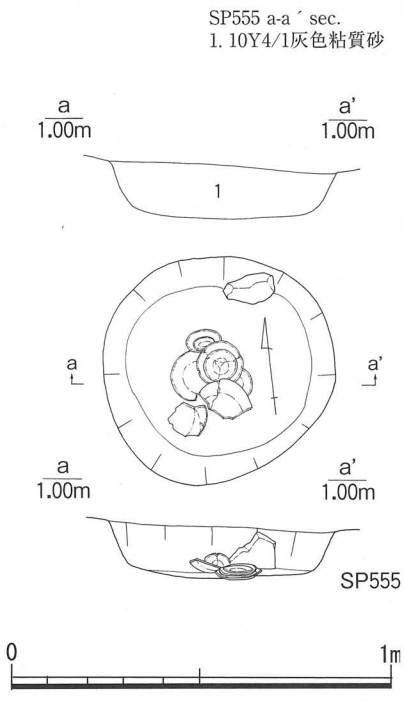
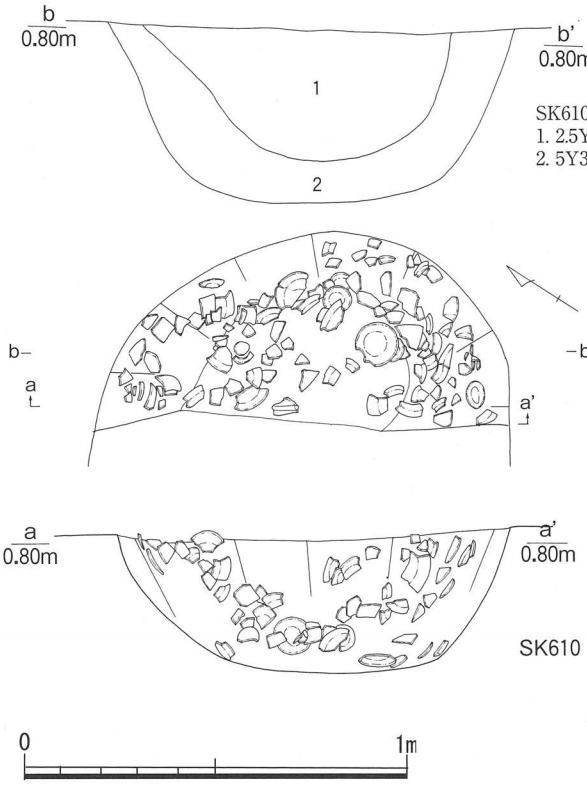
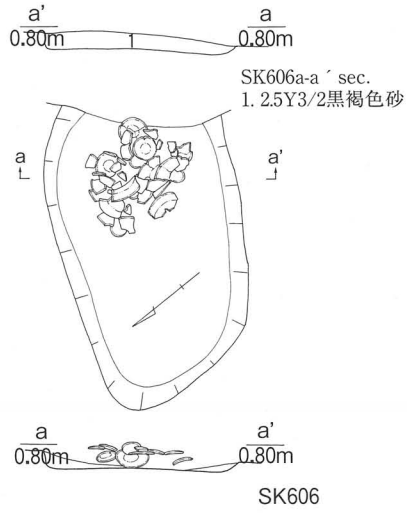


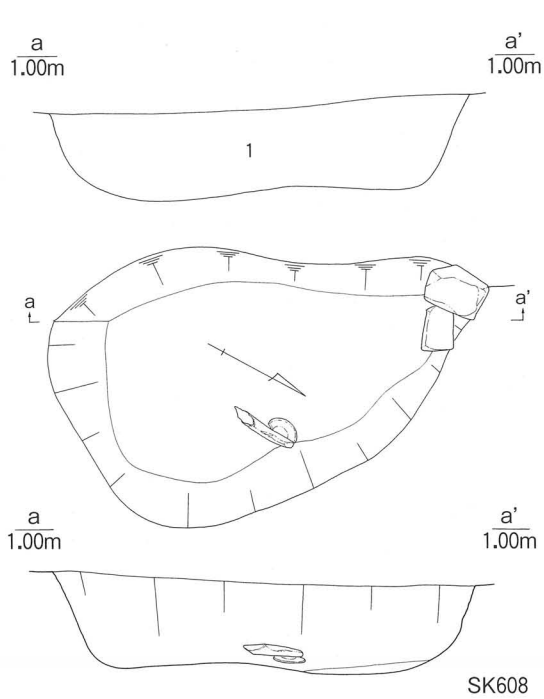
図24　かわらけ埋納遺構　土器出土状況図3



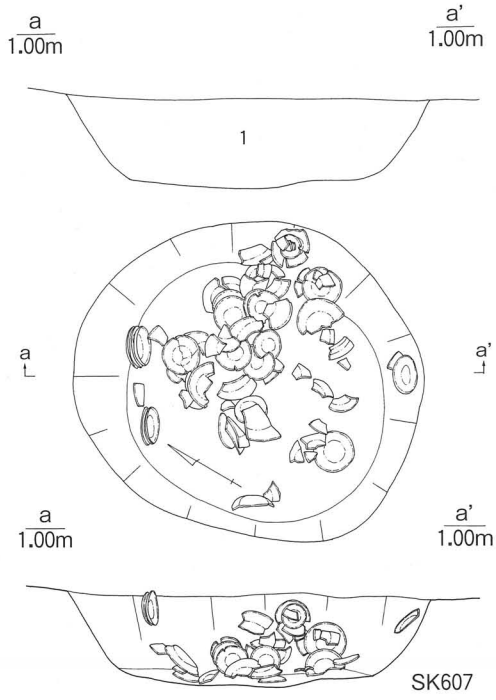
SK610a-a´sec.
1. 2.5Y3/2黒褐色砂
2. 5Y3/1オリーブ黒色砂



SK606a-a´sec.
1. 2.5Y3/2黒褐色砂



SK608a-a´sec.
1. 5Y4/1灰色砂



SK607a-a´sec.
1. 2.5Y5/1黄灰色砂に5Y6/3オリーブ黄色砂帯状混

図25　かわらけ埋納遺構　土器出土状況図4

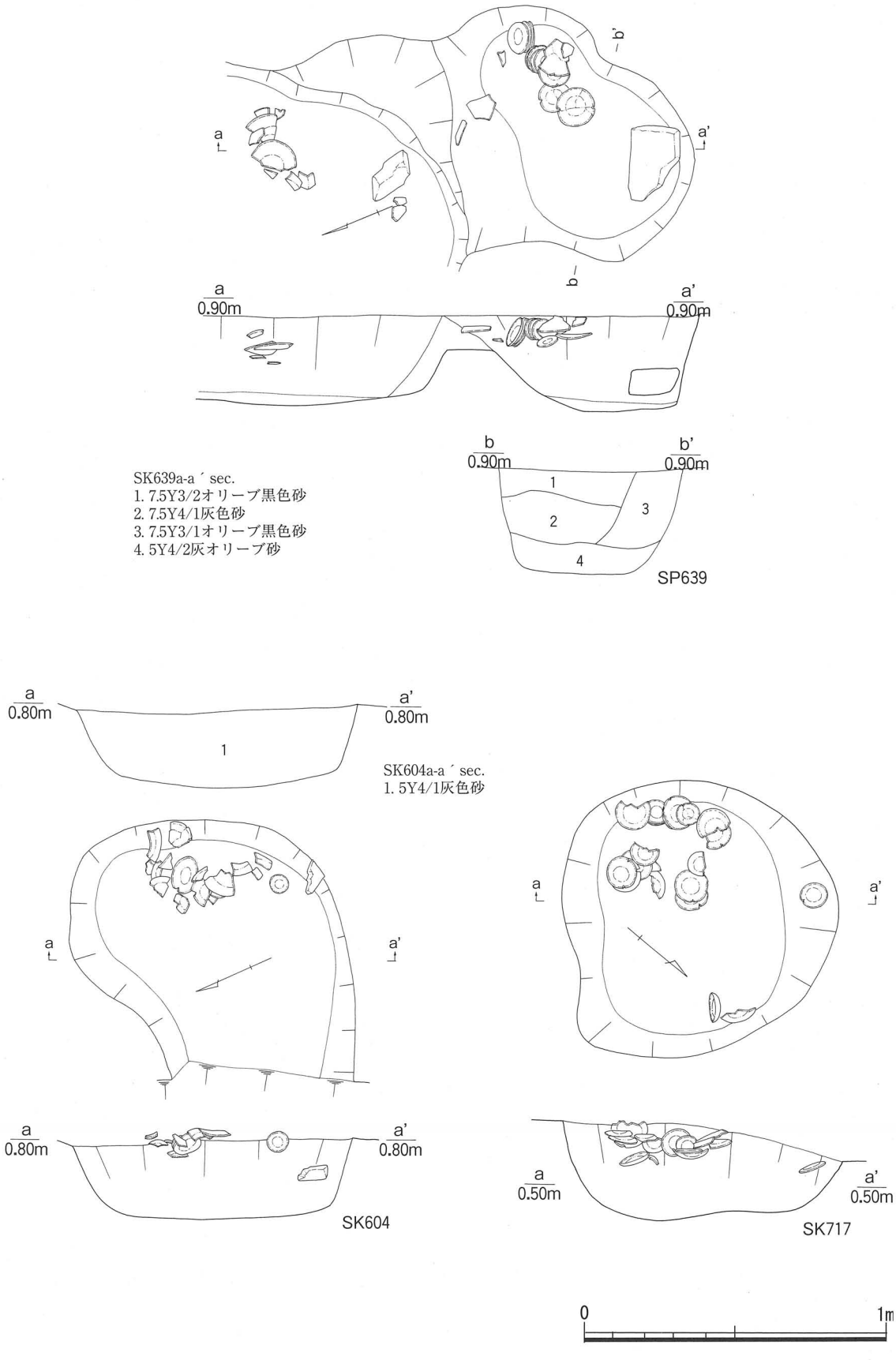


図26　かわらけ埋納遺構　土器出土状況図5

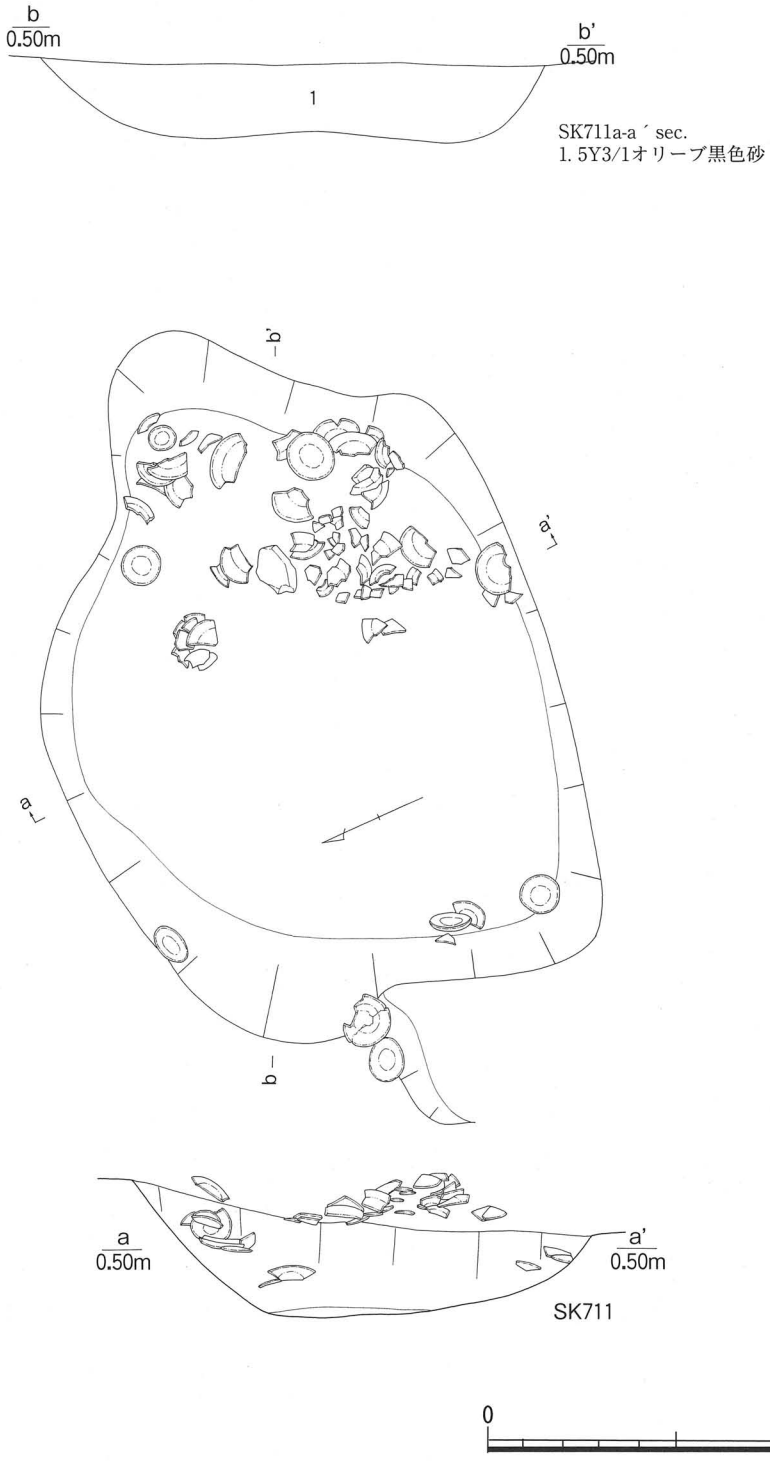


図27　かわらけ埋納遺構　土器出土状況図6

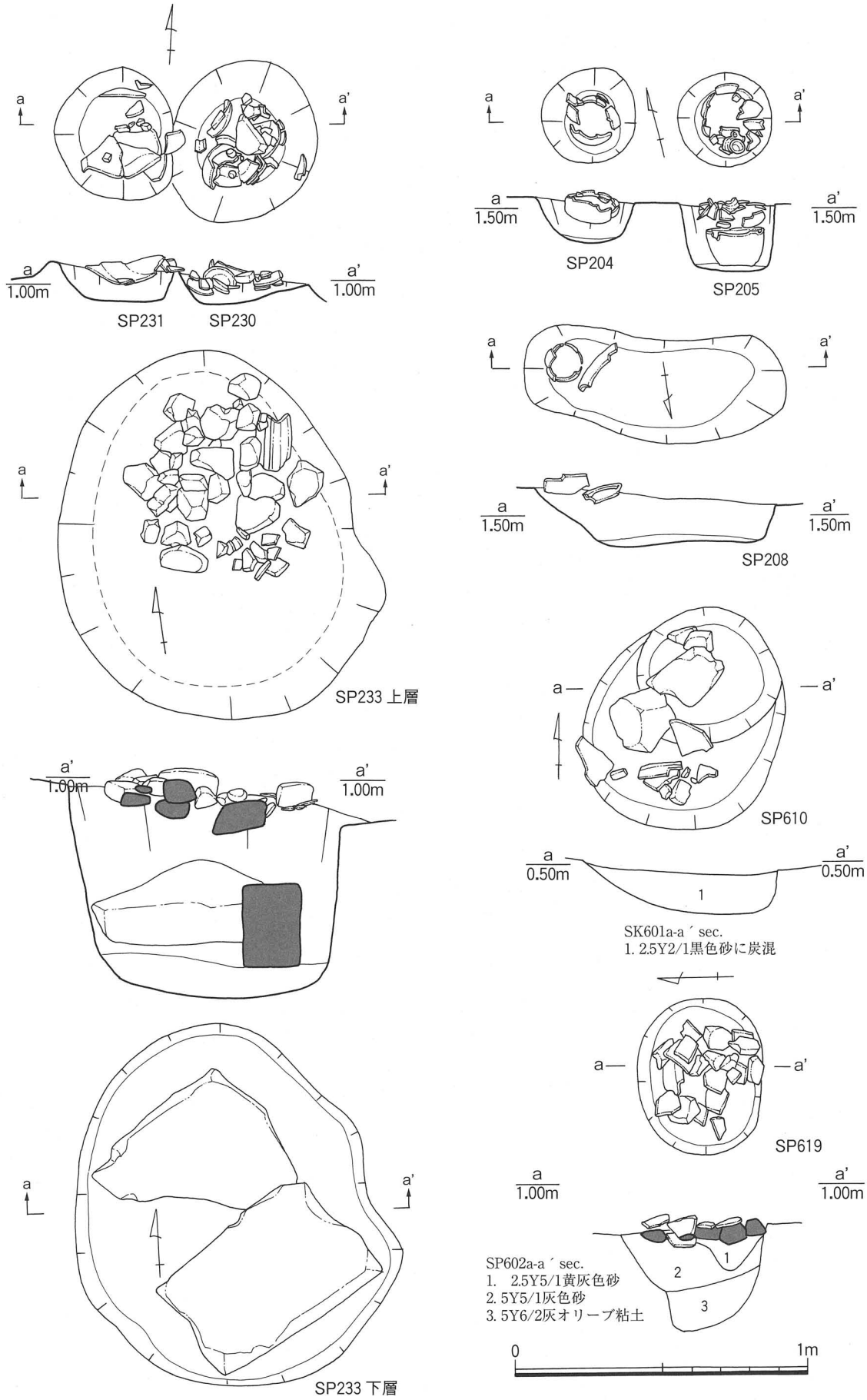


図28　その他土坑　平面・立面・断面図

第４章　遺物

１．はじめに

本調査で遺構面した７面の遺構面は、幕末期～明治時代と考えられる第１遺構面を除き、第２面の近世と第３面から第７面までの中世とに大別できる。ただし、第３および第４遺構面上でも、近世遺構を数箇所検出している。これは本来上位の第２遺構面で検出すべきものを、整地層という視覚的煩雑さのせいで見落とした結果である。遺物調査の結果上位の遺構と判明したものも、本書では事実に即して実際の検出面で報告している。

したがって、第３および第４遺構面では、面の時期と一部遺構の時期が合致せず錯綜している。

のみならず、表２に記したように、さらに著しい錯綜現象が中世遺構面同士で起こっている。一概に中世といっても、今回検出した遺構の時期は、16世紀から13世紀にまで及ぶ長いものだが、遺物を精査してみると、検出した面と各遺構の示す時期の間には一貫性が感じられないことがままあった。その原因は①スポット的に整地を繰り返す兵庫津遺跡特有の堆積過程に対し、全体を横に剥ぐ、画一的で面的な調査を実施した技術的問題②まだらな階調を示す整地層上で、遺構検出が難航したという調査担当者の能力的問題の二点に尽きる。

地層が複雑な堆積状況を示す都市遺跡にあっては、より厳密には、整地層同士の上下関係が見極められるまで細かいグリッド掘りを繰り返す、あるいは町屋一戸単位で把握して、それに対応した地区割り設定をするなどが正攻法であろうが、行政発掘調査における予算的・時間的制約という現実の前に、文化財保護担当者として忸怩たる思いを味わった。兵庫津遺跡における今後の課題として、敢えて誤謬の謗りを恐れず、ここに記す。

以上の反省を踏まえた上で、できるだけ精緻な遺物観察を心がけて各遺構の年代判定を行い、その遺構の本来あるべき層位がどこだったのかを見極めてやることが、この複雑に絡みあった糸を解きほぐす唯一の手段である。しかしその試みが今回成功したかと問われれば肯うに難い部分も多い。これについては、ひとえに調査者の能力不足ゆえである。

以下、検出面毎に図化できた遺物と、その示す年代を詳述する。

２．土器・陶磁器の産地および機能的分類

今回出土した土器を中心とする28リットル容量コンテナ約百箱分の遺物は、産地・機能（器種）ともに多様である。かつ、個々の器種が型式差を内包している。

これら多様な産地の土器たちは、すでに先学によって優れた編年の網の中に置かれている。本報告書ではまず産地別に、次に器種毎に分類を行い、それぞれの土器が示す年代を既存の編年案に沿って判定した。各土器の示す年代観が整合性を持って交差した場合、それが遺構の年代を示すと判断した。既存案が存在しないものに関しては、別章において、可能な範囲で考察を試みた。

出土土器陶磁器類の産地は、以下が主なものである。

①在地産土師質土器
②東播系須恵器
③産地不明　瓦質土器
④肥前系青・白磁染付
⑤唐津焼
⑥備前焼
⑦丹波焼
⑧常滑焼
⑨瀬戸・美濃および古瀬戸
⑩堺・明石産土器
⑪萩焼
⑫その他産地不明陶磁器

これらをさらに用途別に器分類すると以下に分けられる。

中世

Ａ煮炊具　土師質土器　煮炊具
　　瓦質土器　煮炊具
Ｂ供膳具　土師質土器　小皿
　　土師質土器　中皿
　　土師質土器　大皿
　　瓦器　碗
　　古瀬戸　皿
　　古瀬戸　天目茶碗
Ｃ調理具　土師質土器　擂鉢
　　東播系須恵器　鉢
　　備前焼　擂鉢
　　瓦質　擂鉢
　　古瀬戸　卸皿
Ｄ貯蔵具　備前焼　甕
　　備前焼　壷
　　常滑焼　甕
　　東播系須恵器　甕
Ｅ調度具　瓦質　奈良火鉢および風炉
Ｆ灯火具　土師質土器　小皿

近世

上記のいくつかは姿を消し、代わって肥前系陶磁器が供膳具の主流を占める。近世になって新たに登場した主なものだけを記す。

A煮炊具

産地不明　施釉土瓶

B供膳具

土師質土器　焼塩壷

丹波焼　盤

肥前系青・白磁（染付）碗・皿・小皿・鉢

三島手　碗

唐津　京焼き風　碗

萩焼　碗

唐津　徳利

産地不明　焼締陶器　徳利

C調理具

丹波焼　擂鉢

堺・明石系　擂鉢

D貯蔵具

丹波焼　甕・壷

E調度具

産地不明　青磁香炉

瀬戸・美濃焼　香炉

三島手　植木鉢

産地不明　無釉焼締陶器　植木鉢

F灯火具

土師質土器　火鉢・焜炉

瓦質土器　焜炉・風炉

産地不明　施陶器　油徳利

土師質施釉土器　脚付受付皿

G仏具等

土師質土器　胞衣壷

肥前系白磁染付　仏飯具

ここに記したものは今回の調査で確認できたほんの一例であり、本来はもっと多様性に富んでいたはずである。この近世遺物の多様性は、手工業の発展、ひいては貨幣経済の深化の反映に他ならないが、そのすべてを把握する事は限られた調査範囲では不可能である。

３．土器・陶磁器の型式分類

横糸としての産地・器種分類に対し、縦糸としての型式分類が、それぞれの器種に存在する。これらは在地系土師質皿、東播系須恵器を除き、先学によりすでに編年体系が確立されている。以下に、本書で依拠した型式分類・編年案を記す。

A. 土師質煮炊具　岡田章一・長谷川眞案および難波洋三案
B. 備前焼　乗岡　実案
C. 丹波焼　長谷川眞案
D. 常滑焼　中野晴久案
D. 堺・明石産擂鉢　前川要案
E. 瀬戸・美濃および古瀬戸　楢崎彰一案
F. 瓦質奈良火鉢　立石堅志案

肥前系陶磁器に関しては、九州陶磁文化館の資料を参考にした。瓦質擂鉢については、堺環濠都市遺跡出土遺物を参考にした。土師質皿類、東播系須恵器は、別章で詳述する。

４．遺構ごとの共伴関係

これらの出土遺物は、図29～148に示した共伴関係をもって出土している。産地・器種は横の糸、型式差は縦の糸であり、共伴関係という廃棄の一括性をもってそれぞれある一定時期の同時性を織り成す。個々の遺構の時期はこの廃棄の一括性の中で判定されねばならないが、遺物にはそれぞれの寿命、つまり遺物の持つ持続性といったものがある。短いサイクルで入れ替わる消耗品と、長く存続する伝世品と言い換えてもよい。その結果、一括性の中で、しばしば互いの年代観が合致しない現象が起きる。この現象は遺構の存続時期を示す場合もあり、混入品の場合もあり、また長い伝世ののちにその役目を終え、自分より何世代も新しい土器類とともに葬られた場合もあろう。それらは遺構の属性で慎重により分けられていくべきである。

たとえば、ゴミ穴が200年も同じ場所に開口していたとは考えがたく、比較的短期間で廃絶するはずである。一方、建物はものよっては長く存続する。祭祀土坑などは、祭祀行為の瞬間にのみ開口していたものであろう。そういう篩で濾過した上で、遺構の年代は決定されねばならない。表３も、各遺構の出土遺物の共伴関係を示す。図とともに参照されたい。紙数の関係で、特筆すべき場合以外個々の詳述を避ける。遺物の計測値も、表３を参照のこと。

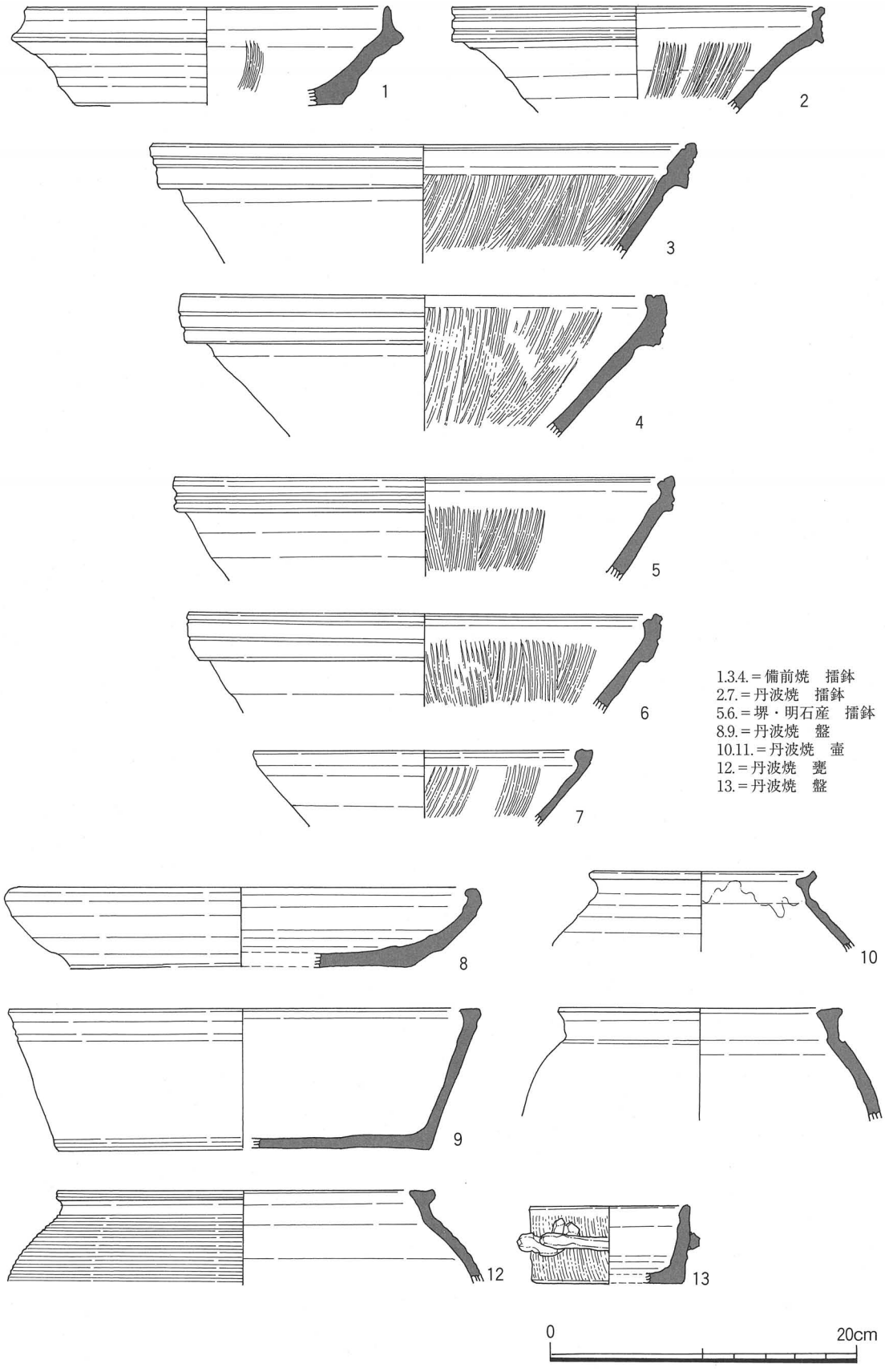
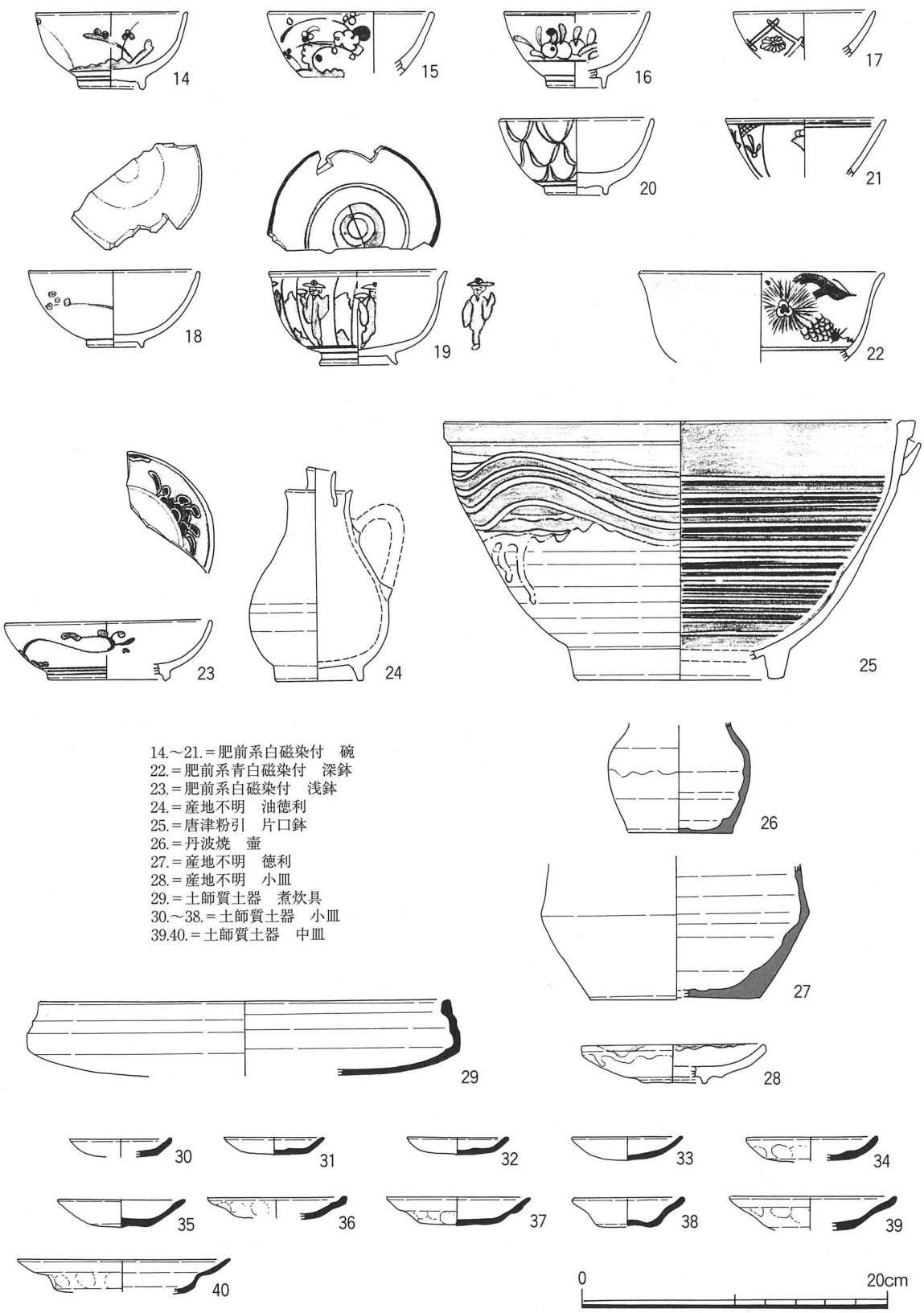
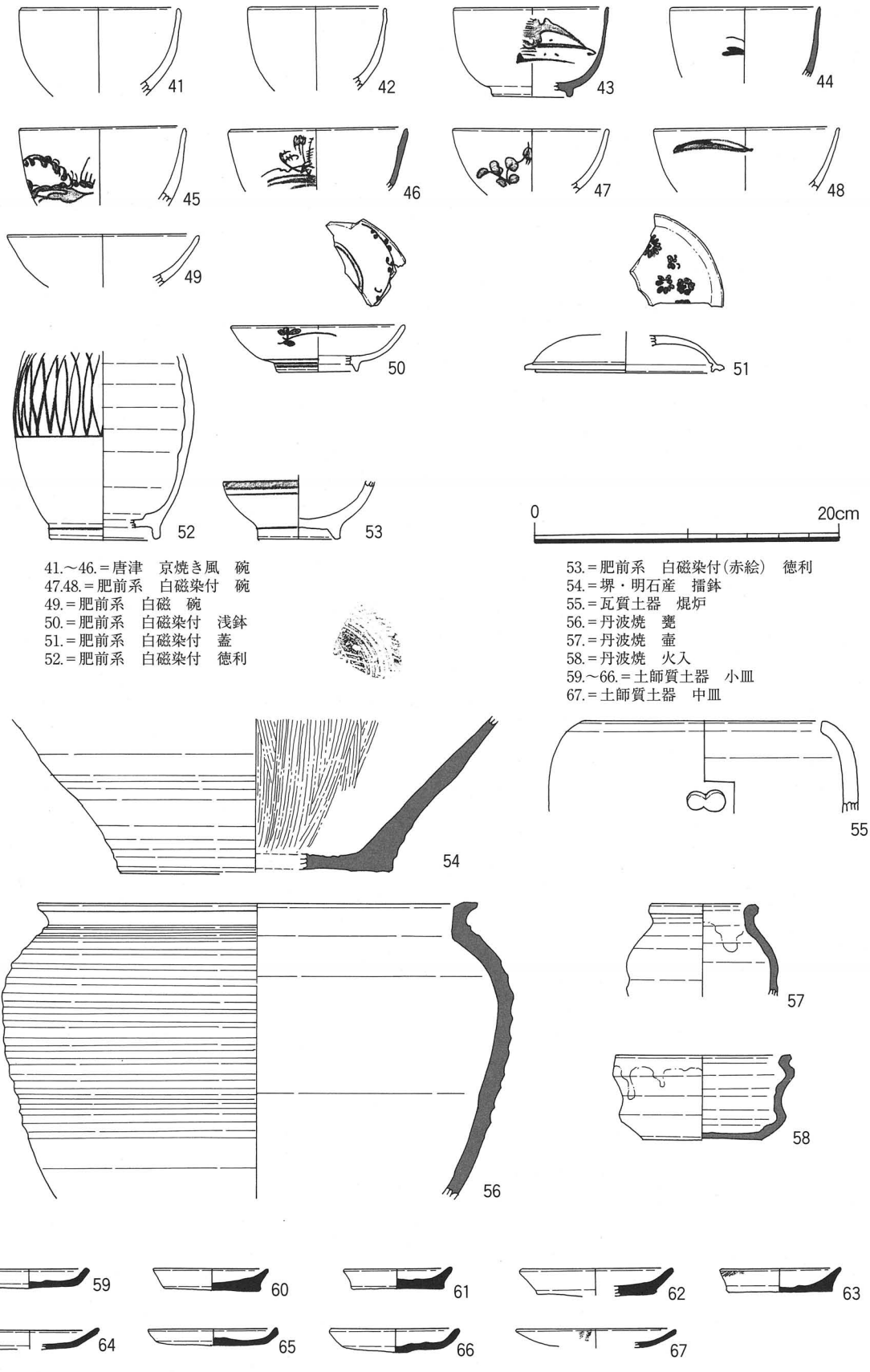


図29　SX201出土土器　実測図1



14.～21.＝肥前系白磁染付　碗
22.＝肥前系青白磁染付　深鉢
23.＝肥前系白磁染付　浅鉢
24.＝産地不明　油徳利
25.＝唐津粉引　片口鉢
26.＝丹波焼　壷
27.＝産地不明　徳利
28.＝産地不明　小皿
29.＝土師質土器　煮炊具
30.～38.＝土師質土器　小皿
39.40.＝土師質土器　中皿

図30　SX201出土土器　実測図2



41.～46.＝唐津　京焼き風　碗
47.48.＝肥前系　白磁染付　碗
49.＝肥前系　白磁　碗
50.＝肥前系　白磁染付　浅鉢
51.＝肥前系　白磁染付　蓋
52.＝肥前系　白磁染付　徳利
53.＝肥前系　白磁染付(赤絵)　徳利
54.＝堺・明石産　擂鉢
55.＝瓦質土器　焜炉
56.＝丹波焼　甕
57.＝丹波焼　壷
58.＝丹波焼　火入
59.～66.＝土師質土器　小皿
67.＝土師質土器　中皿

図31　SX204出土土器　実測図1

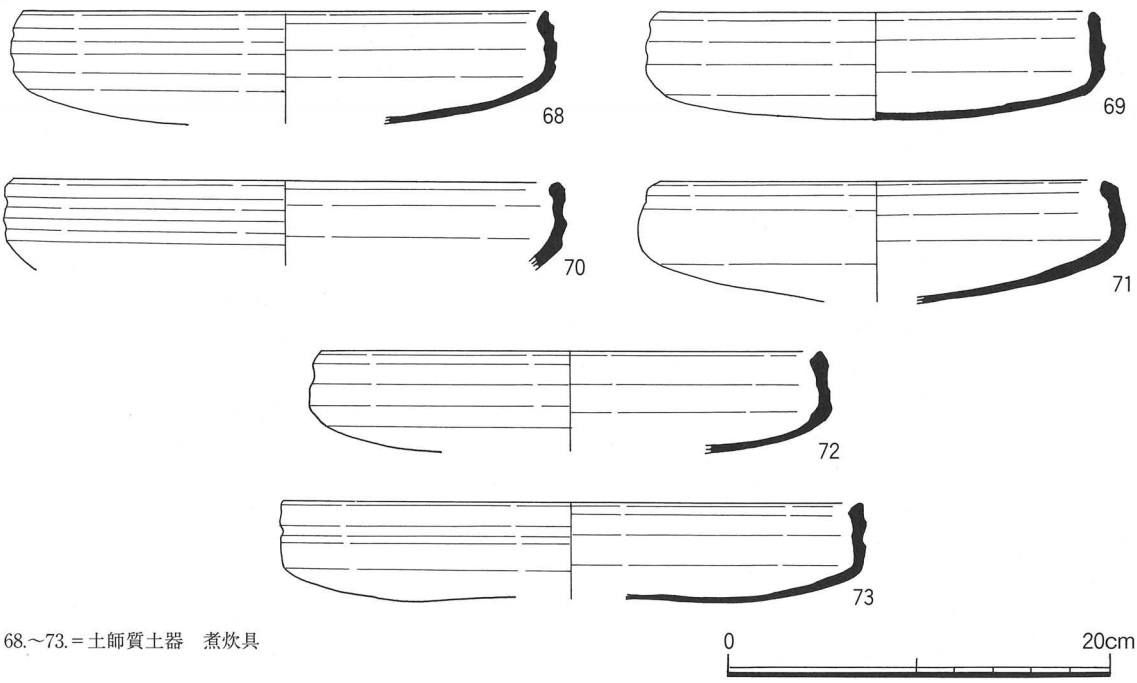


図32　SX204出土土器　実測図2

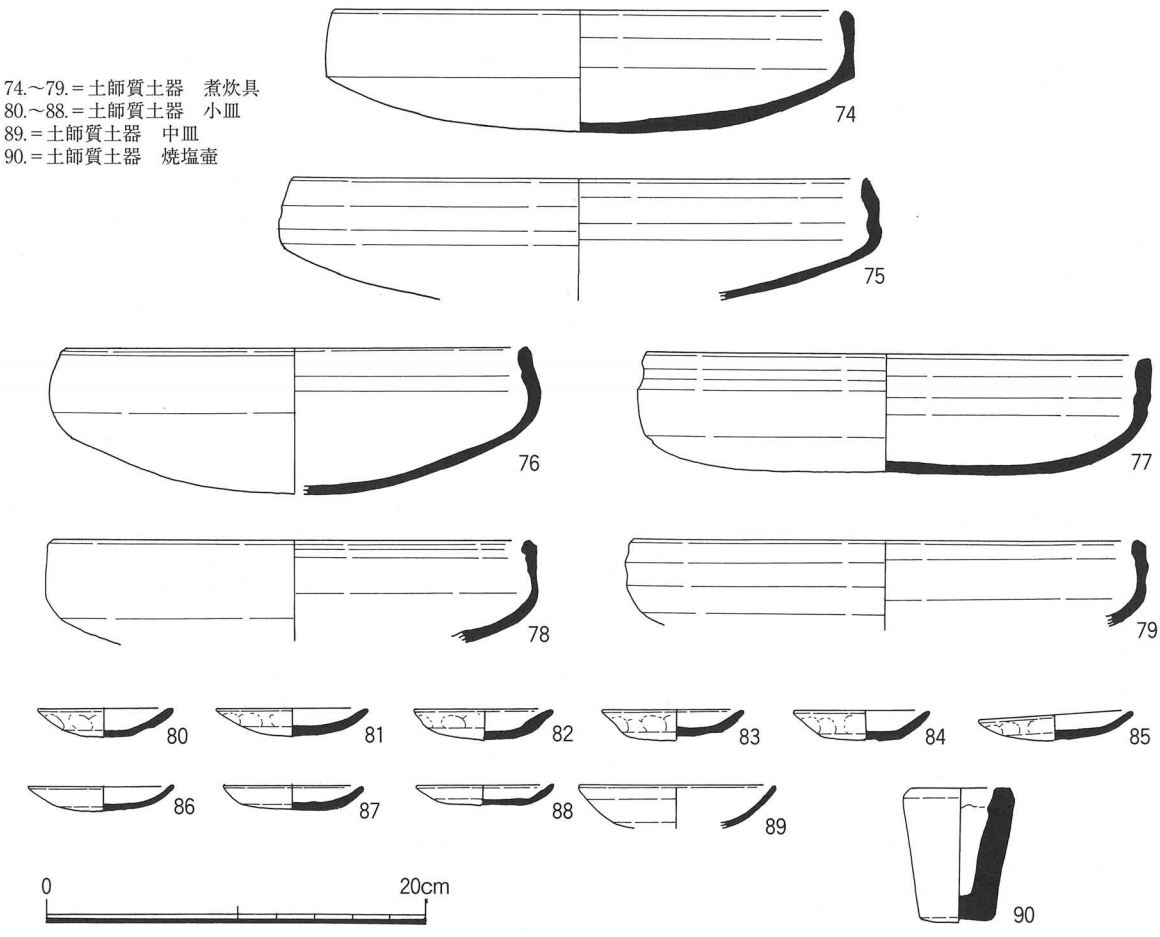
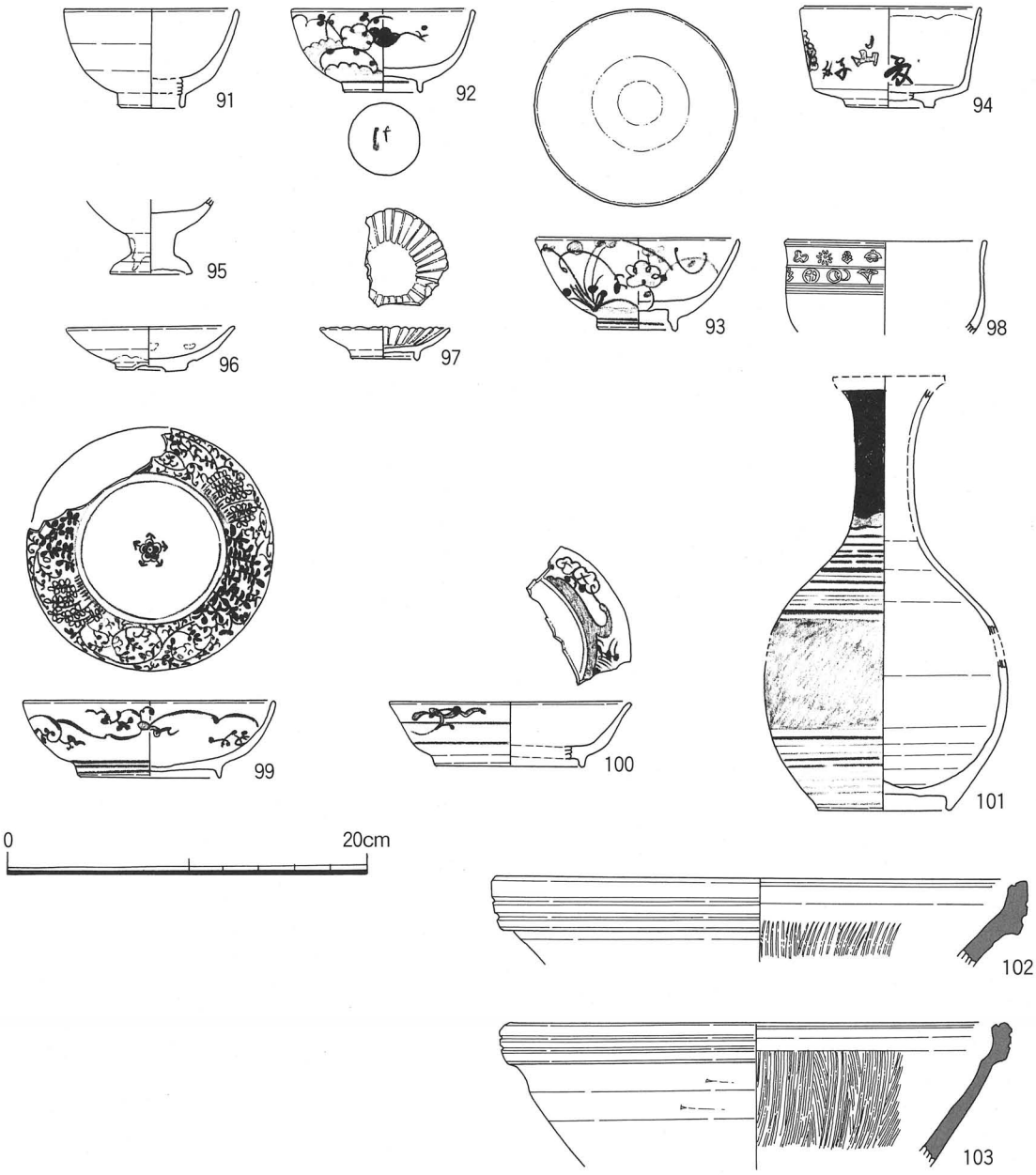


図33　SX203出土土器　実測図1



91.＝肥前系　白磁　碗
92.93.＝肥前系　白磁染付　碗
94.＝肥前系　白磁染付　筒碗
95＝肥前系　白磁　台付鉢
96.＝肥前系　白磁　小皿
97.＝肥前系　白磁　小皿(型押し菊花文)
98.＝唐津　三島手　碗
99.100.＝肥前系　白磁染付　碗
101.＝唐津　粉引　徳利
102.103.＝堺・明石産　擂鉢

図34　SX203出土土器　実測図2

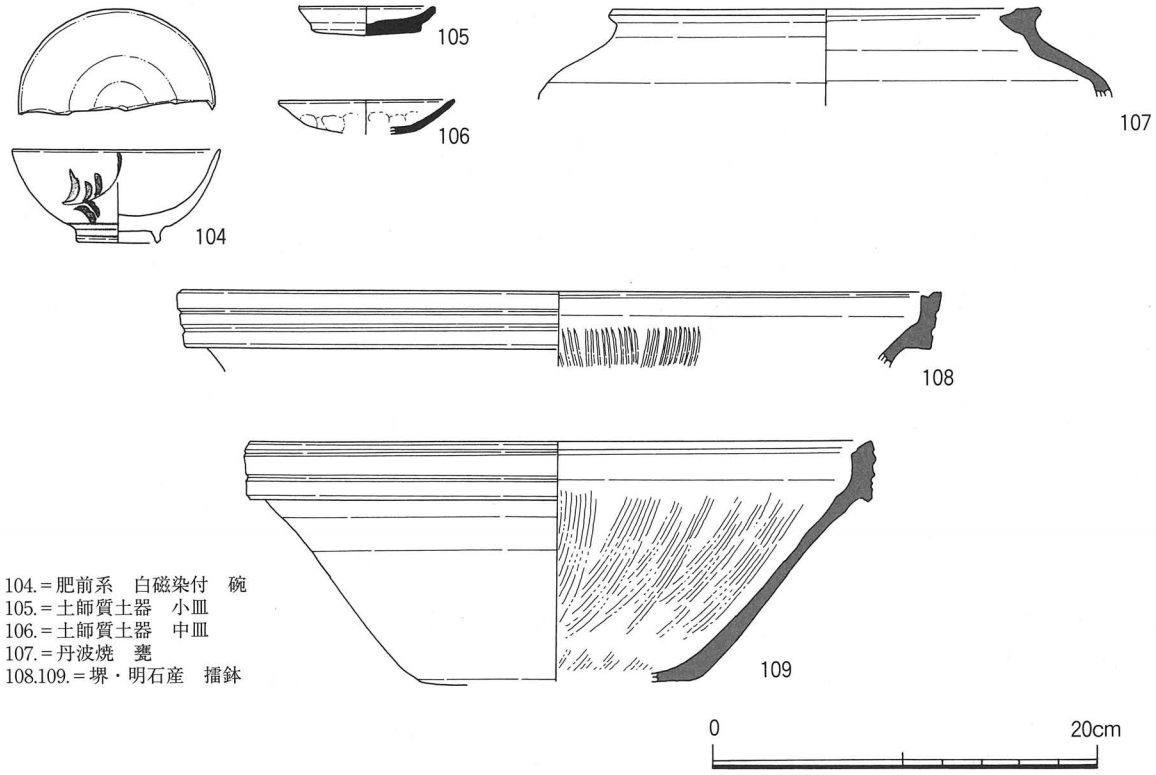


図35　SK211出土土器　実測図

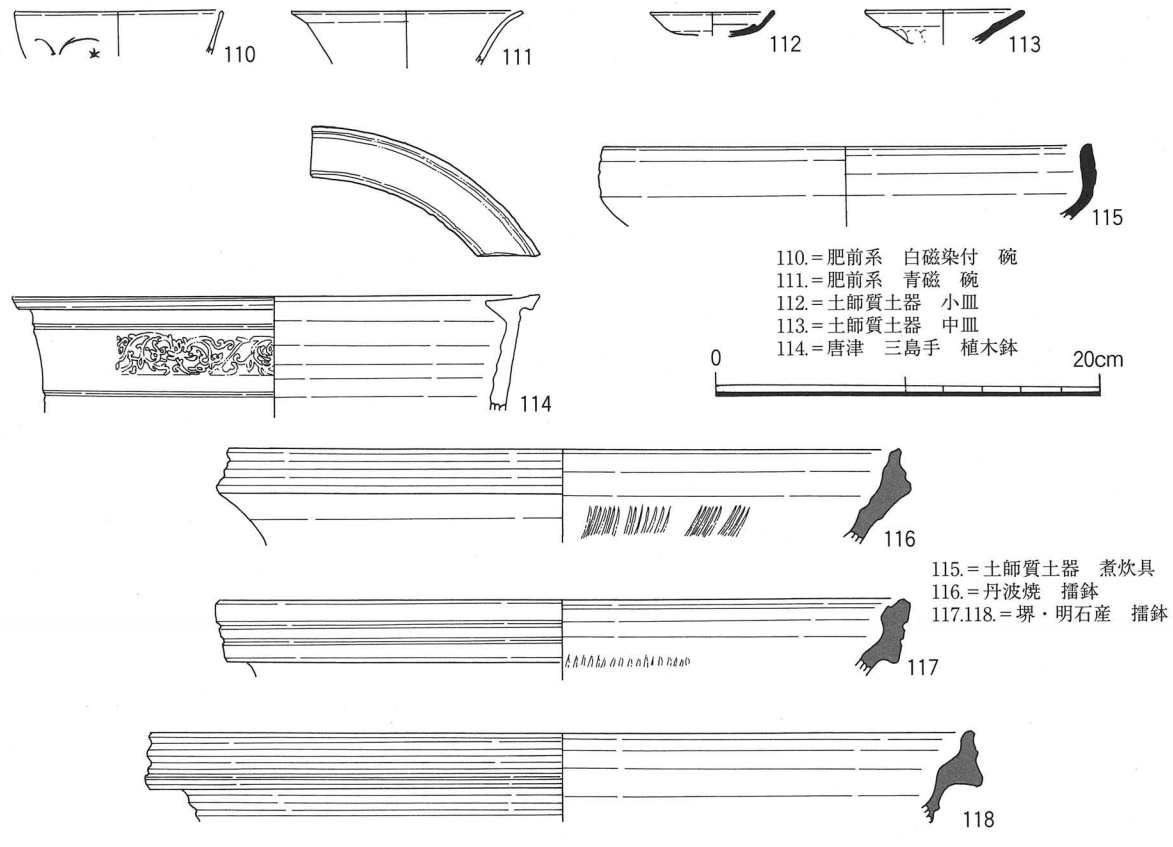
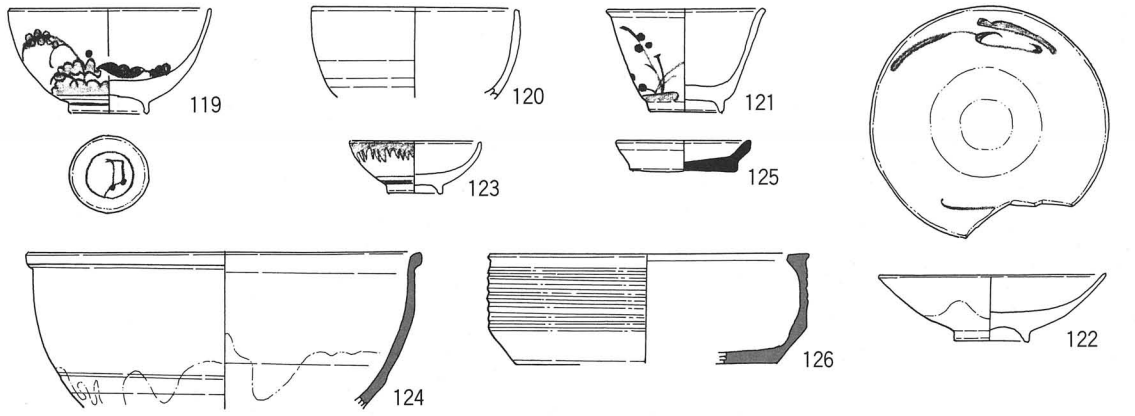
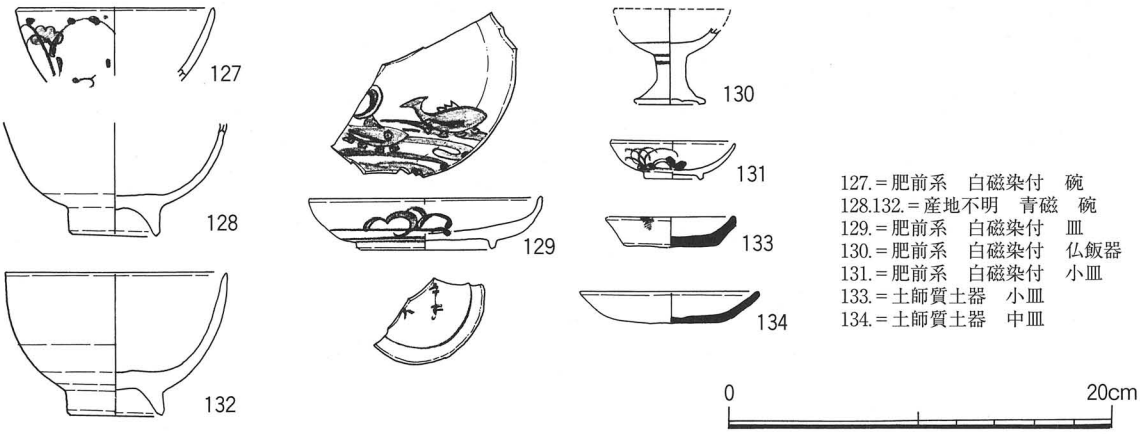


図36　SK216出土土器　実測図



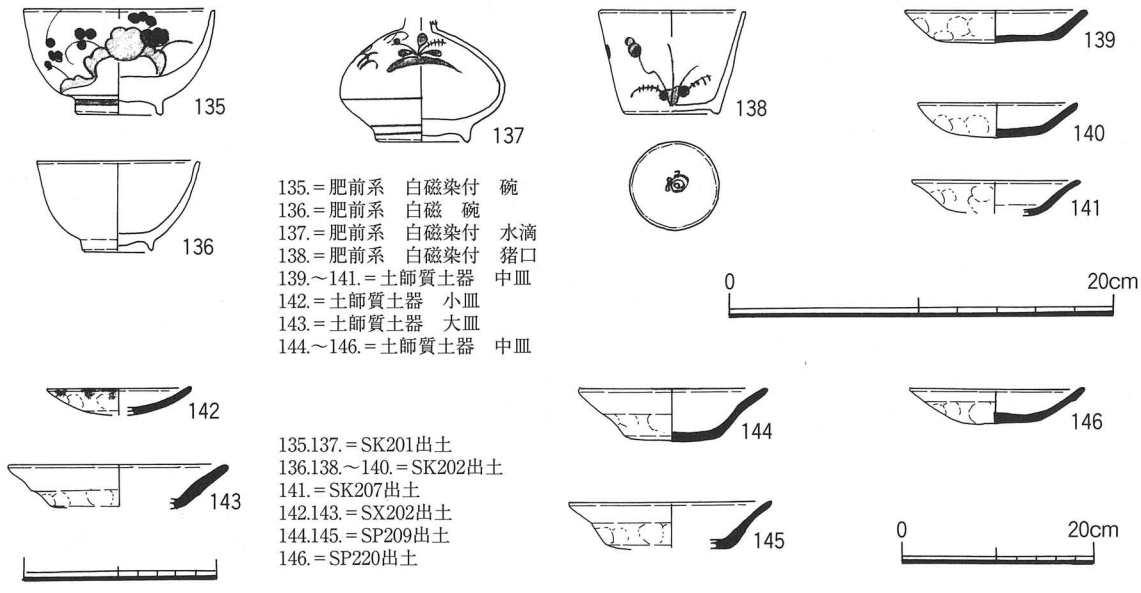
119.＝肥前系　白磁染付　碗　120.＝産地不明　施釉陶器　碗
121.＝肥前系　白磁染付　猪口　122.＝肥前系　白磁染付　鉢
123.＝肥前系　白磁染付　小鉢　124.＝産地不明　灰釉陶器　鍋
125.＝土師質土器　小皿　126.＝丹波焼　盤

図37　SK204出土土器　実測図



127.＝肥前系　白磁染付　碗
128.132.＝産地不明　青磁　碗
129.＝肥前系　白磁染付　皿
130.＝肥前系　白磁染付　仏飯器
131.＝肥前系　白磁染付　小皿
133.＝土師質土器　小皿
134.＝土師質土器　中皿

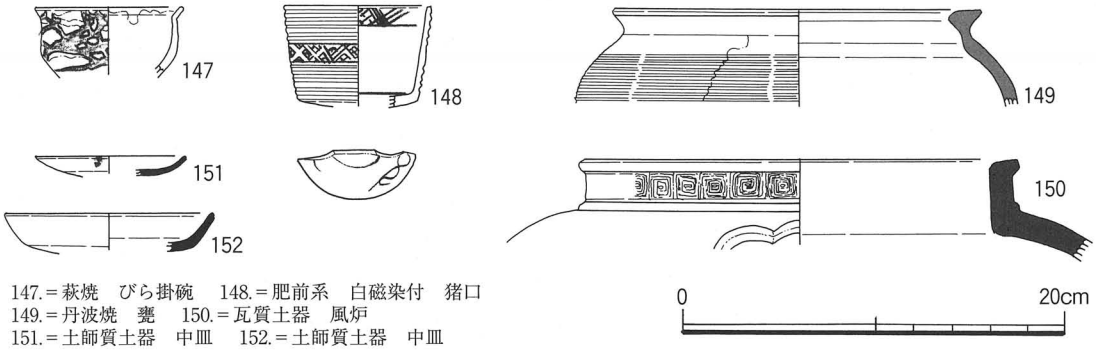
図38　SK206出土土器　実測図



135.＝肥前系　白磁染付　碗
136.＝肥前系　白磁　碗
137.＝肥前系　白磁染付　水滴
138.＝肥前系　白磁染付　猪口
139.～141.＝土師質土器　中皿
142.＝土師質土器　小皿
143.＝土師質土器　大皿
144.～146.＝土師質土器　中皿

135.137.＝SK201出土
136.138.～140.＝SK202出土
141.＝SK207出土
142.143.＝SX202出土
144.145.＝SP209出土
146.＝SP220出土

図39　その他の遺構出土土器　実測図



147.＝萩焼　びら掛碗　148.＝肥前系　白磁染付　猪口
149.＝丹波焼　甕　150.＝瓦質土器　風炉
151.＝土師質土器　中皿　152.＝土師質土器　中皿

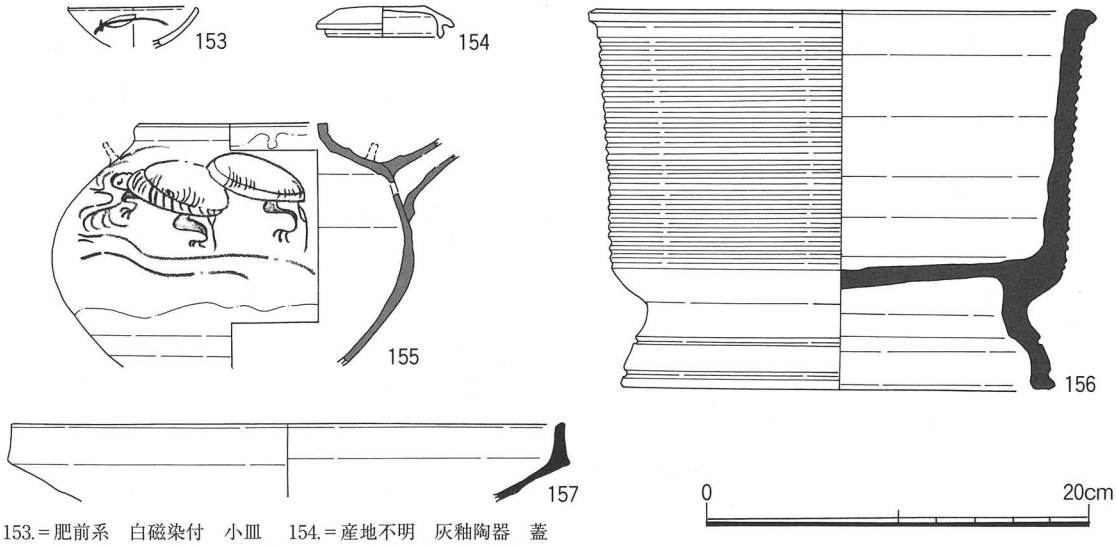
図40　SK212出土土器　実測図

５．第２遺構面出土の遺物　図29～図45

第２遺構面で検出した遺構は、すべて18世紀ないし19世紀の近世の範疇に収まるものである。したがって、第２遺構面は近世と判断して差し支えない。18世紀と19世紀とが同一面で切り合っていると理解する。

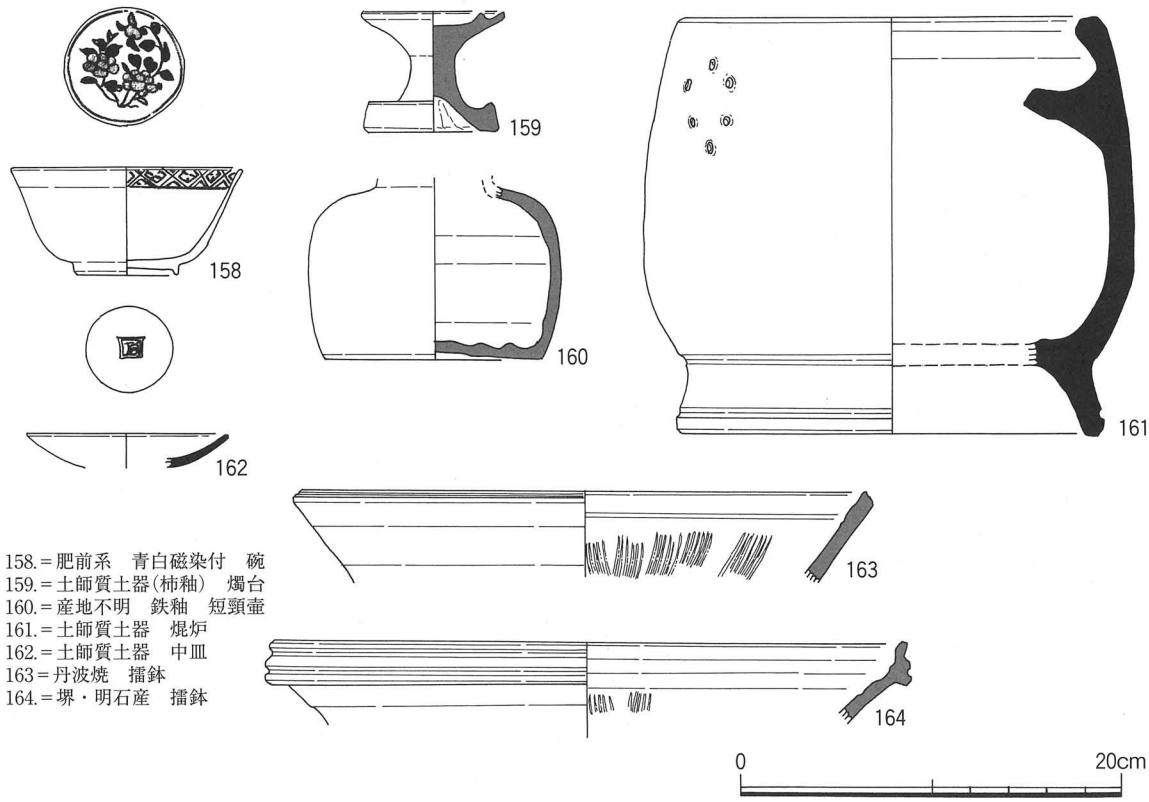
SP205出土165および168は合わせ口状に出土した胞衣壷と土瓶である。土瓶が蓋、壷が身である。SX201から出土した土師質土器小皿および中皿のうちへそ皿など古層のものは、混入品である。同じくSK212の瓦質風炉150も混入品である。この土器自体は15世紀初頭を示すが、他の出土遺物から判断して、SK212は近世のものである。

土師質土器煮炊具が出土している場合は、それを年代決定の指標とした。それ以外に、擂鉢も積極的な物差しとして採用した。そのどちらも欠いている場合は、個々の土器の編年体系に照らしたが、伝世力の強い器しかない場合などは、寄って立つ根拠としては、土師質土器などより多少弱いと言わざるを得ない。



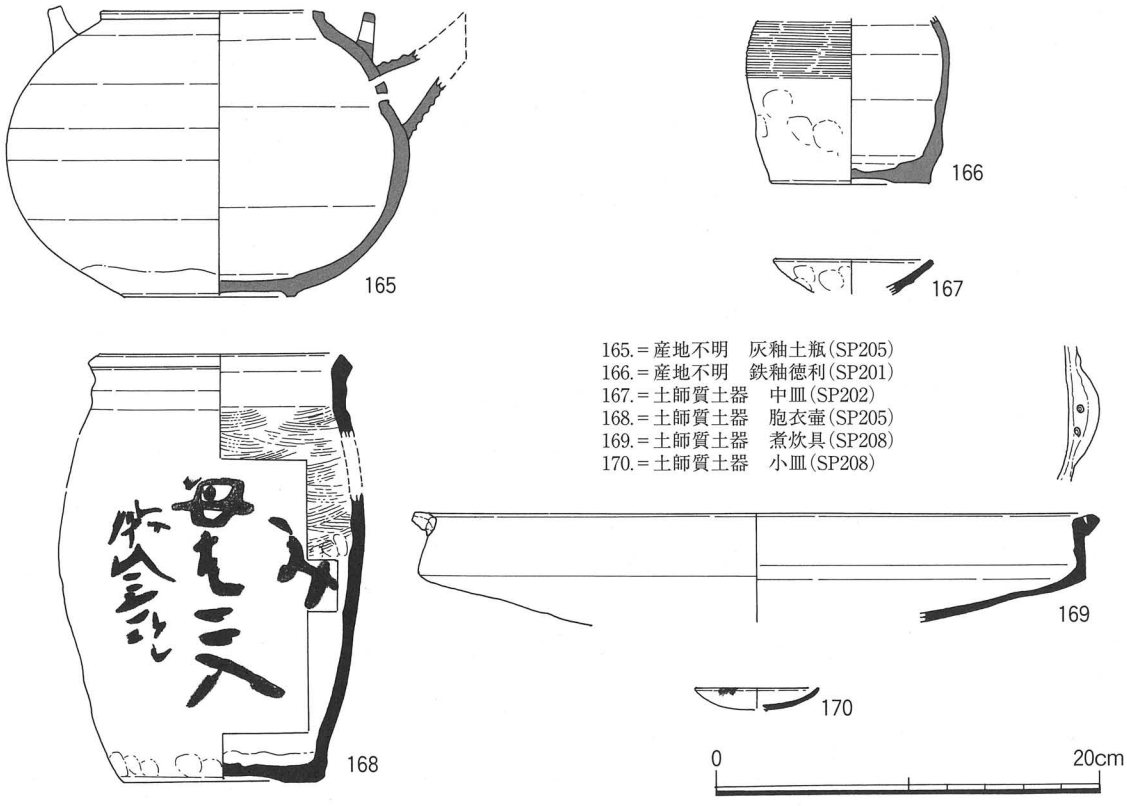
153.＝肥前系　白磁染付　小皿　154.＝産地不明　灰釉陶器　蓋
155.＝産地不明　灰釉陶器　土瓶　156.＝硬質瓦質土器　焜炉
157.＝土師質土器　煮炊具

図41　SD201出土土器　実測図



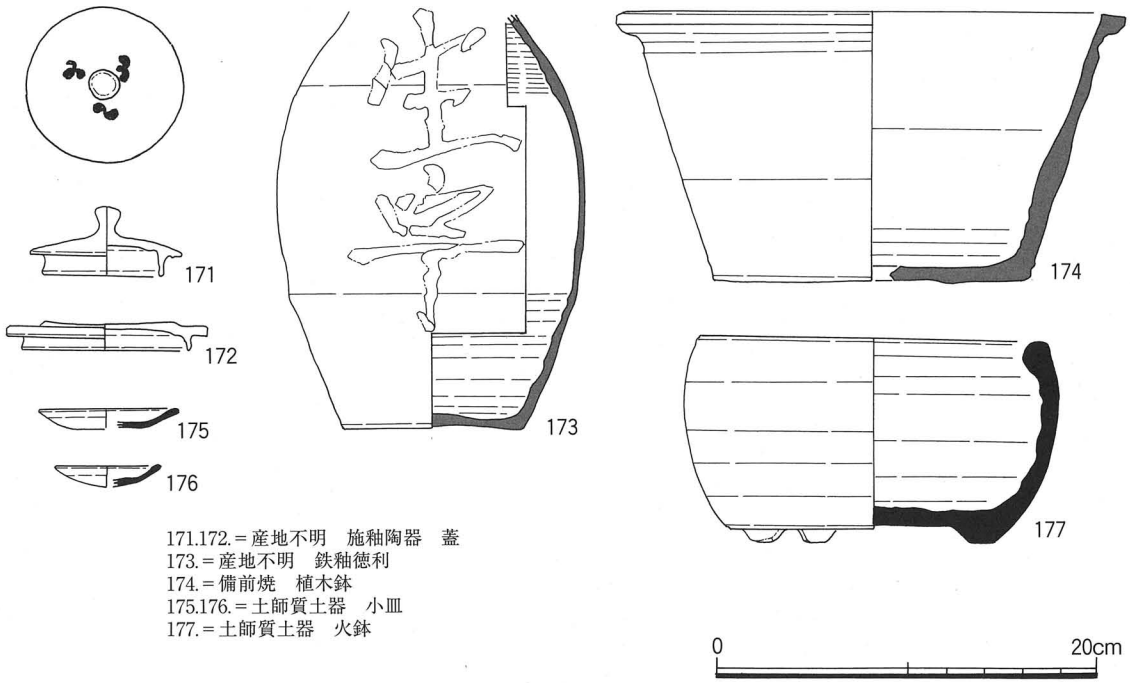
158.＝肥前系　青白磁染付　碗
159.＝土師質土器(柿釉)　燭台
160.＝産地不明　鉄釉　短頸壷
161.＝土師質土器　焜炉
162.＝土師質土器　中皿
163＝丹波焼　擂鉢
164.＝堺・明石産　擂鉢

図42　SP234出土土器　実測図



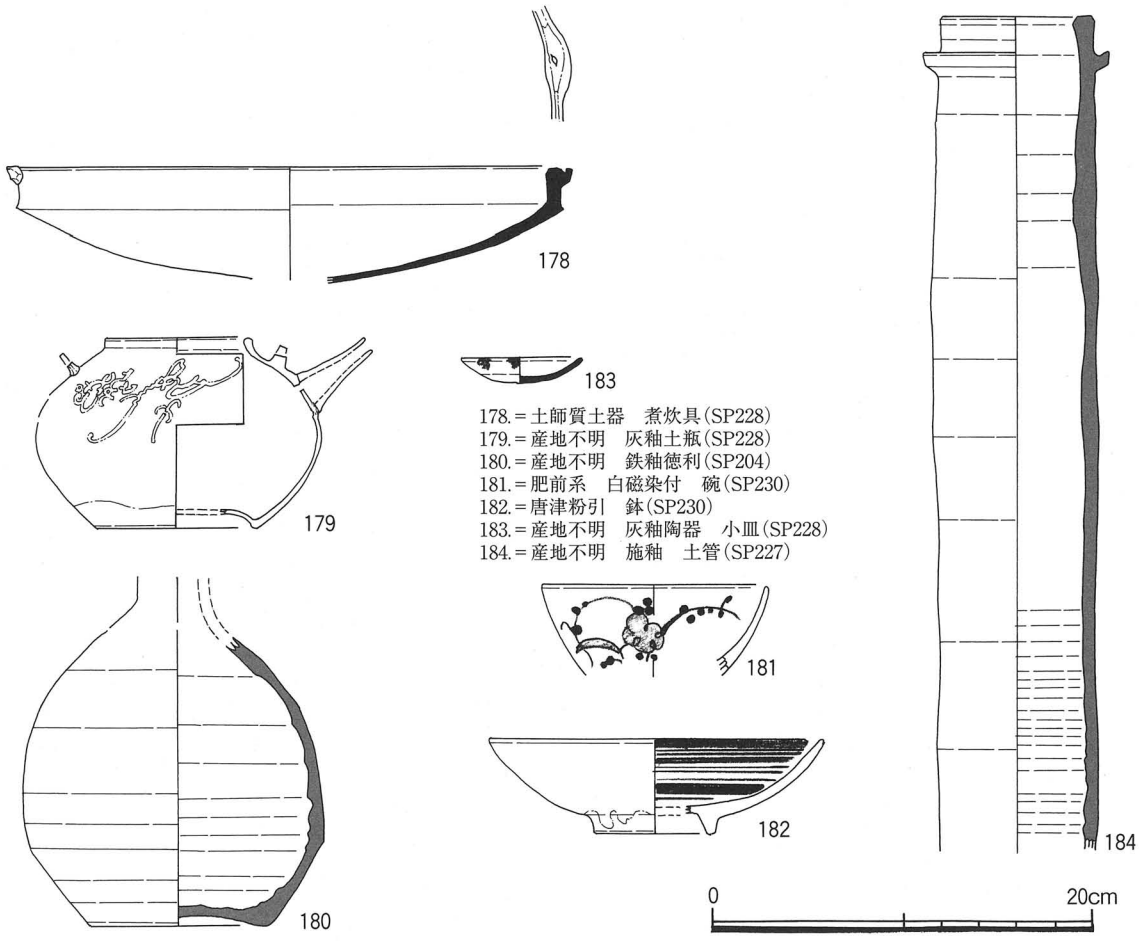
165.＝産地不明　灰釉土瓶(SP205)
166.＝産地不明　鉄釉徳利(SP201)
167.＝土師質土器　中皿(SP202)
168.＝土師質土器　胞衣壷(SP205)
169.＝土師質土器　煮炊具(SP208)
170.＝土師質土器　小皿(SP208)

図43　その他の遺構出土土器　実測図



171.172.＝産地不明　施釉陶器　蓋
173.＝産地不明　鉄釉徳利
174.＝備前焼　植木鉢
175.176.＝土師質土器　小皿
177.＝土師質土器　火鉢

図44　SP203出土土器　実測図



178.＝土師質土器　煮炊具(SP228)
179.＝産地不明　灰釉土瓶(SP228)
180.＝産地不明　鉄釉徳利(SP204)
181.＝肥前系　白磁染付　碗(SP230)
182.＝唐津粉引　鉢(SP230)
183.＝産地不明　灰釉陶器　小皿(SP228)
184.＝産地不明　施釉　土管(SP227)

図45　その他の遺構出土土器　実測図

6．第３遺構面出土の遺物　図50～図65

a．遺構面の時期

第３遺構面で検出した遺構のうち、SP341は18世紀代の遺物を出土する土坑である。SX301およびSP341は出土遺物からみて、本来第２遺構面の遺構であった。SP341からは一部古層を示す土師質土器中皿も出土しているが、混入品と判断する。

それ以外で、この遺構面では16世紀後半の遺構が１箇所、前半の遺構が９箇所、15世紀後半と前半の遺構が各１箇所、15世紀代が２箇所、14世紀半ばが１箇所、14世紀代が１箇所、14世紀か15世紀か判定し難いものが２箇所あった。このことから、第３遺構面本来の時期は16世紀を中心としたものと思われる。

b．各遺構の時期

各遺構の時期については、表２を参照されたい。以下に判断の根拠のみを示す。

SK301は土師質煮炊具羽釜が出土しており、これを指標とした。

SK307、SK314、SK315、SE302掘り方のそれぞれは、土師質煮炊具を指標として判定した。SK303、SP320は、備前焼擂鉢から年代を判定した。SK302、SP324は土師質土器皿類と東播系須恵器鉢とのセット関係などから類推した。

SK309は備前焼の壷からその年代を15世紀と判断したが、遺物の総量が少なく、壷が伝世品の可能性も払拭しきれず、厳密さに欠ける。

SE301の掘り方からは、乗岡編年で中世５期と中世６期aの時期の備前焼擂鉢がそれぞれ出土しており、この新相の方を判定の指標とした。

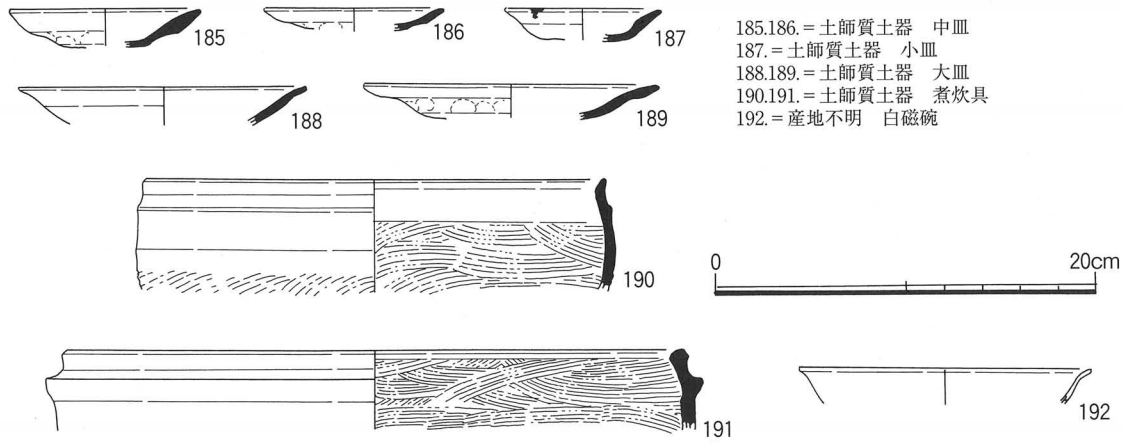
SE302埋土内からは、土師質煮炊具のほかに、備前焼擂鉢が多く出土している。土師質煮炊具の年代を岡田・長谷川編年の鍋形タイプ鉄かぶと形Ⅲ類、15世紀後半を示したが、備前焼擂鉢がそれより新しい中世６期aであったため。こちらを採用した。その掘り方からは土師質煮炊具羽釜形タイプ播磨型Ⅱ類が出土しており、伴う土師質土器皿類もやや古相であることから、埋土出土遺物より50年未満の時期差を想定した。この幅が井戸の存続時期と考えられる。

SP344とSP348からは、土師質土器中皿・小皿を大量に出土しており、かわらけ埋納遺構の可能性が高い。後述する土師質土器皿類の型式から、それぞれ表２にある年代をあてた。

SP359からは口縁端部が外反し、ヘラ描擂目を有する丹波焼擂鉢が出土しており、長谷川編年ＩＢ２類に該当することから、これを根拠とした。

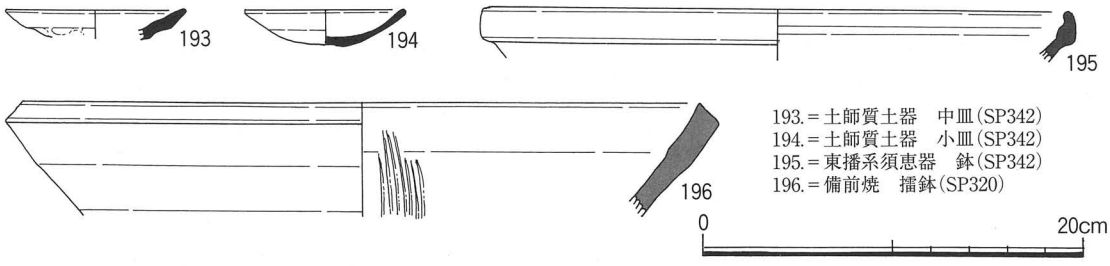
SX301は、産地不明の薄手鉄釉擂鉢が出土しているが、これのみでは判定できなかった。擂鉢から見て近世遺構の可能性が高い。

第３遺構面は、16世紀を中心とした遺構面と考えているが、一部古相を示す理由が不明確である。特に14世紀まで遡る場合、遺物混入など偶発性も排除しきれない。



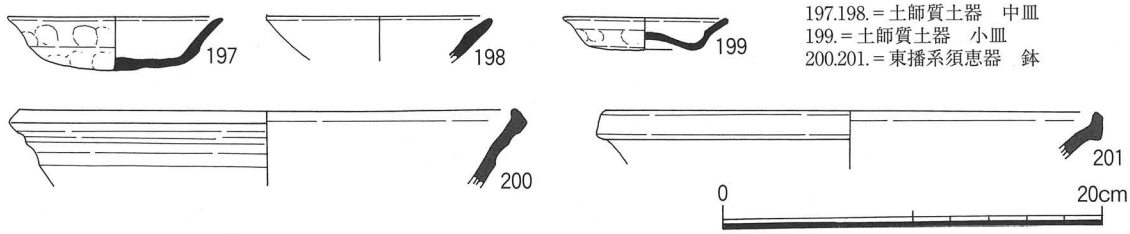
185.186.＝土師質土器　中皿
187.＝土師質土器　小皿
188.189.＝土師質土器　大皿
190.191.＝土師質土器　煮炊具
192.＝産地不明　白磁碗

図46　SK314出土土器　実測図



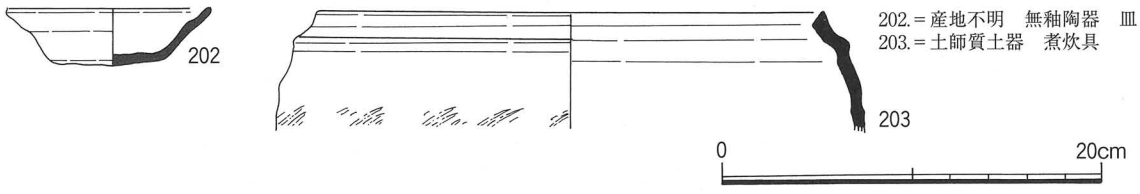
193.＝土師質土器　中皿(SP342)
194.＝土師質土器　小皿(SP342)
195.＝東播系須恵器　鉢(SP342)
196.＝備前焼　擂鉢(SP320)

図47　SP320出土土器　実測図



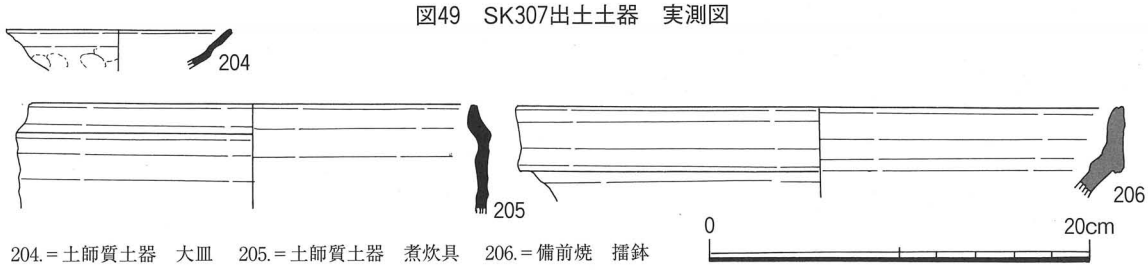
197.198.＝土師質土器　中皿
199.＝土師質土器　小皿
200.201.＝東播系須恵器　鉢

図48　SK306出土土器　実測図



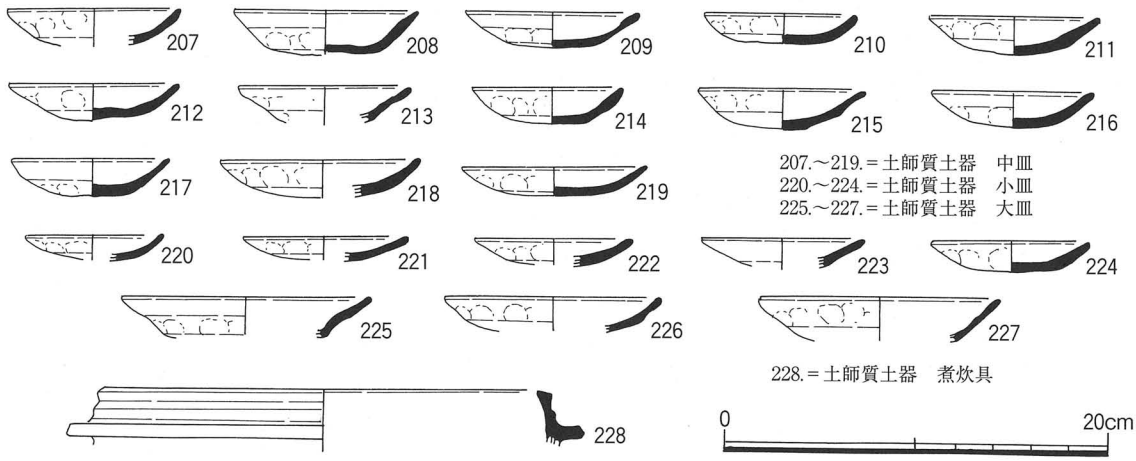
202.＝産地不明　無釉陶器　皿
203.＝土師質土器　煮炊具

図49　SK307出土土器　実測図



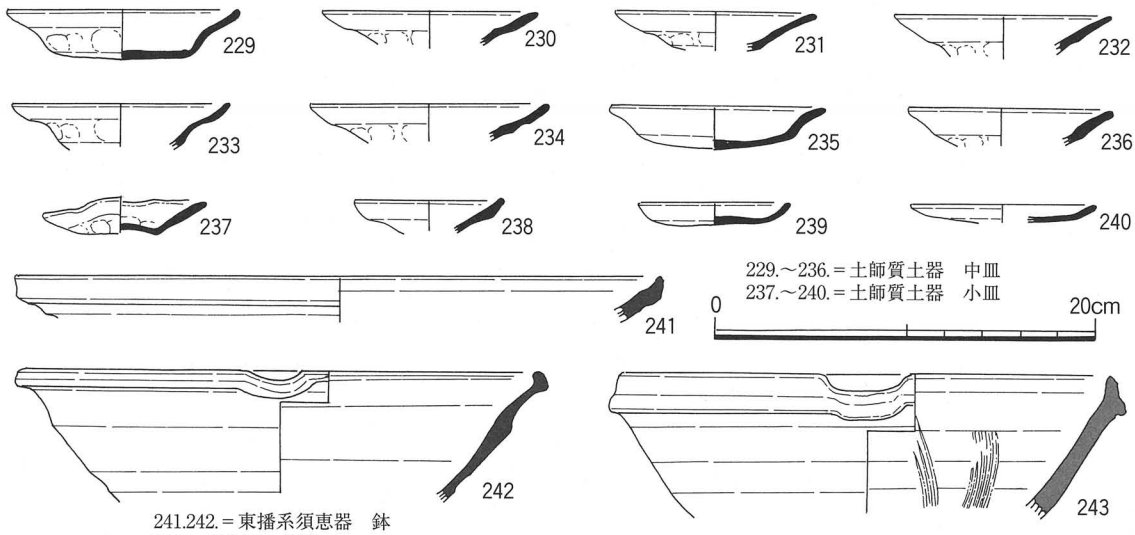
204.＝土師質土器　大皿　205.＝土師質土器　煮炊具　206.＝備前焼　擂鉢

図50　SK315出土土器　実測図



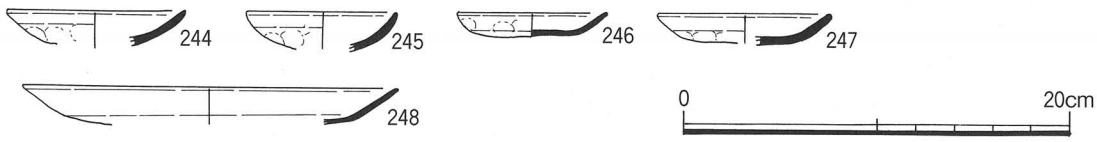
207.～219.＝土師質土器　中皿
220.～224.＝土師質土器　小皿
225.～227.＝土師質土器　大皿
228.＝土師質土器　煮炊具

図51　SK301出土土器　実測図



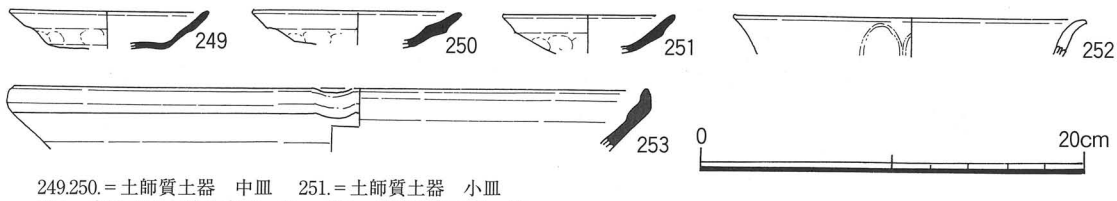
229.～236.＝土師質土器　中皿
237.～240.＝土師質土器　小皿
241.242.＝東播系須恵器　鉢
243.＝備前焼　擂鉢

図52　SK303出土土器　実測図



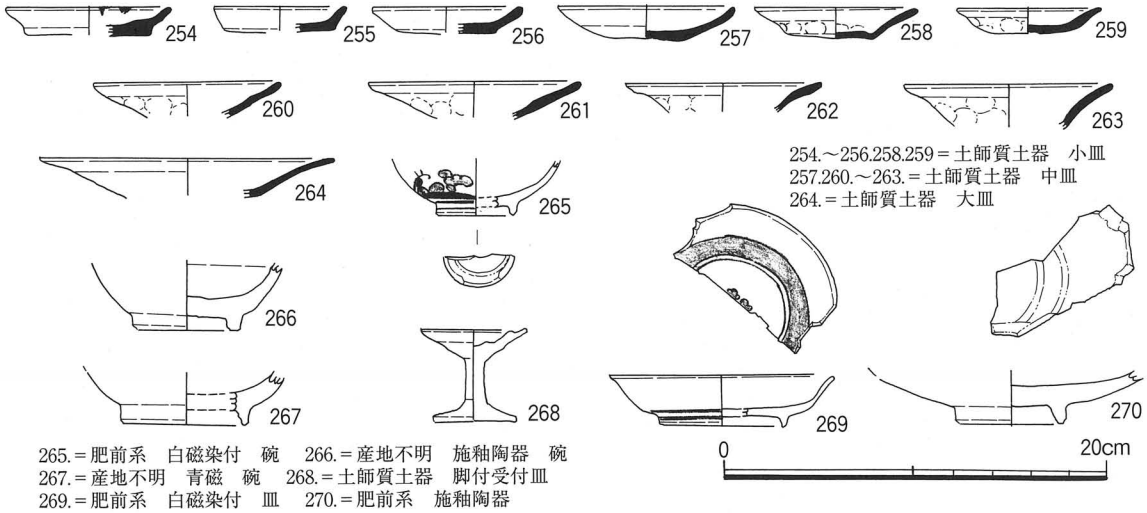
244.247.＝土師質土器　中皿　245.246.＝土師質土器　小皿
248.＝土師質土器　大皿

図53　SK302出土土器　実測図



249.250.＝土師質土器　中皿　251.＝土師質土器　小皿
252.＝産地不明　輸入青磁　碗　253.＝東播系須恵器　鉢

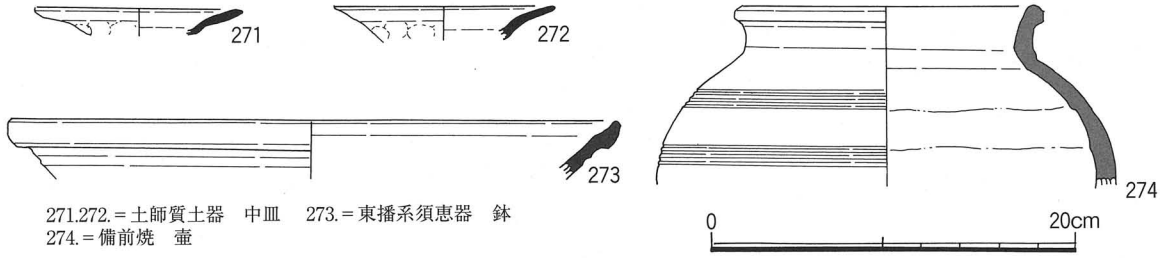
図54　SP324出土土器　実測図



254.～256.258.259＝土師質土器　小皿
257.260.～263.＝土師質土器　中皿
264.＝土師質土器　大皿

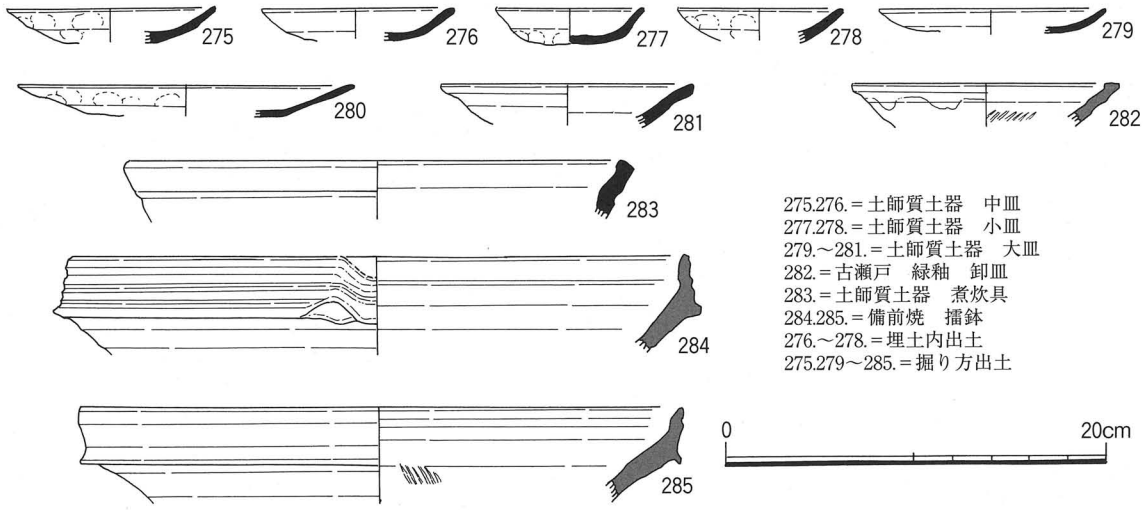
265.＝肥前系　白磁染付　碗　266.＝産地不明　施釉陶器　碗
267.＝産地不明　青磁　碗　268.＝土師質土器　脚付受付皿
269.＝肥前系　白磁染付　皿　270.＝肥前系　施釉陶器

図55　SP314出土土器　実測図



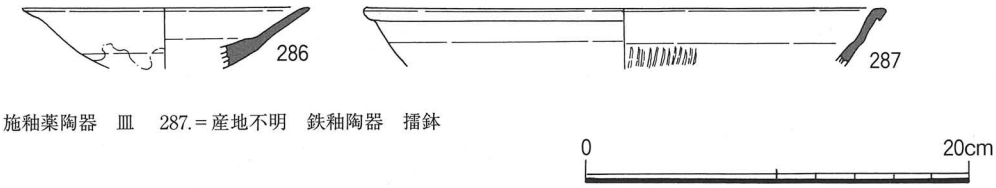
271.272.＝土師質土器　中皿　273.＝東播系須恵器　鉢
274.＝備前焼　壷

図56　SK309出土土器　実測図



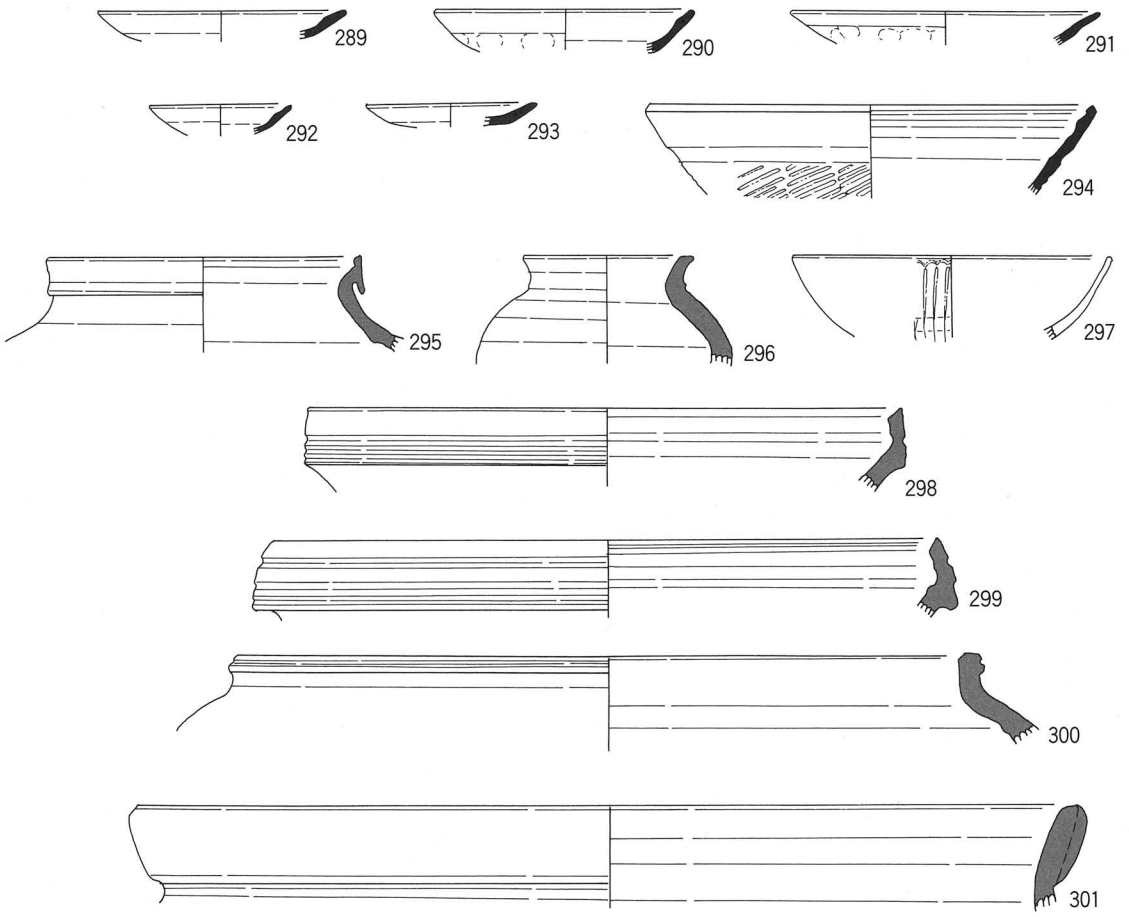
275.276.＝土師質土器　中皿
277.278.＝土師質土器　小皿
279.～281.＝土師質土器　大皿
282.＝古瀬戸　緑釉　卸皿
283.＝土師質土器　煮炊具
284.285.＝備前焼　擂鉢
276.～278.＝埋土内出土
275.279～285.＝掘り方出土

図57　SE301出土土器　実測図



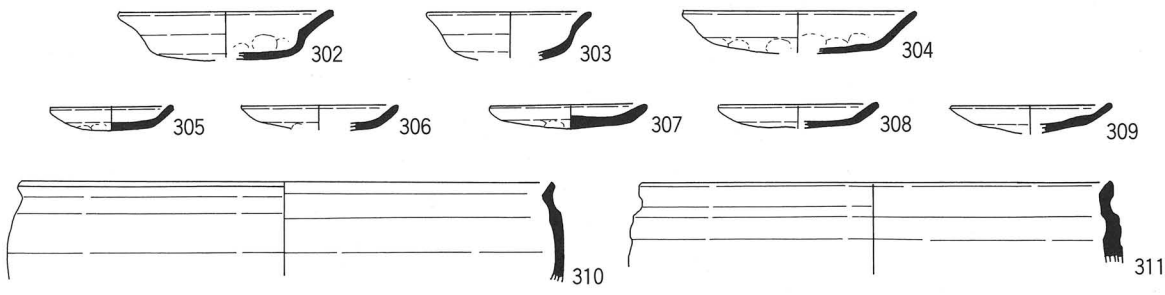
286.＝産地不明　施釉薬陶器　皿　287.＝産地不明　鉄釉陶器　擂鉢

図58　SX301出土土器　実測図



289.～291.＝土師質土器　大皿　292.293.＝土師質土器　小皿
294.＝土師質土器　煮炊具　295.＝常滑焼　甕
296.＝備前焼　壷　297.＝産地不明　輸入青磁　碗
298.299.＝備前焼　擂鉢　300.＝備前焼　壷
201.＝備前焼　甕

図59　SE302出土土器　実測図



302.303.＝土師質土器　中皿　304.＝土師質土器　大皿
305.～309.＝土師質土器　小皿　310.311.＝土師質土器　煮炊具

図60　SE302掘り方出土土器　実測図

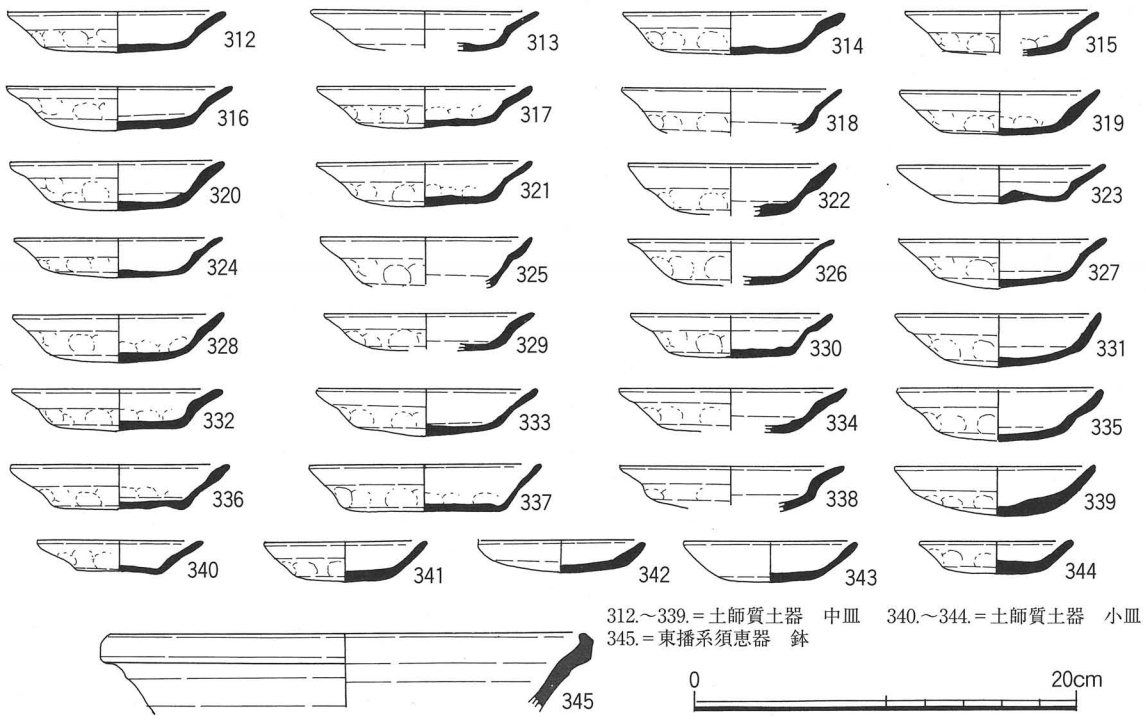


図61　SP344出土土器　実測図

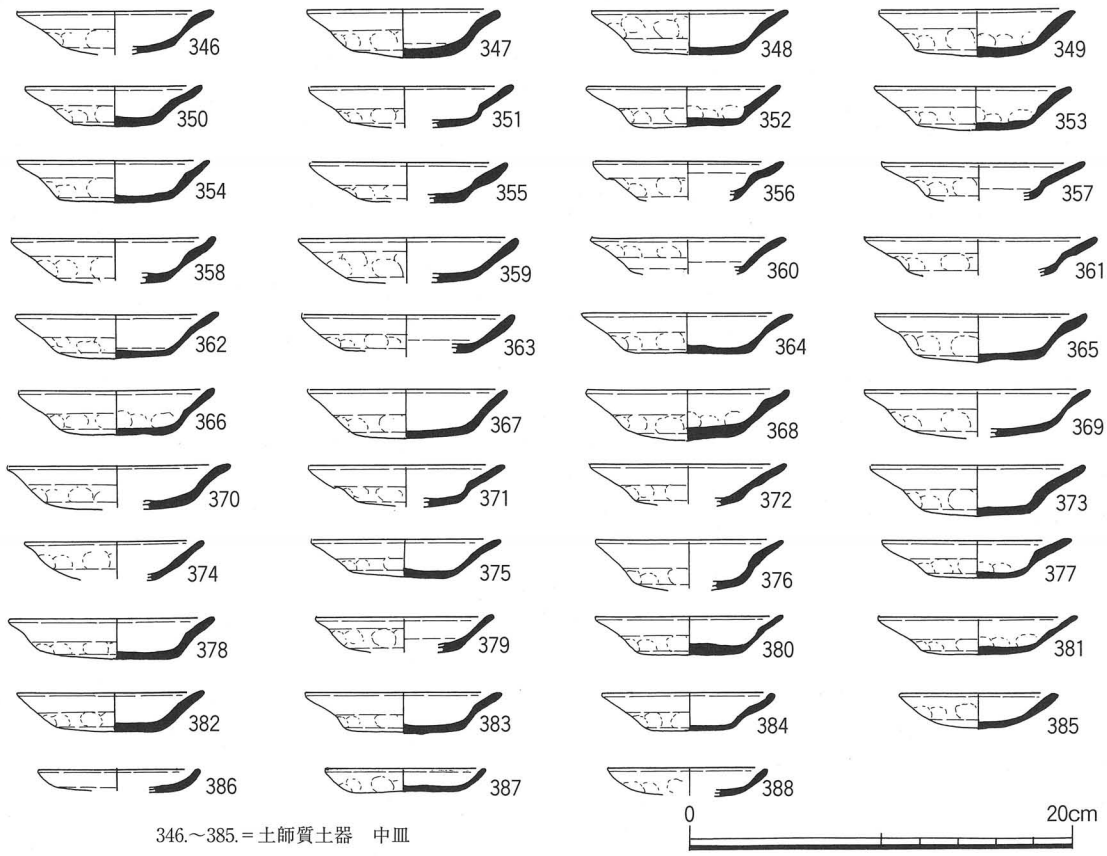
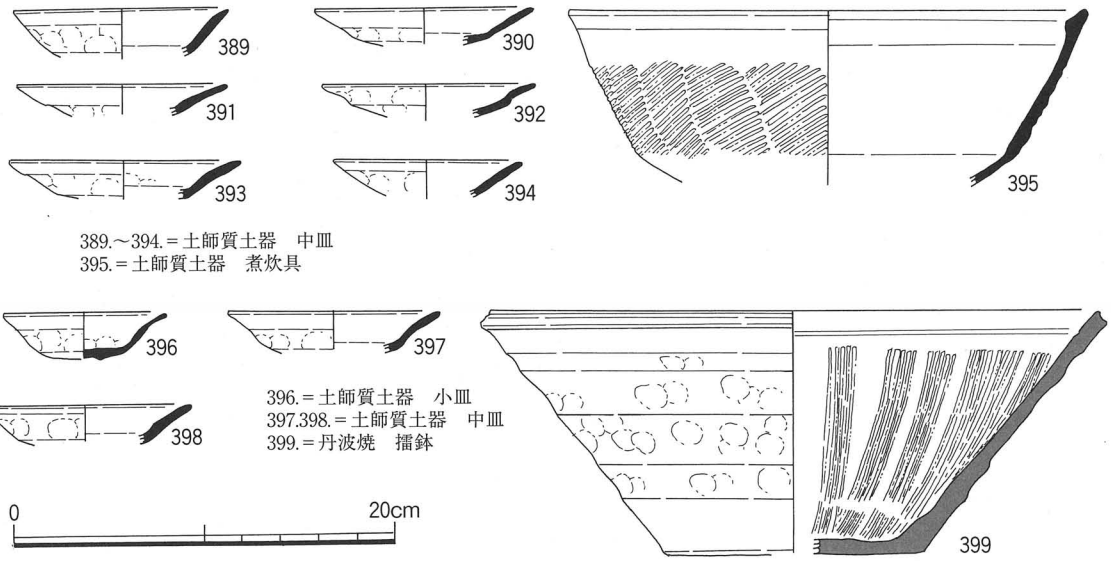
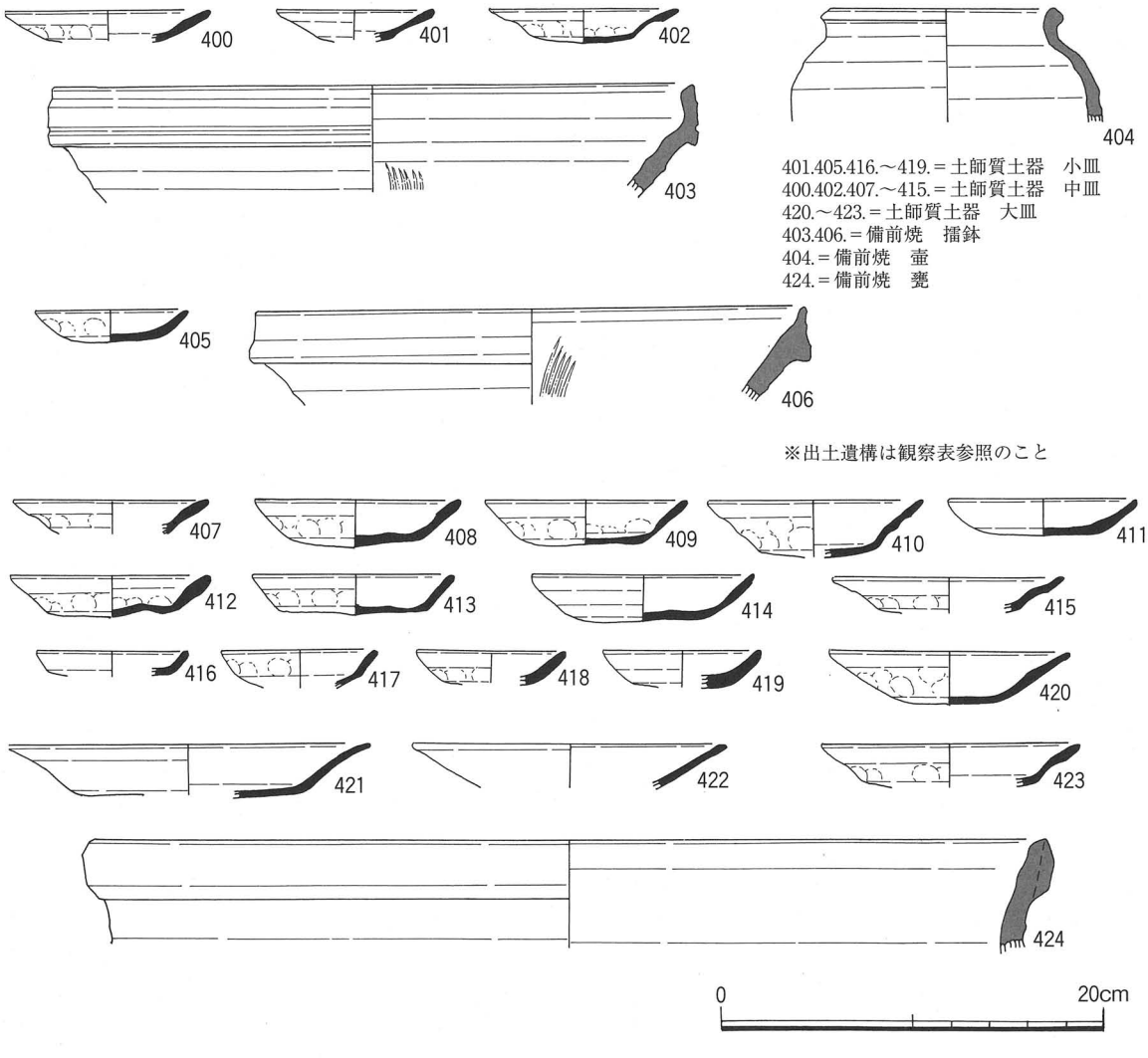


図62　SP348出土土器　実測図



389.～394.＝土師質土器　中皿
395.＝土師質土器　煮炊具
396.＝土師質土器　小皿
397.398.＝土師質土器　中皿
399.＝丹波焼　擂鉢

図64　SP359出土土器　実測図



401.405.416.～419.＝土師質土器　小皿
400.402.407.～415.＝土師質土器　中皿
420.～423.＝土師質土器　大皿
403.406.＝備前焼　擂鉢
404.＝備前焼　壷
424.＝備前焼　甕

※出土遺構は観察表参照のこと

図65　その他の遺構出土土器　実測図

７．第４遺構面出土の遺物　図66～図82

a. 遺構面の時期

第４遺構面には、明らかに掘り残しと思われる遺構が多数ある。これは工程の都合で着手が遅れた範囲部分に集中しており、本来第２あるいは第３遺構面で検出すべきものである。

SK414については、上層・下層とに分けて遺物を取り上げているが、これは遺構掘削の過程で、途中から下位の遺構面の遺構まで突き抜けて掘削してしまったと判断したためである。出土遺物の年代も上層と下層で明確に分かれた。

この遺構面では18世紀半前の遺構が一箇所、17世紀から18世紀の遺構が三箇所、17世紀代の遺構が三箇所、16世紀代が一箇所、15世紀後半と半ばが合計三箇所、14世紀後半から16世紀までのどこかと、詳細が判定し難いものが一箇所あった。17世紀代の遺構がもっとも多いが、上記のような理由による錯綜と判断する。したがって、第４遺構面本来の時期は15世紀中心と考える。

b. 各遺構の時期

SK407は備前焼擂鉢から。乗岡編年中世５期aないしbに該当する。SK412は、いわゆる「かわらけ土坑」である。かわらけ以外に年代を判定できるものがなく、その論拠は別称で詳述する。SK408とSP438は土師質土器煮炊具から、SK410は東播系須恵器鉢と土師質土器皿類とのセット関係から判断した。

SK414上層は、土師質煮炊具から判断した。この時期の土師質煮炊具は、岡田・長谷川編年では明示されておらず、難波洋三の大坂城期の分類と編年に拠った。この二つの編年案は、微妙に時期をずらしながら共存しており、互いを補完しあう関係にあると考えて差し支えない。瀬戸・美濃折縁皿がやや古相を示すが、共伴する肥前系白磁染付け、焼き塩壷の蓋など、近世特有の品を主体とする。

SK414下層は、この遺構面より下位の遺構面の遺構である。出土遺物から「かわらけ土坑」の可能性が高いが検出に失敗しているため、詳細が不明である。ただし、土師質皿類の示す形態はSK412と同質であり、同時期が想定される。

SK415は、土師質煮炊具の年代から判断したが、丹波焼火入れの形態も同時期を示していると考える。

SK416は瀬戸・美濃の袴腰形香炉および、土師質煮炊具から判断した。共伴する土師質小皿および中皿が若干古相を示す印象があり、混入品の可能性が高い。SK416で出土しているものは、難波案のほうらくD類、あるいはE類に該当する。

SP443は、体部の上位に条線が施文され粘土紐を輪状に貼り付ける「不遊輪」を持つタイプである。長谷川の近世丹波焼編年案における、典型的なⅣＡ１a類である。

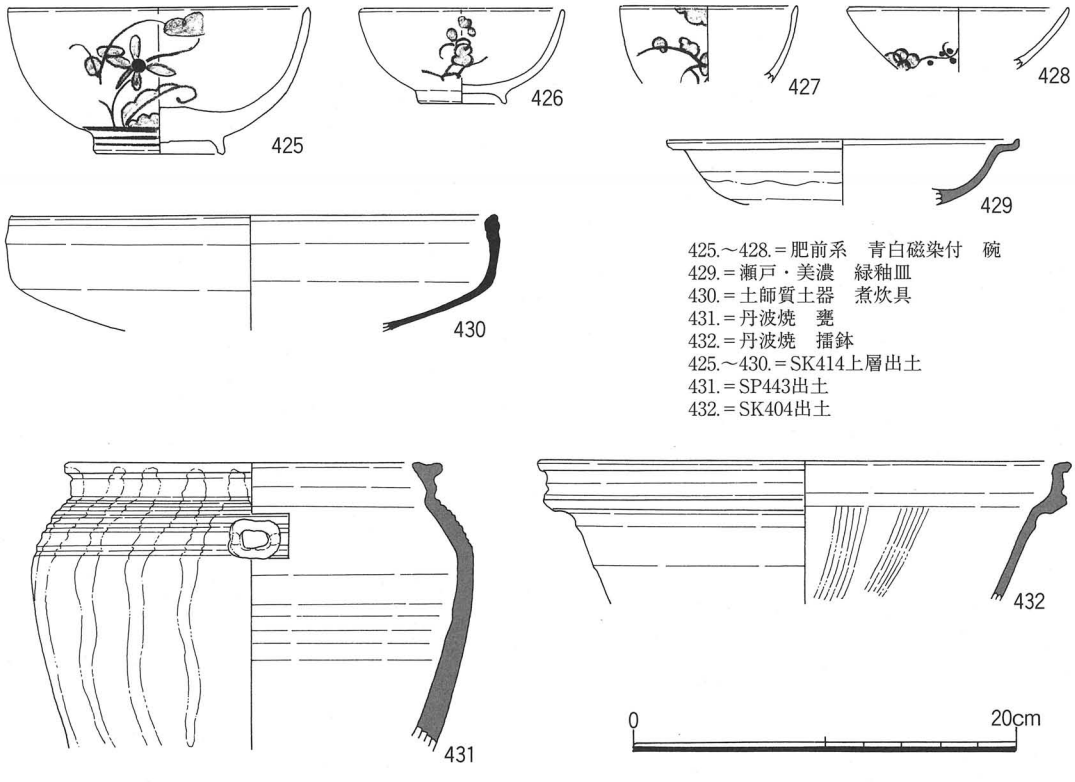
SX401からは、丹波焼と備前焼の擂鉢が出土しており、新相の丹波焼を採用した。

遺構名	時期	区分	検出面	属性	図版番号
SX301	近世		3面	ゴミ処理遺構？	図58
SP205	19世紀		2面	胞衣壷埋納遺構	図28
SP228	19世紀		2面		
SP234	18世紀後半～19世紀		2面		図42
SP208	18世紀後半～19世紀		2面		
SK204	18世紀		2面	便所遺構	図37
SK206	18世紀		2面	便所遺構	図38
SP341	18世紀		3面	ゴミ処理遺構？	図55
SK212	18世紀	後半	2面	ゴミ処理遺構	図40
SK211	18世紀	前半	2面		図35
SK216	18世紀	前半	2面	ゴミ処理遺構	図36
SK412	18世紀	前半	4面	かわらけ埋納遺構	図22・70
SX201	18世紀	前半	2面	ゴミ処理遺構	図29・30
SX203	18世紀	前半	2面	ゴミ処理遺構	図33・34
SX204	18世紀	前半	2面	ゴミ処理遺構	図31・32
SK414上層	17世紀～18世紀		4面		図66
SK403	17世紀後半～18世紀初頭		4面		
SK416	17世紀後半～18世紀初頭		4面		図67
SP443	17世紀	後半	4面		図66
SK415	17世紀	半ば	4面	ゴミ処理遺構	図68
SX401	17世紀	前半	4面	円形石組遺構	図75
SP359	16世紀後半～17世紀半ば		3面		図64
SK609	16世紀後半～17世紀半ば		6面		図109
SK301	16世紀	前半	3面	かわらけ埋納遺構	図22・51
SK307	16世紀	前半	3面		図49
SK314	16世紀	前半	3面		図46
SK315	16世紀	前半	3面		図50
SE302	16世紀	前半	3面	井戸	図59・60
SE301掘り方	16世紀	前半	3面	井戸	図57
SK511	16世紀	前半	5面		図84
SE302掘り方	16世紀	初頭	3面	井戸	
SK414下層	16世紀		4面	かわらけ埋納遺構	図66
SK303	15世紀	後半	3面		図52
SK407	15世紀	後半	4面		図73
SK408	15世紀	後半	4面		図82
SK603	15世紀	後半	6面		図108
SD704	15世紀	後半	7面	掘り状遺構	図128
SK709	15世紀	後半	7面		
SK714	15世紀	後半	7面		図133
SK719	15世紀	後半	7面		
SP735	15世紀	後半	7面		図124
SP438	15世紀	後半	4面		図72
SK311	15世紀	前半	3面		
SK508	15世紀	前半	5面		図87
SK513	15世紀	前半	5面	かわらけ埋納遺構	図83
SK515	15世紀	前半	5面		図95
SP502	15世紀	前半	5面		
SP527	15世紀	前半	5面		
SK602	15世紀	前半	6面		図112
SK610	15世紀	前半	6面	ゴミ処理遺構	図25・105
SP610	15世紀	前半	6面		図28
SH701	15世紀	前半	7面	竪穴建物	図117・118・119
SD701	15世紀	前半	7面	掘り状遺構	図122・123
SK606	15世紀	初頭	6面	かわらけ埋納遺構	図25・106
SX701	15世紀	初頭	7面	かわらけ埋納遺構	図141
SK309	15世紀		3面		図56
SP344	15世紀		3面	かわらけ埋納遺構	図61
SK410	14世紀後半～16世紀		4面		図79
SP639	14世紀後半～15世紀		6面	かわらけ埋納遺構	図26・113
SK604	14世紀後半～15世紀		6面	かわらけ埋納遺構	図26・107
SK607	14世紀後半～15世紀		6面	かわらけ埋納遺構	図25・103

表2の1　検出遺構年代表

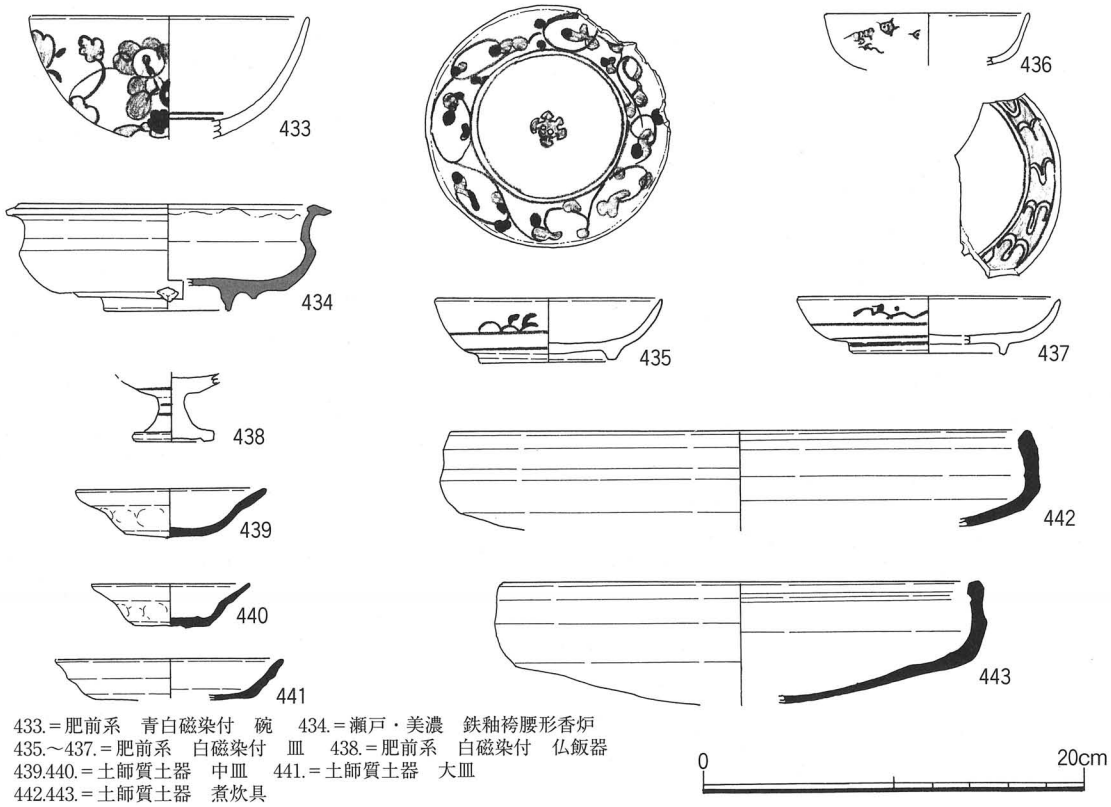
遺構名	時期	区分	検出面	属性	図版番号
SK608	14世紀後半～15世紀		6面	かわらけ埋納遺構	図25・104
SD702	14世紀後半～15世紀		7面		図129
SK701	14世紀後半～15世紀		7面	ゴミ処理遺構	
SK702	14世紀後半～15世紀		7面	ゴミ処理遺構	図137
SK703	14世紀後半～15世紀		7面		図134
SX704	14世紀後半～15世紀		7面	落ち込み状遺構	図130
SP324	14世紀～15世紀		3面		図54
SP348	14世紀～15世紀		3面	かわらけ埋納遺構	図62
SK506	14世紀～15世紀		5面	かわらけ埋納遺構	図24・91
SK512	14世紀～15世紀		5面	かわらけ埋納遺構	図24・101
SK516	14世紀～15世紀		5面	かわらけ埋納遺構	図22・96
SP555	14世紀～15世紀		5面		図24・100
SP515	14世紀		5面		図92
SK518	14世紀	後半	5面		図86
SK711	14世紀	後半	7面	かわらけ埋納遺構	図27・142
SK717	14世紀	後半	7面	かわらけ埋納遺構	図26・140
SX702	14世紀	後半	7面		図136
SH706	14世紀	後半	7面	竪穴建物	図148
SH703	14世紀	後半	7面	竪穴建物	図125
SP320	14世紀	半ば	3面		
SK509	14世紀	半ば	5面		図85
SH702	14世紀	半ば	7面	竪穴建物	図120・121
SX705	14世紀	半ば	7面	落ち込み状遺構	図127
SP548	14世紀	前半	5面		図99
SK728	14世紀	前半	7面		
SP701	14世紀	前半	7面		
SP730	14世紀	前半	7面		図146
SP637	13世紀		6面		図115
SK728	13世紀		7面		
SH704	13世紀		7面	竪穴建物	図126
SP731	13世紀		7面		図145

表2の2　検出遺構年代表



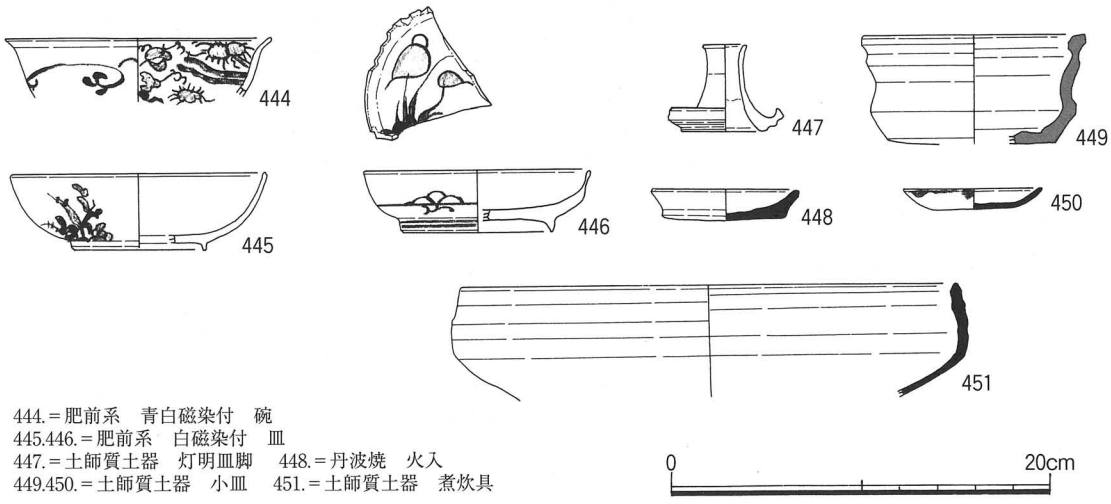
425.～428.＝肥前系　青白磁染付　碗
429.＝瀬戸・美濃　緑釉皿
430.＝土師質土器　煮炊具
431.＝丹波焼　甕
432.＝丹波焼　擂鉢
425.～430.＝SK414上層出土
431.＝SP443出土
432.＝SK404出土

図66　SK404・SK414上層・SP443出土土器　実測図



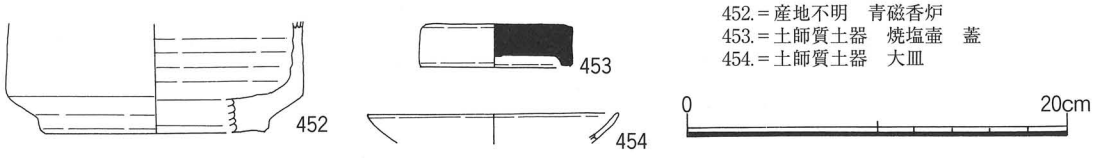
433.＝肥前系　青白磁染付　碗　434.＝瀬戸・美濃　鉄釉袴腰形香炉
435.～437.＝肥前系　白磁染付　皿　438.＝肥前系　白磁染付　仏飯器
439.440.＝土師質土器　中皿　441.＝土師質土器　大皿
442.443.＝土師質土器　煮炊具

図67　SK416出土土器　実測図



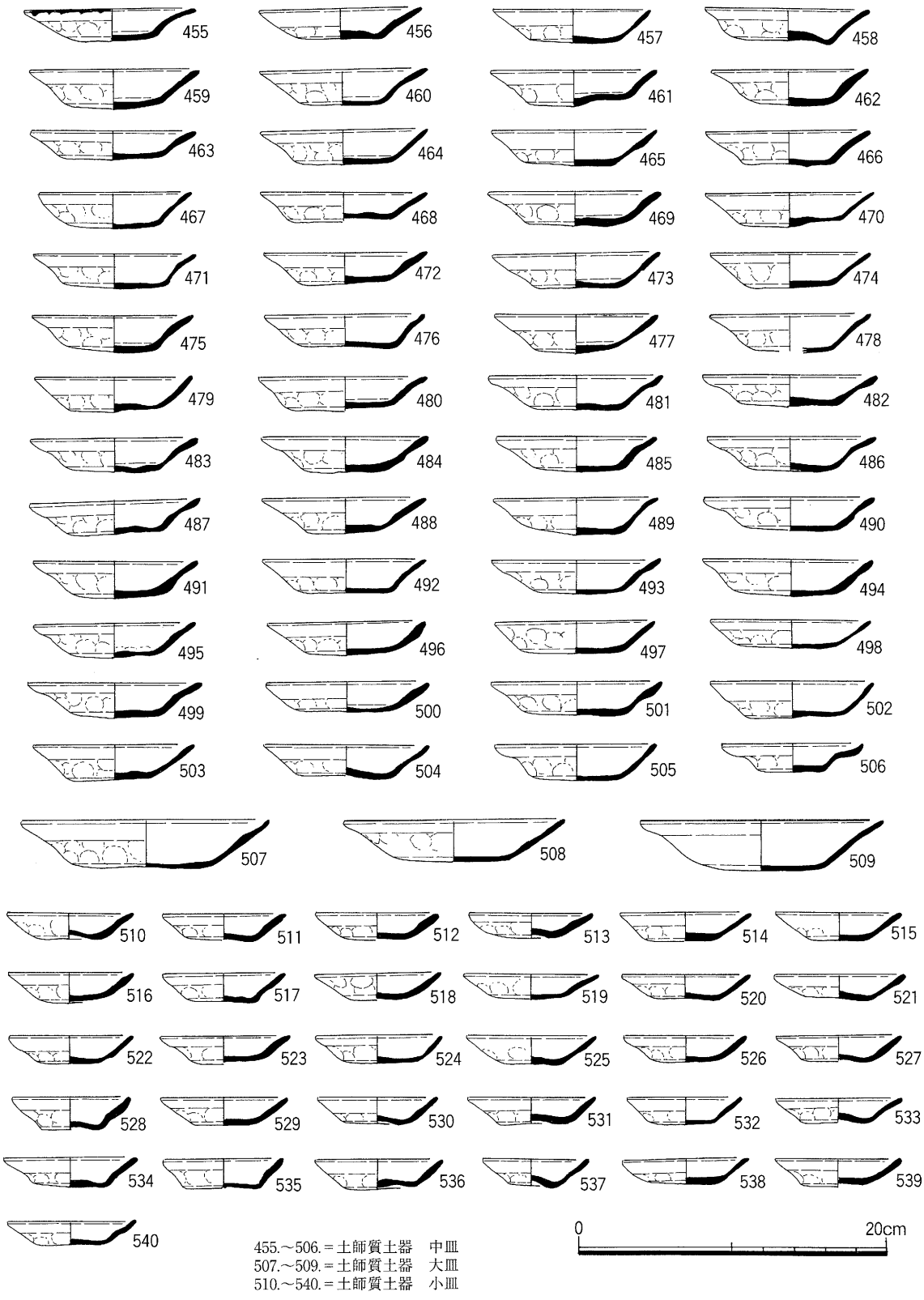
444.＝肥前系　青白磁染付　碗
445.446.＝肥前系　白磁染付　皿
447.＝土師質土器　灯明皿脚　448.＝丹波焼　火入
449.450.＝土師質土器　小皿　451.＝土師質土器　煮炊具

図68　SK415出土土器　実測図



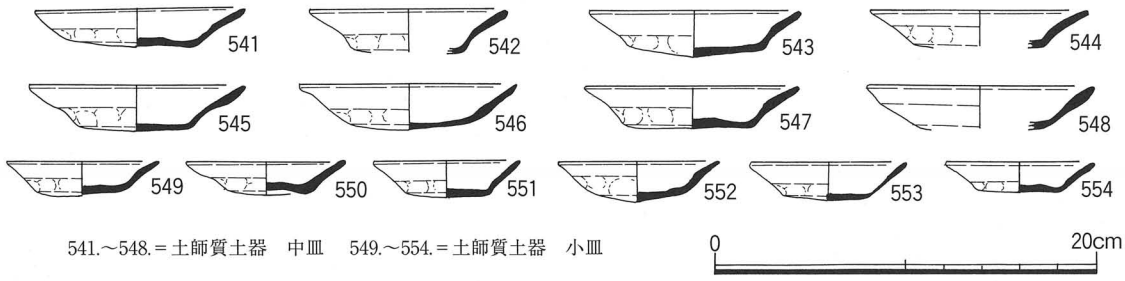
452.＝産地不明　青磁香炉
453.＝土師質土器　焼塩壷　蓋
454.＝土師質土器　大皿

図69　SK418出土土器　実測図



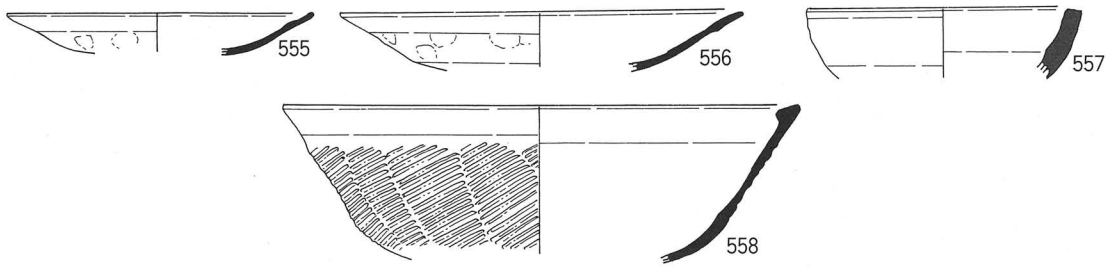
455.～506.＝土師質土器　中皿
507.～509.＝土師質土器　大皿
510.～540.＝土師質土器　小皿

図70　SK412出土土器　実測図



541.～548.＝土師質土器　中皿　549.～554.＝土師質土器　小皿

図71　SK414下層出土土器　実測図



555.556.＝土師質土器　大皿
557.＝東播系須恵器　碗
558.559.＝土師質土器　煮炊具

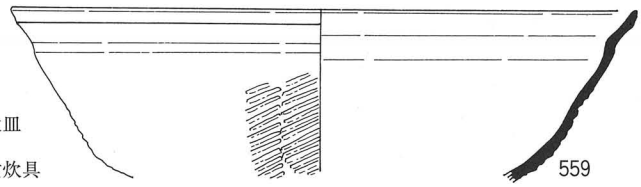
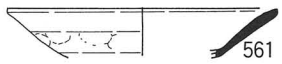
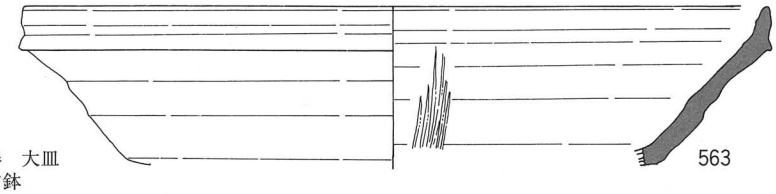


図72　SP438出土土器　実測図

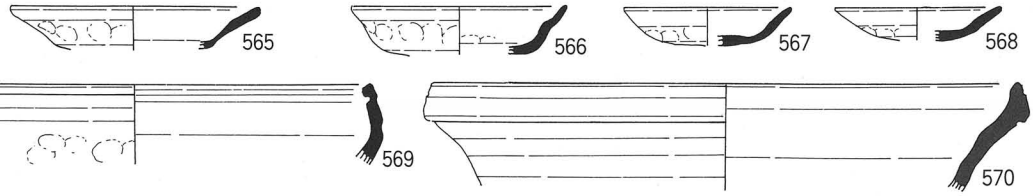




561.＝土師質土器　大皿
563.＝備前焼　擂鉢

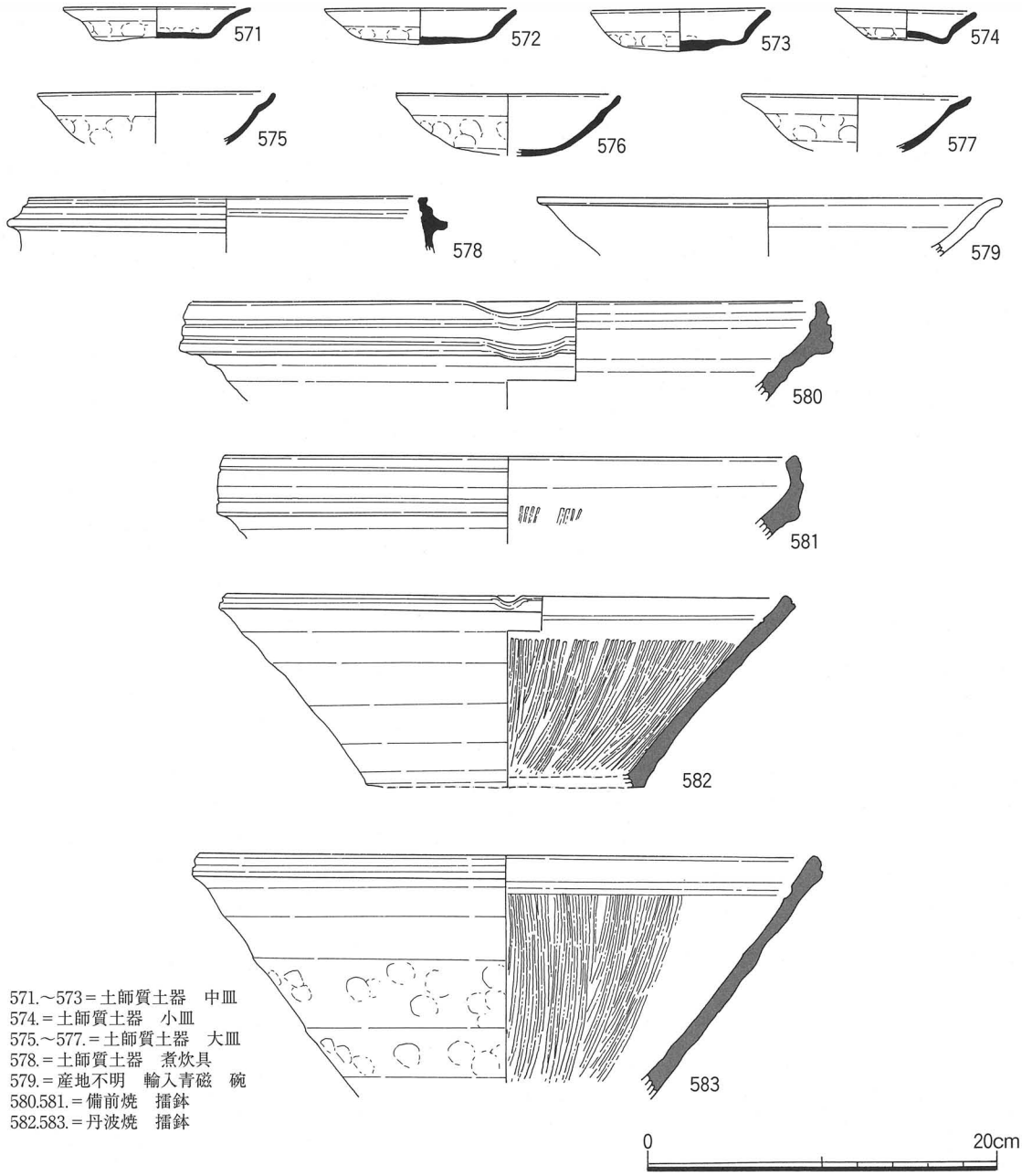
図73　SK407出土土器　実測図

564.567.568.＝土師質土器　小皿　565.566.＝土師質土器　中皿
569.＝土師質土器　煮炊具　570.＝東播系須恵器　鉢



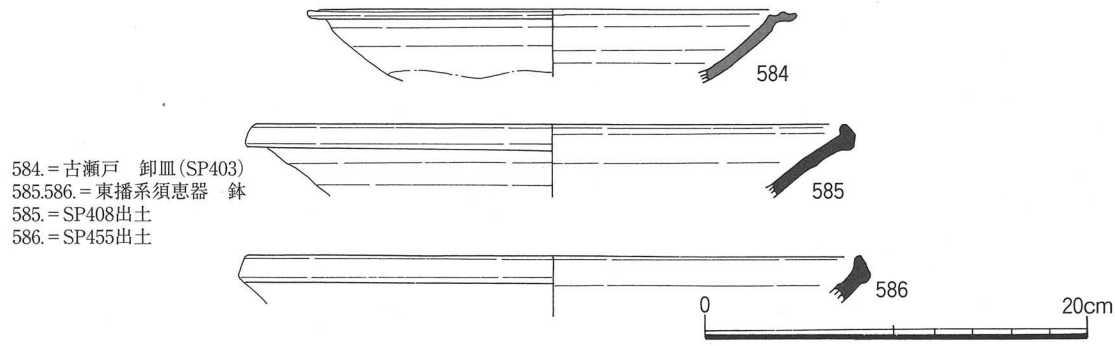
564.＝SK405出土　565.569.＝SK406出土
566.～568.570.＝SK403出土

図74　その他の遺構出土土器　実測図



571.～573.＝土師質土器　中皿
574.＝土師質土器　小皿
575.～577.＝土師質土器　大皿
578.＝土師質土器　煮炊具
579.＝産地不明　輸入青磁　碗
580.581.＝備前焼　擂鉢
582.583.＝丹波焼　擂鉢

図75　SX401出土土器　実測図



584.＝古瀬戸　卸皿(SP403)
585.586.＝東播系須恵器　鉢
585.＝SP408出土
586.＝SP455出土

図76　その他の遺構出土土器　実測図

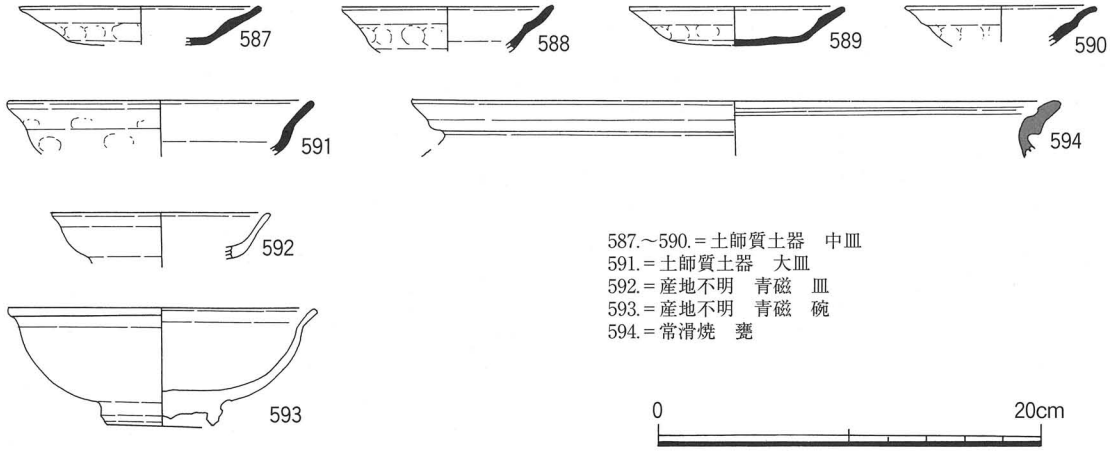


図77　SK409出土土器　実測図

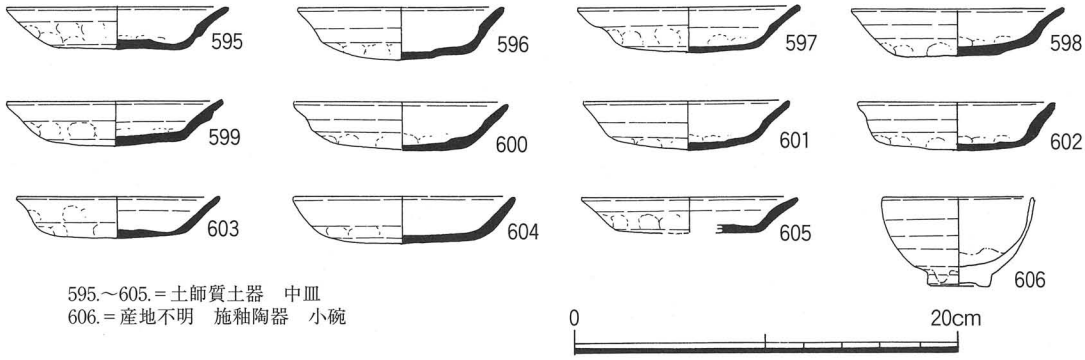


図78　SP418出土土器　実測図

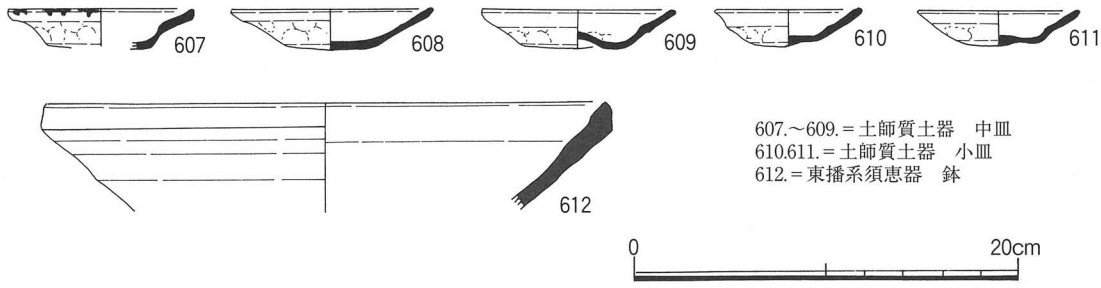


図79　SK410出土土器　実測図

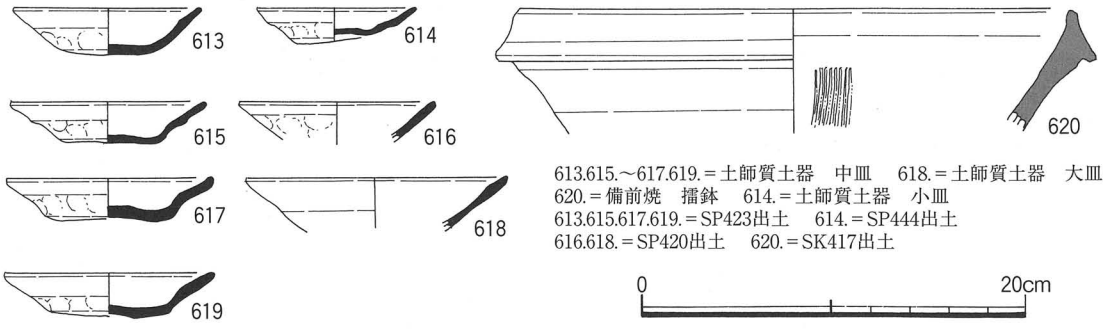


図80　その他の遺構出土土器　実測図

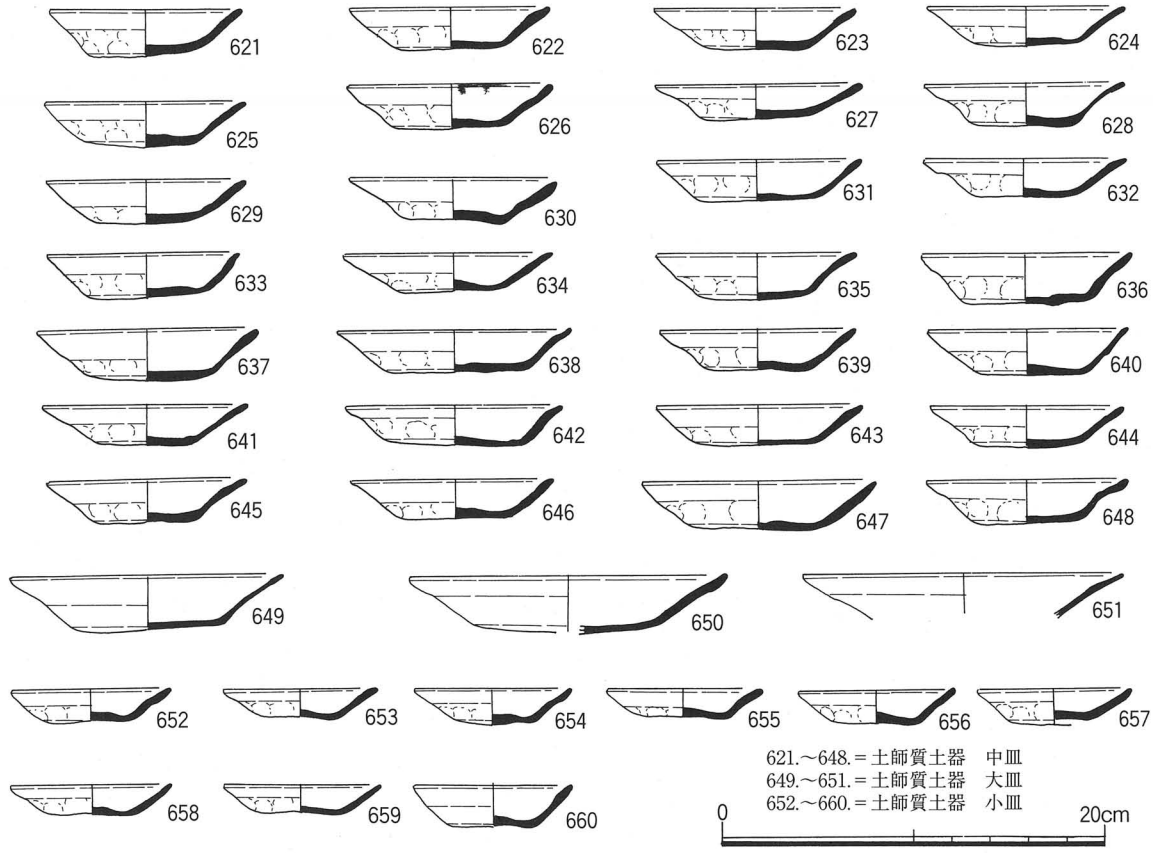


図81　SK411出土土器　実測図

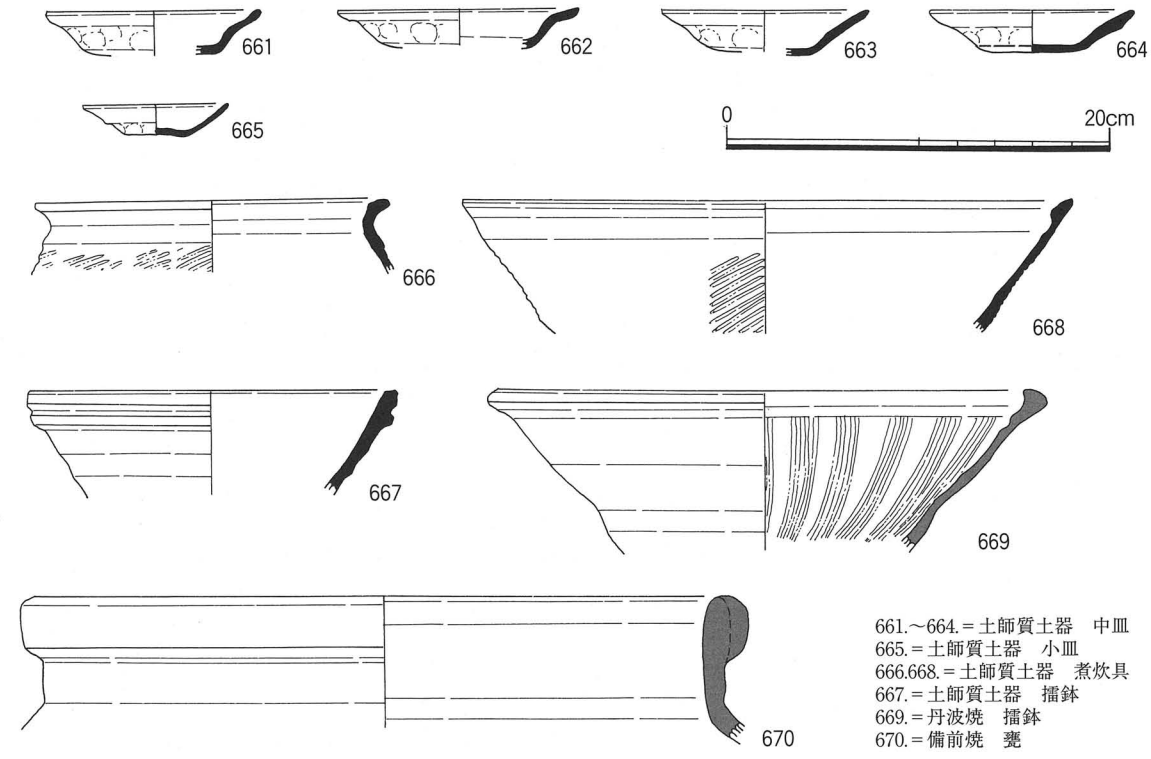


図82　SK408出土土器　実測図

8．第５遺構面出土の遺物　図83～図116

a．遺構面の時期

第５遺構面には、16世紀前半の遺構が１箇所、15世紀前半の遺構が５箇所、15世紀から14世紀にかけての遺構が４箇所、14世紀代が１箇所、詳細が判定し難いものが４箇所、14世紀後半が２箇所、前半が１箇所あった。このうち16世紀代を示したSK511は本来第３遺構面で検出すべきものであった掘り残しと考える。第５遺構面本来の時期は15世紀前半から14世紀にかけてと考えられる。

b．各遺構の時期

SK505はいわゆる「かわらけ土坑」である。石鍋の破片と東播系須恵器鉢が共伴している。今回の調査では、石鍋の破片が随所に出土している。石鍋自体は中世を通じて存在するものだが、今回の調査で出土しているもののほとんどは、木戸雅寿編年でいうⅢ-aあるいはⅢ-bの形態を示している。実年代では12世紀末から13世紀初頭となり、今回検出した遺構群よりさらに古相である。混入品と考えるのが妥当かもしれないが、出土した石鍋がことごとく古い形態の破片であることに、多少疑問を感じる。うち一点に、破片になってのち、表面を研磨あるいは再加工しようとした鑿状痕が認められることから、古くなった石鍋を打ち割り、滑石を転用する習慣があったとも考えられる。石鍋そのものはかなり軟質の石材であることから、砥石としてはやや脆弱に過ぎる。実際石鍋と同素材の砥石は出土しなかった。割れた石鍋の破片に鑿を当てて、何に転用しようとしたのかは不明である。

SK508は、瓦器碗が出土しているが、それより新相の土師質土器煮炊具が伴っていることから、こちらを採用した。

SK509は備前焼擂鉢から、SK511は土師質煮炊具から、SK513は、古瀬戸緑釉卸皿から時代をまず仮定した。楢崎の編年体系における後期様式のⅡ期ないしⅢ期相当だが、共伴する土師質土器皿類の示す形態が、たとえばSK412など、上位の遺構で確認できる一括出土例よりも明らかに古相を示している。土師質土器皿類の形態的新旧関係については、別称で提案したいので、ここでの詳述は避ける。SK518は常滑焼甕から判断した。それぞれ羽釜形タイプ播磨形B系列Ⅱ類、中世３期a、８型式に該当する。

SK506、SK516、SP555は土師質土器皿類から、SP515は備前焼甕から判断した。

SP527とSK515はそれぞれ土師質土器煮炊具から判断した。

SK505、SP569はいわゆる「かわらけ埋納遺構」であるが、SP569は備前焼壷が共供して出土しており、これを根拠とした。中世３期aないしbに該当する。

SP548の常滑焼甕は6bないし７型式に該当するが、共伴する奈良火鉢が浅鉢Ⅲ型を示すため、最低でも14世紀半ばまで下がる。

SP512は土師質皿類と東播系須恵器鉢のセット関係から判断した。

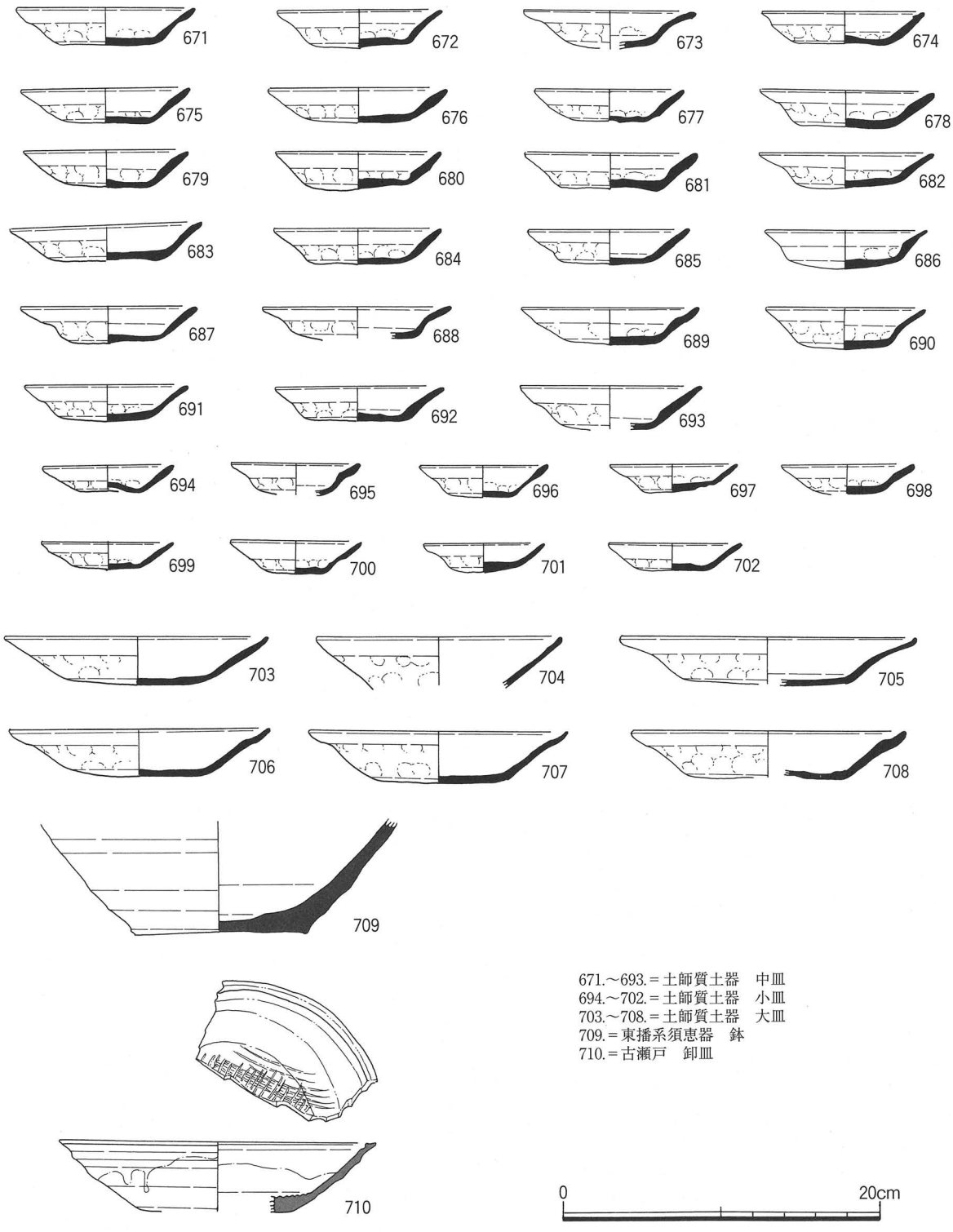


図83　SK513出土土器　実測図

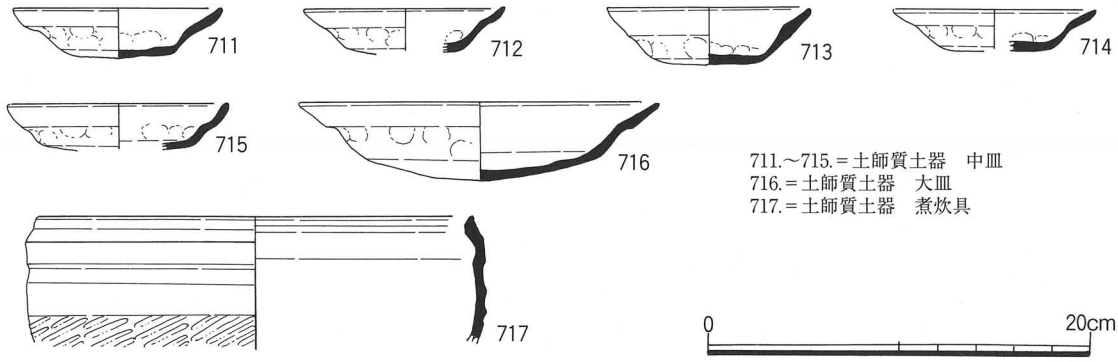


図84　SK511出土土器　実測図

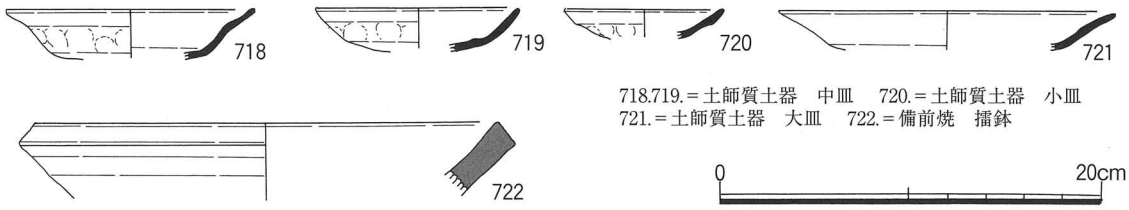


図85　SK509出土土器　実測図

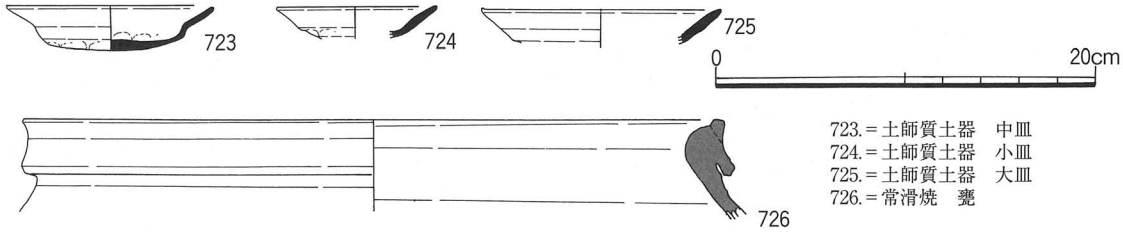


図86　SK518出土土器　実測図

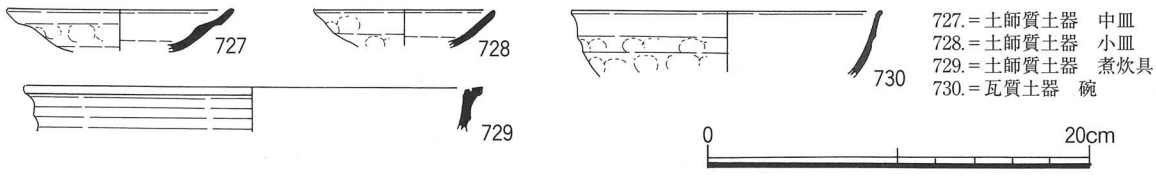


図87　SK508出土土器　実測図

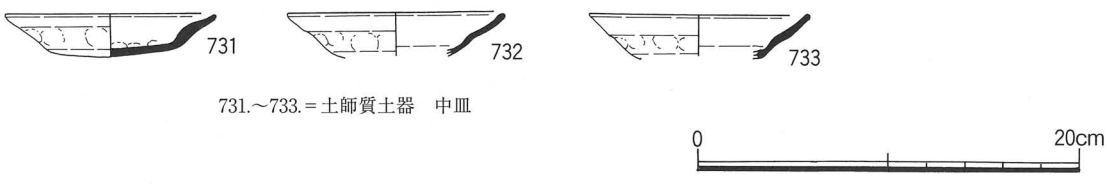
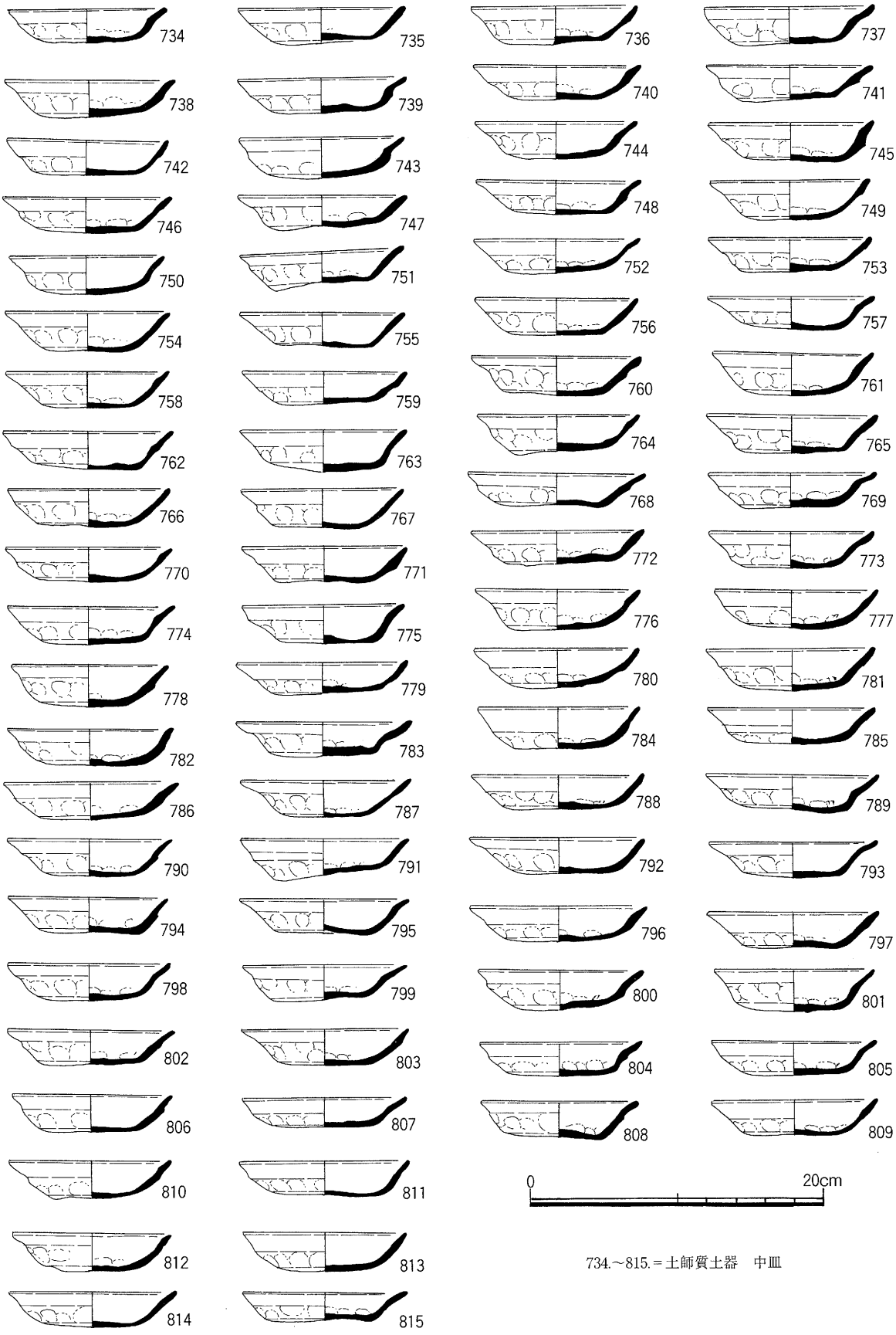
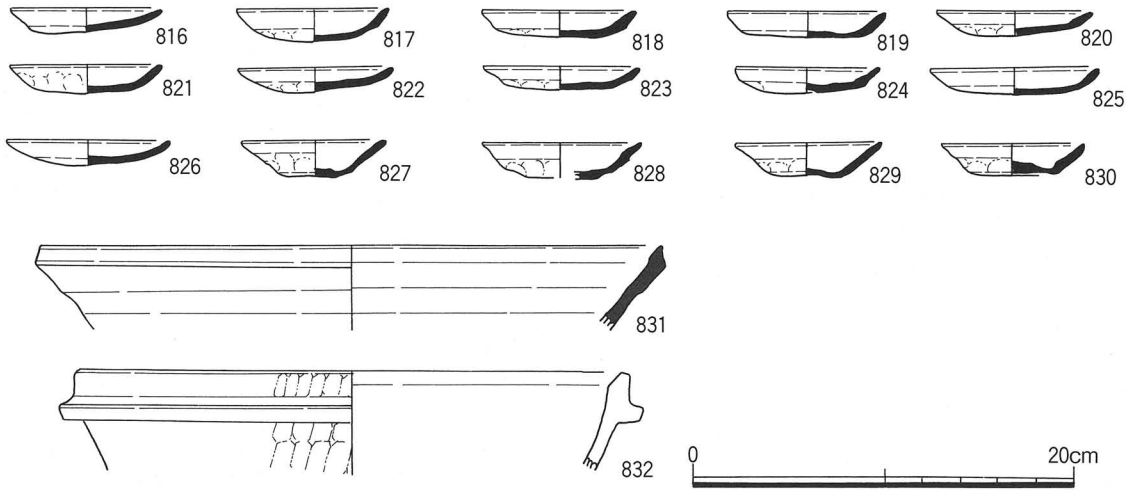


図88　SK510出土土器　実測図



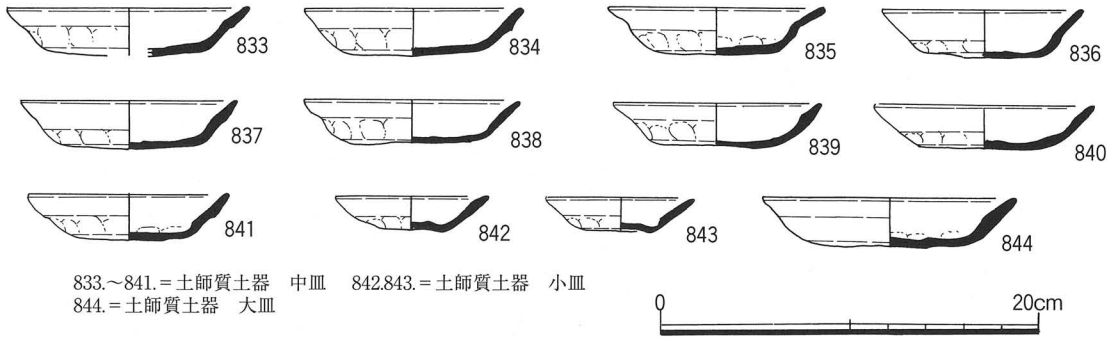
734.～815.＝土師質土器　中皿

図89　SK505出土土器　実測図1



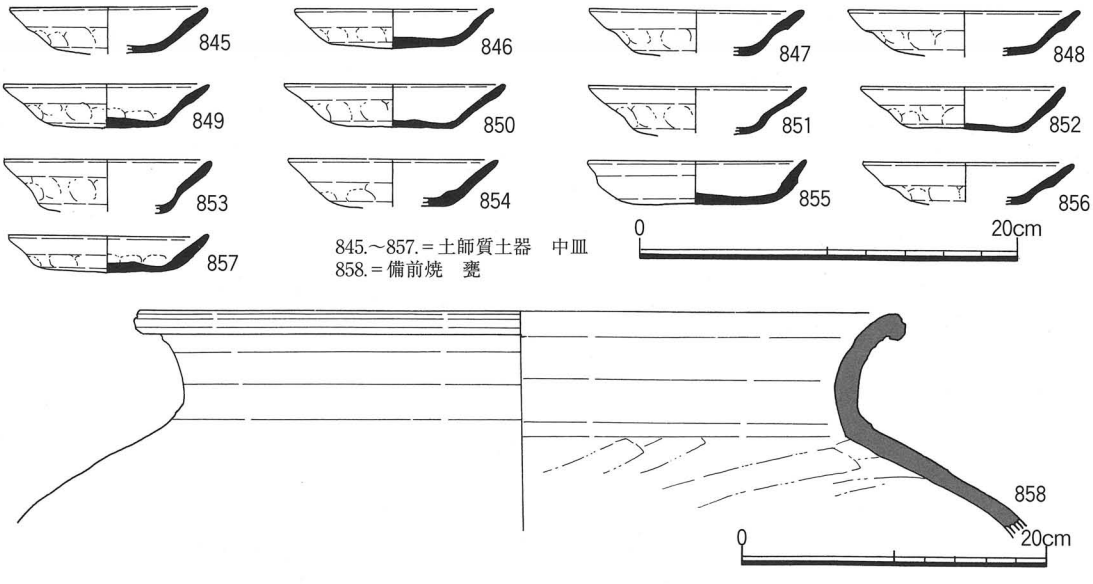
816.＝830.＝土師質土器　小皿　831.＝東播系須恵器　鉢
832.＝石鍋

図90　SK505出土土器　実測図2



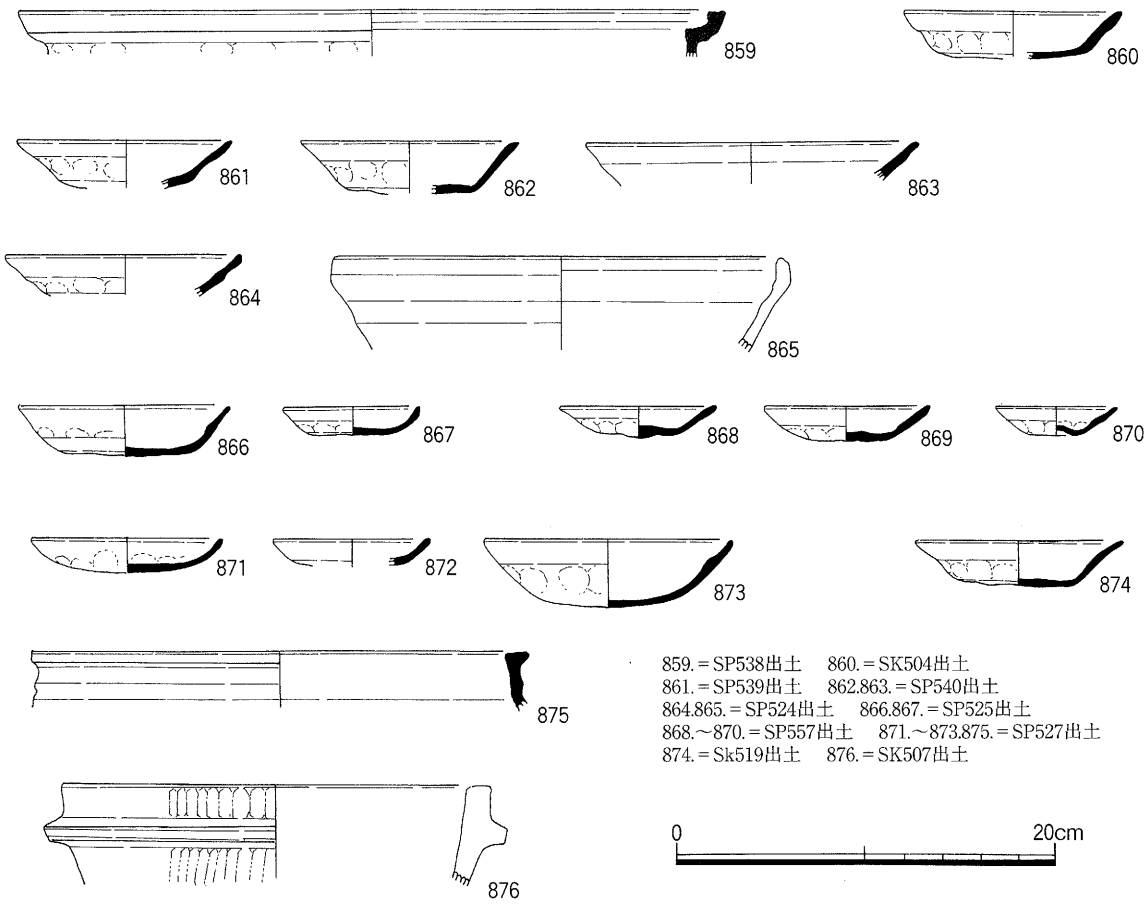
833.～841.＝土師質土器　中皿　842.843.＝土師質土器　小皿
844.＝土師質土器　大皿

図91　SK506出土土器　実測図



845.～857.＝土師質土器　中皿
858.＝備前焼　甕

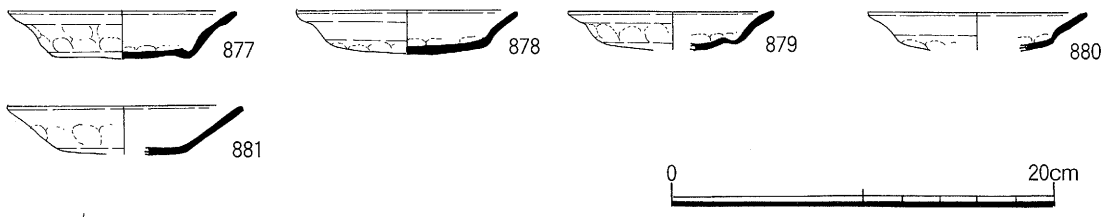
図92　SP515出土土器　実測図



859.＝SP538出土　860.＝SK504出土
861.＝SP539出土　862.863.＝SP540出土
864.865.＝SP524出土　866.867.＝SP525出土
868.～870.＝SP557出土　871.～873.875.＝SP527出土
874.＝Sk519出土　876.＝SK507出土

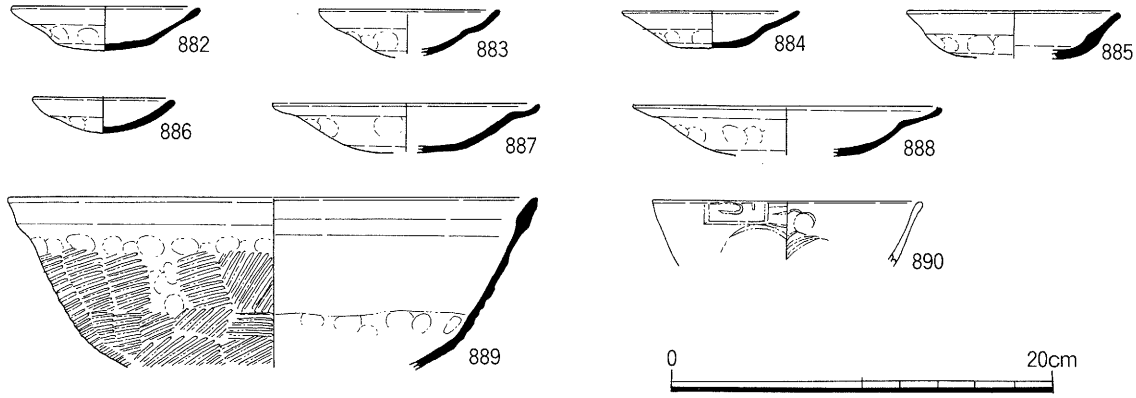
859.＝瓦質土器　鍋　860.～862.864.866.869.871.874.＝土師質土器　中皿
867.868.872.＝土師質土器　小皿　873.＝土師質土器　大皿
863.＝東播系須恵器　碗　865.＝東播系須恵器　鉢
875.＝土師質土器　煮炊具　876.＝石鍋

図93　その他の遺構出土土器　実測図



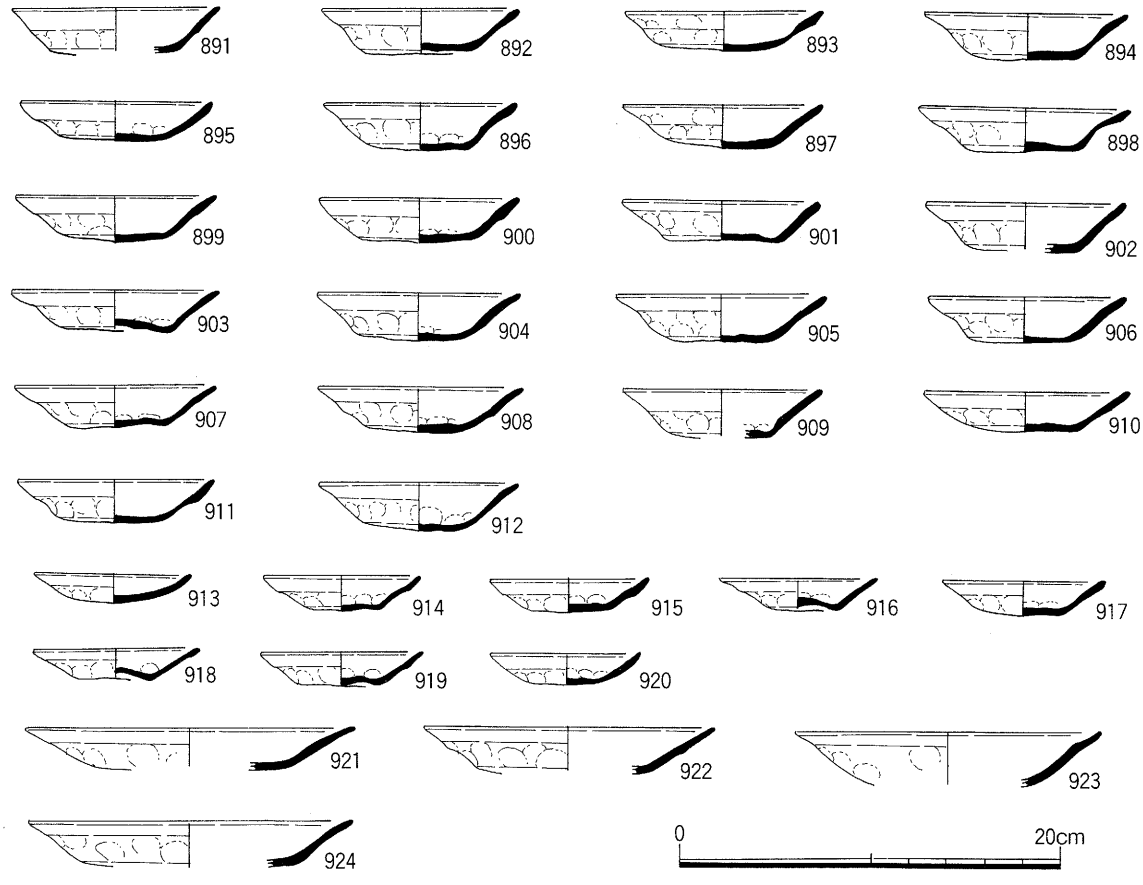
877.～880.＝土師質土器　中皿　881.＝土師質土器　大皿

図94　SK517出土土器　実測図



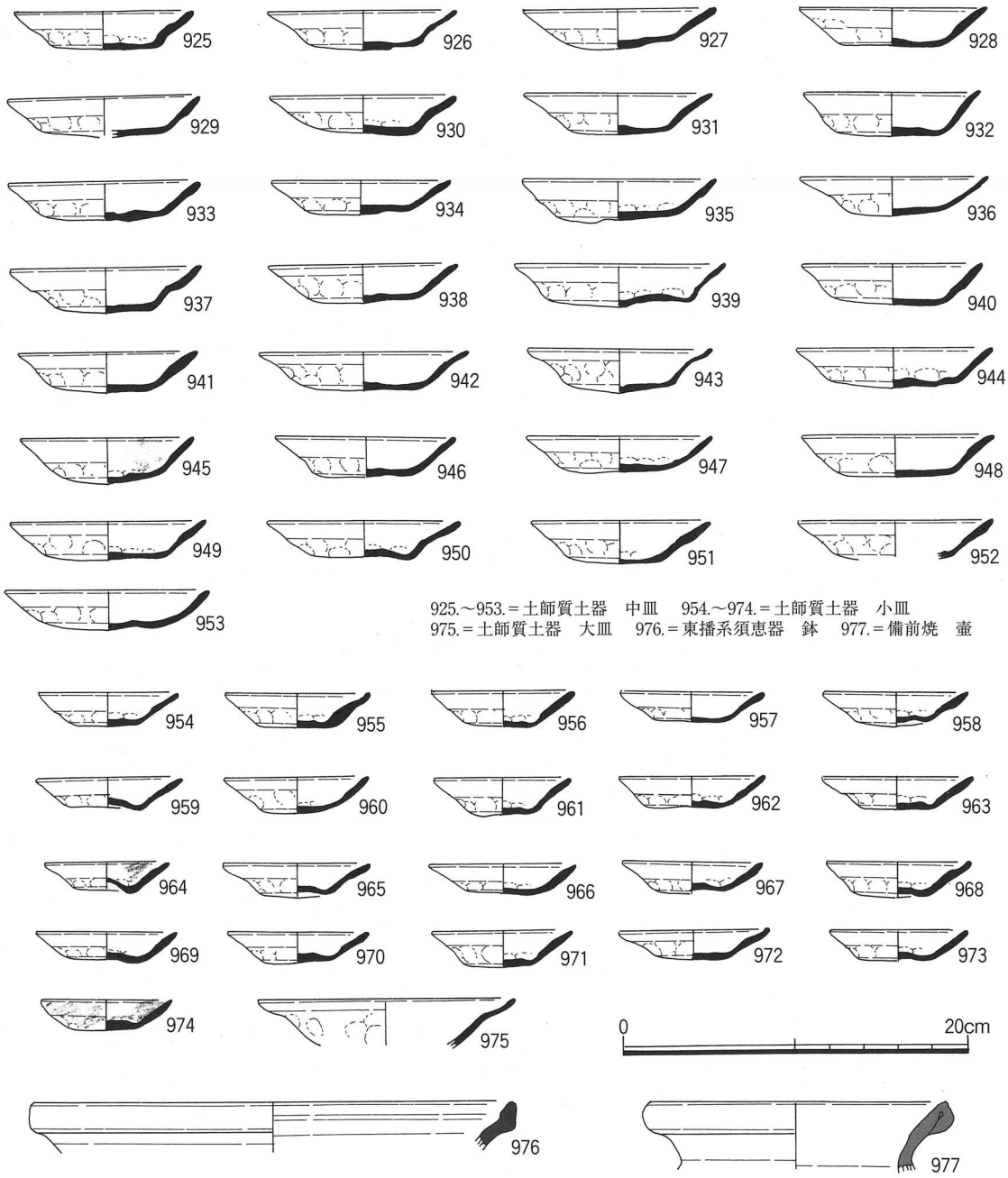
882.～885.＝土師質土器　中皿　886.＝土師質土器　小皿
887.888.＝土師質土器　大皿　889.＝土師質土器　煮炊具
890.＝産地不明　輸入青磁　碗

図95　SK515出土土器　実測図



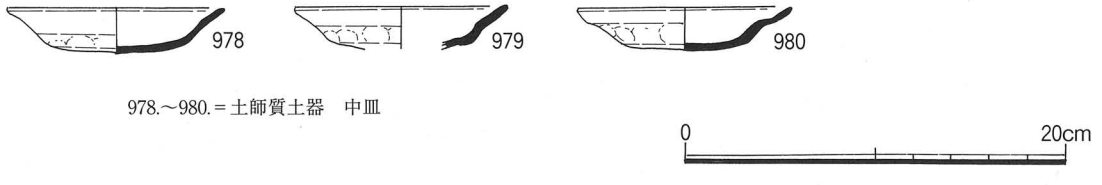
891.～912.＝土師質土器　中皿　913.～920.＝土師質土器　小皿
921.～924.＝土師質土器　大皿

図96　SK516出土土器　実測図



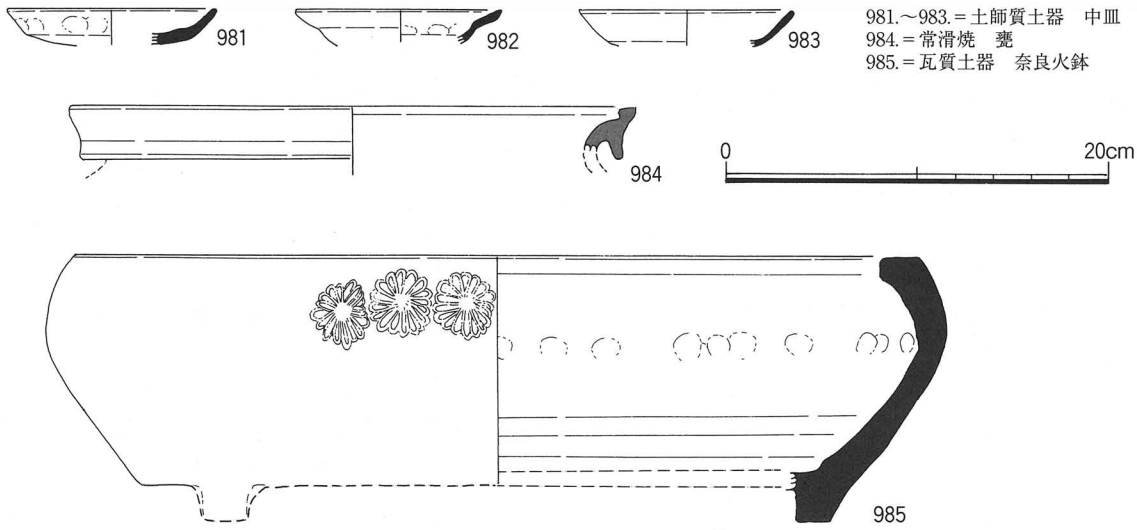
925.～953.＝土師質土器　中皿　954.～974.＝土師質土器　小皿
975.＝土師質土器　大皿　976.＝東播系須恵器　鉢　977.＝備前焼　壷

図97　SP569出土土器　実測図



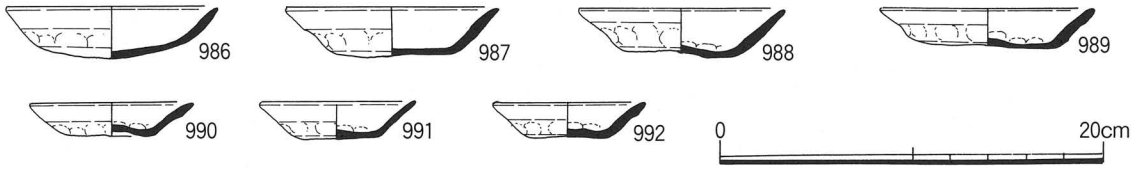
978.～980.＝土師質土器　中皿

図98　SP565出土土器　実測図



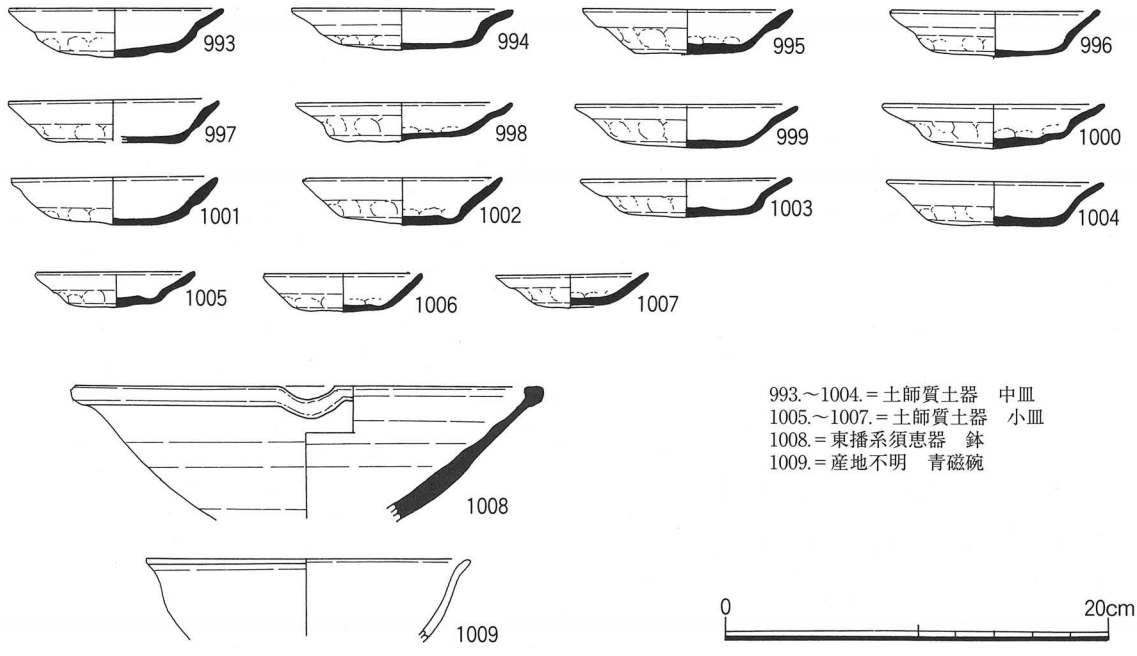
981.～983.＝土師質土器　中皿
984.＝常滑焼　甕
985.＝瓦質土器　奈良火鉢

図99　SP548出土土器　実測図



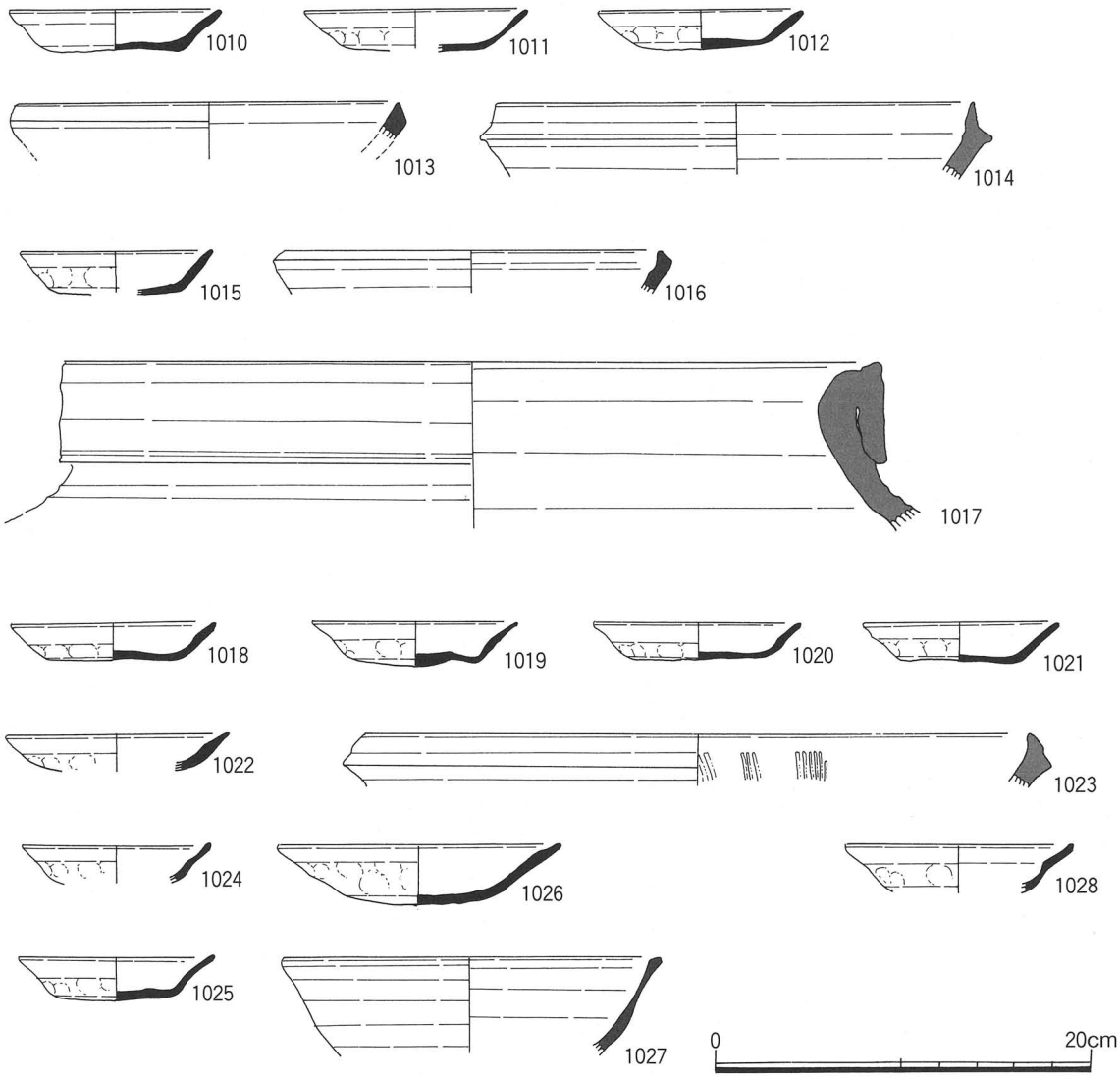
986.～989.＝土師質土器　中皿　990.～992.＝土師質土器　小皿

図100　SP555出土土器　実測図



993.～1004.＝土師質土器　中皿
1005.～1007.＝土師質土器　小皿
1008.＝東播系須恵器　鉢
1009.＝産地不明　青磁碗

図101　SK512出土土器　実測図



1010.～1012.＝土師質土器　中皿　1013.＝東播系須恵器　碗　1014.＝備前焼　擂鉢
1015.＝土師質土器　中皿　1016.＝東播系須恵器　鉢　1017.＝常滑焼　甕
1018.～1022.1024.1025.1028.＝土師質土器　中皿　1023.＝備前焼　擂鉢
1026.＝土師質土器　大皿　1027.＝東播系須恵器　鉢
1010.～1014.＝SK501出土　1015.～1017.＝SP502出土　1018.～1021.＝SP570出土
1022.1023.＝SP501出土　1024.1026.＝SP505出土　1025.1027.＝SP571出土
1028.＝SP509出土

図102　その他の遺構出土土器　実測図

９．第６遺構面出土の遺物　図104～図116

a. 遺構面の時期

第６遺構面には、16世紀後半ないし17世紀半ばの遺構が一箇所、15世紀後半の遺構が一箇所、初頭を含めて15世紀前半が四箇所、15世紀から14世紀後半にかけてが4四箇所と、13世紀代が一箇所あった。このうち16世紀代を示したSK609は本来第３遺構面で検出すべき掘り残しと考える。遺構の傾向から判断すると、第６遺構面本来の時期は15世紀前半から14世紀後半にかけてとなるが、第５遺構面の時期と差がなくなってしまう。これは第６遺構面とした整地層の不明瞭さともあいまって、判断に苦しむ問題である。

土器の形態変化では追いきれない細かい整地層の変化が存在したとも、そもそも第６遺構面の存在そのものが不明瞭であるとも取れるからである。

今回の調査では、調査範囲のうち北半分の堆積層に層位的変化が認められたものの、上位の遺構面との間に明瞭な時期差が確認できなかった。したがって、第６遺構面の時期は、15世紀から14世紀後半とする。

b. 各遺構の時期

SK602は瓦質風炉が立石編年の風炉Ⅱ型に該当するところから、この年代を採用した。

SK603は備前焼擂鉢のみが出土している。この擂鉢自体は中世５期に該当する口縁形態を呈しており、ほかに判断できる材料がないため、一応この年代を当てておく。

SK606は瓦質羽釜と土師質土器皿類とのセット関係から類推した。

SK607はいわゆる「かわらけ埋納遺構」である。土師質土器皿類から年代を判断した。瓦質の大型鉢の破片が出土しているが、これは型式学的な位置づけが不明な資料である。

SK608も土師質土器皿類から判断した。

SK609は、備前焼・丹波焼それぞれ擂鉢が出土している。丹波焼のほうがより新相を示しており、こちらを採用した。長谷川編年のⅠB2b類に該当する。

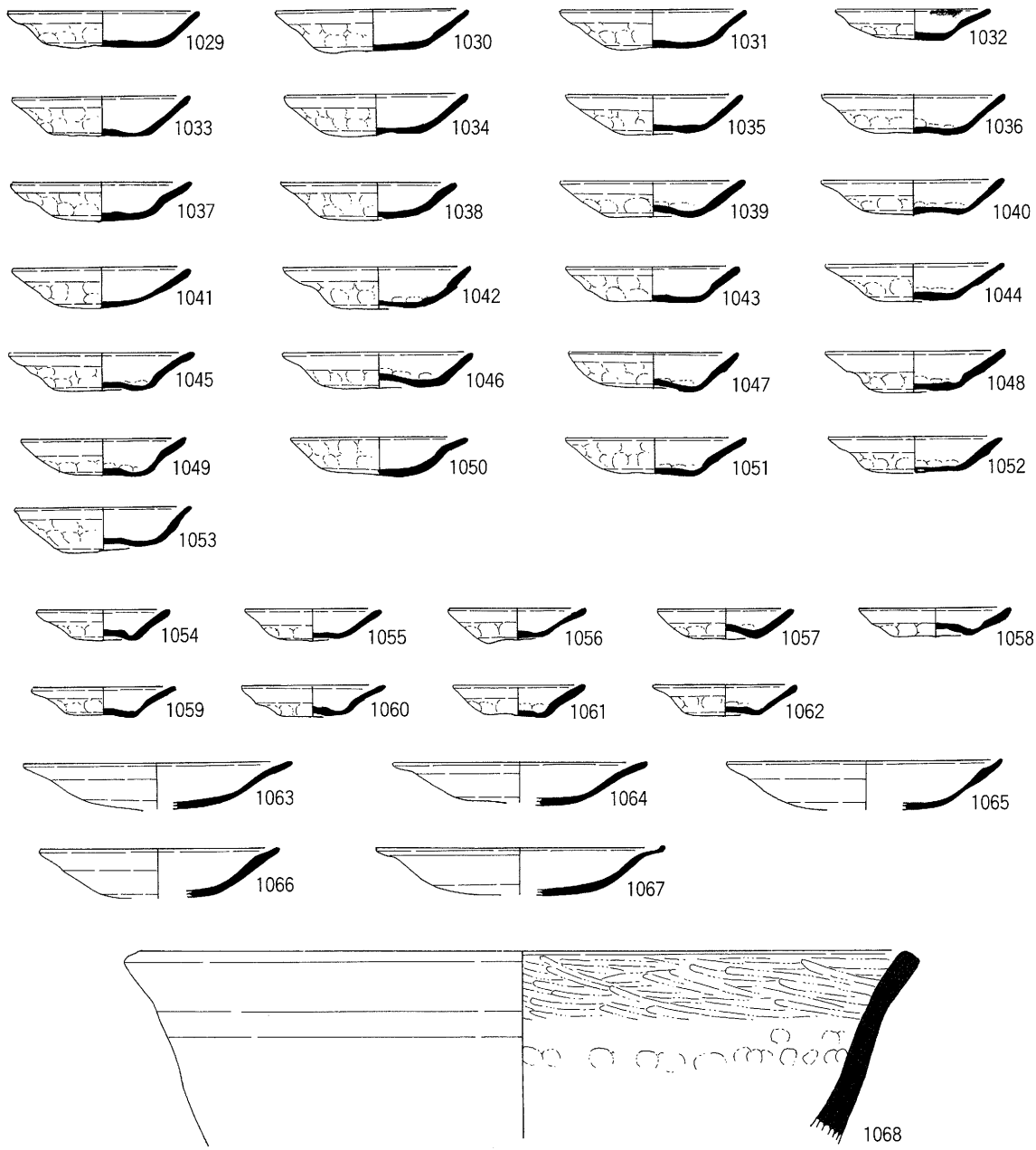
SK610は、土師質土器皿類、東播系須恵器鉢のセット関係と合わせて、古瀬戸天目茶碗から判断した。この天目茶碗は楢崎編年の後期様式Ⅲないし Ⅳ類に該当し、その実年代を15世紀前半とされるものの範疇である。

SP637は、後述する土師質土器皿類および、東播系須恵器鉢の形態変化の観点から、この年代を当てた。

SP627も同じく土師質土器皿類および、東播系須恵器鉢の形態変化の観点から、この年代を当てた。

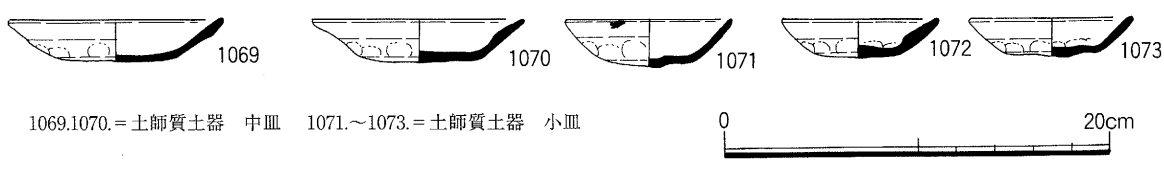
SP639は土師質土器皿類から類推した。東播系須恵器鉢が共伴しており、たがいのセット関係を知る上での資料となりうる。

SP641は土師質土器煮炊具から判断した。



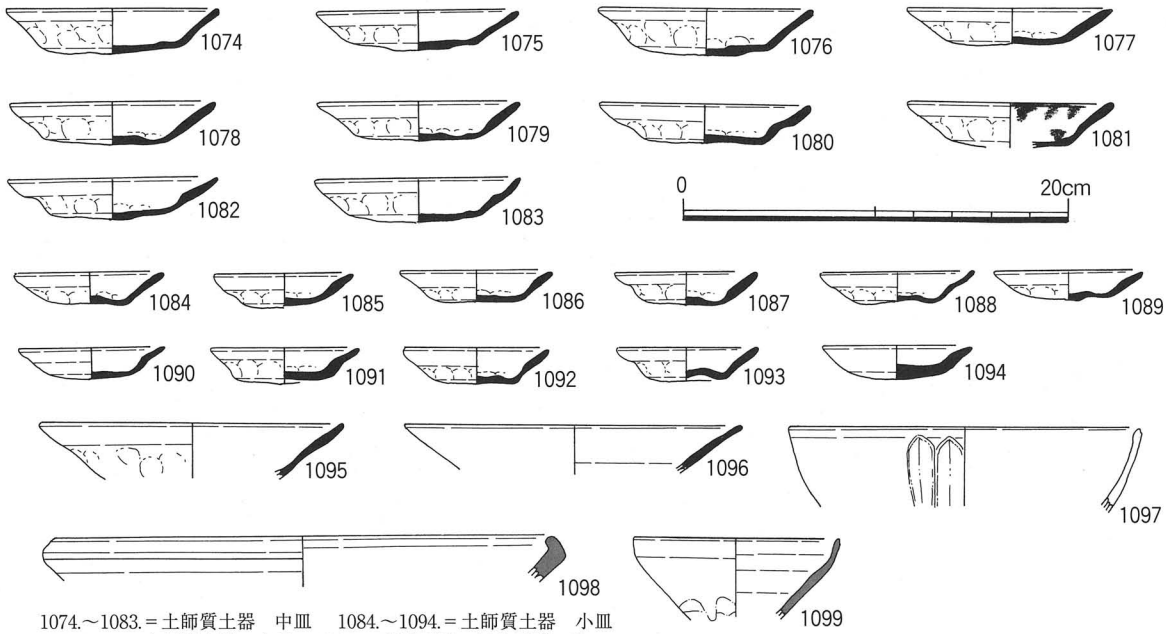
1029.～1053.＝土師質土器　中皿　1054.～1062.＝土師質土器　小皿
1063.～1067.＝土師質土器　大皿　1068.＝瓦質土器　鉢

図103　SK607出土土器　実測図



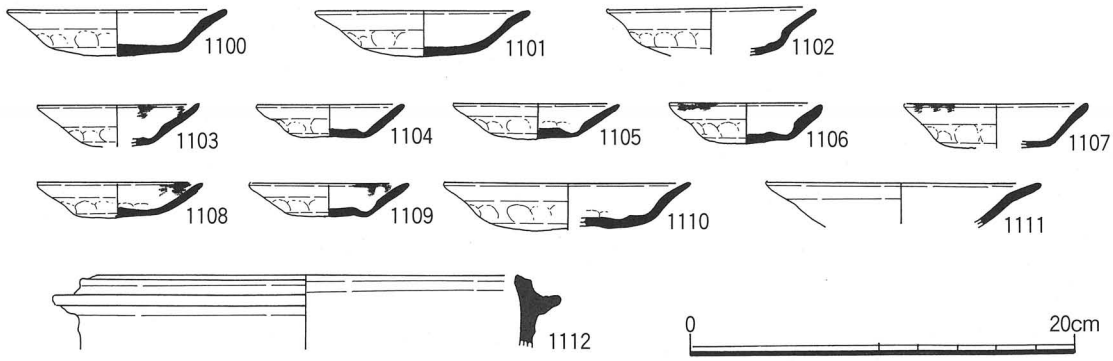
1069.1070.＝土師質土器　中皿　1071.～1073.＝土師質土器　小皿

図104　SK608出土土器　実測図



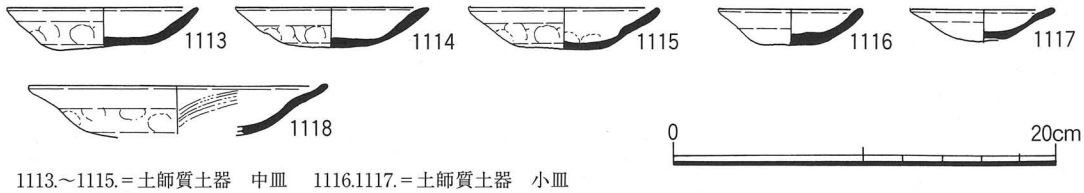
1074.～1083.＝土師質土器　中皿　1084.～1094.＝土師質土器　小皿
1095.1096.＝土師質土器　大皿　1097.＝産地不明　輸入青磁　碗
1098.＝東播系須恵器　鉢　1099.＝古瀬戸　天目茶碗

図105　SK610出土土器　実測図



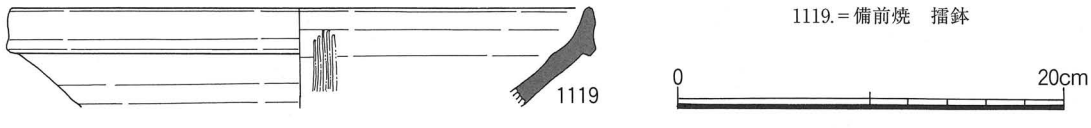
1100.～1102.＝土師質土器　中皿　1103.～1109.＝土師質土器　小皿
1110.1111.＝土師質土器　大皿　1112.＝瓦質土器　羽釜

図106　SK606出土土器　実測図



1113.～1115.＝土師質土器　中皿　1116.1117.＝土師質土器　小皿
1118.＝土師質土器　大皿

図107　SK604出土土器　実測図



1119.＝備前焼　擂鉢

図108　SK603出土土器　実測図

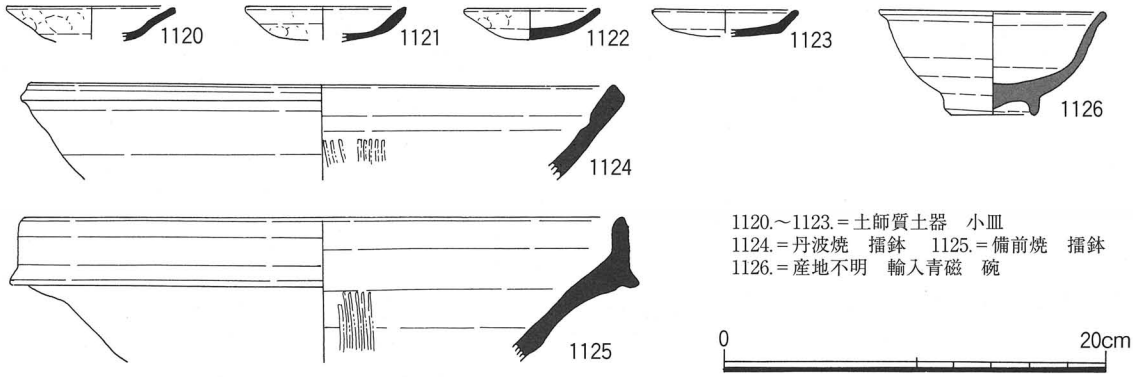


図109　SK609出土土器　実測図

図110　SP636・SP642出土土器　実測図

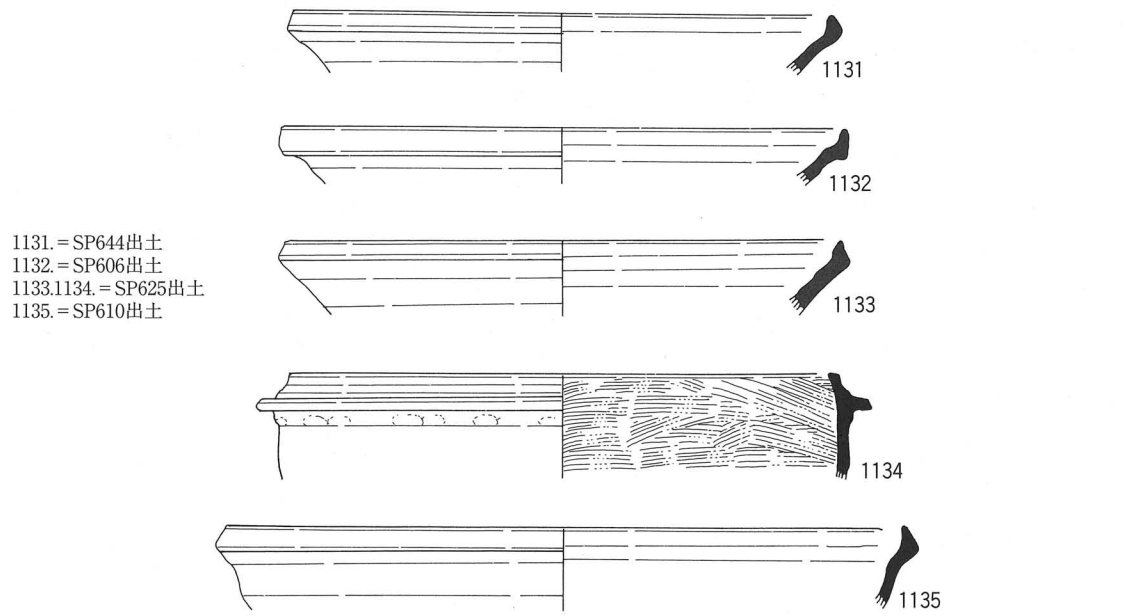


図111　その他の遺構出土土器　実測図

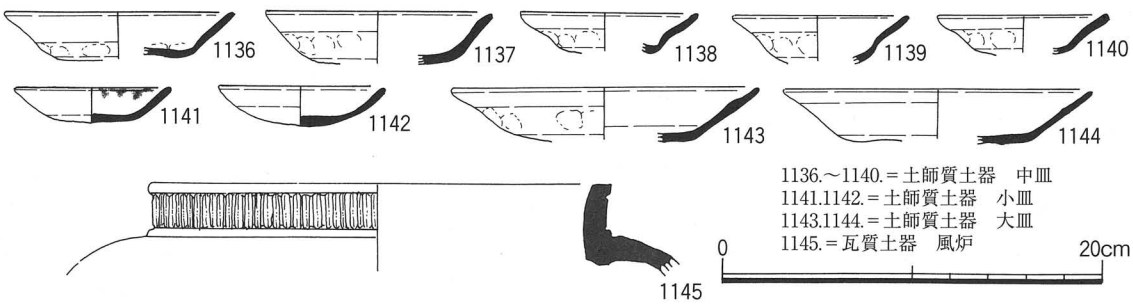
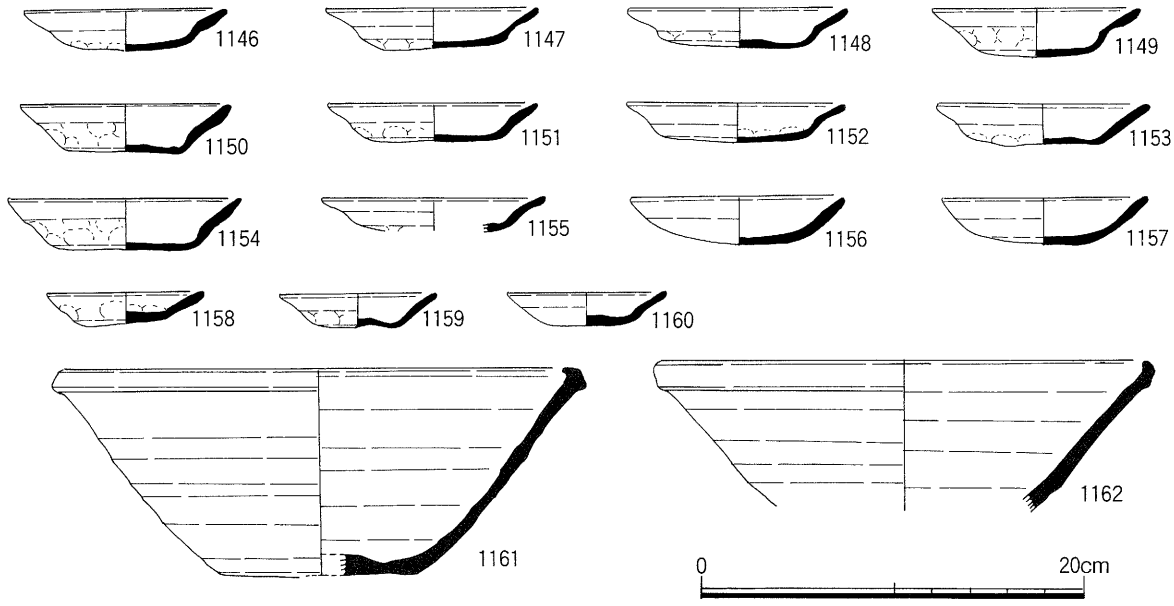
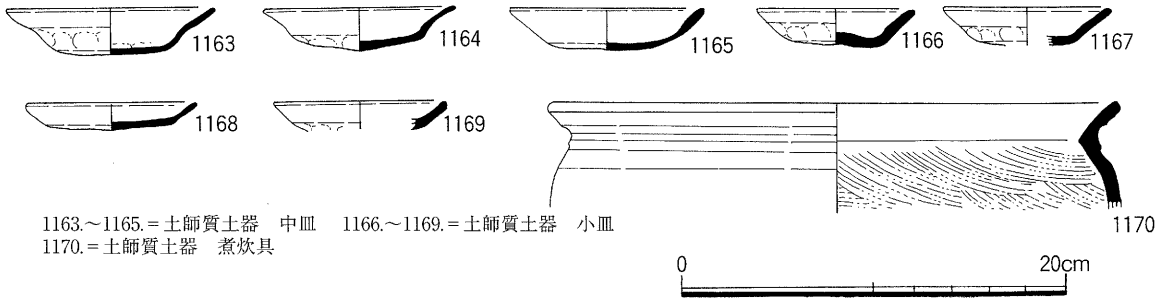


図112　SK602出土土器　実測図



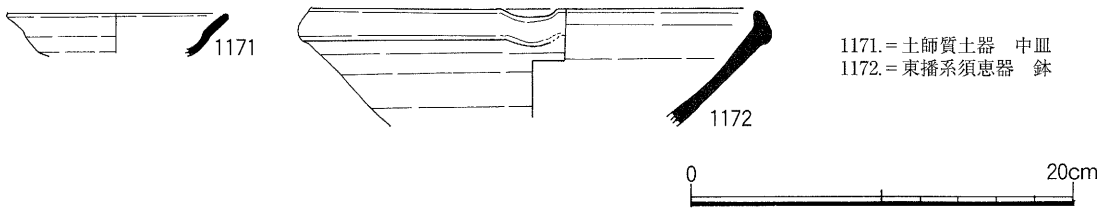
1146.～1157.＝土師質土器　中皿　1158.～1160.＝土師質土器　小皿
1161.1162.＝東播系須恵器　鉢

図113　SP639出土土器　実測図



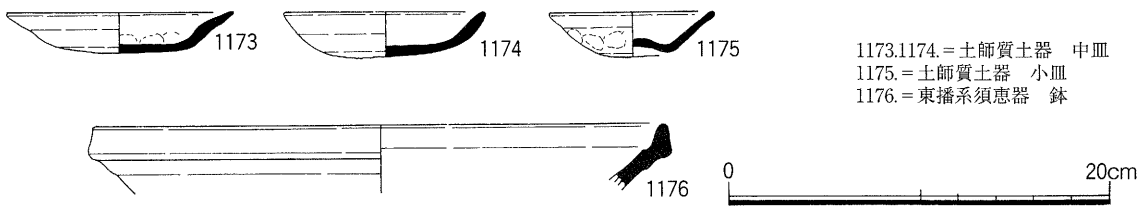
1163.～1165.＝土師質土器　中皿　1166.～1169.＝土師質土器　小皿
1170.＝土師質土器　煮炊具

図114　SP641出土土器　実測図



1171.＝土師質土器　中皿
1172.＝東播系須恵器　鉢

図115　SP637出土土器　実測図



1173.1174.＝土師質土器　中皿
1175.＝土師質土器　小皿
1176.＝東播系須恵器　鉢

図116　SP627出土土器　実測図

10. 第７遺構面出土の遺物　図117～図148

a. 遺構面の時期

第１から第６までの遺構面が人為的な整地層を基盤として築かれたものであるのに対し、第７遺構面は海浜堆積物および風性砂の自然堆積によって形成された砂丘地形＝浜堤帯上に築かれたものである。すなわち、兵庫津遺跡において、第７遺構面の砂層が集落形成が始まった原初の地形をなす層であり、最古段階の遺跡の姿なのである。

第７遺構面では、地山層であることが影響して、上位の遺構面で掘り残したものがまとめて検出された。そのため、遺構の示す年代に一見大きくばらつきが生じている。しかし、ここから上位の遺構面で検出ずべきものを排除すると、比較的明瞭に砂層上で展開していた遺構の時期が読み取れる。

第７遺構面では、15世紀後半の遺構が五箇所、初頭を含めて15世紀前半の遺構が三箇所、14世紀前半が七箇所、半ばを含めて14世紀前半が五箇所、15から14世紀にかけてのどこかと、詳細が判定し難いものが三箇所、13世紀代が三箇所あった。このうち15世紀代にかかるものは、すべて掘り残しの可能性がある。15世紀後半のものは第４遺構面の掘り残し、15世紀前半のものは第５遺構面の掘り残しであろうか。

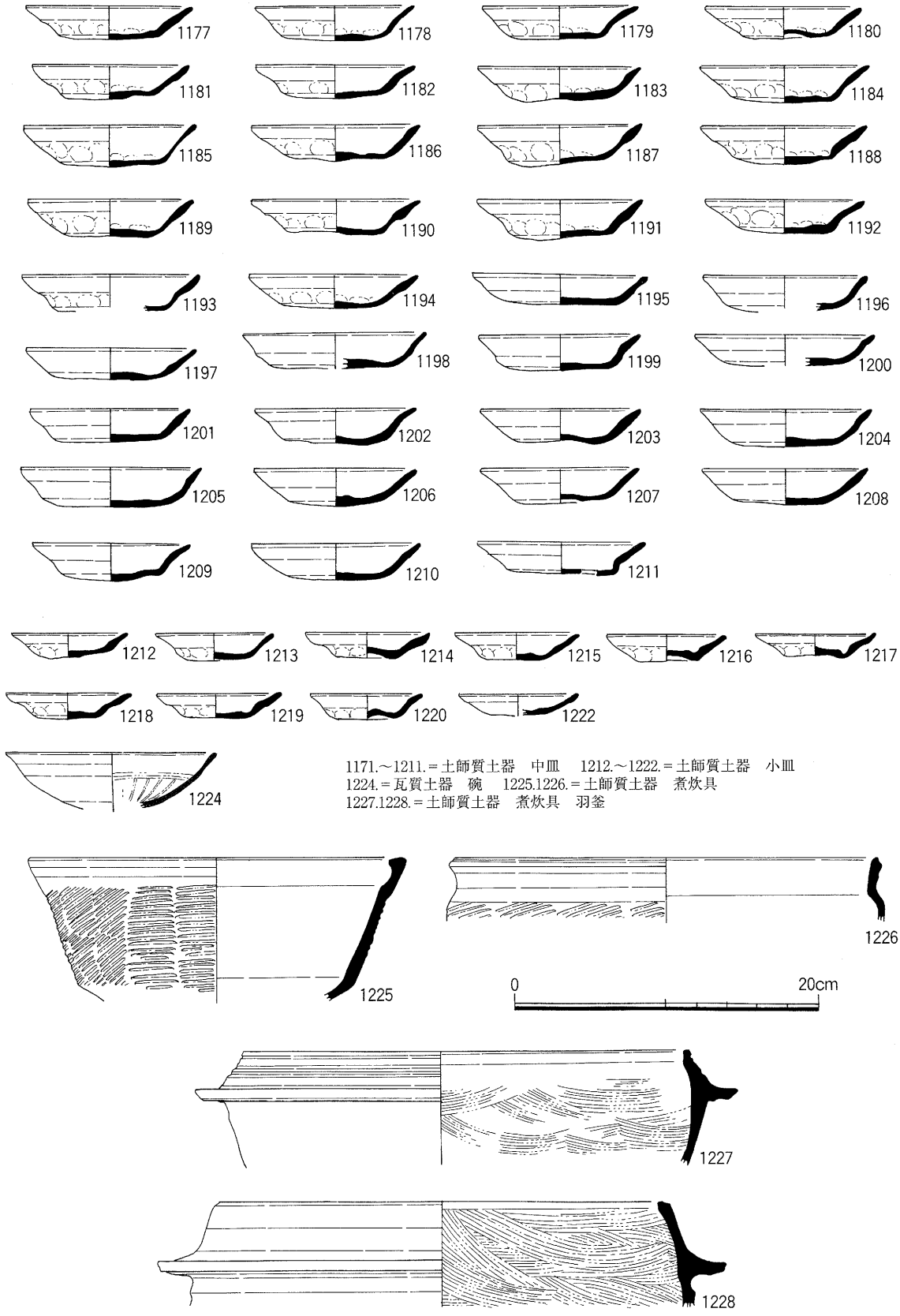
遺構の傾向から判断すると、第７遺構面本来の時期は13世紀前半から14世紀前半にかけてが主となるが、14世紀後半にまで及ぶ可能性も残る。したがって、本報告では地山の砂層上に遺構が築かれた年代幅を13世紀から14世紀と大きくとっておく。

b. 各遺構の時期

SH701から出土したもののうち、土師質皿類は、遺構南端から塊で出土した一括資料である。遺構廃絶時にかわらけを用いた祭祀行為が行われたと考えている。瓦器碗が出土しているが、土師質土器煮炊具がそれより新相を示しており、これを採用した。

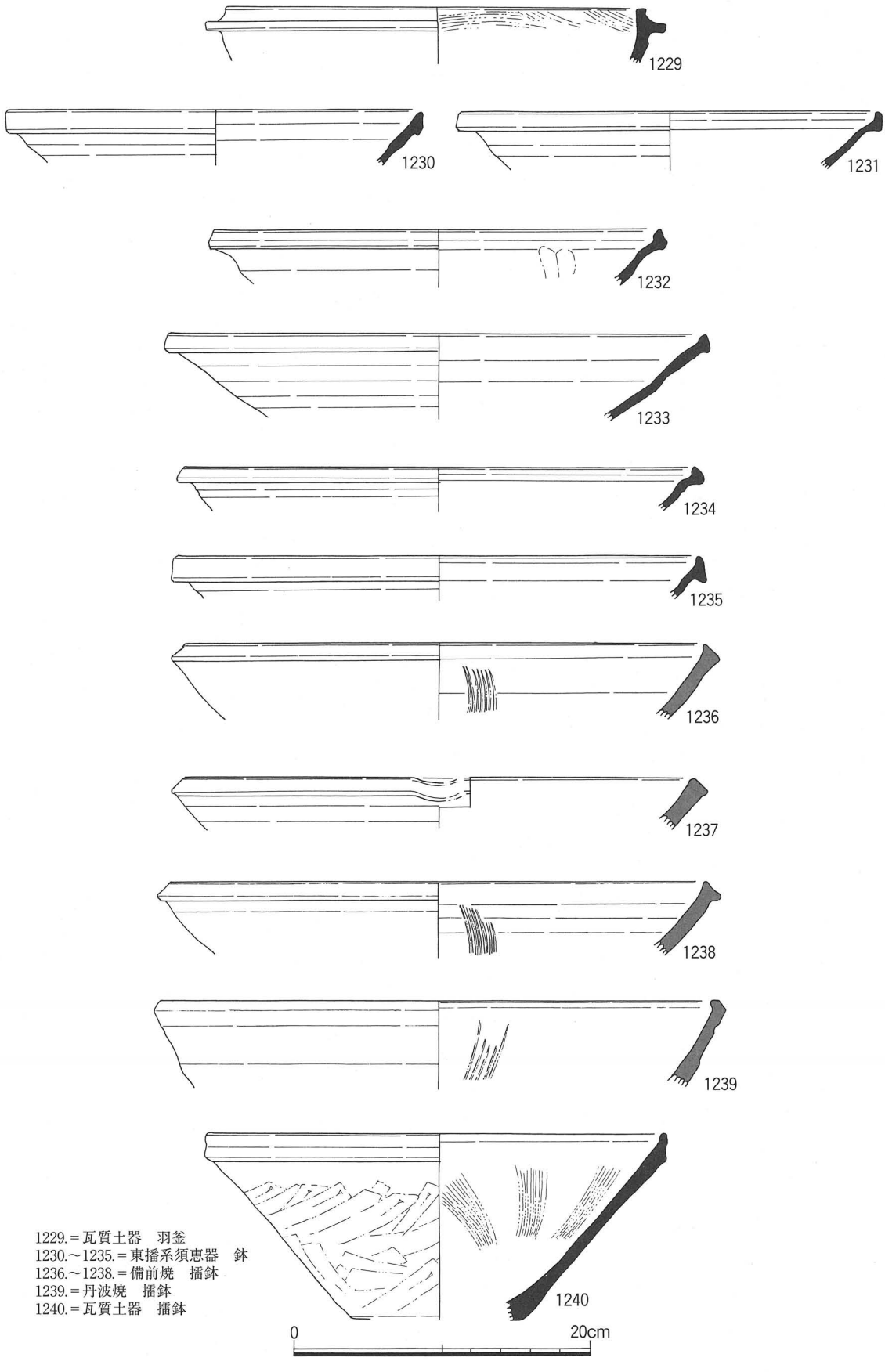
SH702も、土師質土器煮炊具から判断した。備前焼擂鉢もこれと齟齬のない時期を示している。

SH703も土師質煮炊具から。SH704は土師質土器皿類のセット関係から、SX705は備前焼擂鉢の形態から判断した。共伴する古瀬戸卸皿もこれを支持している。SD701は90度に屈曲する溝である。その内側のSX701は「かわらけ埋納土坑」である。溝は建物の外堀である可能性を考えていいる。土器の出土状況も、SD701は散漫な廃棄の様相を、SX101は意思的な埋納・投棄といった印象を与える。それぞれ土師質煮炊具から判断した。SD702は古瀬戸天目碗および、折縁深皿それぞれが示す時期が合致しており、これを採用した。SD704は土師質煮炊具から、土師質土器煮炊具が出土している遺構は、基本的にその年代観に基づいて判断した。土師質土器皿類しか判断基準がないものでも、後述する年代案に沿って一定の判断を与えた。SK711は瓦質土器の碗、SK714は瓦質土器の擂鉢から判断した。



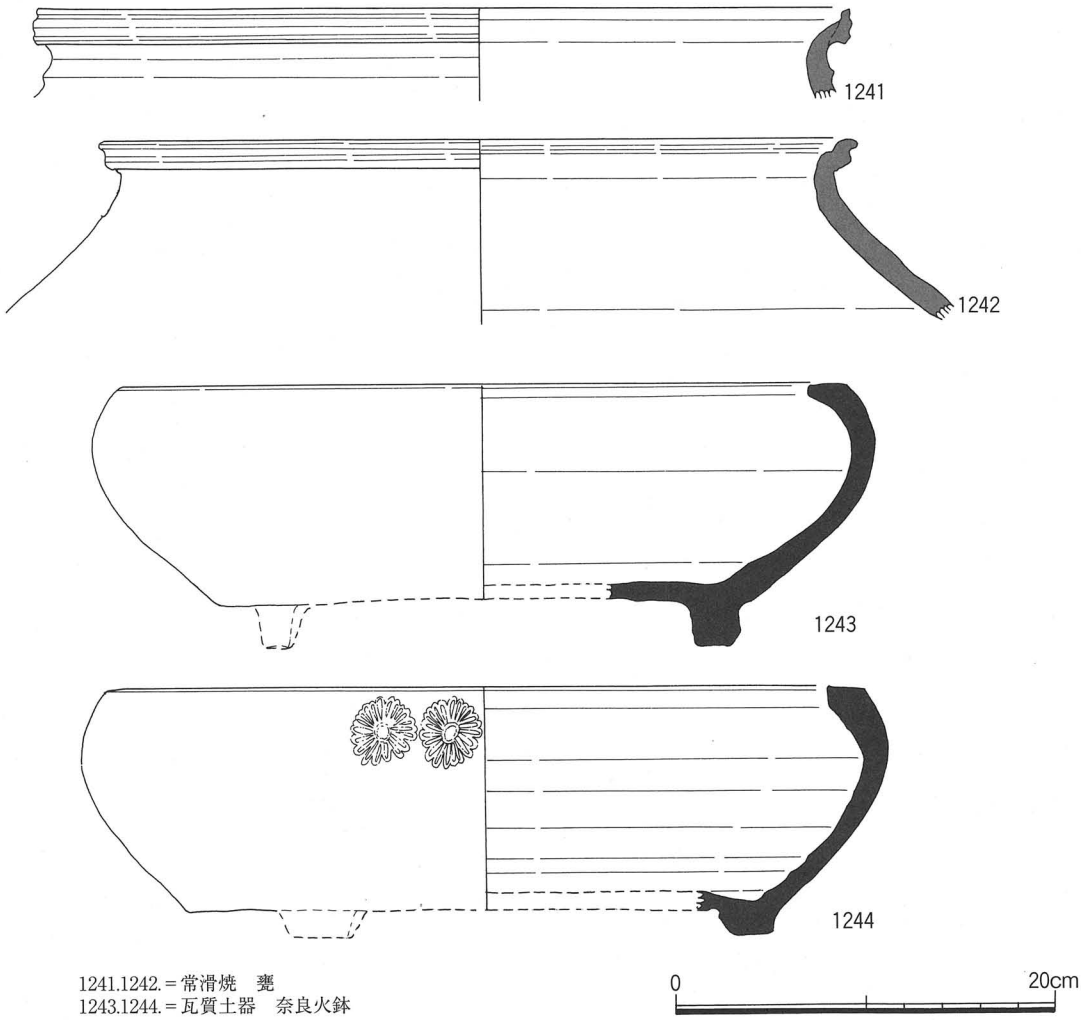
1171.～1211.＝土師質土器　中皿　1212.～1222.＝土師質土器　小皿
1224.＝瓦質土器　碗　1225.1226.＝土師質土器　煮炊具
1227.1228.＝土師質土器　煮炊具　羽釜

図117　SH701出土土器　実測図1



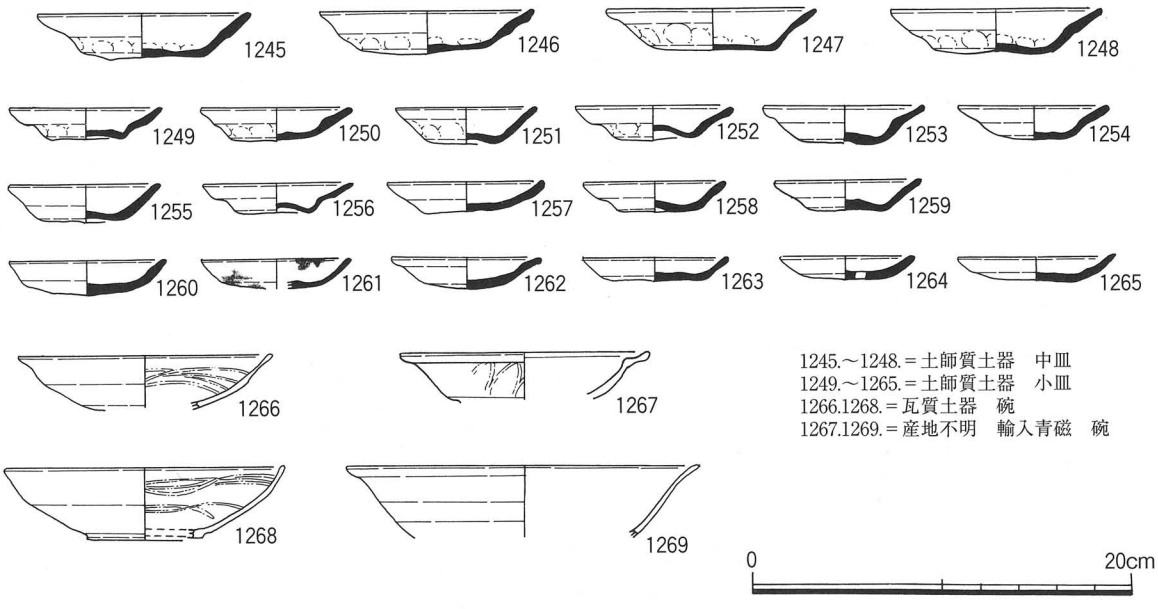
1229.＝瓦質土器　羽釜
1230.～1235.＝東播系須恵器　鉢
1236.～1238.＝備前焼　擂鉢
1239.＝丹波焼　擂鉢
1240.＝瓦質土器　擂鉢

図118　SH701出土土器　実測図2



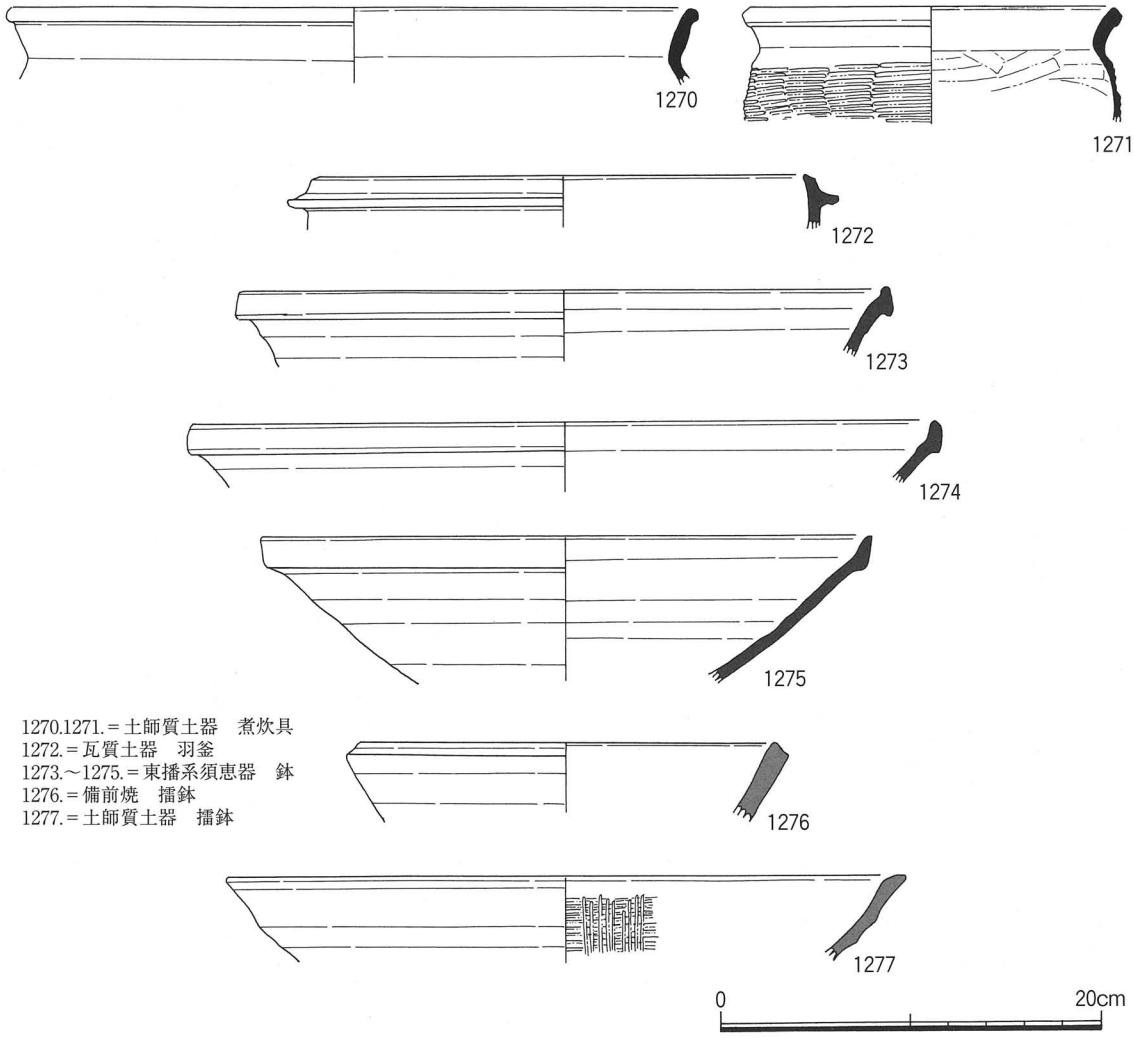
1241.1242.＝常滑焼　甕
1243.1244.＝瓦質土器　奈良火鉢

図119　SH701出土土器　実測図3



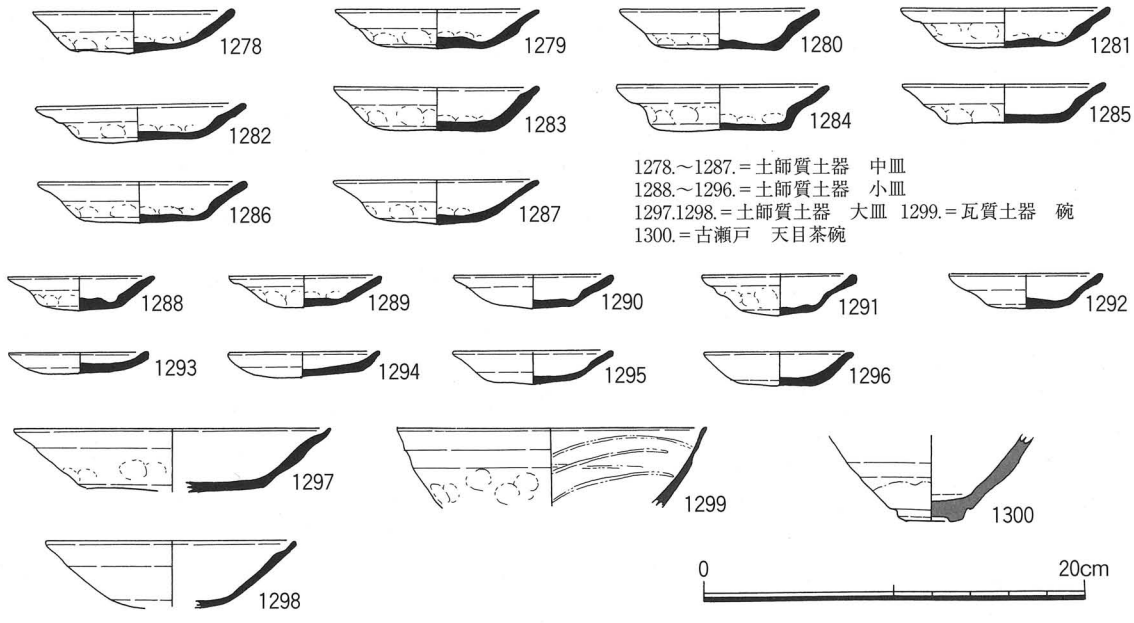
1245.～1248.＝土師質土器　中皿
1249.～1265.＝土師質土器　小皿
1266.1268.＝瓦質土器　碗
1267.1269.＝産地不明　輸入青磁　碗

図120　SH702出土土器　実測図1



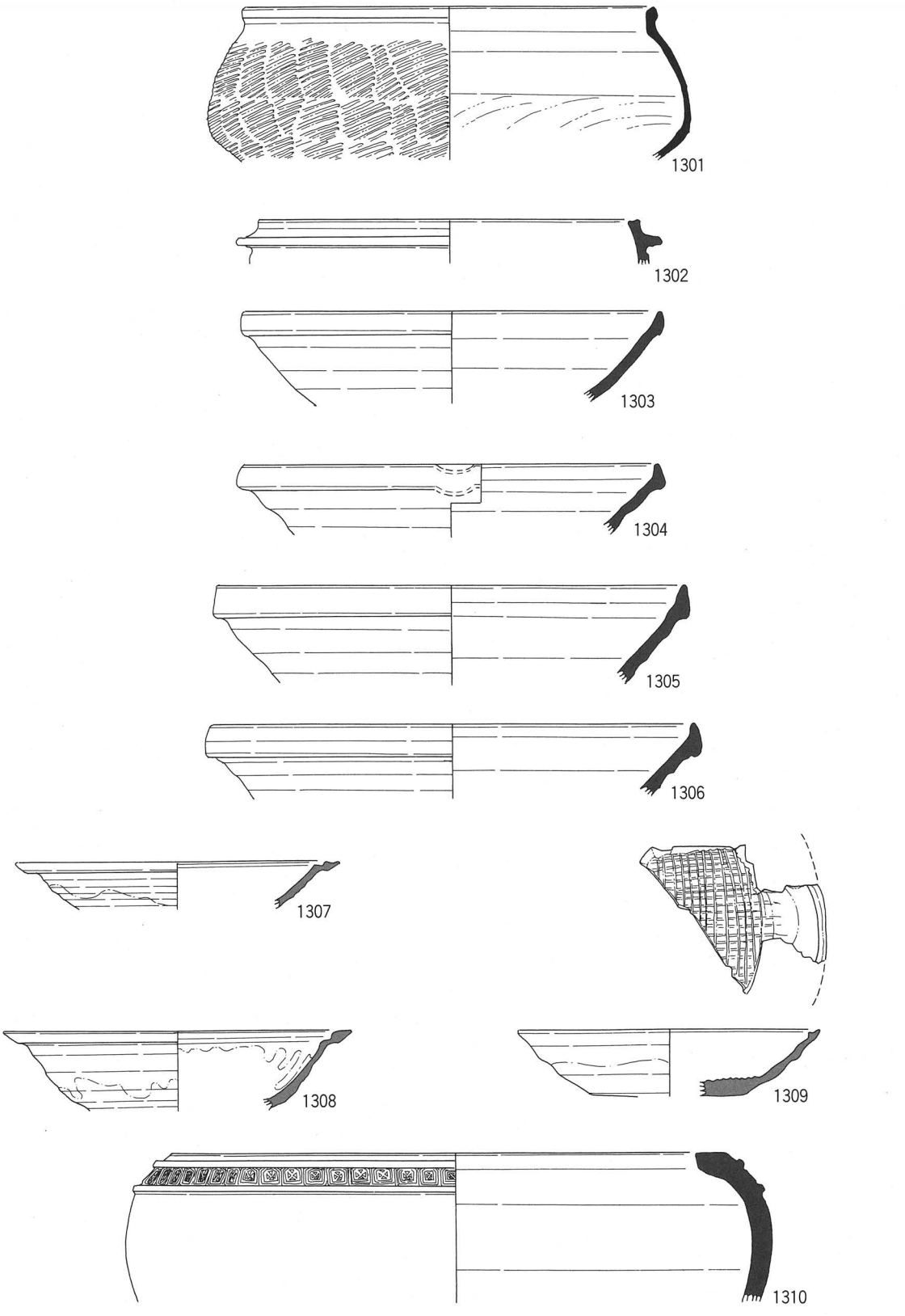
1270.1271.＝土師質土器　煮炊具
1272.＝瓦質土器　羽釜
1273.～1275.＝東播系須恵器　鉢
1276.＝備前焼　擂鉢
1277.＝土師質土器　擂鉢

図121　SH702出土土器　実測図2



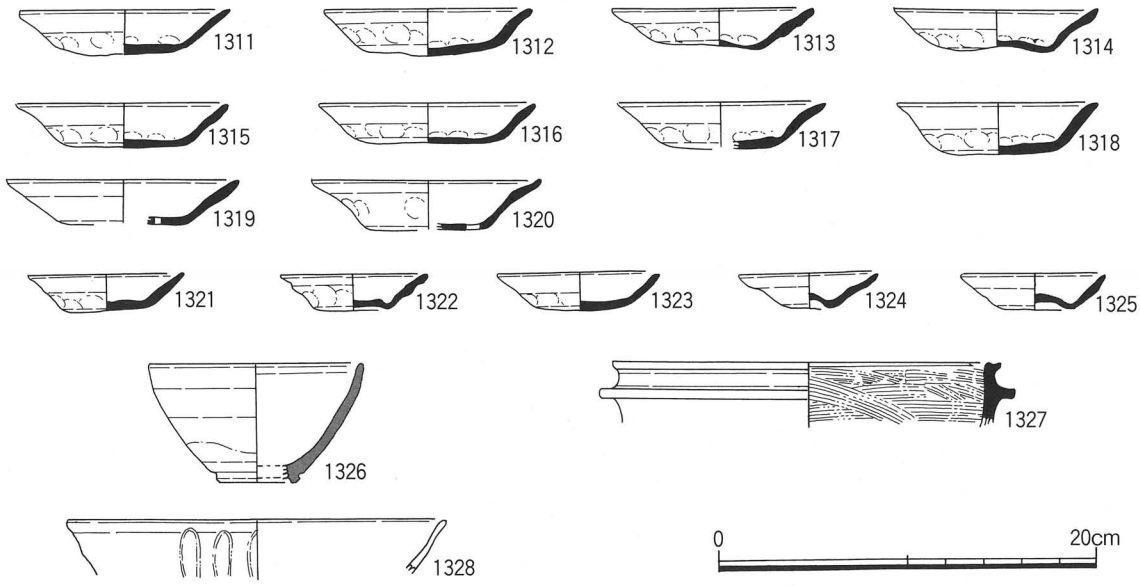
1278.～1287.＝土師質土器　中皿
1288.～1296.＝土師質土器　小皿
1297.1298.＝土師質土器　大皿　1299.＝瓦質土器　碗
1300.＝古瀬戸　天目茶碗

図122　SD701出土土器　実測図1



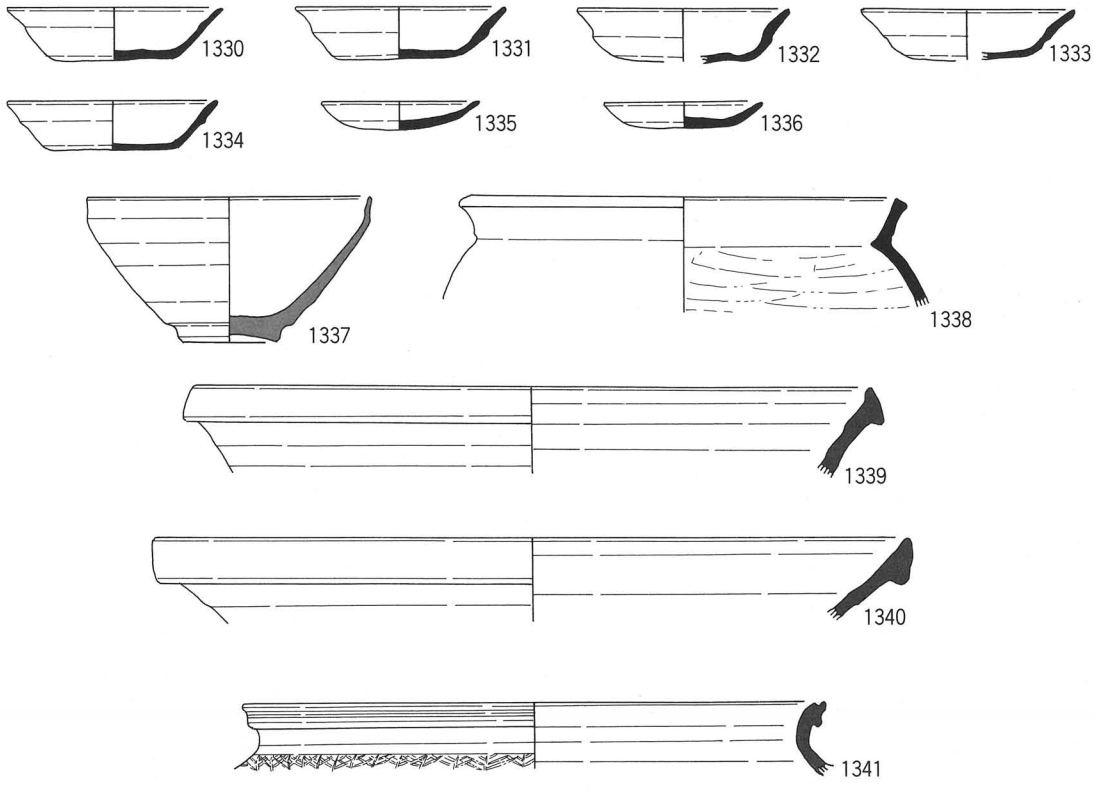
1301.＝土師質土器　煮炊具　1302.＝瓦質土器　羽釜
1303.～1306.＝東播系須恵器　鉢　1307.1308.＝古瀬戸　端折深皿
1309.＝古瀬戸　卸皿　1310.＝瓦質土器　奈良火鉢

図123　SD701出土土器　実測図2



1311.～1320.＝土師質土器　中皿　1321.～1325.＝土師質土器　小皿
1326.＝古瀬戸　天目茶碗　1327.＝瓦質土器　羽釜
1328.＝産地不明　輸入青磁　碗

図124　SP735出土土器　実測図



1330.～1334.＝土師質土器　中皿　1335.1336.＝土師質土器　小皿
1337.＝古瀬戸　天目茶碗　1338.＝土師質土器　煮炊具
1339.1340.＝東播系須恵器　鉢　1341.＝東播系須恵器　甕

図125　SH703出土土器　実測図

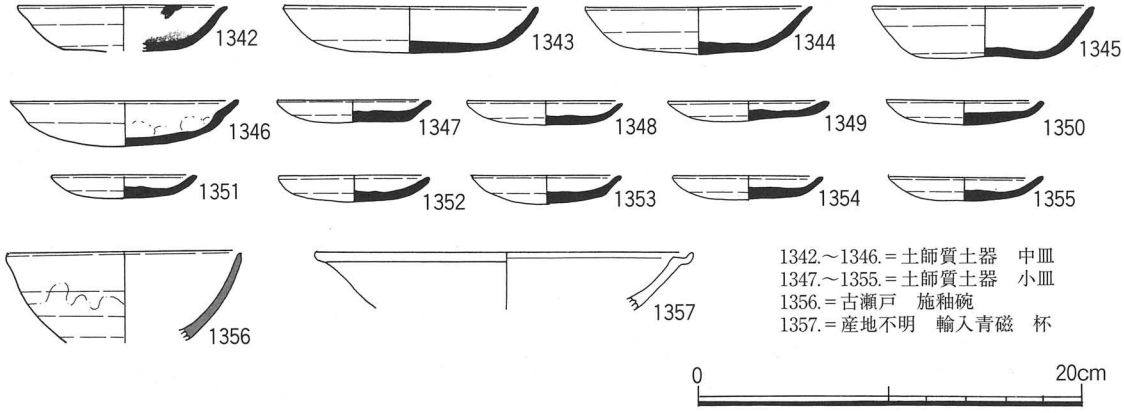


図126　SH704出土土器　実測図

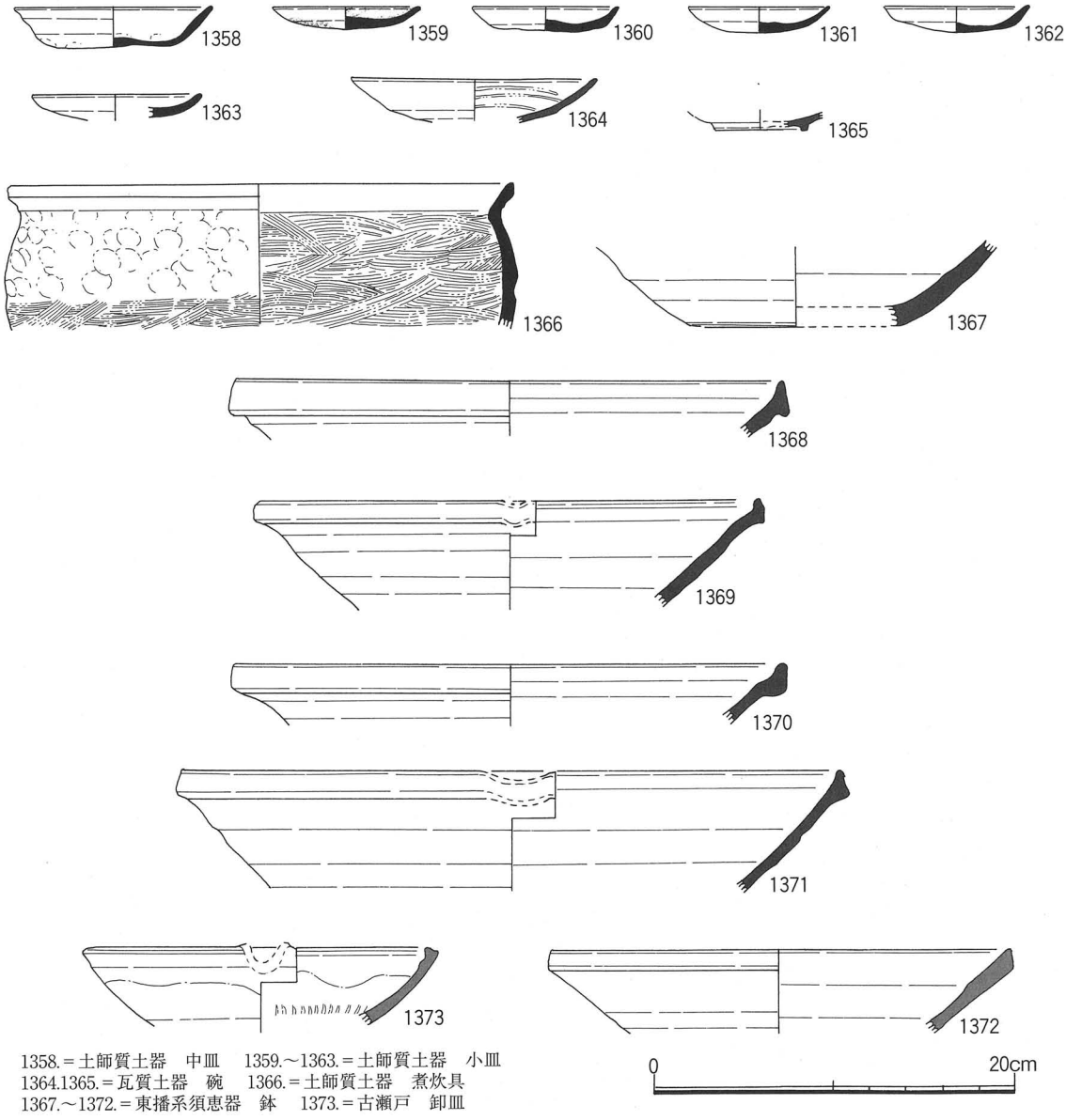
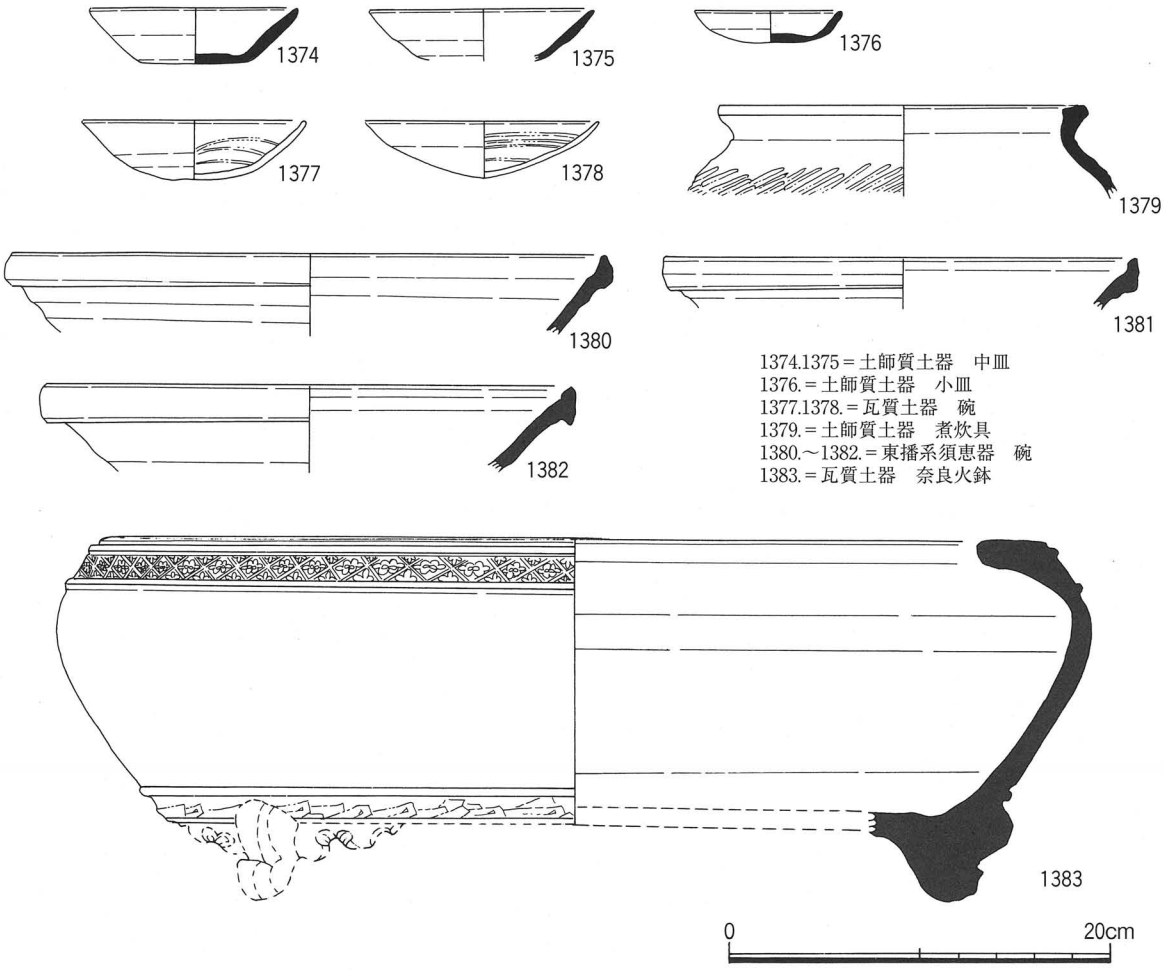
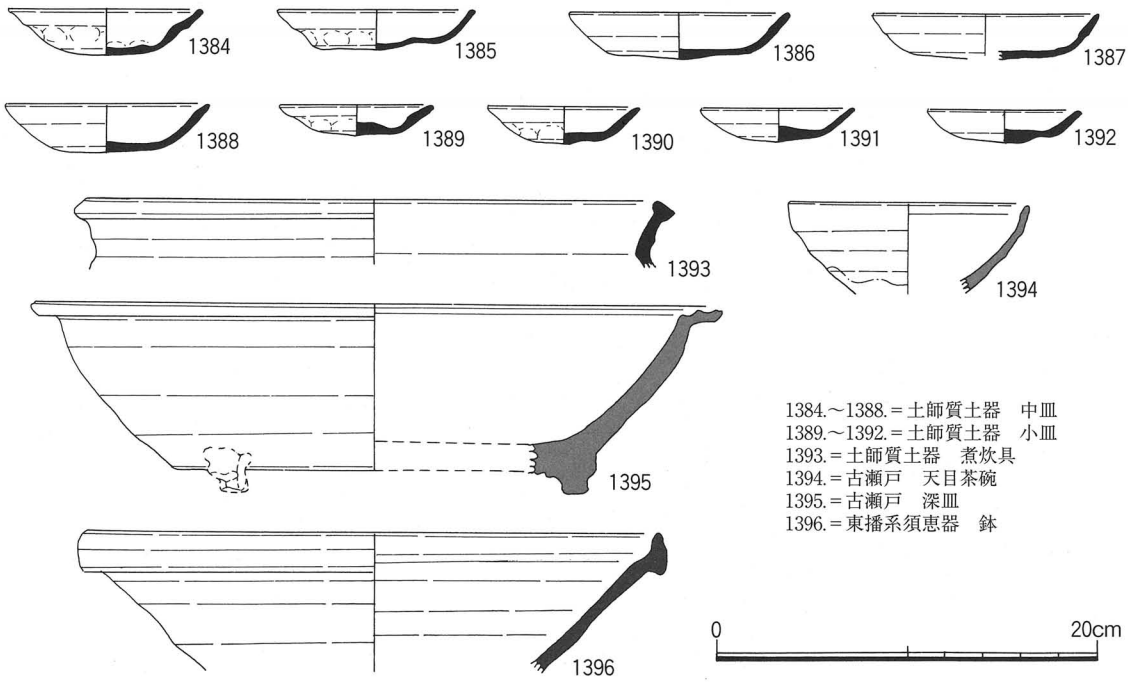


図127　SX705出土土器　実測図



1374.1375＝土師質土器　中皿
1376.＝土師質土器　小皿
1377.1378.＝瓦質土器　碗
1379.＝土師質土器　煮炊具
1380.～1382.＝東播系須恵器　碗
1383.＝瓦質土器　奈良火鉢

図128　SD704出土土器　実測図



1384.～1388.＝土師質土器　中皿
1389.～1392.＝土師質土器　小皿
1393.＝土師質土器　煮炊具
1394.＝古瀬戸　天目茶碗
1395.＝古瀬戸　深皿
1396.＝東播系須恵器　鉢

図129　SD702出土土器　実測図

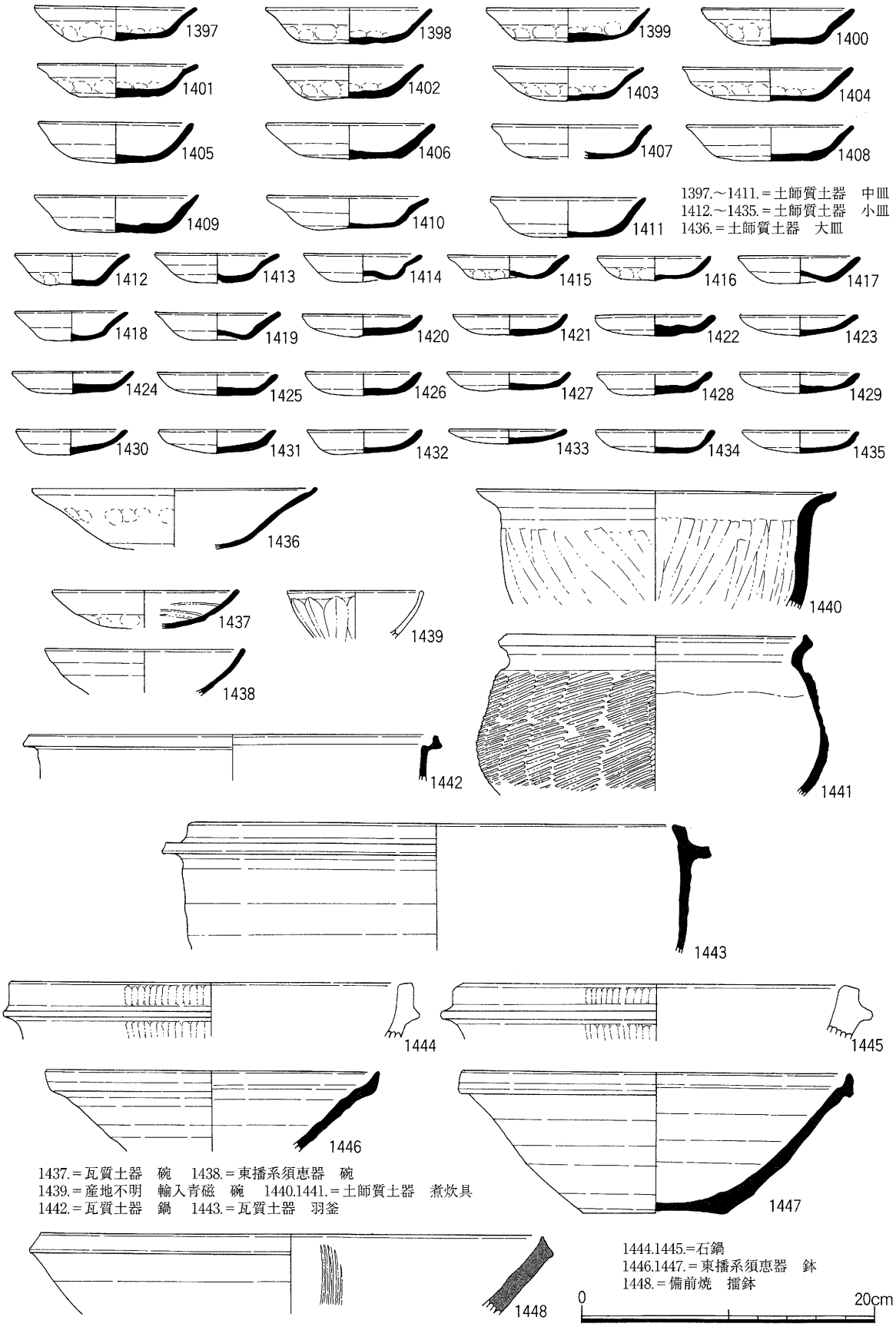
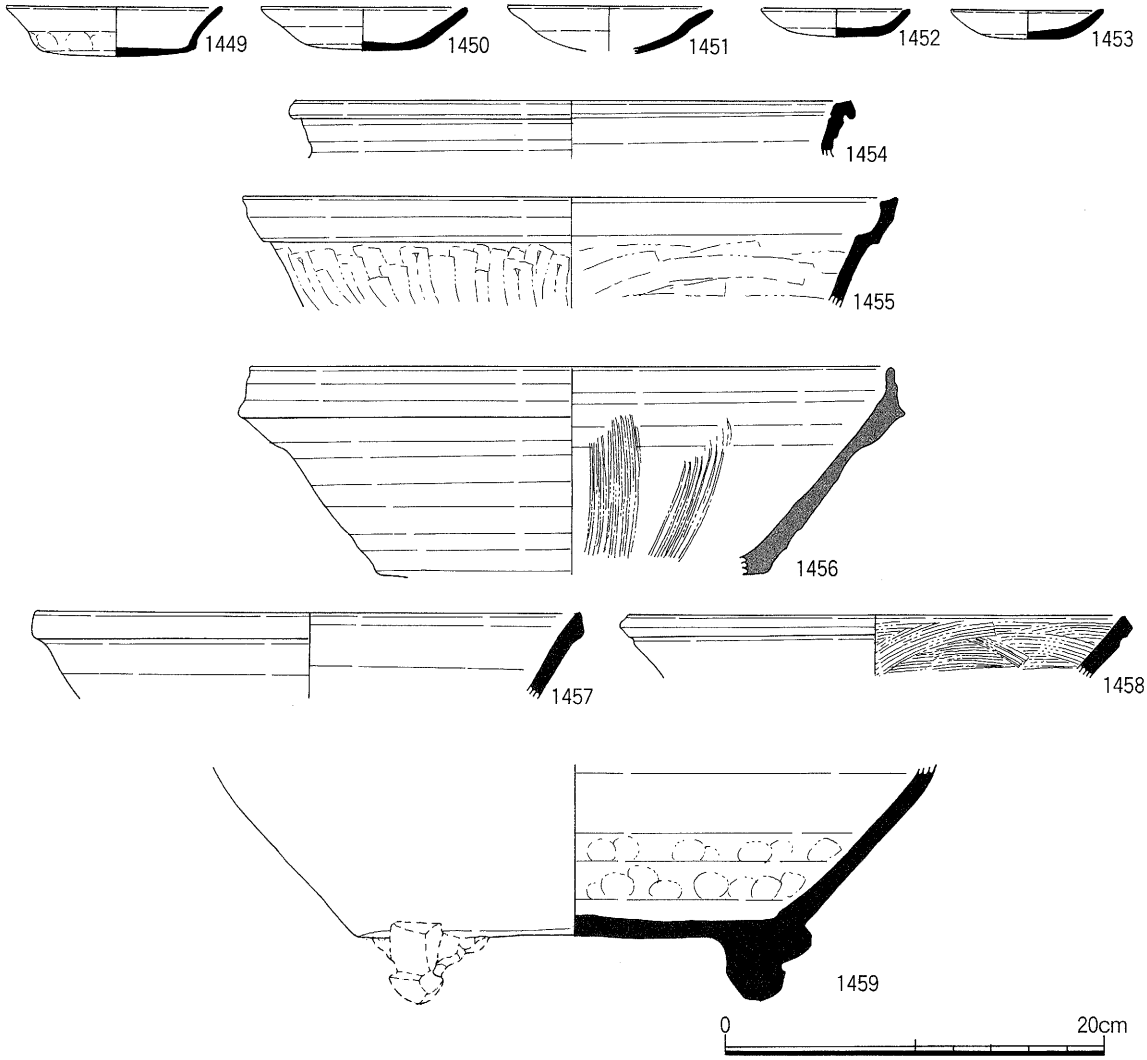
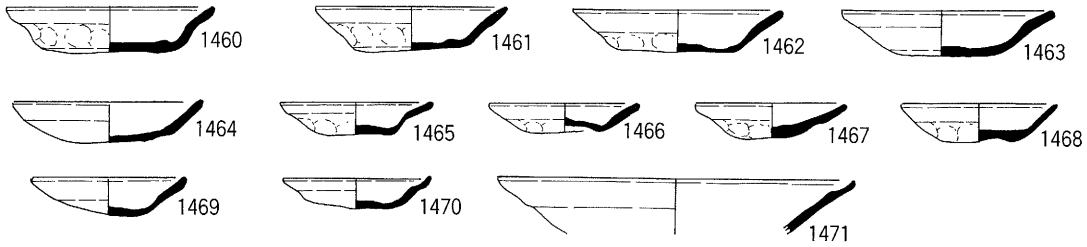


図130　SX704出土土器　実測図



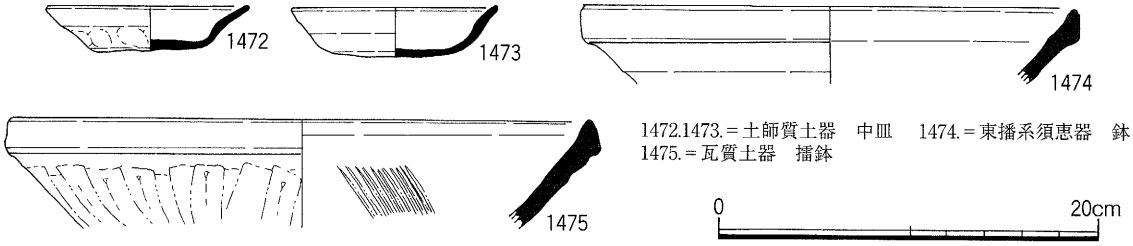
1449.～1451.＝土師質土器　中皿　1452.1453.＝土師質土器　小皿
1454.＝土師質土器　煮炊具　1455.＝瓦質土器　鍋
1456.＝備前焼　擂鉢　1457.＝東播系須恵器　擂鉢
1458.＝瓦質土器　擂鉢　1459.＝瓦質土器　奈良火鉢
1449.～1453.　1455.～1457.　1459.＝SK719出土
1454.＝SK721出土　1458.＝SK723出土

図131　その他の遺構出土土器　実測図



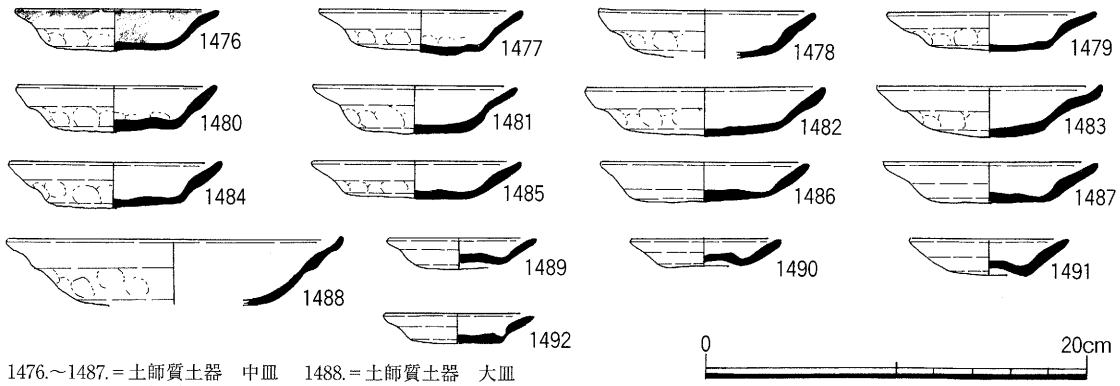
1460.～1464.＝土師質土器　中皿　1465.～1470.＝土師質土器　小皿
1471.＝土師質土器　大皿

図132　SK701出土土器　実測図



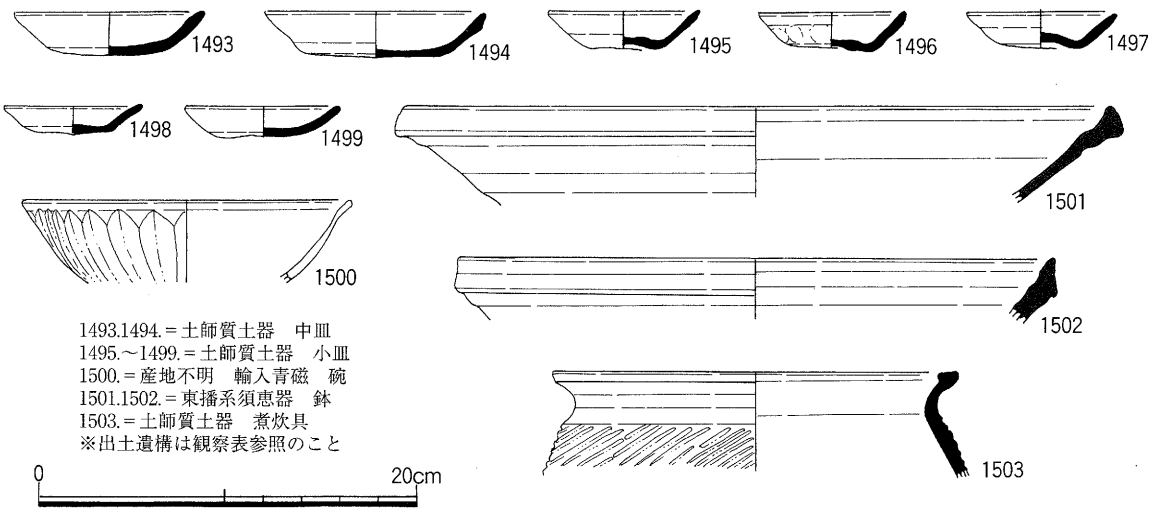
1472.1473.＝土師質土器　中皿　1474.＝東播系須恵器　鉢
1475.＝瓦質土器　擂鉢

図133　SK714出土土器　実測図



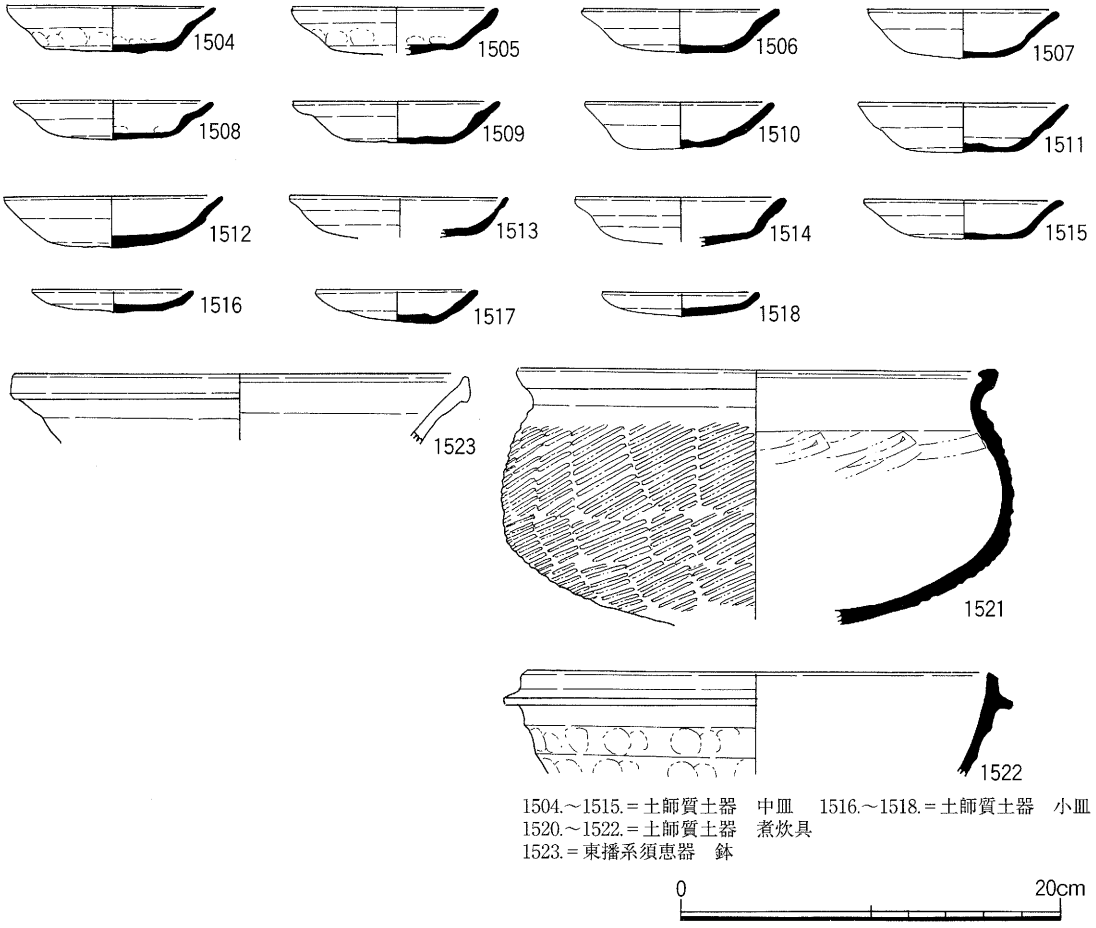
1476.～1487.＝土師質土器　中皿　1488.＝土師質土器　大皿
1489.～1492.＝土師質土器　小皿

図134　SK703出土土器　実測図



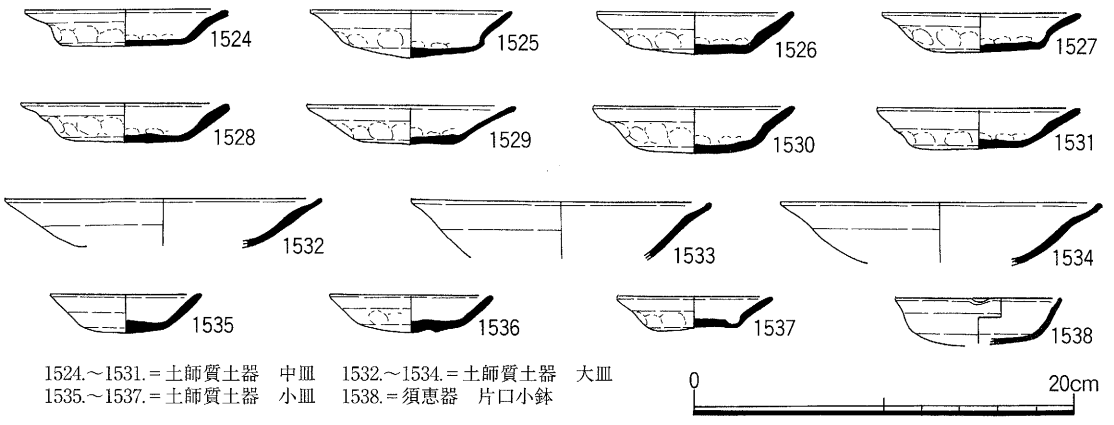
1493.1494.＝土師質土器　中皿
1495.～1499.＝土師質土器　小皿
1500.＝産地不明　輸入青磁　碗
1501.1502.＝東播系須恵器　鉢
1503.＝土師質土器　煮炊具
※出土遺構は観察表参照のこと

図135　その他の遺構出土土器　実測図



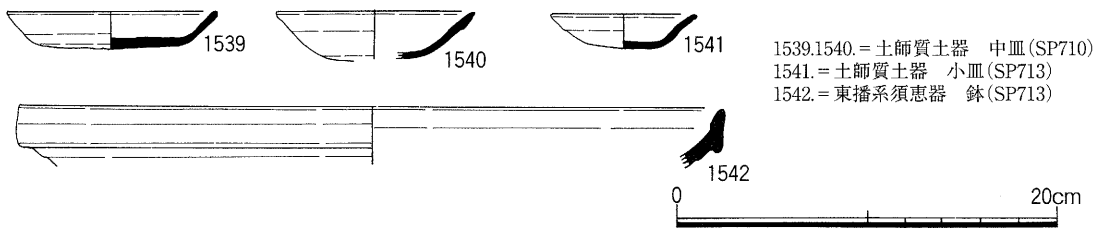
1504.～1515.＝土師質土器　中皿　1516.～1518.＝土師質土器　小皿
1520.～1522.＝土師質土器　煮炊具
1523.＝東播系須恵器　鉢

図136　SX702出土土器　実測図



1524.～1531.＝土師質土器　中皿　1532.～1534.＝土師質土器　大皿
1535.～1537.＝土師質土器　小皿　1538.＝須恵器　片口小鉢

図137　SK702出土土器　実測図



1539.1540.＝土師質土器　中皿(SP710)
1541.＝土師質土器　小皿(SP713)
1542.＝東播系須恵器　鉢(SP713)

図138　その他の遺構出土土器　実測図

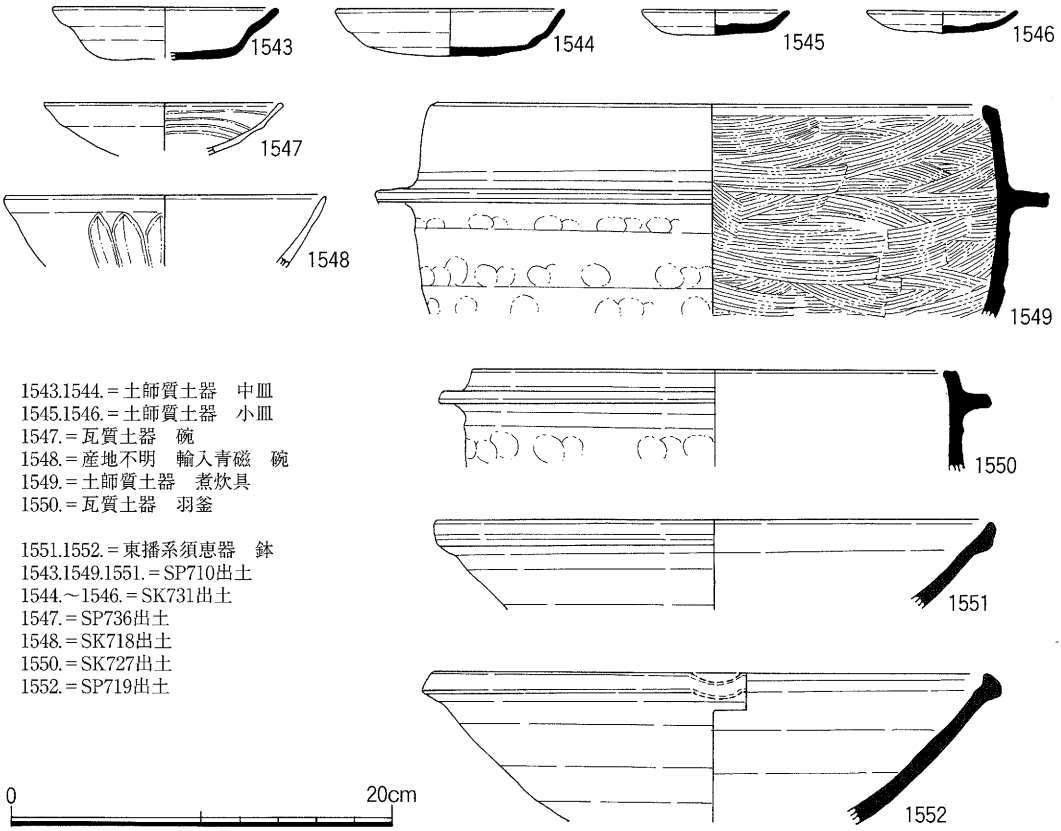


図139　その他の遺構出土土器　実測図

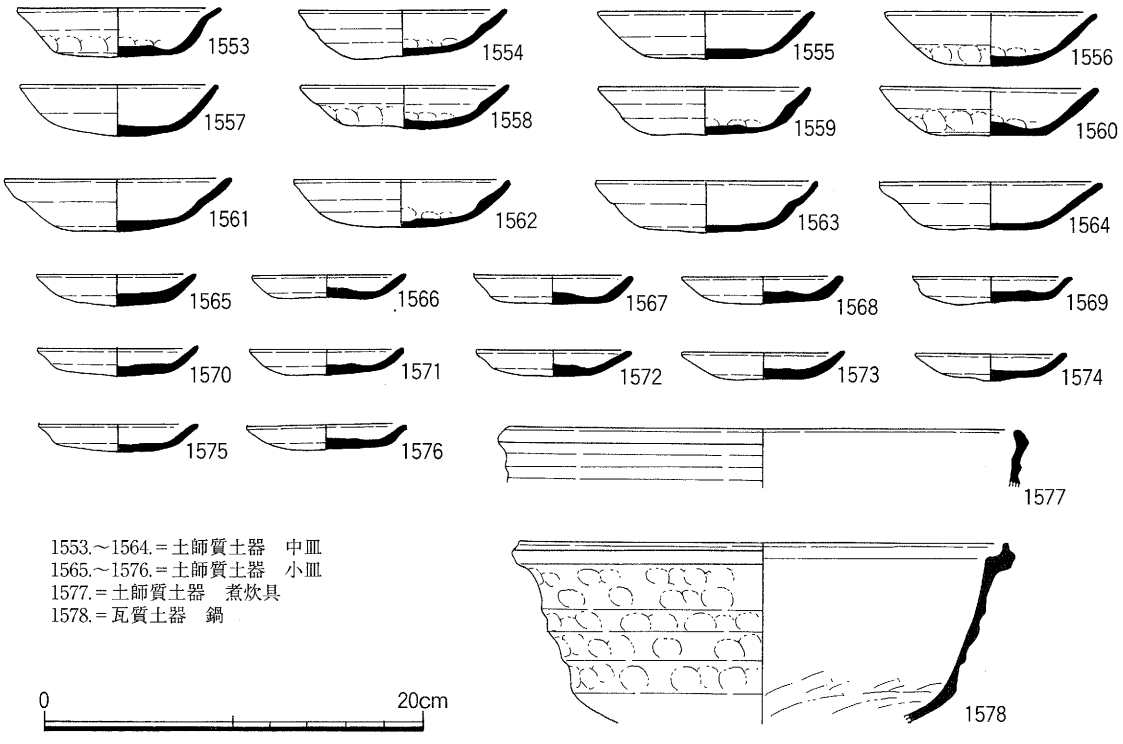


図140　SK717出土土器　実測図

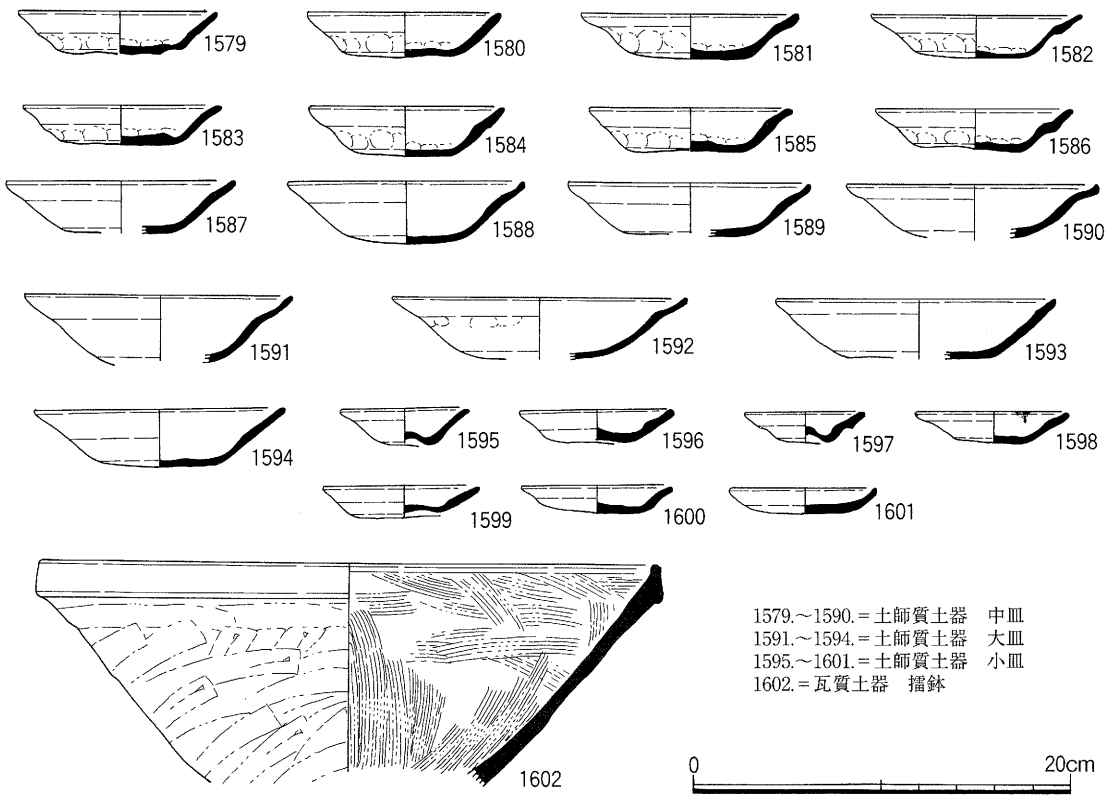


図141　SX701出土土器　実測図

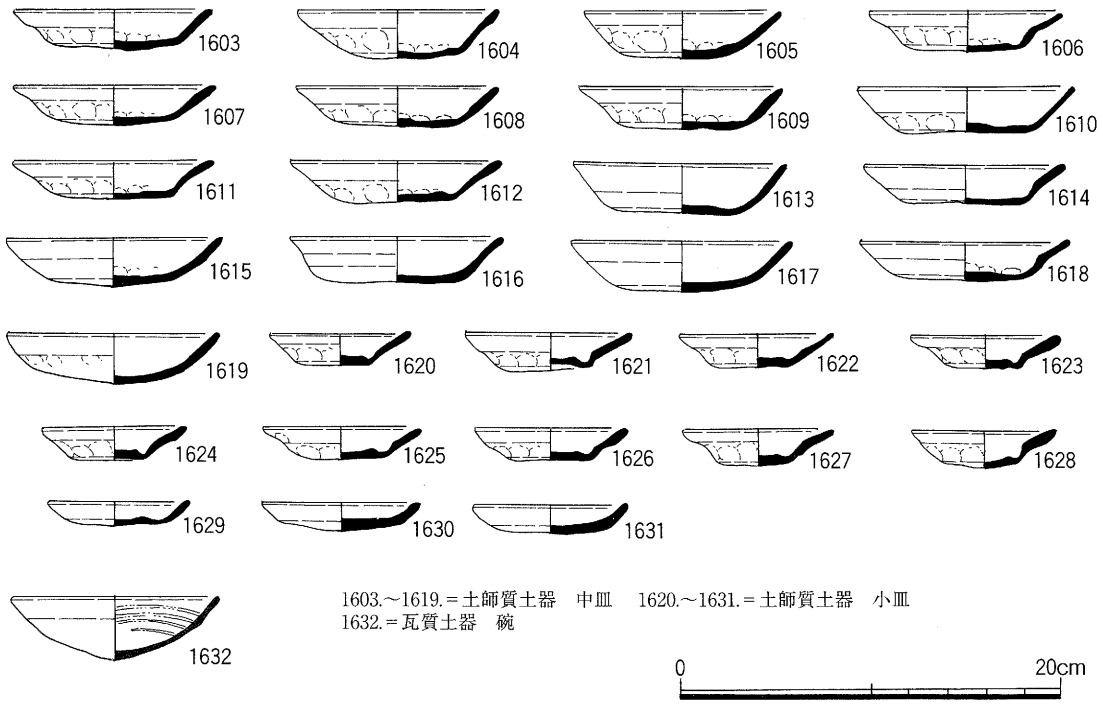
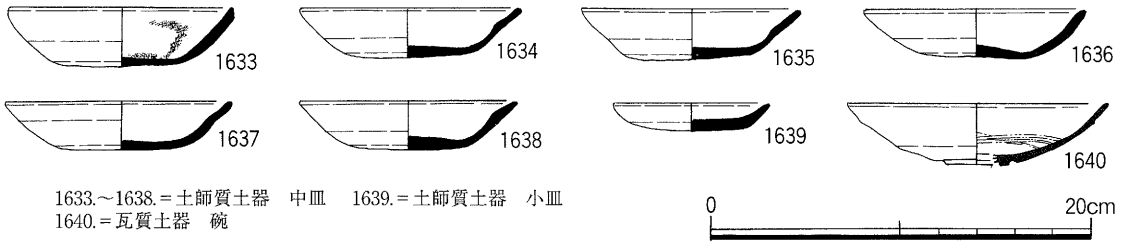
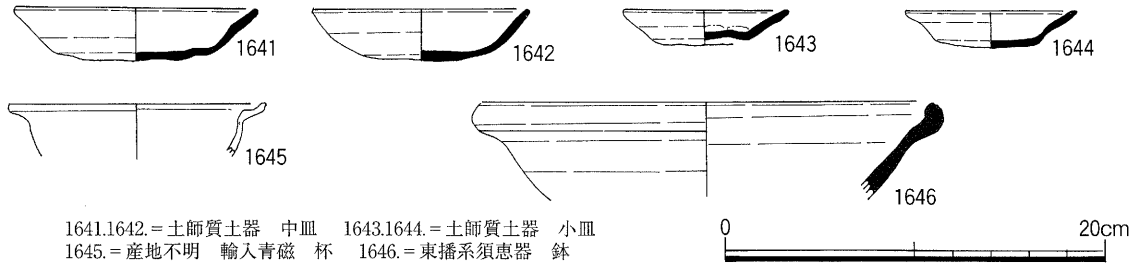


図142　SK711出土土器　実測図



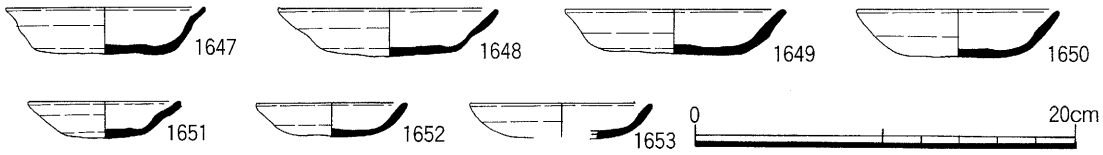
1633.～1638.＝土師質土器　中皿　1639.＝土師質土器　小皿
1640.＝瓦質土器　碗

図143　SK728出土土器　実測図



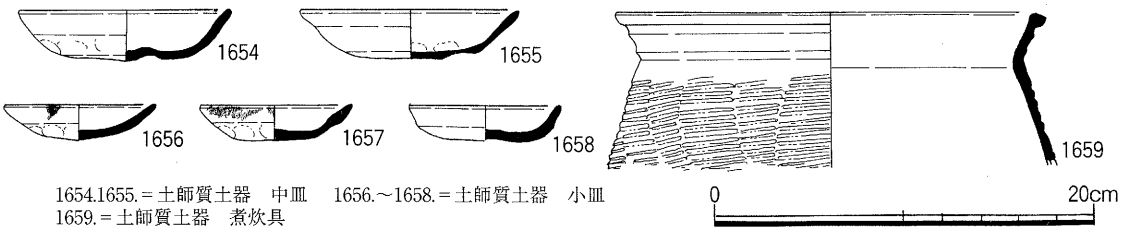
1641.1642.＝土師質土器　中皿　1643.1644.＝土師質土器　小皿
1645.＝産地不明　輸入青磁　杯　1646.＝東播系須恵器　鉢

図144　SK732出土土器　実測図



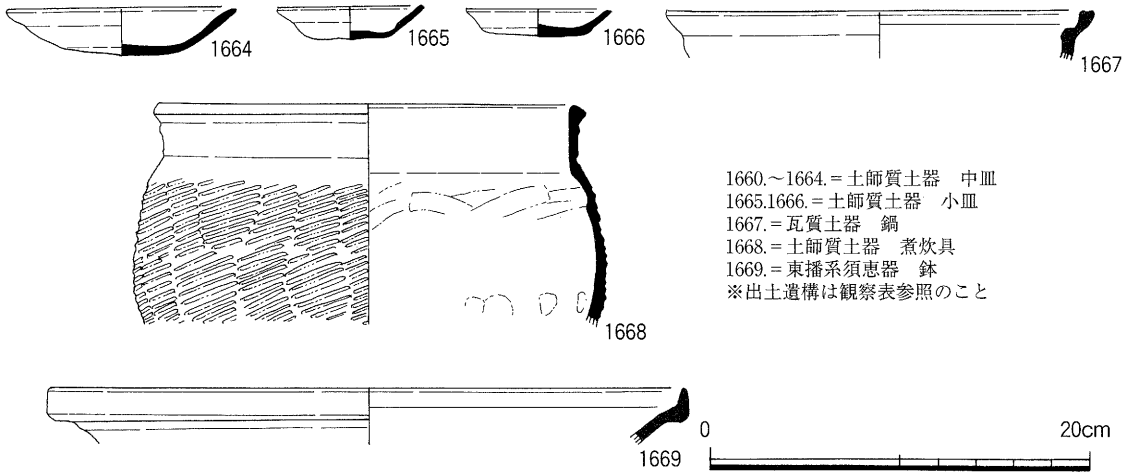
1647.～1650.＝土師質土器　中皿　1651.～1653.＝土師質土器　小皿

図145　SP731出土土器　実測図



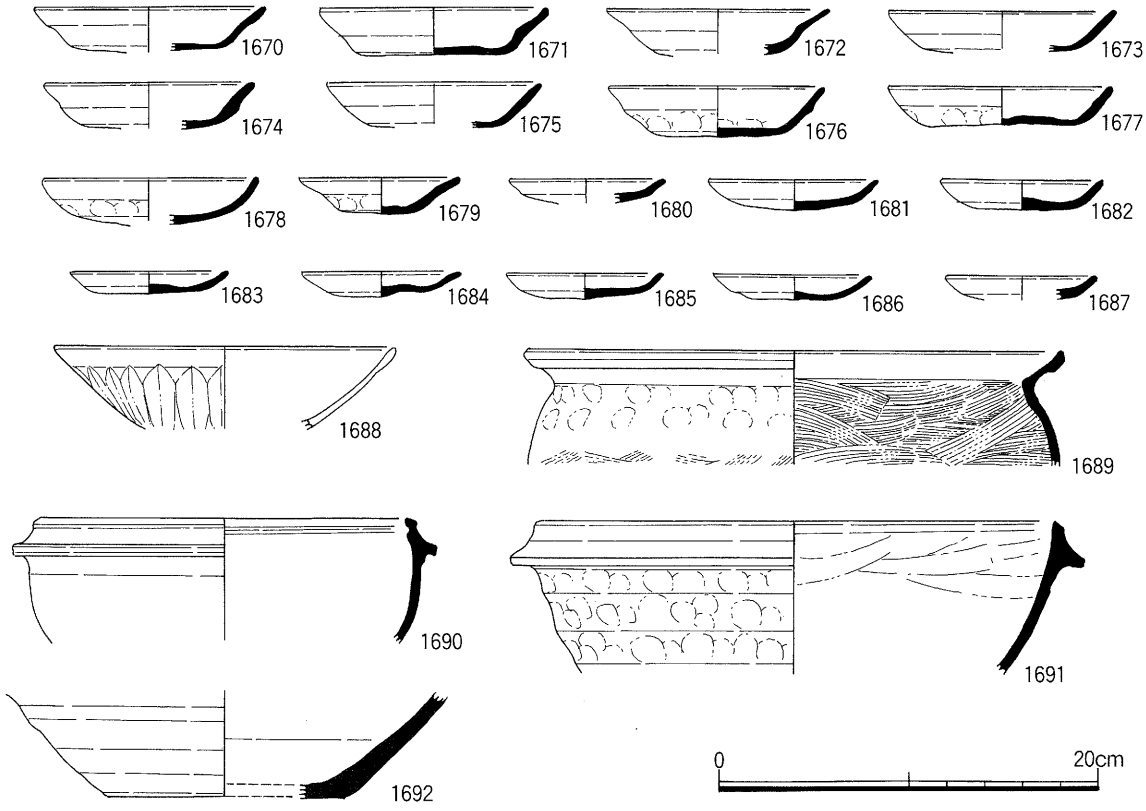
1654.1655.＝土師質土器　中皿　1656.～1658.＝土師質土器　小皿
1659.＝土師質土器　煮炊具

図146　SP730出土土器　実測図



1660.～1664.＝土師質土器　中皿
1665.1666.＝土師質土器　小皿
1667.＝瓦質土器　鍋
1668.＝土師質土器　煮炊具
1669.＝東播系須恵器　鉢
※出土遺構は観察表参照のこと

図147　その他の遺構出土土器　実測図



1670.～1678.＝土師質土器　中皿　1679.～1687.＝土師質土器　小皿　1688.＝産地不明　輸入青磁　碗
1689.～1691.＝土師質土器　煮炊具　1692.＝東播系須恵器　鉢

図148　SH706出土土器　実測図

《参考文献》

難波洋三　「徳川氏大坂城期の炮烙」『難波宮址の研究』九　1992　財団法人大阪市文化財協会
岡田章一・長谷川眞　「兵庫津遺跡出土の土製煮炊具」『兵庫県埋蔵文化財研究紀要　第３号』 2003
兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所　編集・発行
乗岡実　「備前焼擂鉢の編年について」 2000　第3回中近世備前焼研究会　資料
大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター　研究報告第３号 『近世丹波焼の研究』 2007
大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター編
長谷川眞　「中世丹波焼における擂鉢生産」『中近世土器の基礎研究』ＸⅧ　2004　日本中世　土器研究会
長谷川眞　「中世丹波焼の変遷と技術移入・導入-杉本捷雄氏採集資料の再検討に向けて－』
『中近世土器の基礎研究』ＸⅦ　2003　日本中世土器研究会
長谷川眞　「近世丹波焼の成立と展開－丹波焼における技術移入・導入と技術拡散を中心に－』 2004
兵庫県立歴史博物館紀要『塵界』第十五号
長谷川眞　「甕類にみる近世丹波焼」『関西近世考古学研究』ＸⅡ　2004　関西近世考古学研究会
中野晴久　「常滑・渥美」『概説　中世の土器・陶磁器』 1995　中世土器研究会
『愛知県史　別編　中世・近世　瀬戸系　窯業２』 2007　愛知県史編さん委員会
白神典之　「堺摺鉢考」『東洋陶磁』VOl.19　1989-92　東洋陶磁学会
立石堅志　「奈良火鉢」『概説　中世の土器・陶磁器』 1995　中世土器研究会

表3　中世土器・陶磁器観察表(1)

(　)内は復元値あるいは残存値

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1	SX201	備前焼 擂鉢	(25.6) 6.9 –	内外面ナデ	内面ロクロ目のちナデ・擂目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面2.5YR4/2 灰赤 外面2.5YR4/2 灰赤	長石	1793
2	SX201	丹波焼 擂鉢	(26.0) 7.5 –	内外面ナデ	内面ロクロ目のちナデ・擂目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面7.5YR5/3 にぶい褐 外面7.5YR5/4 にぶい褐	長石 黒色鉱物粒	1794
3	SX201-2層	備前焼 擂鉢	(35.6) 7.6 –	内外面ナデ 内面凹線	内面ロクロ目のちナデ・擂目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面2.5YR4/2 明赤褐色 外面2.5YR4/2 明赤褐色	長石 石英 黒色鉱物粒	124
4	SX201 最上層	備前焼 擂鉢	(31.4) 9.3 –	内外面ナデ 内面凹線	内外面ナデ 外面無釉焼締	欠損	内面7.5R4/1 暗赤褐 外面7.5R4/1 暗赤褐	長石 赤色酸化粒	122
5	SX201-2層	堺・明石産 擂鉢	(32.4) 6.8	内外面ナデ 内面凹線	内面擂目 内外面ナデ	欠損	内面2.5YR5/6 明赤褐色 外面2.5YR5/6 明赤褐色	長石 石英 黒色鉱物粒	125
6	SX201 最上層	堺・明石産 擂鉢	(30.6) 6.6 –	内外面ナデ 内面凹線	内外面ナデ	欠損	内面2.5YR5/4 にぶい赤褐 外面2.5YR4/4 にぶい赤褐	長石 黒色鉱物粒	123
7	SX201-2層	丹波焼 擂鉢	(22.0) 5.0 –	内外面ナデ	内面擂目 内外面ナデ	欠損	内面5YR4/2 灰褐色 外面5YR4/2 灰褐色	長石 石英	126
8	SX201-2層	丹波焼 無釉焼締 盤	(31.0) 5.2 –	内外面ナデ	内外面ナデ	欠損	内面2.5YR5/6 明褐色 外面2.5YR5/6 明褐色	長石 黒色鉱物粒	115
9	SX201 最上層	丹波焼 鉢	(30.8) 9.3 (24.0)	内外面ナデ	内外面施釉	露胎	内面5Y2/2 オリーブ黒 外面10YR2/1 黒	長石	108
10	SX201	丹波焼 壺	(14.0) 4.9 –	内外面施釉	外面施釉	欠損	内面2.5Y4/2 暗灰黄 外面7.5R3/1 暗赤灰	石英 長石 黒色鉱物粒	706
11	SX201(2面)	丹波焼 甕	(18.4) 7.1 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面5Y2/2 オリーブ黒 外面2.5YR3/3 暗赤褐色	長石 石英	69
12	SX201(2面)	丹波焼 甕	(24.6) 5.9 –	内外面施釉	内面施釉 外面無釉・肩部～体部に条線	欠損	内面5Y4/2 灰オリーブ 外面5PB6/1 青灰	長石 黒色鉱物粒	70
13	SX201	丹波焼	(10.2) 5.1 –	内外面ナデ	内外面施釉	無釉	内面5R3/1 暗赤灰色(釉) 外面5YR5/3 にぶい赤褐	長石 黒色鉱物粒	71
14	SX201	肥前系 白磁染付 碗	9.8 5.0 –	内外面施釉	内外面施釉 草花文	内外面施釉 外面界線2条	内面7.5GY8/1 明緑灰色 外面7.5GY8/1 明緑灰色	砂粒みえず	128
15	SX201-2層	肥前系 白磁染付 碗	(10.8) 4.2 –	内外面施釉	内外面施釉 梅花文	欠損	内面N7/0 灰白 外面N7/0 灰白	砂粒みえず	92
16	SX201 最上層	肥前系 白磁染付 碗	(9.4) 5.0 –	内外面施釉	内外面施釉 草花文	内外面施釉 外面界線2条	内面7.5Y8/1 灰白 外面7.5Y8/1 灰白	砂粒みえず	102
17	SX201	肥前系 白磁染付 碗	9.2 3.0 –	内外面施釉	内外面施釉 菱に菊花文	欠損	内面10YR8/1 灰白 外面10YR8/1 灰白	砂粒みえず	711
18	SX201-2層	肥前系 白磁染付 碗	(10.8) 5.0 –	内外面施釉	内面蛇ノ目ハギ 内外面施釉 草花文	内外面施釉 外面界線2条	内面2.5GY8/1 灰白 外面2.5GY8/1 灰白	砂粒みえず	93
19	SX201-2層	肥前系 白磁染付 碗	(11.6) 6.2 –	内外面施釉	内外面施釉	内外面施釉 外面界線3条	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	90
20	SX201-2層	肥前系 白磁染付 碗	(10.0) 5.0 –	内外面施釉	内外面施釉 外面二重網目文	内外面施釉 外面界線2条	内面10GY8/1 明緑灰 外面5GY8/1 灰白	砂粒みえず	94
21	SX201	肥前系 白磁染付 碗	(10.4) 3.9 –	内外面施釉 内面界線2条 外面界線1条	内外面施釉	欠損	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	712
22	SX201-2層	肥前系 青磁染付 鉢	(16.0) 5.9 –	内外面施釉	内外面施釉 松文	欠損	内面N8/0 灰白 外面7.5GY7/1 明緑灰	砂粒みえず	95
23	SX201-2層	肥前系 白磁染付 鉢	(13.4) 3.7 –	内外面施釉	内外面施釉 内外面草花文	内外面施釉 外面界線3条	内面2.5GY8/1 灰白 外面2.5GY8/1 灰白	砂粒みえず	91
24	SX201-2層	産地不明 油徳利 油徳利	1.8 14.0 5.8	内外面鉄釉	内面露胎 外面施釉(鉄釉)	外面鉄釉薬 内面露胎	内面10YR7/1 灰白 外面10YR2/2 黒褐	砂粒みえず	101
25	SX201-2層	唐津粉引 粉引 片口鉢	(30.6) 16.9 –	内外面刷毛白化粧	内外面刷毛白化粧	外面露胎	内面5YR5/2 灰褐(白化粧) 外面5YR4/1 褐灰(白化粧) 外面5YR4/3 にぶい赤褐(露胎)	黒色鉱物粒 長石	114
26	SX201-2層	丹波焼 壺	– 7.3 6.8	欠損	内面鉄分付着・露胎 外面施釉・ナデ露胎	粗いナデ	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面7.5YR3/3 暗褐(無釉) 外面2.5Y4/3 オリーブ褐(釉)	長石	100
27	SX201	産地不明 徳利	– 9.0 (11.0)	欠損	内面無釉・ロクロ目 外面鉄釉	無釉	内面2.5Y5/2 暗灰黄 外面2.5YR2/2 極暗赤褐	わずかに長石 黒色鉱物粒	72
28	SX201-2層	丹波焼 皿	11.0 2.5 –	二度がけ・鉄釉・透明釉	内外面無釉露胎	内外面無釉～露胎	内面5Y5/2 灰褐 外面5Y4/1 褐灰 外面N2/0 黒(釉)	砂粒みえず	99
29	SX201 最上層	土師質土器 煮炊具	(26.8) 4.9 –	内外面ナデ	内面ロクロナデ・スス付着 外面ナデ・スス付着	欠損	内面2.5Y6/6 橙 外面2.5Y4/4 にぶい赤褐	赤色酸化粒	109
30	SX201-2層	土師質土器 小皿	(3.8) 1.1 –	内外面ナデ	ロクロナデ	糸切り	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	120
31	SX201 最上層	土師質土器 小皿	(6.6) 1.1 –	内外面ナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒	105
32	SX201	土師質土器 小皿	(6.4) 1.1 –	内外面ナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面5YR7/6 橙 外面5YR7/6 橙	黒色鉱物粒	106
33	SX201 最上層	土師質土器 小皿	7.0 1.5 –	内外面ナデ	内面ロクロナデ・透明釉 外面ロクロナデ	糸切り	内面5YR5/8 明赤褐 外面5YR7/6 橙	黒色鉱物粒	107
34	SP208	土師質土器 小皿 手捏	(8.4) 1.6 –	内外面ナデ	指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	16
35	SX201-2層	土師質土器 小皿	(9.2) 1.7 –	内外面ナデ	内面ヨコナデ・ロクロナデ 外面ナデ	指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	赤色酸化粒 長石	118
36	SX201 最上層	土師質土器 小皿 手捏	9.0 1.3 –	内外面ナデ	内面ヨコナデ・ロクロナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR5/2 灰黄褐 外面5YR7/6 橙	長石	104
37	SX201 最上層	土師質土器 小皿 手捏	(9.6) 1.8 –	内外面ナデ	内面ヨコナデ・ロクロナデ 外面指頭圧痕3段	指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 石英	103
38	SX201-2層	土師質土器 小皿 ヘソ皿	(7.2) 1.9 –	内外面ナデ	内面ロクロナデ 外面ナデ・指頭圧痕	指頭圧痕	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/3 浅黄	長石 雲母	117
39	SX201	土師質土器 中皿 手捏	11.0 2.2 –	内外面ナデ	内面ロクロナデ 外面指頭圧痕・ナデ	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	116
40	SX201	土師質土器 中皿 手捏	(13.8) 2.2 –	内外面ナデ	タール痕 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	長石	119
41	SK204(2面)	唐津 京焼風 碗	10.2 5.8 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面2.5Y7/4 浅黄 外面2.5Y7/4 浅黄	砂粒みえず	78
42	SK204(2面)	唐津 京焼風 碗	9.0 5.5 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	砂粒みえず	79
43	SK204(2面)	唐津 京焼風 碗	(9.8) 5.8 4.8	内外面施釉	内外面施釉	露胎	内面2.5Y7/4 浅黄 外面2.5Y7/4 浅黄 高台2.5Y8/2 灰白	砂粒みえず	77
44	SK204	唐津京風焼 銹絵山水文 碗	(9.8) 4.6 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面2.5Y8/3 浅黄 外面2.5Y8/3 浅黄	砂粒みえず	466
45	SK204	肥前系 白磁染付 碗	(10.6) 5.1 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面5GY 灰白 外面5GY 灰白	砂粒みえず	468
46	SK204	唐津京風焼 銹絵山水文 碗	(11.6) 4.2 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面5Y8/2 灰白 外面5Y8/2 灰白	砂粒みえず	467
47	SK204	肥前系 白磁染付 碗	(10.0) 4.3 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面7.5GY8/1 明緑灰 外面7.5GY8/1 明緑灰	砂粒みえず	472
48	SK204	肥前系 白磁染付 碗	(12.0) 4.0 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面10Y8/1 灰白 外面10Y8/1 灰白	砂粒みえず	469
49	SK204	肥前系 白磁 碗	(12.4) 3.4 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面10GY8/1 明緑灰 外面10GY8/1 明緑灰	砂粒みえず	470
50	SK204	肥前系 染付磁器 小鉢	(11.0) 3.0 –	内外面施釉	内外面施釉 内外面草花文	外面界線3条	内面5Y8/1 灰白 外面5Y8/1 灰白	胎土見えず	80
51	SK204	肥前系 白磁染付 蓋	(11.4) 2.4 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	484
52	SK204	肥前系 白磁染付 徳利	– 12.3 (7.0)	欠損	内面ロクロ目・露胎 外面網目・施釉	外面界線1条	内面2.5Y8/2 灰白(露胎) 外面2.5GY8/1 灰白(釉)	砂粒みえず	483
53	SK204	産地不明 赤絵　瓶? 磁器	– 3.9 (5.2)	欠損	内面露胎 外面施釉・界線1条	外面界線1条	内面5YR5/4 にぶい赤褐(露胎) 外面5Y8/1 灰白(施釉)	砂粒みえず	471
54	SK204	堺・明石産 擂鉢	– 10.3 (17.8)	欠損	内面擂目 外面ロクロ目のちナデ	内面擂目	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面7.5YR5/4 にぶい褐	長石 石英	490
55	SK204	瓦質土器 焜炉	(15.6) 6.0 –	内外面ナデ	内外面ナデ	欠損	内面2.5Y4/2 暗灰黄 外面2.5Y4/2 暗灰黄	チャート 長石 黒色鉱物粒	489
56	SK204(2面)	丹波焼 無釉陶器 甕	(28.8) 19.5 –	内外面ナデ	内面ナデ 外面肩部～体部条線 施釉	欠損	内面2.5Y8/3 浅黄 外面7.5Y5/4 にぶい褐 ～10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート 石英・長石	29
57	SK204	丹波焼 壺 (おはぐろ壷?)	(3.8) 6.0 –	内外面施釉	内面鉄分付着・露胎 外面施釉	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面5YR4/2 灰褐	黒色鉱物粒	82
58	SK204	丹波焼 火入	(11.4) 5.4 –	施釉	内面無釉 外面無釉露胎・ナデ	内外面露胎	内面7.5YR5/2 灰褐 外面7.5YR5/4 にぶい褐灰	長石	81
59	SK204	土師質土器 小皿	(8.8) 1.2 –	内外面ナデ	内面ロクロナデ 外面ロクロナデ・	外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	487
60	SK204	土師質土器 小皿 轆轤系	7.4 1.4 6.4	内外面ナデ	内面ヨコナデ 外面回転ナデ	糸切り	内面2.5Y7/2 灰黄 外面10YR7/2 にぶい黄橙	微細雲母	83
61	SK204	土師質土器 小皿 轆轤系	7.0 1.3 –	内外面ナデ	内面ヨコナデ 外面回転ナデ	糸切り	内面2.5Y7/2 灰黄 外面10YR7/2 にぶい黄橙	微細砂粒みえず	84
62	SK204	土師質土器 小皿	(10.0) 1.8 –	内外面ナデ	内面ヨコナデ・ロクロナデ 外面ロクロナデ	糸切り	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	赤色酸化粒 黒色鉱物粒	86
63	SK204	土師質土器 小皿	(7.8) 1.4 –	内外面ナデ	内面ヨコナデ・ロクロナデ 外面ロクロナデ	糸切り	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	雲母	85
64	SK204	土師質土器 小皿	(9.0) 1.3 –	内外面ナデ	内面ヨコナデ・ロクロナデ 外面ロクロナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	赤色酸化粒	88
65	SK204	土師質土器 小皿	(8.4) 1.1 –	内外面ナデ	内面ロクロナデ 外面ロクロナデ・指頭圧痕	外面指頭圧痕	内面2.5Y6/2 灰黄 外面2.5Y6/2 灰黄	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	488
66	SK204	土師質土器 小皿	8.2 1.5 –	内外面ナデ	内面ヨコナデ・ロクロナデ 外面ロクロナデ・	外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	雲母 黒色鉱物粒	486
67	SK204	土師質土器 中皿	(10.4) 1.1 –	内外面ナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面2.5Y8/3 浅黄 外面2.5Y8/3 浅黄	黒色鉱物粒	87
68	SK204	土師質土器 煮炊具	(27.2) 5.9 –	内外面ナデ	内外面ロクロナデ・スス付着	欠損	内面7.5Y5/4 にぶい褐 外面7.5YR3/1 黒褐(スス)	長石	111
69	SK204	土師質土器 煮炊具	(22.8) 5.6 –	内外面ナデ	内外面ナデ 体部外面スス付着	外面スス付着	内面5YR6/6 橙 外面5YR3/1 黒褐	長石 黒色鉱物粒	112
70	SK204	土師質土器 煮炊具	(28.2) 4.8 –	内外面ナデ	内外面ナデ 外面スス付着	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 雲母・長石	89

図版番号	出土地点	器種	法量 (口径) (器高) (底径)	口縁部	調整体部	底部 (脚部)	色調	胎土	実測番号
71	SK204	土師質土器 煮炊具	24.0 6.5 –	内外面ナデ	内外面ナデ	外面スス付着	内面5YR6/6 橙 外面5YR5/4 にぶい赤褐	長石・石英 赤色酸化粒 雲母	110
72	SK204	土師質土器 煮炊具	(26.0) 5.3 –	内外面ナデ	内面ナデ 外面ナデ・スス付着	欠損	内面7.5YR7/8 黄橙 外面7.5YR5/6 明褐	長石 赤色酸化粒 雲母	113
73	SK204	土師質土器 煮炊具	(30.4) 5.1 –	内外面ナデ	内外面ナデ・指ナデ	外面スス付着	内面7.5YR5/2 灰褐 外面7.5YR5/2 灰褐	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	485
74	SX203	土師質土器 煮炊具	26.6 6.4 –	内外面ナデ	内外面回転指ナデ 外面スス付着	外面スス付着	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 赤色酸化粒	96
75	SX203(2面)	土師質土器 煮炊具	(30.0) 6.4 –	内外面ナデ	内面ヨコナデ・ナデ 外面ナデ・スス付着	欠損	内面2.5Y5/6 明赤褐 外面5YR3/3 暗赤褐(スス)	長石 雲母	74
76	SX203	土師質土器 煮炊具	(24.0) 7.7 –	内外面ナデ	内面ナデ 外面スス付着	外面スス付着	内面5YR6/6 橙 内面7.5YR5/3 にぶい褐(二次焼成)	赤色酸化粒 長石	97
77	SX203	土師質土器 煮炊具	25.0 6.3 –	内外面ナデ	内面ナデ・うすくスス付着 外面ナデ・スス付着	外面スス付着	内面2.5YR6/6 橙 外面2.5YR1.7/0 赤黒	長石 赤色酸化粒	98
78	SX203(2面)	土師質土器 煮炊具	(24.8) 5.4 –	内外面ナデ	内外面ナデ・スス付着	欠損	内面5YR4/6 赤褐 外面5YR4/4 にぶい赤褐	石英 長石	75
79	SX203(2面)	土師質土器 煮炊具	(16.2) 4.5 –	内外面ナデ	内外面ナデ・スス付着	欠損	内面5YR6/8 暗赤褐 外面2.5YR3/4 暗赤褐	石英 長石	76
80	SX203	土師質土器 小皿	(7.0) 1.5 –	内外面ナデ	内面磨滅のため不明 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 赤色酸化粒 チャート	66
81	SX203	土師質土器 小皿	8.0 1.4 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	65
82	SX203	土師質土器 小皿	7.3 1.6 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	63
83	SX203	土師質土器 小皿	7.3 1.6 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 石英	64
84	SX203(2面)	土師質土器 小皿	(7.0) 1.5 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指圧痕	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	長石・石英 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	61
85	SX203	土師質土器 小皿	(7.8) 1.5 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 石英 赤色酸化粒	62
86	SX203	土師質土器 小皿	(8.0) 1.2 –	内外面ナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	微細 わずかに長石 黒色鉱物粒	58
87	SX203	土師質土器 小皿	(7.4) 1.2 –	内外面ナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	微細 わずかに長石	57
88	SX203	土師質土器 小皿	(7.0) 0.9 –	内外面ナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面5YR7/6 橙 外面5YR7/6 橙	微細 黒色鉱物粒	59
89	SX203	土師質土器 小皿	(10.4) 2.2 –	内外面ナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	微細わずかに 黒色鉱物粒	60
90	SX203	土師質土器 焼塩壺	5.4 7.1 4.0	内外面ナデ	内面布目 外面ナデ	外面ナデ	内面2.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	赤色酸化粒 長石・石英 雲母	18
91	SX203	肥前系 白磁 碗	(9.6) 5.6 (3.4)	内外面施釉	内外面施釉	内外面施釉	内面5GY8/1 灰白 外面5GY8/1 灰白	微細 砂粒みえず	48
92	SX203	肥前系 白磁染付 碗	10.2 4.6 –	内外面施釉	内外面施釉 梅花文	外面界線2条	内面7.5GY 明緑灰色 外面7.5GY 明緑灰色	砂粒みえず	50
93	SX203	肥前系 染付磁器碗 草花文	(11.2) 5.1 2.4	内外面施釉	内外面施釉	内面見込み蛇ノ目釉ハギ 外面界線3条	内面10Y7/1 灰白色 外面10Y7/1 灰白色	砂粒みえず	52
94	SX203	肥前系 陶器筒型碗 (染付)	(9.8) 5.6 (4.8)	内外面施釉	内外面施釉	高台内面無釉	内面5Y7/2 灰白色 外面5Y7/2 灰白色	砂粒みえず	56
95	SX203	白磁台付鉢	– 4.1 4.4	内外面施釉	内外面施釉	露胎	内面5Y7/1 灰白色 外面5Y7/1 灰白色	微細 砂粒みえず	49
96	SX203	白磁小皿	9.2 2.4 3.4	内外面施釉	内外面釉	無釉(露胎)	内面10Y8/1 灰白 外面10Y8/1 灰白	微細 砂粒みえず	47
97	SX203	白磁小皿 型押し菊花文	(7.4) 1.7 3.8	内外面施釉	内外面施釉	露胎	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	54
98	SX203	唐津 三島手碗	10.8 5.2 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面10YR4/3 にぶい黄褐 外面10YR4/3 にぶい黄褐	砂粒みえず	55
99	SX203	肥前系 染付磁器鉢	(13.8) 4.3 –	内外面施釉	内外面施釉 内面濃淡のある呉須・細い草花文 外面唐津文・高台裏渦福文	内外面施釉薬 外面界線2条	内面N8/0 灰白 外面5GY8/1 灰白	砂粒みえず	51
100	SX203	肥前系 白磁染付け 鉢	(13.4) 3.6 (8.0)	内外面施釉	内外面施釉 内外面草花文	内外面施釉薬 外面界線1条	内面10Y8/1 灰白 外面10Y8/1 灰白	砂粒みえず	53
101	SX203	唐津粉引 徳利	– 23.5 7.4	内外面施釉	内面鉄釉 外面鉄釉・白化粧・透明釉	内面露胎 外面白化粧・鉄釉	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面2.5Y7/2 灰黄(粉引) 外面7.5YR1.7/1 黒(鉄釉) 外面7.5YR4/3 褐(透明釉)	砂粒みえず	73
103	SX203	堺・明石産 擂鉢	(17.4) 8.2 –	内面凹線・内外面ナデ	内面擂目・ナデ 外面ナデ	欠損	内面2.5YR4/4 にぶい赤褐 外面2.5YR4/4 にぶい赤褐	長石 顕著	68
104	SK211	肥前系 白磁染付 碗	(10.8) 4.9 –	内外面ナデ	内面見込み部蛇ノ目ハギ 内外面施釉 草花文	高台内面露胎 外面施釉	内面7.5GY8/1 明緑灰色 外面7.5GY8/1 明緑灰色	砂粒みえず	159
105	SK211	土師質土器 小皿 轆轤系	(7.0) 1.5 5.6	内外面ナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	164
106	SK211	土師質土器 小皿 手捏	(9.0) 1.8 –	内外面ロクロナデ	内外面指頭圧痕	欠損	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	黒色鉱物粒 雲母	163

図版番号	出土地点	器種	法量 (口径) (器高) (底径)	口縁部	調整体部	底部 (脚部)	色調	胎土	実測番号
107	SK211	丹波焼 壺	(22.4) 4.8 –	内外面ロクロナデ・施釉	内外面ロクロナデ・施釉	欠損	内面2.5YR4/1 赤灰色 外面2.5YR4/1 赤灰色	長石	161
108	SK211	堺・明石産 擂鉢	(40.0) 4.2 –	内外面ナデ 外面凹線2条	内面擂目 外面凹線・ナデ	欠損	内面10YR5/6 赤 外面10YR5/6 赤	長石 黒色鉱物粒	162
109	SK211	堺・明石産 擂鉢	(32.2) 12.7 –	内外面ナデ 外面凹線2条	内面放射状擂目見込み 外面ナデ・凹線2条	欠損	内面5YR5/4 にぶい赤褐 外面5YR5/4 にぶい赤褐	長石 黒色鉱物粒	36
110	SK216	肥前系 白磁染付 碗	(10.8) 2.4 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	496
111	SK216	産地不明 青磁 鉢	(12.0) 3.8 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面7.5Y7/1 灰白 外面7.5Y7/1 灰白	黒色鉱物粒	495
112	SK216	土師質土器 小皿	6.4 1.1 –	内外面ナデ	内外面カキ釉 外面露胎	欠損	内面7.5YR6/8 橙 外面10YR8/4 浅黄橙	砂粒みえず	710
113	SK216	土師質土器 小皿	9.2 1.6 –	内外面ナデ	内面ロクロナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒	711
114	SK216	唐津 三島手 植木鉢	(27.6) 6.4 –	内外面施釉	内外面施釉 外面象嵌	欠損	内面10YR4/1 灰色 外面10YR4/1 灰色	砂粒みえず	497
115	SK216	土師質土器 煮炊具 ほうらく型	(25.0) 4.1 –	内外面ナデ	内面指ナデ・ナデ 外面スス付着	欠損	内面2.5Y6/6 橙 外面2.5YR1.7/1 赤黒	長石 石英 黒色鉱物粒	494
116	SK216	丹波焼 擂鉢	(35.2) 5.1 –	内外面ナデ	内外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面2.5Y4/1 灰黄 外面2.5Y4/1 灰黄	長石 石英 黒色鉱物粒	491
117	SK216	堺・明石産 擂鉢	(35.6) 4.0 –	内外面ナデ 外面凹線2条	内外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面5YR7/8 橙 外面2.5Y6/8 橙	長石 石英 黒色鉱物粒	493
118	SK216	堺・明石産 擂鉢	(42.3) 4.7 –	内外面ナデ	内外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面7.5YR5/3 にぶい褐 外面7.5YR4/3 褐	黒色鉱物粒 長石 石英	492
119	SK204	肥前系 白磁染付 碗	(10.6) 5.5 –	内外面施釉	内外面施釉	内外面施釉 外面高台部界線2条	内面7.5GY8/1 明緑灰色 外面7.5GY8/1 明緑灰色	砂粒みえず	139
120	SK204	産地不明 施釉陶器 碗	(10.8) 4.6 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	砂粒みえず	141
121	SK204	肥前系 白磁染付 猪子	(8.0) 5.4 4.0	内外面施釉	内外面施釉 草花文	内外面施釉	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	137
122	SK204	肥前系 白磁染付 鉢	11.8 3.5 –	内外面施釉	内外面施釉 施釉	内面蛇ノ目ハギ 高台部内外面露胎	内面10Y8/1 灰白 外面7.5GY8/1 明緑灰色	黒色鉱物粒	136
123	SK204	肥前系 白磁染付 小皿	(3.9) 2.8 (2.6)	内外面施釉	内外面施釉	内外面施釉 外面高台部界線2条	内面5Y7/1 灰白 外面5Y7/2 灰白	砂粒みえず	138
124	SK204	産地不明 灰釉陶器 鍋	(20.4) 8.1 –	内外面施釉	内面露胎～施釉 外面施釉～露胎・スス付着	欠損	内面2.5Y8/3 浅黄色 外面2.5Y8/3 浅黄色	黒色鉱物粒	140
125	SK204	土師質土器 小皿 轆轤系	7.0 1.5 5.6	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒	156
126	SK204	丹波焼 盤	(16.8) 5.8 –	内外面無釉	外面体部条線	欠損	内面7.5YR5/3 にぶい褐 外面7.5YR5/3 にぶい褐	長石	155
127	SK206	肥前系 白磁染付 碗	(10.4) 4.8 –	内外面施釉	内外面施釉 外面草花文	欠損	内面10Y7/1 灰白 外面10Y7/1 灰白	砂粒みえず	148
128	SK206	産地不明 青磁 碗	– 6.0 4.2	欠損	内外面施釉	内外面施釉	内面5Y5/3 灰オリーブ 外面5Y5/3 灰オリーブ	黒色鉱物粒	143
129	SK206	肥前系 白磁染付 皿	(12.4) 2.7 6.8	内外面施釉	内外面施釉 内面波に魚文 外面草花文	内外面施釉	内面7.5GY8/1 明緑灰色 外面7.5GY8/1 明緑灰色	砂粒みえず	146
130	SK206	肥前系 白磁染付 仏飯器	– 4.0 3.6	内外面施釉	内外面施釉	内面露胎 外面脚部界線2条	内外面施釉 外面10Y7/1 灰白	砂粒みえず	149
131	SK206	肥前系 白磁染付 小皿	(6.4) 2.0 3.0	内外面施釉	内外面施釉 外面草花文	内外面施釉	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	147
132	SK206	産地不明 青磁 碗	(11.4) 7.6 4.8	内外面施釉	内外面施釉	内外面施釉	内面7.5Y5/3 灰オリーブ 外面5Y6/3 オリーブ黄色	黒色鉱物粒	142
133	SK206	土師質土器 小皿 轆轤系	(6.6) 1.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒	145
134	SK206	土師質土器 中皿	(9.6) 1.6 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒	144
135	SK201	肥前系 染付磁器	10.0 5.5 –	内外面施釉	内外面施釉 草花文	内外面施釉 界線2条	内面10Y7/1 灰白色 外面10Y7/1 灰白色	砂粒みえず	127
136	SK202	肥前系 白磁 鉢	(8.4) 4.8 –	内外面施釉	内外面施釉	内外面施釉	内面10GY8/1 明緑灰色 外面10GY8/1 明緑灰色	砂粒みえず	151
137	SK201	肥前系 染付磁器 水滴	4.8 6.5 –	内外面施釉	内外面施釉 草花文	内外面施釉 界線2条	内面 不明 外面10Y8/1 灰白	砂粒みえず	129
138	SK202	肥前系 白磁染付 猪口	(7.6) 5.5 –	内外面施釉	内外面施釉 草花文	内外面施釉 渦福文	内面10GY8/1 明緑灰色 外面10GY8/1 明緑灰色	砂粒みえず	150
139	SK202	土師質土器 中皿	(9.2) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	153
140	SK202	土師質土器 中皿	(8.2) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	152
141	SK207	土師質土器 中皿	(8.6) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒	154

表3　出土土器観察表

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
142	SX202	土師質土器 小皿	(7.6) 1.4 –	内外面回転ナデ 外面タール痕	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR7/4 にぶい橙 外面5YR7/4 にぶい橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 長石	705
143	SX202	土師質土器 中皿	(11.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	704
144	SP209	土師質土器 中皿	(9.9) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面5YR5/4 にぶい赤褐	長石 石英 黒色鉱物粒	708
145	SP209	土師質土器 中皿	(10.3) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	709
146	SP220	土師質土器 中皿	(9.0) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	チャート 長石	703
147	SK212	萩焼 びらかけ碗	(7.6) 3.8 –	内外面施釉	内面釉 外面いっちん賭け	欠損	内面5Y6/2 灰オリーブ(釉) 外面2.5Y6/3 にぶい黄(露胎)	砂粒みえず	502
148	SK212	肥前系 白磁染付 筒碗	(7.6) 5.3 –	内面斜格子文 内外面施釉	内外面施釉 外面沈線・斜格子文	高台部欠損	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	503
149	SK212	丹波焼 壺	(19.0) 5.3 –	内外面ナデ・施釉・流し掛け	内外面ロクロ目のちナデ 外面条線	欠損	内面7.5R4/1 暗赤灰 外面7.5R4/1 暗赤灰	長石	500
150	SK212	瓦質土器 風炉		内面ナデ 外面雷文スタンプ	内外面ナデ	欠損	内面N8/0 灰白 外面N4/0 灰色	チャート 長石 黒色鉱物粒	501
151	SK212	土師質土器 小皿	(7.8) 1.0 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ タール痕	糸切り	内面7.5Y7/6 橙 外面7.5Y7/6 橙	チャート 黒色鉱物粒	499
152	SK212	土師質土器 中皿	(11.0) 2.0 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 チャート	498
153	SD201	肥前系 白磁染付 小皿	(6.6) 2.0 –	内外面施釉	内外面施釉 草花文	欠損	内面2.5GY8/1 灰白 外面2.5GY8/1 灰白	砂粒みえず	560
154	SD201	産地不明 青磁 蓋	(6.0) 1.5 –	内外面施釉	内面露胎 外面施釉	内面露胎 外面施釉	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面7.5Y5/3 灰オリーブ	黒色鉱物粒	558
155	SD201	産地不明 灰釉陶器 土瓶	(9.6) 12.8 –	内外面施釉	内外面施釉 外面釉～露胎・スス付着 亀文	欠損	内面2.5Y6/4 にぶい黄(釉) 外面2.5Y6/4 にぶい黄(釉) 外面10YR6/3 にぶい黄橙(無釉)	砂粒みえず	556
156	SD201	硬質瓦質 焜炉	(16.6) 25.0 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロ目のちナデ 外面条線	外面ミガキ	内面N3/0 暗灰色 外面N4/0 灰色	長石 黒色鉱物粒	35
157	SD201	土師質土器 煮炊具	(28.8) 4.1 –	内外面ロクロナデ	内外面須スス付着	欠損	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	石英・長石 雲母 黒色鉱物粒	557
158	SP234	肥前系 青白磁染付 碗	(12.0) 5.6 –	内面菱形文 内外面施釉	内面草花文 外面施釉	外面禍福文	内面10Y8/1 灰白 外面10GY7/1 明緑灰色	砂粒みえず	130
159	SP234	土師質時 柿釉 燭台	(7.2) 6.3 –	受皿部内面凸帯 外面施釉	内外面施釉	外面露胎・削り出し	内面5YR7/8 橙 外面5YR5/8 明赤褐色	黒色鉱物粒 長石	131
160	SP234	産地不明 鉄釉 壺	– 9.2 11.2	欠損	内面露胎 外面鉄釉	内面露胎 外面鉄釉	内面2.5Y6/1 黄灰色 外面2.5Y2/1 黒	長石 黒色鉱物粒	132
161	SP234	土師質土器 焜炉	(22.0) 11.8 22.0	内外面ロクロナデ	内面ナデ 外面丁寧なミガキ	内外面ナデ	内面5YR7/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 石英	20
162	SP234	土師質土器 中皿	(10.6) 1.8 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	135
163	SP234	丹波焼 擂鉢	(29.0) 4.8 –	内外面ナデ 内面凹線	内面擂目 外面ナデ・無釉	欠損	内面10R4/2 灰赤 外面10R4/2 灰赤	石英 長石	133
164	SP234	堺・明石産 擂鉢	(32.8) 4.2 –	内外面ナデ 内面凹線	内面擂目 外面ナデ	欠損	内面2.5YR5/2 灰赤 外面5YR6/4 にぶい橙色	長石 石英 黒色鉱物粒	134
165	SP205	産地不明 灰釉 胞衣土瓶	11.5 15.1 8.6	内外面施釉	外面灰釉・オコゲ	ロクロナデ	内面5Y4/3 暗オリーブ 外面5Y6/3 オリーブ黄色 外面10YR6/4 にぶい黄橙(オコゲ)	長石	1
166	SD201	産地不明 施釉陶器 徳利	– 8.6 8.2	欠損	内面ロクロ目 外面条船・ナデ・指頭圧痕	外面ヨコナデ・施釉	内面10YR3/2 黒褐色 外面7.5Y3/1 オリーブ黒色	長石	6
167	SD202	土師質土器 小皿	(8.2) 1.8 –	内外面ナデ	内面不定方向ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/6 橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 石英・長石 赤色酸化粒	5
168	SP205	土師質土器 胞衣壺	(12.6) 22.5 –	内外面ナデ	内面ヨコハケ 外面縦方向ナデ	糸切り 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面10YR7/6 明黄褐色 ～7.5YR4/1 褐灰	長石 石英 黒色鉱物粒	21
169	SP208	土師質土器 煮炊具	(36.0) 5.8 –	内外面ナデ	内外面ナデ	外面スス付着	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 石英 黒色鉱物粒	3
170	SP208	土師質土器 小皿	(6.2) 1.1 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	内面ナデ 糸切り	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	17
171	SP203	産地不明 施釉陶器 蓋	– 3.6 6.2	内面露胎 外面施釉	内外面施釉	内外面施釉	内面2.5Y6/2 灰黄 外面7.5Y6/1 灰	黒色鉱物粒	15
172	SP203	産地不明 灰釉陶器 蓋	– 1.9 8.6	内面露胎 外面施釉	内外面施釉	内外面施釉	内面7.5YR8/1 灰白 外面5Y8/2 灰白	砂粒みえず	14
173	SP203	産地不明 鉄釉 徳利	– 22.0 9.6	欠損	内面ロクロ目・ナデ 外面ロクロ目のちナデ 白土	内外面ナデ	内面5YR2/3 極暗赤褐 外面5YR3/2 暗赤褐	黒色鉱物粒 長石	13
174	SP203	備前焼 植木鉢	14.0·16.4 14.2 –	内外面ロクロ目のちナデ	内外面ロクロ目のちナデ	無調整	内面10R5/2 灰赤色 外面7.5R3/1 暗赤灰色 ～10R5/3 赤褐色	長石 石英	11
175	SP203	土師質土器 小皿	(7.4) 1.0 –	内外面ナデ	内面ロクロナデのち透明釉 外面不定方向ナデ	糸切り	内面2.5YR4/8 赤褐色 外面2.5YR5/8 明赤褐色	黒色鉱物粒	8
176	SP203	土師質土器 小皿	(5.6) 1.0 –	内外面ナデ	内外面透明釉	外面不定方向ナデ	内面5YR5/8 明赤褐色 外面7.5YR6/6 橙	長石 赤色酸化粒	9

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
177	SP203	土師質土器 火鉢	(18.2) 10.8 14.8	内外面ナデ 内面スス付着	内面ロクロ目ナデ 外面ナデ	外面不定方向ナデ	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/6 橙	長石・石英 チャート 赤色酸化粒	7
178	SP348	土師質土器 煮炊具	(19.4) 6.0 –	内外面ナデ	内外面ナデ	外面スス付着	内面5YR6/6 橙 外面5YR5/4 にぶい赤褐色	長石 石英 雲母	4
179	SP348	産地不明 灰釉陶器 土瓶	7.4 10.0 8.0	内外面施釉	内面ロクロ目 外面施釉	内外面露胎	内面10YR8/4 浅黄色 (内面7.5YR4/4 褐色付着物) 外面2.5Y7/4 浅黄色	微細 砂粒みえず	19
180	SP348	産地不明 鉄釉 徳利	– 19.5 9.2	欠損	内面ロクロ目 外面ナデ	外面不定方向ナデ	内面5YR2/1 黒褐色 外面5YR2/4 極暗赤褐	黒色鉱物粒 長石 石英	2
181	SP207	肥前系 白磁染付 碗	(11.6) 4.8 –	内外面施釉	内外面施釉 草花文	欠損	内面5GY8/1 灰白 外面5GY8/1 灰白	砂粒みえず	157
182	SP207	唐津粉引 皿	(17.4) 5.0 –	内外面白化粧	内外面白化粧	外面高台部・露胎	内面7.5YR4/3 褐(釉) 外面7.5YR4/3 褐(釉) 外面10YR7/6 明黄褐(露胎)	砂粒みえず	158
183	SP348	産地不明 灰釉陶器 油皿	6.4 1.3 –	内外面施釉	内面灰釉 外面露胎・ロクロナデ	内面灰釉 外面露胎・ロクロナデ	内面2.5Y8/3 淡黄色 外面2.5Y8/2 灰白色	微細 砂粒みえず	10
184	SP202	無釉陶器 土管	(9.8) 54.8 –	内外面ロクロ目のちナデ	内外面ロクロ目	欠損	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面5YR3/2 暗赤褐	長石 石英 黒色鉱物粒	12
185	SK314	土師質土器 中皿	(10.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	316
186	SK314	土師質土器 中皿	(9.6) 1.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	320
187	SK314	土師質土器 小皿	(8.0) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	黒色鉱物粒 長石 石英	317
188	SK314	土師質土器 大皿	(15.2) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面ナデ	欠損	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	322
189	SK314	土師質土器 大皿	(15.6) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	321
190	SK314	土師質土器 煮炊具	(24.0) 5.8 –	内外面回転ナデ	内面横位ハケ 外面タタキ	欠損	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	319
191	SK314	土師質土器 煮炊具	(32.6) 4.1 –	内面横位ハケ 外面回転ナデ	欠損	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	318
192	SK314	産地不明 白磁 碗	(15.4) 2.0 –	内外面施釉	欠損	欠損	内面2.5GY 灰白 外面2.5GY 灰白	胎土みえず	323
193	SP320	土師質土器 中皿	9.4 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	353
194	SP320	土師質土器 小皿	8.2 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	390
195	SP320	東播系 須恵器 鉢		内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面7.5YR5/1 灰色 外面7.5YR5/1 灰色	長石 黒色鉱物粒	389
196	SP320	備前焼 擂鉢		内外面ロクロナデ	内面擂目 内外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面5YR4/4 にぶい赤褐色 外面5YR4/2 灰褐色	長石 石英 赤色酸化粒	352
197	SK306	土師質土器 中皿	(11.2) 2.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/3 にぶい褐	長石 石英 黒色鉱物粒	235
198	SK306	土師質土器 中皿	(11.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	240
199	SK306	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.6) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 赤色酸化粒	236
200	SK306	東播系 須恵器 鉢	(26.2) 4.1 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N7/0 灰白 外面N7/0 灰白	長石 石英 黒色鉱物粒	238
201	SK306	東播系 須恵器 鉢	26.0 2.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・石英	239
202	SK305	産地不明 無釉陶器 中皿	10.7 3.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	糸切り	内面2.5YR5/6 明赤褐色 外面2.5YR5/6 明赤褐色	長石 石英 黒色鉱物粒	237
203	SK305	土師質時 煮炊具	(16.6) 6.3 –	内外面ナデ	内面強いヨコナデ・ナデ 外面タタキ		内面7.5YR5/2 灰褐 外面7.5YR5/1 褐灰	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	241
204	SP340	土師質土器 中皿	(11.8) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕2段	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/6 明黄橙	チャート・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	333
205	SP340	土師質土器 煮炊具	(23.0) 5.7 –	内外面ナデ	内面ナデ 外面スス付着	欠損	内面7.5YR5/2 灰褐 外面7.5YR2/1 黒	長石	335
206	SP340	備前焼 擂鉢	(31.8) 4.8 –	内外面ロクロ目のちナデ	欠損	欠損	内面2.5YR5/2 灰赤 外面2.5YR4/1 赤灰	長石	334
207	SK301	土師質土器 中皿	(9.2) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/4 浅黄色 外面10YR8/4 浅黄色	長石 石英	259
208	SK301	土師質土器 中皿	(9.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	石英・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	263
209	SK301 1/10 ①	土師質土器 中皿	(9.2) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	255
210	SK301 1/10 ③	土師質土器 中皿	8.0 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	253
211	SK301 1/10 ②	土師質土器 中皿	(9.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	256

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
212	SK301 1/10 ③	土師質土器 中皿	9.0 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石・石英 赤色酸化粒	252
213	SK301	土師質土器 中皿	(9.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	268
214	SK301 1/10 ③	土師質土器 中皿	8.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	250
215	SK301	土師質土器 中皿	8.8 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	石英 黒色鉱物粒	248
216	SK301 1/10 ③	土師質土器 中皿	(8.6) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 石英	254
217	SK301 1/10 ①	土師質土器 中皿	8.3 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	249
218	SK301 1/10 ②	土師質土器 中皿	(10.6) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	261
219	SK301 1/10 ③	土師質土器 中皿	(9.8) 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/1 褐灰	黒色鉱物粒 長石	258
220	SK301	土師質土器 小皿	(7.2) 1.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	269
221	SK301 1/10 ③	土師質土器 小皿	(8.6) 1.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	262
222	SK301 1/10 ②	土師質土器 小皿	8.4 1.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	石英・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	260
223	SK301	土師質土器 小皿	(8.4) 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	267
224	SK301 1/10 ①	土師質土器 小皿	8.4 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	251
225	SK301	土師質土器 大皿	(12.0) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	石英・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	265
226	SK301 1/10 ②	土師質土器 大皿	(11.4) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 石英	257
227	SK301	土師質土器 大皿	(12.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	264
228	SK301	土師質土器 蓋状具 (羽釜)	(12.4) 2.9 –	内外面ナデ	内外面ナデ 外面スス付着	欠損	内面2.5Y6/2 灰黄 外面2.5Y6/2 灰黄	雲母 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	269
229	SK303	土師質土器 中皿	(12.0) 2.6 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	291
230	SK303	土師質土器 中皿	(11.4) 2.0 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	296
231	SK303	土師質土器 中皿	(10.4) 1.8 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面5YR5/4 にぶい赤褐 外面7.5YR5/4 にぶい褐	黒色鉱物粒 長石	298
232	SK303	土師質土器 中皿	(11.2) 2.0 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒	297
233	SK303	土師質土器 中皿	(11.2) 2.3 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	294
234	SK303	土師質土器 中皿	12.6 1.8 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 長石	299
235	SK303	土師質土器 中皿	(11.2) 2.0 –	内外面ナデ	内外面ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	295
236	SK303	土師質土器 中皿	(10.6) 1.9 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR4/1 褐灰 外面10YR2/1 黒	長石 黒色鉱物粒	300
237	SK303	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 2.0 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	289
238	SK303	土師質土器 小皿	(8.0) 1.7 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	チャート・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	293
239	SK303	土師質土器 小皿	(8.8) 1.2 –	内外面ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石 黒色鉱物粒	290
240	SK303	土師質土器 小皿	(9.6) 0.8 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石	292
241	SK303	東播系 須恵器 鉢	(33.8) 2.2 –	内外面ナデ	欠損	欠損	内面N4/0 灰色 外面N4/0 灰色	長石 黒色鉱物粒	346
242	SK303	東播系 須恵器 鉢	(26.8) 7.0 –	内外面ナデ	内外面粗いロクロナデ	欠損	内面10YR4/1 褐灰 外面10YR5/2 灰黄褐	長石	286
243	SK303	備前焼 擂鉢	(25.6) 7.7 –	内外面ロクロナデ	内外面ナデ 内面櫛目	欠損	内面2.5YR4/3 にぶい赤褐 外面2.5YR4/2 灰赤	長石 黒色鉱物粒	287
244	SK302	土師質土器 中皿	(9.4) 1.8 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/6 黄橙色 外面10YR8/4 浅黄色	黒色鉱物粒 チャート	344
245	SK302	土師質土器 小皿	(8.0) 2.0 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	342
246	SK302	土師質土器 小皿	(8.8) 1.2 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	黒色鉱物粒	341

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
247	SK302	土師質土器 小皿	(9.0) 1.5 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	石英 長石 黒色鉱物粒	343
248	SK302	土師質土器 大皿	(19.6) 1.9 –	内外面ナデ	内外面ナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄色 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒	345
249	SP324	土師質土器 中皿	(10.4) 2.0 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	350
250	SP324	土師質土器 中皿	(10.8) 1.8 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄色 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・石英	351
251	SP324	土師質土器 小皿	(9.0) 2.0 –	内外面ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	雲母・チャート 長石 黒色鉱物粒	349
252	SP324	産地不明 輸入青磁 碗	(18.4) 2.0 –	内外面施釉	内外面施釉 外面劃頭文	欠損	内面10Y6/2 オリーブ灰 外面10Y6/2 オリーブ灰	胎土みえず	348
253	SP324	東播系 須恵器 鉢	(33.0) 3.3 –	内外面ナデ	内外面ナデ	欠損	内面5Y7/1 灰白 外面5Y7/1 灰白	黒色鉱物粒 チャート 長石	347
254	SP341-1	土師質土器 小皿 (軽輪系)	(8.6) 1.5 –	内外面ロクロナデ 外面タール付着	内外面ロクロナデ	糸切り	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	437
255	SP341-1	土師質土器 小皿 (軽輪系)	(7.0) 1.3 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒	438
256	SP341-1	土師質土器 小皿 (軽輪系)	(7.8) 1.4 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内　面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	439
257	SP341-1	土師質土器 中皿	(9.2) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	451
258	SP341-1	土師質土器 中皿	8.6 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	黒色鉱物粒 長石	443
259	SP341-1	土師質土器 中皿	(7.6) 1.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	440
260	SP341-1	土師質土器 中皿	(9.8) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	黒色鉱物粒 長石	445
261	SP341-1	土師質土器 中皿	(11.0) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR6/2 にぶい黄橙 外面10YR6/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	446
262	SP341-1	土師質土器 中皿	(10.4) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 石英	442
263	SP341-1	土師質土器 中皿	(10.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石	444
264	SP341-1	土師質土器 大皿	(15.4) 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒	441
265	SP341-1	肥前系 白磁染付 碗	– 3.0 (4.0)	欠損	内外面施釉 草花文	内外面施釉 高台部界線2条	内面N8/1 灰白 外面N8/1 灰白	砂粒みえず	434
266	SP341-1	産地不明 施釉陶器 碗	– 3.7 5.4	欠損	欠損 外面施釉	内面露胎 外面施釉	内面2.5Y8/2 灰白 外面5Y7/1 灰白	黒色鉱物粒	433
267	SP341-1	産地不明 青磁 碗	– 2.5 (5.0)	欠損	欠損	内外面施釉	内面5GY7/1 明オリーブ灰 外面5GY7/1 明オリーブ灰	砂粒みえず	435
268	SP341-1	土師質土器 受付皿	(5.4) 4.9 (4.5)	内面柿釉 外面柿釉	外面柿釉	外面底部露胎・糸切り	内面10YR5/8 明赤褐(釉) 外面7.5YR6/6 橙(無釉)	長石 黒色鉱物粒	447
269	SP341-1	肥前系 白磁染付 鉢	(11.8) 2.6 –	内外面施釉 内面界線2条	内外面施釉	高台部外面界線2条	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	432
270	SP341-1	肥前系 施釉陶器 皿	– 2.9 (5.4)	欠損	外面施釉	内面蛇ノ目ハギ・露胎 外面施釉	内面5Y7/2 灰白 外面5Y7/2 灰白	砂粒みえず	436
271	SP309	土師質土器 中皿	(11.0) 1.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	315
272	SK309	土師質土器 中皿	(11.4) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	314
273	SK309	東播系 須恵器 鉢	(26.2) 3.1 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面7.5YR5/2 灰褐 外面7.5YR6/3 にぶい褐	長石 石英 黒色鉱物粒	313
274	SK309	備前焼 壺	(14.6) 9.3 –	内外面ロクロナデ	内面ナデ 外面ナデ・押印5条2ヶ所	欠損	内面N4/0 灰色 外面N6/0 灰色	長石 黒色鉱物粒	312
275	SE301 掘り方	土師質土器 中皿	(10.8) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面2.5Y5/2 暗灰黄 外面2.5Y5/2 暗灰黄	チャート 長石 黒色鉱物粒	428
276	SE301	土師質土器 中皿	(10.0) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒	427
277	SE301	土師質土器 小皿	7.8 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	423
278	SE301 埋土上層	土師質土器 中皿	(8.8) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面5Y3/1 オリーブ黒 外面2.5Y5/1 黄灰	チャート 長石 黒色鉱物粒	429
279	SE301 掘り方	土師質土器 中皿	(11.8) 1.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒	430
280	SE301 掘り方	土師質土器 大皿	(17.8) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/3 浅黄	黒色鉱物粒	426
281	SE301 掘り方	土師質土器 大皿	(13.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	425

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
282	SE301 掘り方	古瀬戸 灰釉陶器 卸皿	(13.8) 2.3 –	内外面施釉	内面おろし目 外面施釉～露胎	欠損	内外面7.5Y6/3 オリーブ黄(釉) 内外面2.5Y7/1 灰白(露胎)	長石 黒色鉱物粒	424
283	SE301 掘り方	土師質土器 ほうらく	(25.4) 3.1 –	内外面回転ナデ	内外面ナデ	欠損	内面7.5YR5/3 にぶい褐 外面7.5YR4/2 灰褐	黒色鉱物粒 長石	431
284	SE301 掘り方	備前焼 擂鉢	(32.2) 5.1 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロ目のちナデ 外面ロクロ目のちナデ・施釉	欠損	内面7.5YR7/6 橙 外面5YR5/1 褐灰	長石 黒色鉱物粒	422
285	SE301 掘り方	備前焼 擂鉢	(31.5) 5.1 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面2.5YR3/1 暗赤灰 外面7.5R4/1 暗赤灰	長石	421
286	SX301	産地不明 施釉陶器 擂鉢	(15.0) 3.3 –	内外面施釉	内面施釉 外面施釉・露胎	欠損	内面5Y5/1 灰色(釉) 外面N3/0 灰色(釉) 外面5YR3/3 にぶい赤褐(無釉)	黒色鉱物粒 長石	242
287	SX301	産地不明 鉄釉陶器 擂鉢	(27.0) 3.1 –	鉄釉	内面露胎 外面ナデ・露胎	欠損	内面5YR5/2 灰褐色 外面5YR5/2 灰褐色	長石	243
289	SE302 埋土	土師質土器 大皿	(13.0) 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	418
290	SE302 埋土	土師質七器 大皿	13.6 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石・石英 雲母 黒色鉱物粒	411
291	SE302 埋土	土師質土器 大皿	(16.4) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	黒色鉱物粒	415
292	SE302 埋土	土師質土器 小皿	(7.4) 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒	417
293	SE302 埋土	土師質土器 小皿	(8.8) 1.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 石英 黒色鉱物粒	416
294	SE302 埋土	土師質土器 煮炊具	(23.0) 4.7 –	内外面ロクロナデ	内面回転ナデ 外面ナタキ 外面スス付着	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR4/2 灰褐	長石 石英 黒色鉱物粒	414
295	SE302 掘り方	常滑焼 甕	(16.4) 5.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N2/0 黒 外面5YR4/2 灰褐	チャート 長石 石英	371
296	SE302 埋土	備前焼 壺	(9.0) 5.9 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロ目のちナデ・施釉	欠損	内面5YR4/2 灰褐 外面2.5YR4/1 赤褐	長石 黒色鉱物粒	410
297	SE302 埋土	産地不明 輸入青磁 碗	(16.6) 4.4 –	内外面施釉	内外面施釉 劃頭文連化	欠損	内面7.5Y7/2 灰白 外面7.5Y7/2 灰白	砂粒みえず	409
298	SE302 埋土	備前焼 擂鉢	(31.0) 4.4 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面7.5R2/1 赤黒 外面2.5YR4/0 赤灰	長石 黒色鉱物粒	413
299	SE302 埋土	備前焼 擂鉢	(34.8) 4.1 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面5YR4/2 灰褐 外面N7/0 灰白	長石 黒色鉱物粒	412
300	SE302埋土	備前焼 壺	(37.2) 4.8 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面5YR4/1 褐灰 外面2.5Y3/1 暗赤灰	長石 黒色鉱物粒	420
301	SE302埋土	備前焼 甕	(49.0) 5.5 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面10YR5/1 褐灰 外面7.5YR4/1 褐灰	チャート 長石	419
302	SE302 掘り方	土師質土器 中皿	(11.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面指頭圧痕のち調ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	379
303	SE302 掘り方	土師質土器 中皿	(8.2) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面指頭圧痕のち調ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	雲母 長石・石英 赤色酸化粒	372
304	SE302 掘り方	土師質土器 大皿	(12.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内外面指頭圧痕のち調ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 石英	378
305	SE302 掘り方	土師質土器 小皿	(6.4) 1.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒	376
306	SE302 掘り方	土師質土器 小皿	(9.2) 1.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	377
307	SE302 掘り方	土師質土器 小皿	(8.2) 1.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	長石・石英 黒色鉱物粒	375
308	SE302 掘り方	土師質土器 小皿	8.4 1.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち指ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石・石英 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	374
309	SE302 掘り方	土師質土器 小皿	(8.4) 1.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石・石英 雲母	373
310	SE302 掘り方	土師質土器 煮炊具	(17.8) 5.3 –	内外面回転ナデ	内外面ナデ・強いナデ	欠損	内面2.5YR6/8 橙 外面2.5YR4/2 灰赤	黒色鉱物粒 長石	369
311	SE302 掘り方	土師質土器 煮炊具	(14.6) 4.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕・ナデ 外面ナデ	欠損	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石・石英 雲母 黒色鉱物粒	370
312	SP344	土師質土器 中皿	11.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	398
313	SP344	土師質土器 中皿	(11.6) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	480
314	SP344	土師質土器 中皿	11.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面7.5YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 石英・長石	396
315	SP344	土師質土器 中皿	(10.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	481
316	SP344	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面2.5YR7/2 灰黄	長石 石英 黒色鉱物粒	482
317	SP344	土師質土器 中皿	11.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	397
318	SP344	土師質土器 中皿	(11.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	473
319	SP344	土師質土器 中皿	(10.4) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	394
320	SP344	土師質土器 中皿	11.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	395
321	SP344	土師質土器 中皿	11.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	399
322	SP344	土師質土器 中皿	10.8 2.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	394
323	SP344	土師質土器 中皿	(10.8) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	463
324	SP344	土師質土器 中皿	10.8 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	385
325	SP344	土師質土器 中皿	11.1 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	387
326	SP344	土師質土器 中皿	(11.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	392
327	SP344	土師質土器 中皿	10.8 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	長石・石英 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	382
328	SP344	土師質土器 中皿	11.1 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	チャート 長石 黒色鉱物粒	393
329	SP344	土師質土器 中皿	(11.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	479
330	SP344	土師質土器 中皿	(10.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄色 外面2.5Y7/3 浅黄色	長石 黒色鉱物粒	383
331	SP344	土師質土器 中皿	10.8 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	石英 黒色鉱物粒	458
332	SP344	土師質土器 中皿	(11.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	381
333	SP344	土師質土器 中皿	(11.6) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート・長石 石英 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	477
334	SP344	土師質土器 中皿	(11.8) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面2.5Y7/2 灰黄	長石・チャート 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	461
335	SP344	土師質土器 中皿	(10.6) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	380
336	SP344	土師質土器 中皿	(11.4) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	478
337	SP344	土師質土器 中皿	(12.2) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	460
338	SP344	土師質土器 中皿	11.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	464
339	SP344	土師質土器 中皿	10.8 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y6/3 にぶい黄 外面2.5Y7/3 浅黄	長石 黒色鉱物粒	457
340	SP344	土師質土器 中皿	8.8 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	474
341	SP344	土師質土器 小皿	(8.4) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	長石 石英 黒色鉱物粒	459
342	SP344	土師質土器 小皿	(9.0) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	465
343	SP344	土師質土器 小皿	(9.0) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	475
344	SP344	土師質土器 小皿	(8.0) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	462
345	SP344	東播 須恵器 鉢	(24.8) 4.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5Y7/2 灰白 外面5Y7/2 灰白	チャート・長石 石英 黒色鉱物粒	476
346	SP348	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR7/6 橙 外面5YR7/6 橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	301
347	SP348	土師質土器 中皿	(10.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄色 外面2.5Y7/3 浅黄色	長石 黒色鉱物粒	356
348	SP348	土師質土器 中皿	(10.5) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	285
349	SP348	土師質土器 中皿	10.2 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面2.5Y7/2 灰黄色	長石 石英 黒色鉱物粒	280
350	SP348	土師質土器 中皿	(9.6) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 にぶい橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	305
351	SP348	土師質土器 中皿	(10.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	302
352	SP348	土師質土器 中皿	(10.4) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄色 外面2.5Y7/2 灰黄色	長石 黒色鉱物粒	273

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
353	SP348	土師質土器 中皿	10.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄色 外面2.5Y7/3 浅黄	長石 黒色鉱物粒	272
354	SP348	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄色 外面2.5Y7/2 灰黄色	長石 黒色鉱物粒	271
355	SP348	土師質土器 中皿	(10.4) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	366
356	SP348	土師質土器 中皿	(10.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面5YR7/6 橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	327
357	SP348	土師質土器 中皿	(10.8) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面横位圧痕	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	336
358	SP348	土師質土器 中皿	(10.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	324
359	SP348	土師質土器 中皿	(11.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	325
360	SP348	土師質土器 中皿	(10.2) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR にぶい橙 外面7.5YR にぶい橙	チャート 長石	338
361	SP348	土師質土器 中皿	(11.2) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石 チャート 黒色鉱物粒	339
362	SP348	土師質土器 中皿	(10.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	長石 黒色鉱物粒	367
363	SP348	土師質土器 中皿	(11.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	チャート 黒色鉱物粒 長石	337
364	SP348	土師質土器 中皿	(11.2) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	309
365	SP348	土師質土器 中皿	(11.2) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	チャート・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	303
366	SP348	土師質土器 中皿	(10.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	277
367	SP348	土師質土器 中皿	(10.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	長石 黒色鉱物粒	278
368	SP348	土師質土器 中皿	(10.6) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	279
369	SP348	土師質土器 中皿	(11.8) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	357
370	SP348	土師質土器 中皿	(11.0) 2.2 –	内面風転ナデ 外面指頭圧痕	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	307
371	SP359	土師質土器 中皿	(10.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	311
372	SP359	土師質土器 中皿	(10.2) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR6/2 灰黄褐	チャート・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	310
373	SP359	土師質土器 中皿	(11.2) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	306
374	SP359	土師質土器 中皿	(9.6) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 チャート 赤色酸化粒	326
375	SP359	土師質土器 中皿	(9.8) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石・チャート 石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	283
376	SP359	土師質土器 中皿	9.8 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	304
377	SP359	土師質土器 中皿	(10.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	276
378	SP359	土師質土器 中皿	(11.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	黒色鉱物粒 長石	275
379	SP359	土師質土器 中皿	(9.4) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	長石 黒色鉱物粒	358
380	SP359	土師質土器 中皿	(10.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 チャート	284
381	SP339	土師質土器 中皿	10.4 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	274
382	SP359	土師質土器 中皿	(10.2) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	チャート・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	282
383	SP359	土師質土器 中皿	(10.4) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石・チャート 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	281
384	SP359	土師質土器 中皿	(9.2) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	308
385	SP359	土師質土器 小皿	(8.4) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄色 外面2.5Y7/3 浅黄色	黒色鉱物粒 長石	355
389	SK311	土師質土器 中皿	(11.3) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	404
390	SK311	土師質土器 中皿	(11.2) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	405

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
391	SK311	土師質土器 中皿	(11.0) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	406
392	SK311	土師質土器 中皿	(11.0) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	408
393	SK311	土師質土器 中皿	(11.2) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面撫調圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	403
394	SK311	土師質土器 中皿	(9.8) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	407
395	SK311	土師質土器 鉢状皿	27.0 9.3 –	内外面ロクロナデ	内面指ナデ 外面タタキ 内外面スス付着	欠損	内面5YR6/6 橙 外面2.5YR4/4 にぶい赤褐	黒色鉱物粒 長石	635
396	SP359	土師質土器 中皿	–	内外面回転ナデ	内面撫調圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面2.5YR4/4 にぶい赤褐	黒色鉱物粒 長石	400
397	SP359	土師質土器 中皿	(11.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	401
398	SP359	土師質土器 中皿	(11.2) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	402
399	SP359	丹波焼 擂鉢	(34.2) 13.7 –	内面擂目（クシ目）	内面擂目 外面ロクロ目のちナデ	内面摩滅 外面ナデ	内面2.5YR5/4 にぶい赤褐 外面2.5YR4/3 にぶい赤褐	長石 黒色鉱物粒 石英	1792
400	SP303	土師質土器 中皿	(10.8) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR5/2 灰黄褐 外面10YR5/2 灰黄褐	長石 黒色鉱物粒	450
401	SP304	土師質土器 小皿	(8.2) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	448
402	SP304	土師質土器 中皿	(9.8) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面撫調圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y6/2 にぶい黄 外面2.5Y6/2 にぶい黄	長石 黒色鉱物粒	449
403	SP310	備前焼 擂鉢	33.4 6.0 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面2.5Y4/1 黄灰 外面2.5Y5/1 黄灰	長石	388
404	SP312	備前焼 壺	(11.0) 6.0 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロのちナデ	欠損	内面7.5YR4/2 灰褐 外面N8/0 灰白	長石 黒色鉱物粒	391
405	SP352	土師質土器 中皿	(8.2) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 石英 赤色酸化粒	362
406	SP352	備前焼 擂鉢	(28.8) 5.0 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面7.5YR4/1 褐灰 外面2.5YR4/2 灰赤	長石	361
407	SP328	土師質土器 中皿	(10.4) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石	455
408	SP343	土師質土器 中皿	(10.8) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	360
409	SP343	土師質土器 中皿	(10.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面2.5Y6/2 灰黄	長石 黒色鉱物粒 雲母	359
410	SP315	土師質土器 中皿	(11.4) 3.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/2 灰褐 外面5YR6/2 灰褐	長石 石英 赤色酸化粒	364
411	SP314	土師質土器 中皿	(9.8) 1.9 –	内外面風転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	長石 石英 黒色鉱物粒	340
412	SP322	土師質土器 中皿	10.6 2.2 –	内外面風転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	329
413	SP322	土師質土器 中皿	10.5 2.1 –	内外面風転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	328
414	SP328	土師質土器 中皿	(11.8) 2.4 –	内外面風転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR4/6 赤褐 外面5YR4/6 赤褐	長石 石英	454
415	SP361	土師質土器 中皿	(12.0) 1.9 –	内外面風転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 チャート 黒色鉱物粒	363
416	SP330	土師質土器 小皿	(8.0) 1.2 –	内外面風転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	456
417	SP339	土師質土器 小皿	(7.2) 2.0 –	内外面風転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	354
418	SP327	土師質土器 小皿	(7.8) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面7.5YR5/4 にぶい褐 外面7.5YR5/4 にぶい褐	チャート 長石 黒色鉱物粒	452
419	SP337	土師質土器 小皿	(8.4) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 石英	453
420	SP362	土師質土器 大皿	(12.6) 2.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面撫調圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄色 外面10YR8/4 浅黄色	黒色鉱物粒 赤色酸化粒	331
421	SP322	土師質土器 大皿	(19.2) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面撫調圧痕のちナデ	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	330
422	SP362	土師質土器 大皿	(16.4) 2.3 –	内外面風転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石	332
423	SP315	土師質土器 大皿	(13.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	365
424	SP315	備前焼 甕	(50.0) 5.6 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面7.5YR4/1 褐灰 外面2.5YR4/2 灰赤	長石 石英	367
425	SK414上層	肥前系 白磁染付 碗	(15.6) 7.7 –	内外面施釉	内外面施釉 草花文	見込部蛇ノ目ハギ 高台部界線2条 内外面施釉	内面2.5GY8/1 灰白 外面2.5GY8/1 灰白	砂粒みえず	578

表3　出土土器観察表

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
426	SK414上層	肥前系 白磁染付 碗	(10.4) 5.0 –	内外面施釉薬	内外面施釉 草花文	見込部蛇ノ目ハギ 内外面施釉	内面2.5GY8/1 灰白 外面2.5GY8/1 灰白	砂粒みえず	576
427	SK414上層	肥前系 白磁染付 碗	(9.2) 4.0 –	内外面施釉薬	内外面施釉 草花文	欠損	内面5GY8/1 灰白 外面5GY8/1 灰白	砂粒みえず	579
428	SK414上層	肥前系 白磁染付 碗	(11.6) 3.3 –	内外面施釉薬	内外面施釉 草花文	欠損	内面2.5GY 灰白 外面2.5GY 灰白	砂粒みえず	580
429	SK414下層	瀬戸・美濃 緑釉皿	(18.4) 3.4 –	内外面施釉薬	内外面施釉	欠損	内面5Y7/3 浅黄(釉) 外面5Y8/2 灰白	長石 黒色鉱物粒	569
430	SK414上層	土師質土器 煮炊具	(25.0) 6.2 –	内外面ロクロナデ	内面回転指ナデ 外面指ナデ	欠損	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	長石 石英 黒色鉱物粒	575
431	SP443	丹波焼 甕	(20.0) 15.5 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロ目のちナデ 外面肩部条線・流し掛け釉	欠損	内面5YR2/2 黒褐 外面10R3/2 暗赤褐	長石 黒色鉱物粒	601
432	SK404	丹波焼 擂鉢	(27.6) 7.4 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面2.5Y5/1 黄灰 外面2.5Y6/1 黄灰	長石 石英	1633
433	SK416	肥前系 白磁染付 碗	(14.6) 6.4 –	内外面施釉	内外面施釉 草花文	内面界線2条 高台部欠損	内面10GY 明緑灰色 外面10GY 明緑灰色	砂粒みえず	508
434	SK416	瀬戸・美濃 鉄釉 袴腰形香炉	(15.8) 5.7 –	内外面施釉	内面露胎 外面施釉	内面露胎	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面N1.5/0 黒(釉)	砂粒みえず	632
435	SK416	肥前系 白磁染付 鉢	12.0 3.3 –	内外面施釉	内外面施釉・唐草文 外面界線3条・草花文	内外面施釉	内面10Y7/1 灰白 外面10Y7/1 灰白	砂粒みえず	633
436	SK416	肥前系 白磁染付 鉢	(10.6) 2.8 –	内外面施釉	内外面施釉 外面千鳥文	欠損	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	662
437	SK416	肥前系 白磁染付 鉢	(13.8) 3.0 –	内外面施釉	内外面施釉 外面界線3条・草花文	内外面施釉	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	634
438	SK416	肥前系 白磁染付 仏飯具	– 3.5 4.0	欠損	外面施釉・界線2条	底部外面露胎	内面5Y7/1 灰白 外面5Y7/1 灰白	砂粒みえず	663
439	SK416	土師質土器 中皿	(10.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒	660
440	SK416	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	661
441	SK416	土師質土器 大皿	(12.0) 2.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 雲母	661
442	SK416	土師質土器 煮炊具	(30.4) 5.1 –	内外面ロクロナデ	内外面回転指ナデ 外面スス付着	欠損	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR3/2 暗赤褐	黒色鉱物粒 長石 雲母	659
443	SK416	土師質土器 煮炊具	(25.0) 6.3 –	内外面ロクロナデ	内外面回転指ナデ	内外面ナデ	内面2.5YR5/6 明赤褐 外面2.5YR5/6 明赤褐	長石・石英 チャート 黒色鉱物粒	504
444	SK415	肥前系 白磁染付 鉢	(14.0) 3.0 –	内外面施釉	内外面施釉 外面唐草文	欠損	内面2.5GY8/1 灰白 外面2.5GY8/1 灰白	砂粒みえず	511
445	SK415	肥前系 白磁染付 鉢	13.4 4.0 –	内外面施釉	内外面施釉	内外面施釉	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	砂粒みえず	509
446	SK415	肥前系 白磁染付 鉢	(11.8) 3.2 –	内外面施釉	内外面施釉	高台部界線2条	内面5GY8/1 灰白 外面5GY8/1 灰白	砂粒みえず	510
447	SK415	土師質土器 灯明皿 脚	2.2 4.6 4.4	内外面鉄釉・ナデ	内外面鉄釉・ナデ	内面露胎	内面5YR7/6 橙(無釉) 外面2.5YR4/4 にぶい赤褐(釉)	黒色鉱物粒 長石	507
448	SK415	丹波焼 火入	11.8 5.7 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面5YR7/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 石英 黒色鉱物粒	506
449	SK415	土師質土器 小皿 (轆轤系)	7.5 2.1 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面10YR8/4 浅黄色 外面10YR8/4 浅黄色	黒色鉱物粒	512
450	SK415	土師質土器 小皿	(7.2) 1.1 –	内外面ロクロナデ 外面タール痕付着	内外面ロクロナデ	糸切り	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒	515
451	SK415	土師質土器 煮炊具	(26.0) 6.0 –	内外面ロクロナデ	内面回転指ナデ 外面回転指ナデ・スス付着	欠損	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面5YR5/4 にぶい赤褐	チャート 黒色鉱物粒 長石	505
452	SK418	産地不明 青磁 香炉	– 5.8 (11.6)	欠損	内面無釉露胎 外面施釉薬	欠損	内面5GY8/1 灰白(釉) 外面7.5GY7/1 明緑灰(釉)	砂粒みえず	678
453	SK418	土師質土器 焼塩壷 蓋	8.0 2.3 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	677
454	SK418	土師質土器 大皿	(13.4) 1.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒	675
455	SK412 1/10③	土師質土器 中皿	11.2 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	523
456	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	(10.6) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	543
457	SK412	土師質土器 中皿	10.2 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒 チャート 長石	529
458	SK412	土師質土器 中皿	10.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	531
459	SK412	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	552
460	SK412	土師質土器 中皿	10.8 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒	520
461	SK412	土師質土器 中皿	10.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	雲母 黒色鉱物粒 チャート	530
462	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.3 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	546
463	SK412	土師質土器 中皿	10.6 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	550
464	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	11.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	525
465	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	526
466	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.7 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母	528
467	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	(10.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	542
468	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.8 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	540
469	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	11.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	548
470	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	11.0 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	赤色酸化粒 長石 黒色鉱物粒	524
471	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面2.5Y7/3 浅黄	長石 石英 黒色鉱物粒	521
472	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.4 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート	553
473	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.8 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	549
474	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.4 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	545
475	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.4 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	522
476	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	(10.3) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	541
477	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	555
478	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.4 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	547
479	SK412	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	551
480	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	11.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	544
481	SK412 1/10②	土師質土器 中皿	11.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	533
482	SK412 1/10②	土師質土器 中皿	11.3 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート 黒色鉱物粒	535
483	SK412 1/10②	土師質土器 中皿	11.8 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	537
484	SK412　②	土師質土器 中皿	11.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・チャート 雲母	1115
485	SK412　②	土師質土器 中皿	10.4 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母	1121
486	SK412 1/10②	土師質土器 中皿	12.9 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	536
487	SK412　②	土師質土器 中皿	(11.0) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1122
488	SK412 1/10②	土師質土器 中皿	10.8 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	538
489	SK412 1/10②	土師質土器 中皿	10.6 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	539
490	SK412 1/10③	土師質土器 中皿	11.2 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	517
491	SK412 1/10③	土師質土器 中皿	10.6 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	516
492	SK412　②	土師質土器 中皿	10.7 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	532
493	SK412 1/10③	土師質土器 中皿	11.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	519
494	SK412 1/10③	土師質土器 中皿	11.6 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	518
495	SK412　③	土師質土器 中皿	(10.4) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1116

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
496	SK412 ②	土師質土器 中皿	10.2 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・石英	1120
497	SK412 ③	土師質土器 中皿	10.4 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1118
498	SK412 ③	土師質土器 中皿	10.4 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1117
499	SK412 1/10②	土師質土器 中皿	11.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR8/2 灰白	長石 黒色鉱物粒	534
500	SK412 1/10⑩	土師質土器 中皿	10.4 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	554
501	SK412最下層	土師質土器 中皿	11.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	チャート 長石・石英 黒色鉱物粒	570
502	SK412最下層	土師質土器 中皿	10.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石 黒色鉱物粒	572
503	SK412 1/10①	土師質土器 中皿	10.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	527
504	SK412下層	土師質土器 中皿	(10.6) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	568
505	SK412 ③	土師質土器 中皿	10.4 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石・雲母 赤色酸化粒	1119
506	SK412下層	土師質土器 中皿	(9.1) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒 長石 石英	567
507	SK412 ②	土師質土器 大皿	16.4 3.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面10YR8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	561
508	SK412 ③	土師質土器 大皿	14.4 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	563
509	SK412 ②	土師質土器 大皿	15.8 3.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面10YR8/4 浅黄 外面10YR8/4 浅黄	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 石英	562
510	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1162
511	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1174
512	SP314	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	648
513	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.1 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1169
514	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 長石	1171
515	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.1 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1179
516	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート	1181
517	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.0) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1168
518	SK412 ①	小皿 (へそ皿)	8.2 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1155
519	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.7 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1154
520	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1166
521	SK412	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1147
522	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.1 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1175
523	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/2 灰黄	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1165
524	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1167
525	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1172
526	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1157
527	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1156
528	SK412下層	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.6) 1.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	565
529	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1164
530	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 雲母	1178

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
531	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.3 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	1176
532	SK412	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.5 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1158
533	SK412	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1148
534	SK412最下層	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.6 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	571
535	SK412下層	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.8) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	566
536	SK412	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1173
537	SK412	土師質土器 小皿 (へそ皿)	3.9 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面8/2 灰白 外面8/2 灰白	黒色鉱物粒 長石	1182
538	SK412下層	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	564
539	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.1 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1180
540	SK412 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1163
541	SK414下層	土師質土器 中皿	(11.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	608
542	SK414下層	土師質土器 中皿	10.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	611
543	SK414下層	土師質土器 中皿	11.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 長石	606
544	SK414下層	土師質土器 中皿	(11.6) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	613
545	SK414下層	土師質土器 中皿	(11.2) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	609
546	SK414下層	土師質土器 中皿	(11.5) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	602
547	SK414下層	土師質土器 中皿	(11.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	607
548	SK414	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(12.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	660
549	SK414下層	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.0) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	599
550	SK414下層	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒	603
551	SK414下層	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.8) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	605
552	SK414下層	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	604
553	SK414下層	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	612
554	SK414下層	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.8) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	610
555	SP438	土師質土器 大皿	16.0 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒	656
556	SP438	土師質土器 大皿	(21.0) 3.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 雲母 赤色酸化粒	655
557	SP438	軍扇系 須恵器 硯	(14.2) 3.7 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面2.5Y7/1 灰白 外面2.5Y7/1 灰白	チャート 石英 黒色鉱物粒	668
558	SP438 3面ベース	土師質土器 盃状具	27.0 9.3 –	内外面ロクロナデ	内面回転ユビナデ 外面タタキ	欠損	内面5YR7/8 橙 外面2.5YR5/4 にぶい赤褐	黒色鉱物粒 長石	636
559	SP438	土師質土器 盃状具	(32.6) 9.0 –	内外面ロクロナデ	内面回転ユビナデ 外面タタキ	欠損	内面7.5YR5/3 にぶい橙 外面7.5YR1.7/1 赤黒	長石 黒色鉱物粒	658
560	SK407	土師質土器 中皿	(10.8) 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	673
563	SK407	備前焼 擂鉢	(38.8) 8.3 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面N4/0 灰 外面5YR3/1 黒褐	長石 石英 赤色酸化粒	672
564	SK405	土師質土器 小皿	(8.0) 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面ナデ	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 チャート・雲母	1151
565	SK406	土師質土器 中皿	(13.6) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	674
566	SK403	土師質土器 中皿	(11.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	669
567	SK403	土師質土器 小皿	9.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕跡のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 石英 黒色鉱物粒	670

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
568	SK403	土師質土器 小皿	(8.8) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	671
569	SK406	土師質土器 蓋炊具	(24.8) 4.2 –	内外面ロクロナデ	内面同転ユビナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR3/1 黒褐		676
570	SK403	東播系 須恵器 鉢	(30.6) 5.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N5/0 灰色 外面N5/0 灰色	チャート 長石 黒色鉱物粒	666
571	SX401	土師質土器 中皿	10.8 1.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石	1139
572	SX401	土師質土器 中皿	11.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 石英	1138
573	SX401	土師質土器 中皿	10.4 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1137
574	SX401	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1140
575	SX401	土師質土器 大皿	(13.6) 2.8 –	内外面回転ナデ	内面ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1135
576	SX401	土師質土器 大皿	(13.0) 3.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	黒色鉱物粒	1134
577	SX401	土師質土器 大皿	(13.4) 3.2 –	内外面回転ナデ	内面ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1136
578	SX401	土師質土器 蓋炊具 (羽釜)	(22.8) 3.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母・長石 チャート	1149
579	SX401	産地不明 輸入青磁 碗	(26.6) 3.3 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	砂粒みえず	1328
580	SX401	備前焼 擂鉢	(36.0) 5.8 –	内外面ロクロナデ 外面凹線2条	欠損	欠損	内面2.5YR5/2 灰赤 外面2.5YR5/2 灰赤	長石	1326
581	SX401	備前焼 擂鉢		内外面ロクロナデ	内面櫛目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面5YR5/3 にぶい赤褐 外面2.5YR6/4 にぶい橙	長石	1325
582	SX401	丹波焼 擂鉢		内外面ロクロナデ 内面凹線	内面櫛目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面5YR6/1 褐灰 外面5YR5/2 灰褐	長石	1324 1324 1324
583	SX401	丹波焼 擂鉢		内外面ロクロナデ 内面凹線	内面櫛目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面2.5Y4/4 にぶい赤褐 外面2.5YR5/6 明赤褐	石英 長石 黒色鉱物粒	1327
584	SP403	瀬戸・美濃 卸目付 大皿	(25.6) 3.7 –	内外面施釉	内面磨滅不明 外面施釉～露胎	欠損	内面2.5Y5/3 青磁 外面5Y8/1 灰白(釉) 外面5Y6/2 灰オリーブ(素地)	長石	1150
585	SP408	東播系 須恵器 鉢	(31.0) 3.7 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N5/0 灰 外面N5/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1261
586	SP455	東播系 須恵器 鉢	(32.0) 2.5 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5Y7/1 灰白 外面2.5Y7/1 灰白	長石 チャート 黒色鉱物粒	1262
587	SK409	土師質土器 中皿	(12.6) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	624
588	SK409	土師質土器 中皿	(11.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	626
589	SK409	土師質土器 中皿	(11.2) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	628
590	SK409	土師質土器 中皿	(10.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	627
591	SK409	土師質土器 大皿	(16.0) 2.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	625
592	SK409	産地不明 輸入青磁 皿	(11.4) 2.8 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面10Y7/2 灰白 外面10Y7/2 灰白	黒色鉱物粒	623
593	SK409	産地不明 輸入青磁 碗	(16.3) 6.1 –	内外面施釉	内外面施釉	高台部内面露胎 外面施釉	内面2.5GY6/1 オリーブ灰 外面2.5GY6/1 オリーブ灰	長石	620
594	SK409	常滑焼 甕	(34.0) 3.0 –	内外面施釉	欠損	欠損	内面5YR4/2 灰褐 外面2.5YR4/2 灰赤	長石	622
595	SP418	土師質土器 中皿	10.6 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1143
596	SP418	土師質土器 中皿	10.6 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石・石英 赤色酸化粒	1146
597	P328	土師質土器 中皿	11.8 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 石英 黒色鉱物粒	228
598	SP418	土師質土器 中皿	(11.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 石英	1145
599	P328	土師質土器 中皿	(11.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面断面原圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 石英 黒色鉱物粒	230
600	SP418	土師質土器 中皿	11.1 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1144
601	SP418	土師質土器 中皿	10.8 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	チャート・長石 黒色鉱物粒 雲母 赤色酸化粒 石英	1142
602	SP418	土師質土器 中皿	10.2 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 チャート	1141

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
603	SP418	土師質土器 中皿	10.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	長石 石英 黒色鉱物粒	229
604	SP418	土師質土器 中皿	(11.8) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	雲母 黒色鉱物粒	232
605	SP418	土師質土器 中皿	(11.4) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	231
606	SP418	産地不明 輸入磁器 碗	(7.8) 4.6 3.2	内外面施釉	内外面施釉	内外面露胎	内面N5/0 灰色(施釉) 外面N6/0 灰色(施釉)	砂粒みえず	227
607	SK410	土師質土器 中皿	(9.8) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・石英	688
608	SK410	土師質土器 中皿	(10.4) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	689
609	SK410	土師質土器 中皿	(10.2) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	687
610	SK410	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.6) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/2 にぶい橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	686
611	SK410	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	685
612	SK410	東播系 須恵器 鉢	(30.0) 5.7 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N5/0 灰色 外面N5/0 灰色	黒色鉱物粒 長石	690
613	SP423	土師質土器 中皿	(10.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	692
614	SP444	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	691
615	SP423	土師質土器 中皿	(10.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	695
616	SP420	土師質土器 中皿	10.2 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/3 浅黄	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	574
617	SP423	土師質土器 中皿	(11.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石	694
618	SP420	土師質土器 大皿	(13.6) 2.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面2.5Y7/2 灰黄 外面10YR7/2 にぶい黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	573
619	SP423	土師質土器 中皿	(11.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	693
620	SK417	備前焼 擂鉢	(29.0) 6.6 –	内外面ロクロナデ	内面櫛目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面5YR4/1 褐灰 外面2.5YR4/2 灰赤	石英 長石	713
621	SK411	土師質土器 中皿	10.3 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート 長石	594
622	SK411	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	639
623	SK411	土師質土器 中皿	(10.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・チャート	589
624	SK411	土師質土器 中皿	(10.4) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	586
625	SK411	土師質土器 中皿	(10.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	588
626	SK411	土師質土器 中皿	10.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒 長石	631
627	SK411	土師質土器 中皿	(10.8) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y6/2 灰黄 外面2.5Y6/2 灰黄	黒色鉱物粒 長石	642
628	SK411	土師質土器 中皿	10.6 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	629
629	SK411	土師質土器 中皿	(10.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	596
630	SK411	土師質土器 中皿	(10.8) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	595
631	SK411	土師質土器 中皿	10.6 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y6/3 にぶい黄 外面2.5Y6/3 にぶい黄	黒色鉱物粒 長石	590
632	SK411	土師質土器 中皿	10.6 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y6/3 にぶい黄 外面2.5Y6/3 にぶい黄	黒色鉱物粒 長石	584
633	SK411	土師質土器 中皿	10.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	587
634	SK411	土師質土器 中皿	(10.9) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	585
635	SK411	土師質土器 中皿	10.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	591
636	SK411	土師質土器 中皿	(11.1) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	600
637	SK411	土師質土器 中皿	(11.6) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	597

図版番号	出土地点	器種	法量(口(径)・器高・底(径))	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
638	SK411	土師質土器 中皿	(12.1) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	598
639	SK411	土師質土器 中皿	10.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 石英 黒色鉱物粒	641
640	SK411	土師質土器 中皿	(10.5) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	644
641	SK411	土師質土器 中皿	(10.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	593
642	SK501	土師質土器 中皿	(11.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/2 にぶい橙 外面7.5YR6/2 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	909
643	SK411	土師質土器 中皿	10.8 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	640
644	SK411	土師質土器 中皿	10.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	638
645	SK411	土師質土器 中皿	(10.6) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	592
646	SK411	土師質土器 中皿	10.6 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	630
647	SK411	土師質土器 中皿	(12.1) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	643
648	SK411 ②	土師質土器 中皿	10.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	637
649	SK411	土師質土器 大皿	(14.2) 2.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	長石 黒色鉱物粒	581
650	SK411	土師質土器 大皿	(16.6) 3.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/3 淡黄 外面2.5Y8/3 淡黄	黒色鉱物粒 長石	582
651	SK411	土師質土器 大皿	16.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石	583
652	SK411 ②	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	646
653	SK411	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.1) 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート 黒色鉱物粒 長石・雲母	652
654	SK411	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	649
655	SK411	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート 長石・雲母 黒色鉱物粒	653
656	SK411 ②	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	647
657	SK411	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	651
658	SK411	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.6) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	650
659	SK411	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	645
660	SK411	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	長石 石英 黒色鉱物粒	654
661	SK408	土師質土器 中皿	(11.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR8/4 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	618
662	SK408	土師質土器 中皿	(11.6) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	619
663	SK408	土師質土器 中皿	(10.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	621
664	SK408	土師質土器 中皿	10.8 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	614
665	SK408	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.8) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	615
666	SK408	土師質土器 煮炊具	(18.6) 3.7 –	内外面ロクロナデ	内面ナデ 外面タタキ ススけ着	欠損	内面5YR4/3 にぶい赤褐 外面7.5YR4/1 褐灰	黒色鉱物粒 長石	616
667	SK408	土師質土器 擂鉢	(19.2) 5.7 –	内外面ロクロナデ	内面磨滅・擂目なし 外面ナデ	欠損	内面N4/0 灰 外面7.5YR7/2 明褐灰	黒色鉱物粒 長石	617
668	SK408	土師質土器 煮炊具	(32.0) 7.0 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ・ユビナデ 外面タタキ	欠損	内面5YR6/6 橙 外面2.5YR2/1 赤黒	長石 黒色鉱物粒	657
669	SK408	月波焼 擂鉢	(29.4) 9.2 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面7.5YR4/3 褐 外面7.5YR4/3 褐	長石 黒色鉱物粒	244
670	SK408	備前焼 甕	(36.0) 7.8 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5YR5/3 にぶい赤褐 外面2.5YR4/2 灰赤	長石 石英 黒色鉱物粒	628
671	SK513	土師質土器 中皿	(11.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/3 淡黄 外面2.5Y8/3 淡黄	チャート 長石 黒色鉱物粒	731
672	SK513	土師質土器 中皿	10.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 淡黄 外面2.5Y7/3 淡黄	黒色鉱物粒 雲母 長石	716
673	SK513	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	735
674	SK513	土師質土器 中皿	10.4 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	727
675	SK513	土師質土器 中皿	(10.8) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y5/2 暗灰黄 外面2.5Y5/2 暗灰黄	黒色鉱物粒 長石	729
676	SK513	土師質土器 中皿	(11.4) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	734
677	SK417	土師質土器 中皿	9.6 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面2.5Y7/3 浅黄	長石 黒色鉱物粒	725
678	SK513 ②	土師質土器 中皿	11.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 石英 黒色鉱物粒	728
679	SK513 ②	土師質土器 中皿	10.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	724
680	SK513 ②	土師質土器 中皿	10.6 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	チャート・長石 黒色鉱物粒 雲母	717
681	SK513 ③	土師質土器 中皿	11.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	チャート・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	730
682	SK513 ②	土師質土器 中皿	10.8 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y6/2 灰黄 外面2.5Y6/2 灰黄	長石 黒色鉱物粒 石英	723
683	SK513 ③	土師質土器 中皿	(12.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 雲母	732
684	SK513 ③	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	722
685	SK513 ③	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・石英	721
686	SK513 ③	土師質土器 中皿	10.4 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	726
687	SK513 ③	土師質土器 中皿	11.2 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 雲母	715
688	SK513 ③	土師質土器 中皿	(12.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート 黒色鉱物粒 長石	736
689	SK513 ③	土師質土器 中皿	11.4 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	長石 石英 黒色鉱物粒	725
690	SK513 ③	土師質土器 中皿	10.2 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母	718
691	SK513 ④	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y6/3 にぶい黄 外面2.5Y6/3 にぶい黄	黒色鉱物粒 長石 雲母	720
692	SK513 ④	土師質土器 中皿	10.6 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	719
693	SK513 ④	土師質土器 中皿	(11.4) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	733
694		土師質土器 小皿	8.4 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y2/1 黒色 外面2.5Y2/1 黒色	チャート 長石	740
695	SK513	土師質土器 小皿	(8.2) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	747
696	SK513	土師質土器 小皿	(8.4) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート 黒色鉱物粒	724
697	SK513	土師質土器 小皿	8.1 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	チャート 長石 黒色鉱物粒	742
698	SK513	土師質土器 小皿	(8.4) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	723
699	SK513	土師質土器 小皿	8.4 1.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	チャート 赤色酸化粒 長石 黒色鉱物粒	737
700	SK513	土師質土器 小皿	(8.4) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート 黒色鉱物粒 長石	746
701	SK513 ④	土師質土器 小皿	7.7 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y6/2 にぶい黄 外面2.5Y6/2 にぶい黄	黒色鉱物粒 長石 チャート	739
702	SK513	土師質土器 小皿	8.4 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y6/3 にぶい黄 外面2.5Y6/3 にぶい黄	長石 黒色鉱物粒 雲母	738
703	SK513 ④	土師質土器 大皿	(16.6) 3.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/3 淡黄 外面2.5Y8/3 淡黄	黒色鉱物粒 長石	680
704	SK513	土師質土器 大皿	(15.6) 3.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母	684
705	SK513	土師質土器 大皿	(18.6) 3.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒 雲母	683
706	SK513 ④	土師質土器 大皿	(16.4) 3.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/3 浅黄 外面2.5Y8/3 浅黄	黒色鉱物粒 チャート 長石	681
707	SK513	土師質土器 大皿	16.4 3.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/2 灰白色 外面10YR8/2 灰白色	黒色鉱物粒 赤色斑化粒 雲母・長石	679

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
708	SK513 ④	土師質土器 大皿	(17.4) 3.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/2 灰色 外面2.5Y8/2 灰色	黒色鉱物粒 長石	682
709	SK513 ①	東播系 須恵器 鉢	– 7.0 11.0	欠損	内外面ロクロ目のちナデ	糸切り	内面7.5YR7/1 灰白 外面7.5YR7/1 灰白	黒色鉱物粒 長石 石英	1630
710	SX412 ①	古瀬戸 卸皿	(21.8) 4.7 –	内外面施釉	内面施釉～露胎 外面施釉～露胎	糸切り	内外面5Y8/2 灰白(灰釉) 内外面10YR8/3 浅黄橙(釉)	黒色鉱物粒	1797
711	SK511	土師質土器 中皿	(11.0) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	749
712	SK511	土師質土器 中皿	(10.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート 赤色酸化粒 長石	753
713	SK511	土師質土器 中皿	(10.8) 2.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石	750
714	SK511	土師質土器 中皿	(10.8) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	752
715	SK402	土師質土器 中皿	(11.6) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR4/0 褐灰 外面7.5YR4/0 褐灰	黒色鉱物粒 長石	751
716	SK511	土師質土器 大皿	19.0 4.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒	748
717	SK511	土師質土器 煮炊具	(23.0) 6.7 –	内外面ロクロナデ	内面ユビナデ 外面ナデ・タタキ	欠損	内面7.5YR5/4 にぶい褐 外面2.5YR4/2 灰褐	黒色鉱物粒 長石	1205
718	SK509	土師質土器 中皿	(13.0) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母	920
719	SK509	土師質土器 中皿	(10.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	928
720	SK509	土師質土器 小皿	(8.4) 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 長石	926
721	SK509	土師質土器 大皿	(17.8) 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	黒色鉱物粒 長石	929
722	SK509	備前焼 播鉢	(24.0) 4.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5Y7/2 灰黄 外面7.5YR3/3 暗褐	長石 チャート	927
723	SK518	七輿質土器 中皿	11.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	991
724	SK518	土師質土器 小皿	(8.2) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面5YR5/4 にぶい赤褐	黒色鉱物粒	930
725	SK518	土師質土器 大皿	(12.4) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 長石	931
726	SK518	常滑焼 甕	(36.8) 5.0 –	内外面ロクロのちナデ	欠損	欠損	内面5YR4/2 灰褐 外面5YR3/3 暗赤褐	長石	930
727	SK508	土師質土器 中皿	12.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	924
728	SK508	土師質土器 小皿	(9.6) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 雲母 長石	925
729	SK508	土師質土器 煮炊具	(24.0) 2.2 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR5/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 長石	922
730	SK508	瓦質土器 鍋	(16.2) 3.5 –	内外面回転ナデ	内面ナデ 外面ナデ・指頭圧痕	欠損	内面N4/0 灰 外面N3/0 暗灰	長石 雲母	923
731	SK510	土師質土器 中皿	11.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母	917
732	SK510	土師質土器 中皿	(11.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/3 にぶい黄 外面2.5Y8/3 にぶい黄	長石・石英 雲母 黒色鉱物粒	919
733	SK510	土師質土器 中皿	(11.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	918
734	SK506	土師質土器 中皿	10.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	952
735	SK505 ①	土師質土器 中皿	(11.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート・長石	1049
736	SK505 ①	土師質土器 中皿	11.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート 長石・石英	843
737	SK505 ①	土師質土器 中皿	(11.6) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1045
738	SK505 ①	土師質土器 中皿	(11.6) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1304
739	SK505 ①	土師質土器 中皿	11.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1048
740	SK505 ①	土師質土器 中皿	11.2 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	844
741	SK505 ①	土師質土器 中皿	11.6 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英・チャート	842
742	SK505 ①	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1047

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
743	SK505	土師質土器 中皿	11.0 2.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	954
744	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.2 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	850
745	SK505 ①	土師質土器 中皿	11.2 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	841
746	SK505 ③	土師質土器 中皿	11.2 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	845
747	SK505	土師質土器 中皿	11.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	820
748	SK505 ④	土師質土器 中皿	(11.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1309
749	SK505 ②	土師質土器 中皿	10.8 2.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	840
750	SK505 ②	土師質土器 中皿	10.8 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1046
751	SK505 ①	土師質土器 中皿	11.2 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	839
752	SK505 ④	土師質土器 中皿	11.2 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	863
753	SK505 ④	土師質土器 中皿	11.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 チャート・雲母	831
754	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.2 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	847
755	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.4 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	818
756	SK505 ①	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい橙 外面10YR7/2 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	849
757	SK505 ④	土師質土器 中皿	(11.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1308
758	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	848
759	SK505 ③	土師質土器 中皿	11.4 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	846
760	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.6 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	852
761	SK505 ④	土師質土器 中皿	10.8 2.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y6/2 灰黄 外面2.5Y6/2 灰黄	黒色鉱物粒 長石	862
762	SK505 ③	土師質土器 中皿	11.6 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1050
763	SK505 ④	土師質土器 中皿	(11.2) 2.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	チャート 黒色鉱物粒 雲母	864
764	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	10.9 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	826
765	SK505 ⑥	土師質土器 中皿	(11.6) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面縦位ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	865
766	SK505 ④	土師質土器 中皿	11.0 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	819
767	SK505 ④	土師質土器 中皿	11.0 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	861
768	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	12.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/6 明黄褐 外面10YR7/6 明黄褐	チャート 黒色鉱物粒 雲母・長石	830
769	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	11.4 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	829
770	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.4 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面2.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	851
771	SK505 ④	土師質土器 中皿	(11.3) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石・石英 赤色酸化粒	1051
772	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	11.8 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	837
773	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	(11.2) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	866
774	SK505 ④	土師質土器 中皿	11.2 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	860
775	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	827
776	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.2 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石	856
777	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	11.6 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	859

図版番号	出土地点	器種	法量（口径）（器高）（底径）	口縁部	調整体部	底部（脚部）	色調	胎土	実測番号
778	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	10.6 2.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	825
779	SK505 ⑦	土師質土器 中皿	11.6 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	965
780	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.1 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	855
781	SK505 ⑦	土師質土器 中皿	(11.4) 2.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち横転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面10YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1307
782	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	11.3 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	チャート 長石・雲母 黒色鉱物粒	828
783	SK505 ⑥	土師質土器 中皿	(12.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1305
784	SK505 ⑦	土師質土器 中皿	11.0 2.7 –	内外面ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	966
785	SK505 ⑥	土師質土器 中皿	(11.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	黒色鉱物粒 長石	956
786	SK505 ⑥	土師質土器 中皿	12.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち横転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	858
787	SK505 ⑦	土師質土器 中皿	11.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	964
788	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	11.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面2.5Y7/2 灰黄	黒色鉱物粒 雲母 長石	963
789	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.8 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	854
790	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.2 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	853
791	SK505 ⑦	土師質土器 中皿	11.6 2.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	968
792	SK505 ⑧	土師質土器 中皿	11.8 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1041
793	SK505 ⑧	土師質土器 中皿	11.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面剥ぬナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1044
794	SK505 ⑦	土師質土器 中皿	10.8 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	967
795	SK505 ⑦	土師質土器 中皿	11.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石	970
796	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	12.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	969
797	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	11.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	955
798	SK505 ②	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	857
799	SK505 ⑧	土師質土器 中皿	11.2 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	833
800	SK505 ⑧	土師質土器 中皿	11.2 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート・長石 石英・雲母	835
801	SK505 ⑤	土師質土器 中皿	10.8 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	834
802	SK505 ⑧	土師質土器 中皿	11.4 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	832
803	SK505 ⑧	土師質土器 中皿	11.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	951
804	SK505 ⑥	土師質土器 中皿	10.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	823
805	SK505 ⑧	土師質土器 中皿	(11.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい橙 外面10YR7/2 にぶい橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	1306
806	SK505 ⑧	土師質土器 中皿	(11.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	1039
807	SK505 ⑧	土師質土器 中皿	(11.2) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒	1040
808	SK505 ⑨	土師質土器 中皿	10.4 4.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	821
809	SK505 ⑨	土師質土器 中皿	(11.4) 1.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1038
810	SK505 ⑥	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1043
811	SK505 ⑧	土師質土器 中皿	(11.6) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1042
812	SK505 ⑨	土師質土器 中皿	10.8 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒 雲母	822

図版番号	出土地点	器種	法量（口径）（器高）（底径）	口縁部	調整体部	底部（脚部）	色調	胎土	実測番号
813	SK505 ⑨	土師質土器 中皿	(11.0) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	957
814	SK505 ⑨	土師質土器 中皿	11.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	836
815	SK505 ⑨	土師質土器 中皿	11.4 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	838
816	SK505 ②	土師質土器 小皿	7.8 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	874
817	SK505 ②	土師質土器 小皿	8.0 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	870
818	SK505 ①	土師質土器 小皿	8.0 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	869
819	SK505 ⑦	土師質土器 小皿	8.4 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石	868
820	SK505 ⑦	土師質土器 小皿	8.2 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	867
821	SK505 ⑧	土師質土器 小皿	7.9 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石・石英 チャート	875
822	SK505 ⑧	土師質土器 小皿	8.2 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面7.5YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	871
823	SK505 ⑧	土師質土器 小皿	8.2 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	雲母 黒色鉱物粒 長石	872
824	SK505 ⑧	土師質土器 小皿	7.6 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	873
825	SK505 ⑨	土師質土器 小皿	(9.0) 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1311
826	SK505	土師質土器 小皿	(8.6) 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1310
827	SK505 ⑦	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.6) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	黒色鉱物粒 長石	878
828	SK505 ⑧	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	824
829	SK505 ⑦	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.6 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート・長石	876
830	SK505 ⑦	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.6 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	877
831	SK505	東播系 須恵器 鉢	(32.8) 4.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1312
832	SK505 ⑤	石鍋	(30.6) 5.6 –	内外面整形	内面研磨 外面整形	欠損	—	— —	1809
833	SK506	土師質土器 中皿	12.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	940
834	SK505 ①	土師質土器 中皿	11.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1031
835	SK506 ①	土師質土器 中皿	(11.2) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち肩粘ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	939
836	SK506 ②	土師質土器 中皿	(10.6) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1034
837	SK506 ①	土師質土器 中皿	11.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1032
838	SK506 ①	土師質土器 中皿	11.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母	1030
839	SK506 ②	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/1 褐灰 外面10YR6/1 褐灰	黒色鉱物粒 長石	1035
840	SK506 ③	土師質土器 中皿	(11.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1033
841	SK506 ④	土師質土器 中皿	(10.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち横ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	937
842	SK506 ③	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1037
843	SK506 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1036
844	SK506 ①	土師質土器 大皿	(13.4) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 長石 雲母	938
845	SP515	土師質土器 中皿	(10.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕肩粘ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	806
846	SP515	土師質土器 中皿	10.6 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	黒色鉱物粒 長石	803
847	SP515	土師質土器 中皿	11.2 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	904

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
848	SP515	土師質土器 中皿	(12.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	905
849	SP515	土師質土器 中皿	(11.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	804
850	SP515	土師質土器 中皿	(11.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石	805
851	SP515	土師質土器 中皿	(11.6) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	807
852	SP515	土師質土器 中皿	(10.8) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	902
853	SP515	土師質土器 中皿	(11.0) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	黒色鉱物粒 長石 石英	906
854	SP515	土師質土器 中皿	(11.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	チャート 黒色鉱物粒 長石	907
855	SP515	土師質土器 中皿	(11.4) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	903
856	SP515	土師質土器 中皿	11.0 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	802
857	SP515	土師質土器 中皿	10.6 1.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	801
858	SP515	備前焼 甕	(50.8) 14.8 –	内外面ロクロナデ	内面ヘラ削り 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面N6/0 灰 外面N5/0 灰	黒色鉱物粒 長石	800
859	SP538	瓦質土器 鍋	(37.2) 2.5 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面5Y8/1 灰白 外面N4/0 灰	黒色鉱物粒 長石	921
860	SK504	土師質土器 中皿	(11.5) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石	1027
861	SP539	土師質土器 中皿	(11.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR5/2 灰褐 外面7.5YR5/2 灰褐	赤色酸化粒 長石	817
862	SP540	土師質土器 中皿	(11.4) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	816
863	SP540	東播系 須恵器 鉢	(17.6) 2.2 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N5/0 灰 外面N5/0 灰	長石 黒色鉱物粒	815
864	SP524	土師質土器 中皿	(12.4) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/3 にぶい褐 外面7.5YR6/3 にぶい褐	黒色鉱物粒 長石	760
865	SP524	東播系 須恵器 鉢	(23.6) 5.1 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	黒色鉱物粒 長石	763
866	SP525	土師質土器 中皿	(11.0) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1026
867	SP525	土師質土器 小皿	(7.2) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1025
868	SP557	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面25Y6/2 灰黄	黒色鉱物粒 長石	808
869	SP557	土師質土器 中皿	(8.6) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	809
870	SP557	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	黒色鉱物粒 長石	810
871	SP527	土師質土器 中皿	(10.0) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石・石英 チャート 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	812
872	SP527	土師質土器 小皿	(8.2) 1.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10Y7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	813
873	SP527	土師質土器 大皿	(13.0) 3.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のち回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	長石 黒色鉱物粒	811
874	SK519	土師質土器 中皿	11.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・石英	884
875	SP527	土師質土器 煮炊具	(26.0) 3.2 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/6 明黄褐	チャート 黒色鉱物粒 長石	814
876	SK507	石鍋	(21.6) 5.6 –	内外面整痕	内面研磨平滑 外面整痕	欠損	—	–	1808
877	SK517	土師質土器 中皿	(12.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	880
878	SK517	土師質土器 中皿	(11.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	879
879	SK517	土師質土器 中皿	(10.8) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	882
880	SK517	土師質土器 中皿	11.4 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	881
881	SK517	土師質土器 中皿	(12.2) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面2.5Y7/2 灰白 外面2.5Y7/2 灰白	黒色鉱物粒 長石	883
882	SK515	土師質土器 中皿	(9.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	949

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
883	SK515	土師質土器 中皿	(9.6) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/3 にぶい橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	950
884	SK515	土師質土器 小皿	9.4 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	947
885	SK515	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	948
886	SK515	土師質土器 小皿	(7.4) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	944
887	SK515	土師質土器 大皿	14.2 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・チャート	945
888	SK515	土師質土器 大皿	16.2 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 長石 雲母	946
889	SK515	土師質土器 煮炊具	(28.0) 9.0 –	内外面ロクロナデ	内面ユビナデ・指頭圧痕跡 外面タタキ	欠損	内面10YR5/3 にぶい黄褐 外面10YR4/2 灰黄褐	長石 黒色鉱物粒	741
890	SK515	産地不明 輸入青磁 椀	(14.0) 3.5 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面10Y6/2 オリーブ灰 外面10Y6/2 オリーブ灰	砂粒みえず	754
891	SK516	土師質土器 中皿	(11.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	891
892	SK516	土師質土器 中皿	10.4 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/4 にぶい黄褐 外面10YR5/4 にぶい黄褐	長石 黒色鉱物粒	894
893	SK516	土師質土器 中皿	10.4 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	782
894	SK516	土師質土器 中皿	10.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	784
895	SK516 ③	土師質土器 中皿	10.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	780
896	SK516 ②	土師質土器 中皿	(10.1) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	785
897	SK516 ②	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	783
898	SK516 ③	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	787
899	SK516 ③	土師質土器 中皿	(10.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	893
900	SK516 ③	土師質土器 中皿	10.6 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒	899
901	SK516 ③	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	888
902	SK516 ③	土師質土器 中皿	(10.6) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR7/4 にぶい橙 内面5YR5/4 にぶい赤褐	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	892
903	SK516 ③	土師質土器 中皿	(11.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石	900
904	SK516 ③	土師質土器 中皿	(10.8) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	889
905	SK516 ③	土師質土器 中皿	(11.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	896
906	SK516 ③	土師質土器 中皿	10.4 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石	898
907	SK516 ③	土師質土器 中皿	(10.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	901
908	SK516 ③	土師質土器 中皿	(10.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	890
909	SK516 ③	土師質土器 中皿	10.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	895
910	SK516 ③	土師質土器 中皿	(10.8) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	897
911	SK516 ②	土師質土器 中皿	10.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	786
912	SK516 ④	土師質土器 中皿	10.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	781
913	SK516	土師質土器 小皿	8.2 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石 雲母	792
914	SK516 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石	796
915	SK516 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 雲母 長石	797
916	SK516 ③	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.3) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	795
917	SK516 ③	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	799

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
918	SK516 ③	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.6) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 長石	794
919	SK516 ③	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	798
920	SK516 ④	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石・石英 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	793
921	SK516	土師質土器 大皿	(17.4) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 雲母	790
922	SK516	土師質土器 大皿	(15.4) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒	788
923	SK516	土師質土器 大皿	(16.0) 2.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒	789
924	SK516	土師質土器 大皿	(17.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	791
925	SP569	土師質土器 中皿	10.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	978
926	SP569	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	779
927	SP569	土師質土器 中皿	(11.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	771
928	SP569	土師質土器 中皿	(10.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	775
929	SP569	土師質土器 中皿	(11.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	768
930	SP569	土師質土器 中皿	(10.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR5/3 にぶい褐色 外面7.5YR5/3 にぶい褐色	黒色鉱物粒 長石	772
931	SP569	土師質土器 中皿	(10.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート	773
932	SP569	土師質土器 中皿	10.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	766
933	SP569	土師質土器 中皿	(11.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	777
934	SP569	土師質土器 中皿	(10.4) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	764
935	SP569	土師質土器 中皿	(11.3) 1.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	765
936	SP569	土師質土器 中皿	(10.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・チャート	769
937	SP569	土師質土器 中皿	(11.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	979
938	SP569	土師質土器 中皿	11.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	974
939	SP569	土師質土器 中皿	(12.2) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	776
940	SP569	土師質土器 中皿	10.6 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 内面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	976
941	SP569	土師質土器 中皿	(10.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	767
942	SP569	土師質土器 中皿	(12.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	980
943	SP569	土師質土器 中皿	10.8 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石	983
944	SP569	土師質土器 中皿	(11.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	774
945	SP569	土師質土器 中皿	10.4 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	973
946	SP569	土師質土器 中皿	10.6 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	972
947	SP569	土師質土器 中皿	(10.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	770
948	SP569	土師質土器 中皿	(11.2) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	981
949	SP569	土師質土器 中皿	11.6 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	971
950	SP569	土師質土器 中皿	11.3 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	975
951	SP569	土師質土器 中皿	10.6 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/3 にぶい橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	977
952	SP569	土師質土器 中皿	(11.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	778

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
953	SP569	土師質土器 中皿	(12.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石	982
954	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	1012
955	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	1008
956	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1013
957	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1010
958	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/2 にぶい橙 外面7.5YR6/2 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1009
959	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.6) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR2/1 黒 外面10YR2/1 黒	長石	1024
960	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.5) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1018
961	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1005
962	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 内面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1016
963	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.8) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面7.5YR5/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1017
964	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.2 2.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1007
965	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.6 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕 外面タール付着	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1022
966	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	4.6 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1019
967	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1002
968	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1020
969	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1015
970	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1006
971	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1021
972	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内 面5YR6/4 にぶい橙 外 面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1014
973	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/2 にぶい橙 外面7.5YR6/2 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1011
974	SP569	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1023
975	SP569	土師質土器 大皿	(15.0) 2.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕 外面タール付着	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	985
976	SP569	東播系 須恵器 鉢	(28.0) 2.8 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	黒色鉱物粒 長石	984
977	SP569	備前焼 壺	(17.0) 4.3 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面7.5R4/2 灰赤 外面7.5R4/2 灰赤	黒色鉱物粒 長石	986
978	SP565	土師質土器 中皿	(11.6) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母	886
979	SP565	土師質土器 中皿	(11.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕 外面タール付着	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/3 にぶい褐 外面7.5YR6/3 にぶい褐	黒色鉱物粒 雲母 長石	887
980	SP565	土師質土器 中皿	(11.4) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	885
981	SP548	土師質土器 中皿	(10.8) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面タール付着	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1076
982	SP548	土師質土器 中皿	(10.8) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	1077
983	SP548	土師質土器 中皿	(11.0) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/2 灰白 外面7.5YR8/2 灰白	長石 黒色鉱物粒	1088
984	SP548	瀬戸焼 皿	(29.8) 2.7 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面5YR3/2 暗赤褐 外面5YR4/1 褐灰	長石	1075
985	SP548	瓦質土器 奈良火鉢	(44.0) 14.0 –	内外面ナデ	内面ロクロ目のちナデ 指頭圧痕 外面ミガキ	内面ロクロ目のちナデ 外面未調整	内面N4/0 灰 外面N4/0 灰	長石 雲母 黒色鉱物粒	1074
986	SP555	土師質土器 中皿	11.1 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	933
987	SP555 ②	土師質土器 中皿	(11.0) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母・長石 石英	936

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(糸切)	色調	胎土	実測番号
988	SP555 ④	土師質土器 中皿	10.8 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	934
989	SP553 ⑦	土師質土器 中皿	(11.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒 チャート 長石	935
990	SP555 ③	土師質土器 小皿	8.6 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕		黒色鉱物粒 長石	941
991	SP555	土師質土器 小皿	8.2 1.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	942
992	SP555 ⑤	土師質土器 小皿	(8.0) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	943
993	SK512	土師質土器 中皿	(11.2) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1001
994	SK512	土師質土器 中皿	(11.6) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	996
995	SK512 ①	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	999
996	SK512 ①	土師質土器 中皿	11.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR7/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石・チャート 赤色酸化粒	995
997	SK512 ②	土師質土器 中皿	(11.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	1000
998	SK512 ②	土師質土器 中皿	11.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	987
999	SK512 ②	土師質土器 中皿	11.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	990
1000	SK512 ② SK512	土師質土器 中皿	11.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	褐色鉱物粒 長石	989
1001	SK512 ①	土師質土器 中皿	(11.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒	992
1002	SK512 ③	土師質土器 中皿	10.6 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	988
1003	SK512 ③	土師質土器 中皿	11.2 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート・長石	994
1004	SK512 ①	土師質土器 中皿	(11.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/3 にぶい橙 外面7.5YR6/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	998
1005	SK512	土師質土器 小皿	(8.4) 2.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒	961
1006	SK512 ③	土師質土器 小皿	8.1 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	959
1007	SK512	土師質土器 小皿	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	958
1008	SK512	東播系 須恵器 鉢	(44.5) 7.2 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面10YR6/1 褐灰 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 長石	1203
1009	SK512	産地不明 輸入古瓶 類	(17.0) 4.4 –	内外面施釉	内外面ロクロナデ	欠損	内面7.5GY7/1 明緑灰 外面7.5GY7/1 明緑灰	砂粒みえず	1204
1010	SK501	土師質土器 中皿	(11.2) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石	910
1011	SK501	土師質土器 中皿	(12.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	916
1012	SK501	土師質土器 中皿	(10.8) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/2 灰黄褐 外面10YR5/2 灰黄褐	長石	908
1013	SK501	東播系 須恵器 鉢	(20.0) 2.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	黒色鉱物粒 チャート	913
1014	SK501	備前焼 擂鉢	(25.0) 4.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5YR4/3 にぶい赤褐 外面2.5YR4/3 にぶい赤褐	長石	914
1015	SP502	土師質土器 中皿	(10.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	915
1016	SP502	東播系 須恵器 鉢	(20.0) 2.3 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N5/0 灰 外面N6/0 灰	長石	912
1017	SP502	常滑焼 甕	(43.6) 9.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5YR4/3 にぶい赤褐 外面5YR4/3 にぶい赤褐	チャート 長石	911
1018	SP570	土師質土器 中皿	(11.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1052
1019	SP570	土師質土器 中皿	11.0 2.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1053
1020	SP570	土師質土器 中皿	(11.2) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1054
1021	SP570	土師質土器 中皿	(10.4) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1055
1022	SP510	土師質土器 中皿	(11.8) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	757

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1023	SP510	備前焼 擂鉢	(35.6) 2.8 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5YR5/2 にぶい赤褐 外面2.5YR5/2 にぶい赤褐	長石 黒色鉱物粒	761
1024	SP505	土師質土器 中皿	(10.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	756
1025	SP571	土師質土器 中皿	(10.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒	759
1026	SP505	土師質土器 大皿	15.0 3.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	755
1027	SP571	東播系 須恵器 鉢	(20.0) 5.2 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N5/0 灰 外面N5/0 灰	黒色鉱物粒 長石	762
1028	SP509	土師質土器 大皿	(11.2) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	758
1029	SK607 ①	土師質土器 中皿	11.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1066
1030	SK607 ①	土師質土器 中皿	11.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1059
1031	SK607 ①	土師質土器 中皿	11.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1071
1032	SK607 ①	土師質土器 中皿	8.8 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1193
1033	SK607 ①	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1065
1034	SK607 ①	土師質土器 中皿	10.3 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石・チャート 赤色酸化粒 雲母	1067
1035	SK607 ①	土師質土器 中皿	(10.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5Y5/6 明赤褐 外面5Y5/6 明赤褐	雲母 長石 黒色鉱物粒	1450
1036	SK607 ①	土師質土器 中皿	10.6 1.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	1447
1037	SK607 ①	土師質土器 中皿	10.5 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1061
1038	SK607 ①	土師質土器 中皿	10.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1060
1039	SK607 ②	土師質土器 中皿	(11.8) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1449
1040	SK607 ②	土師質土器 中皿	(10.6) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 チャート	1444
1041	SK607 ②	土師質土器 中皿	10.6 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR5/6 明褐 外面7.5YR5/6 明褐	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1073
1042	SK607 ②	土師質土器 中皿	10.8 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1064
1043	SK607 ③	土師質土器 中皿	10.1 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・チャート 雲母	1062
1044	SK607 ②	土師質土器 中皿	10.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 雲母	1443
1045	SK607 ②	土師質土器 中皿	10.8 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1068
1046	SK607 ①	土師質土器 中皿	(11.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	1446
1047	SK607 ④	土師質土器 中皿	9.8 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1069
1048	SK607 ⑤	土師質土器 中皿	(10.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1445
1049	SK607 ⑤	土師質土器 中皿	(9.6) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石 雲母・石英	1448
1050	SK607 ⑤	土師質土器 中皿	10.1 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1072
1051	SK607 ④	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1070
1052	SK607 ④	土師質土器 中皿	10.0 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母	1068
1053	SK607 ④	土師質土器 中皿	10.2 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒 雲母	1063
1054	SK607	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面10YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1190
1055	SK607 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 雲母	1186
1056	SK607 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1188
1057	SK607 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.8 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1192

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1058	SK607 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.8 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面糸切痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1191
1059	SK607 ②	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.3 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1189
1060	SK607	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母 チャート	1451
1061	SK607 ④	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.6 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい褐 外面7.5YR6/4 にぶい褐	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1185
1062	SK607 ④	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1187
1063	SK607	土師質土器 大皿	(15.6) 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面同転ナデ	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母	1319
1064	SK607 ①	土師質土器 大皿	(14.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母	1321
1065	SK607 ④	土師質土器 大皿	(16.0) 2.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母 赤色酸化粒	1317
1066	SK607 ④	土師質土器 大皿	(14.0) 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母 赤色酸化粒 長石	1318
1067	SK607 ④	土師質土器 大皿	(15.8) 2.7 –	ナデ	内面ヨコナデ・ヘラ磨き 外面ナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母	1320
1068	SK607	瓦質土器 鉢	(50.0) 10.8<–	内面ヘラミガキ 外面ロクロナデ	内面指頭圧痕 外面ロクロナデ	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1132
1069	SK608	土師質土器 中皿	(11.4) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石・雲母 黒色鉱物粒 チャート	1343
1070	SK608	土師質土器 中皿	11.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石・雲母 チャート 赤色酸化粒	1342
1071	SK608	土師質土器 中皿	(8.8) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1345
1072	SK608	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート	1344
1073	SK608	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート 長石・石英	1346
1074	SK610 ①	土師質土器 中皿	11.2 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/2 にぶい橙 外面7.5YR7/2 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 雲母	1079
1075	SK610 ①	土師質土器 中皿	(10.6) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1086
1076	SK610 ②	土師質土器 中皿	11.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/3 にぶい褐	黒色鉱物粒 長石 雲母	1083
1077	SK610 ②	土師質土器 中皿	(10.8) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1087
1078	SK610 ②	土師質土器 中皿	10.8 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1080
1079	SK610 ②	土師質土器 中皿	(10.8) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1084
1080	SK610 ②	土師質土器 中皿	11.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1082
1081	SK610 ②	土師質土器 中皿	(10.8) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1088
1082	SK610 ③	土師質土器 中皿	(11.0) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1085
1083	SK610 ③	土師質土器 中皿	10.8 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1081
1084	SK610 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.9 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母	1092
1085	SK610 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.6 1.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1095
1086	SK610	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/2 にぶい橙 外面7.5YR6/2 にぶい橙	雲母 黒色鉱物粒 長石	1090
1087	SK610	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.6) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1097
1088	SK610 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.0) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1094
1089	SK610 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1099
1090	SK610 ①	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.6 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母	1089
1091	SK610 ②	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1093
1092	SK610 ②	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.5 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1091

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1093	SK610 ②	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.4) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1098
1094	SK610 ②	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.6 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR5/3 にぶい褐 外面7.5YR5/3 にぶい褐	長石 黒色鉱物粒 雲母	1096
1095	SK610	土師質土器 大皿	(16.2) 2.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のち回転ナデ	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1267
1096	SK610	土師質土器 大皿	(17.8) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	黒色鉱物粒	1266
1097	SK610 ①	産地不明 輸入青磁 碗	(18.4) 4.3 –	内外面施釉	内外面施釉薬 劍頭文	欠損	内面10Y7/2 灰白 外面10Y7/2 灰白	砂粒みえず	1265
1098	SK610	東播系 須恵器 鉢	(25.8) 2.3 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面5Y7/1 灰白 外面5Y7/1 灰白	長石 黒色鉱物粒	1264
1099	SK610	古瀬戸 大日茶碗	(10.8) 4.3 –	内外面施釉	内外面施釉薬	欠損	内面N1.5/0 黒(釉) 外面N1.5/0 黒(釉) 外面2.5Y7/3 浅黄(素地)	黒色鉱物粒	1322
1100	SK606	土師質土器 中皿	(11.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1348
1101	SK606	土師質土器 中皿	11.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1349
1102	SK606	土師質土器 中皿	1.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面2.5Y5/6 明赤褐 外面2.5Y5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石 雲母・石英	1347
1103	SK606	土師質土器 小皿	(8.4) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5YR5/6 明赤褐 外面2.5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石	1195
1104	SK606 ⑤	土師質土器 小皿	(7.8) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 チャート 雲母・長石	1353
1105	SK606	土師質土器 小皿	8.7 1.8 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1350
1106	SK606 ②	土師質土器 小皿	8.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 チャート・雲母	1351
1107	SK503	土師質土器 小皿	(9.6) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5YR5/6 明赤褐 外面2.5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石	1196
1108	SK606	土師質土器 小皿	8.7 1.9 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1352
1109	SK503 ③	土師質土器 小皿	(8.2) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5YR5/6 明赤褐 外面2.5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 長石	1194
1110	SK606	土師質土器 大皿	(13.2) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5YR5/6 明赤褐 外面2.5YR5/6 明赤褐	黒色鉱物粒 雲母・長石 赤色酸化粒	1197
1111	SK606	土師質土器 大皿	(14.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母	1198
1112	SK606	瓦質土器 羽釜	(22.0) 3.7 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N5/0 灰 外面N4/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1199
1113	SK604 ②	土師質土器 中皿	11.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1787
1114	SK604 ②	土師質土器 中皿	(11.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石 チャート・石英	1789
1115	SK604	土師質土器 中皿	(10.8) 2.2 –	内外面同転ナデ	内面指頭圧痕のち同転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1788
1116	SK604 ①	土師質土器 小皿	8.0 2.0 –	内外面同転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	チャート 雲母・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒 石英	1785
1117	SK604 ②	土師質土器 小皿	(8.0) 1.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1786
1118	SK604 ②	土師質土器 大皿	(17.2) 3.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	雲母 長石 黒色鉱物粒	1790
1119	SK603	備前焼 擂鉢	(32.8) 5.7 –	内外面同転ナデ	内面同転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5YR5/6 明赤褐 外面2.5YR5/6 明赤褐	長石 チャート	1791
1120	SK609	土師質土器 中皿	(8.7) 1.8 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロ目のちナデ	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 石英・長石 赤色酸化粒	701
1121	SK609	土師質土器 中皿	(8.2) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	チャート 黒色鉱物粒 長石	700
1122	SK609	土師質土器 小皿	(7.0) 1.5 –	内外面回転ナデ	内面同転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR7/6 明黄褐	黒色鉱物粒 石英	699
1123	SK609	土師質土器 小皿	(7.6) 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	698
1124	SK609	丹波焼 擂鉢	(30.6) 5.0 –	内外面ロクロナデ 内面擂目	内面擂目 外面ロクロナデ	欠損	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/4 にぶい赤褐	長石 石英 黒色鉱物粒	696
1125	SK609	堺・明石産 擂鉢	(31.2) 7.6 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロナデ	欠損	内面7.5R4/2 灰赤 外面7.5YR5/3 にぶい褐	黒色鉱物粒 長石 石英	697
1126	SK609	産地不明 輸入青磁 碗	(12.0) 5.5 –	内外面施釉	内外面施釉	内面施釉 外面施釉	内面2.5GY5/1 オリーブ灰 外面2.5GY5/1 オリーブ灰	砂粒みえず	702
1127	SP636	土師質土器 小皿	(8.4) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1257

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1128	SP636	土師質土器 小皿	8.0 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 長石	1256
1129	SP636	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.6) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/3 浅黄 外面2.5Y8/3 浅黄	黒色鉱物粒 長石	1258
1130	SP642	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1260
1131	SP644	東播系 須恵器 鉢	(28.0) 3.0 –	内外面ロクロナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/1 灰白 外面2.5Y7/1 灰白	黒色鉱物粒 長石	1263
1132	SP606	東播系 須恵器 鉢	(29.4) 3.0 –	内外面回転ナデ	欠損	欠損	内面2.5Y6/1 黄灰 外面2.5Y8/1 灰白	雲母 黒色鉱物粒 長石	1243
1133	SP625	東播系 須恵器 鉢	(29.0) 3.8 –	内外面回転ナデ	欠損	欠損	内面2.5Y7/1 灰白 外面2.5Y7/1 灰白	黒色鉱物粒 長石	1242
1134	SP625	瓦質土器 羽釜	(28.0) 5.5<–	内面横位ハケ 外面ロクロナデ	内面横位ハケ 外面ロクロナデ・鍔部圧痕	欠損	内面5Y7/1 灰白 外面N4/0 灰	黒色鉱物粒	1241
1135	SK611	土師質土器 羔炊具	(35.8) 4.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石・石英 雲母	1240
1136	SK602	土師質土器 中皿	(11.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面2.5Y8/4 にぶい橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1248
1137	SK602	土師質土器 中皿	(12.0) 2.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1249
1138	SK602	土師質土器 小皿	(9.1) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1252
1139	SK602	土師質土器 小皿	(9.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1251
1140	SK602	土師質土器 小皿	(8.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1250
1141	SK602	土師質土器 小皿	(8.2) 1.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1247
1142	SK602	土師質土器 小皿	(8.6) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1253
1143	SK602	土師質土器 大皿	(16.2) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のち回転ナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1245
1144	SK602	土師質土器 大皿	(16.4) 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 雲母	1246
1145	SK602	瓦質土器 鍋か	(24.2) 4.8 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5Y8/1 灰白 外面N5/0 灰	黒色鉱物粒 長石 雲母	1244
1146	SP639 ①	土師質土器 中皿	(10.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石・石英 赤色酸化粒 雲母	1112
1147	SP639 ③	土師質土器 中皿	11.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート・長石 雲母	1102
1148	SP639 ⑤	土師質土器 中皿	11.4 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1101
1149	SP639 ⑦	土師質土器 中皿	(11.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1108
1150	SP639 ⑦	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石・雲母 赤色酸化粒	1109
1151	SP639 ⑨	土師質土器 中皿	11.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1104
1152	SP639 ⑪	土師質土器 中皿	11.2 2.0 –	内外面回転ナデ・ 外面指頭圧痕	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1103
1153	SP639 ⑫	土師質土器 中皿	(11.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石・雲母 赤色酸化粒	1110
1154	SP639 ⑬	土師質土器 中皿	(12.0) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1113
1155	SP639 ⑭	土師質土器 中皿	(11.8) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・石英 雲母	1114
1156	SP639 ④	土師質土器 中皿	(11.1) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1111
1157	SP639 ⑩	土師質土器 中皿	10.8 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1100
1158	SP639 底	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1106
1159	SP639 ④	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1107
1160	SP639 ⑧	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.7	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1105
1161	SP639	東播系 須恵器 鉢	(27.0) 11.8 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面5Y7/1 灰白 外面2.5Y7/1 灰白	チャート 長石 黒色鉱物粒	1153
1162	SP639 ①	東播系 須恵器 鉢	(25.4) 7.7 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	黒色鉱物粒 長石	1254

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1163	SP641	土師質土器 中皿	11.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 長石 雲母	1208
1164	SP641	土師質土器 中皿	(10.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1207
1165	SP641	土師質土器 中皿	11.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1209
1166	SP641	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1210
1167	SP641	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.8) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1212
1168	SP641	土師質土器 小皿	(9.0) 1.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1211
1169	SP641	土師質土器 小皿	(9.0) 1.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1213
1170	SP641	土師質土器 羔炊具	(29.9) 5.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/3 にぶい黄橙 外面10YR6/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 雲母	1206
1171	SP637	土師質土器 中皿	(11.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面7.5YR6/3 にぶい褐	黒色鉱物粒 長石 雲母	1259
1172	SP637	東播系 須恵器 鉢	(23.4) 6.0 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N4/0 灰色 外面N4/0 灰色	黒色鉱物粒 長石	1255
1173	SP645	土師質土器 中皿	12.0 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/2 にぶい橙 外面7.5YR7/2 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1314
1174	SP645	土師質土器 中皿	10.6 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	長石 雲母	1313
1175	SP645	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	黒色鉱物粒 長石	1315
1176	SP645	東播系 須恵器 鉢	(30.0) 3.3 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面5Y5/1 灰 外面5Y5/1 灰	黒色鉱物粒 長石 雲母	1316
1177	SH701	土師質土器 中皿	12.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1476
1178	SH701	土師質土器 中皿	10.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1473
1179	SH701	土師質土器 中皿	10.8 2.1	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒 長石・雲母 チャート	1469
1180	SH701	土師質土器 中皿	10.4 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	チャート 黒色鉱物粒 長石・石英	1470
1181	SH701 ④	土師質土器 中皿	(10.4) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/3 にぶい黄橙 外面10YR5/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1477
1182	SH701 ① 土器溜	土師質土器 中皿	10.6 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1444
1183	SH701南	土師質土器 中皿	10.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1491
1184	SH701南	土師質土器 中皿	11.2 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1455
1185	SH701南	土師質土器 中皿	11.6 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1493
1186	SH701南	土師質土器 中皿	11.2 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1454
1187	SH701南	土師質土器 中皿	11.0 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1457
1188	SH701南	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1456
1189	SH701南	土師質土器 中皿	11.1 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 雲母・チャート	1458
1190	SH701南	土師質土器 中皿	(11.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1490
1191	SH701南	土師質土器 中皿	11.0 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1452
1192	SH701-2	土師質土器 中皿	(10.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1716
1193	SH701-2	土師質土器 中皿	(12.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1717
1194	SH701南	土師質土器 中皿	11.2 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1459
1195	SX705	土師質土器 中皿	(11.8) 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1380
1196	SX705	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1382
1197	SX705	土師質土器 中皿	(11.5) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1379

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1198	SX705	土師質土器 中皿	(12.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1381
1199	SX705	土師質土器 中皿	10.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1378
1200	SH701-23	土師質土器 中皿	(12.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 赤色酸化粒 雲母 黒色鉱物粒	1661
1201	SH701	土師質土器 中皿	(10.7) 2.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/3 浅黄橙 外面7.5YR8/3 浅黄橙	長石 雲母 チャート	1478
1202	SH701	土師質土器 中皿	10.9 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒 雲母	1472
1203	SH701	土師質土器 中皿	(10.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 チャート	1471
1204	SH701	土師質土器 中皿	(12.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1475
1205	SH701	土師質土器 中皿	(12.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1474
1206	SH701南	土師質土器 中皿	10.8 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1495
1207	SH701南	土師質土器 中皿	10.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR5/2 灰黄褐	雲母 長石 黒色鉱物粒	1494
1208	SH701南	土師質土器 中皿	12.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/2 灰黄褐 外面10YR5/2 灰黄褐	雲母 長石 黒色鉱物粒	1489
1209	SH701 土器溜③	土師質土器 中皿	10.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1492
1210	SH701南	土師質土器 中皿	11.2 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR5/2 灰黄褐	長石 黒色鉱物粒	1488
1211	SH701南	土師質土器 中皿	11.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	長石 黒色鉱物粒	1801
1212	SH701南	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1534
1213	SH701南	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1539
1214	SH701-2	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.3) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1718
1215	SH701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1538
1216	SH701南	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1540
1217	SH701南	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.1 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1533
1218	SH701南	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.4) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/3 浅黄 外面2.5Y7/3 浅黄	雲母 長石 黒色鉱物粒	1537
1219	SH701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1535
1220	SH701 土器溜	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1536
1221	S	土師質土器 小皿	(7.6) 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1370
1222	SH701-板	土師質土器 小皿	8.0 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母・長石 チャート	1662
1223	SH701南	土師質土器 小皿	7.6 10.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/3 にぶい褐 外面7.5YR6/3 にぶい褐	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1532
1224	SH701-21	瓦質土器 ?	14.0 3.6 –	内外面ロクロナデ	内面暗文 外面ロクロナデ	欠損	内面N4/0 灰 外面N4/0 灰	長石 雲母 黒色鉱物粒	1660
1225	SH701	土師質土器 釜炊具	(25.0) 9.5<–	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面タタキ・ススけ着	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面10YR2/1 黒	長石・チャート 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1639
1226	SH701-22	土師質土器 釜炊具	(28.0) 4.2 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面タタキ・ススけ着	欠損	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1663
1227	SH701	土師質土器 釜炊具 (羽釜)	(16.6) 7.8 –	内外面ロクロナデ	内面横位ハケ 外面ロクロナデ	欠損	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y6/1 黄灰	雲母 黒色鉱物粒 長石	1638
1228	SH701-08	土師質土器 釜炊具 (羽釜)	(30.6) 7.0 –	内外面ロクロナデ	内面横位ハケ 外面ロクロナデ	欠損	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 チャート・石英	1779
1229	SH701	瓦質土鍋 羽釜	(28.0) 2.7 –	内面横位ハケ 外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面5Y6/1 灰 外面5Y6/1 灰	黒色鉱物粒 長石	1642
1230	SH701	東播系 須恵器 鉢	(27.8) 3.6 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面7.5YR8/3 浅黄橙 外面2.5Y8/1 灰白	長石・石英 黒色鉱物粒 チャート	1643
1231	SH701	東播系 須恵器 鉢	(28.0) 4.0 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面5Y6/1 灰 外面5Y6/1 灰	チャート 長石 黒色鉱物粒	1640
1232	SH701床	東播系 須恵器 鉢	(30.0) 3.7 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N5/0 灰 外面N5/0 灰	長石 石英 黒色鉱物粒	1629

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1233	SH701	東播系 須恵器 鉢	36.0 5.8 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N5/0 灰 外面N4/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1639
1234	SH701	東播系 須恵器 鉢	(34.4) 3.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5Y7/1 灰白 外面2.5Y7/1 灰白	黒色鉱物粒 長石	1641
1235	SH701 南壌土器溜	東播系 須恵器 鉢	(35.0) 3.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N3/0 暗灰 外面N3/0 暗灰	黒色鉱物粒 長石	1644
1236	SH701	備前焼 擂鉢	(36.0) 5.0 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロナデ	欠損	内面2.5Y7/1 灰白 内面2.5Y8/1 灰白	長石 黒色鉱物粒	1636
1237	SH701	備前焼 擂鉢	(34.0) 3.4 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面2.5YR4/2 灰赤 外面2.5YR5/2 灰赤	長石 黒色鉱物粒	1637
1238	SH701	備前焼 擂鉢	(36.0) 5.0 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロナデ	欠損	内面5YR4/1 褐灰 外面2.5YR4/1 赤灰	長石	1635
1239	SH701南	丹波焼 擂鉢	(34.0) 5.9 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロナデ	欠損	内面5YR4/2 灰褐 外面5YR5/2 灰褐	チャート 長石	1646
1240	SH701	瓦質土器 擂鉢	(30.2) 12.5 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ヘラ削り	欠損	内面2.5Y7/1 灰白 外面2.5Y6/1 黄灰	黒色鉱物粒 チャート 長石	1634
1241	SH701-07	常滑焼 甕	(42.0) 5.2 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面10YR5/1 褐灰 外面10YR4/1 褐灰	長石 石英	1779
1242	SH701-5	常滑焼 甕	(42.4) 10.4 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	1805
1243	SH701南	瓦質土器 奈良火鉢	(40.2) 13.8 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面ナデ	内面N4/0 灰 外面N4/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1645
1244	SH701	瓦質土器 奈良火鉢 浅鉢型	(40.0) 13.1 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ 菊花文スタンプ	内面ロクロナデ 外面ナデ	内面5Y5/1 灰 外面N4/0 灰	長石	1152
1245	SH702	土師質土器 中皿	11.2 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/4 にぶい黄褐 外面10YR5/4 にぶい黄褐	黒色鉱物粒 雲母 長石	1439
1246	SH702	土師質土器 中皿	11.2 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/6 明赤褐 外面5YR5/6 明赤褐	長石・チャート 雲母 黒色鉱物粒 石英	1440
1247	SH702	土師質土器 中皿	(11.0) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1442
1248	SH702	土師質土器 中皿	(11.1) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/3 にぶい黄褐 外面10YR5/3 にぶい黄褐	黒色鉱物粒 雲母 長石	1441
1249	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	雲母 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1593
1250	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR5/4 にぶい褐 外面7.5YR5/4 にぶい褐	黒色鉱物粒 長石	1594
1251	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.4) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1965
1252	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/4 にぶい赤褐 外面5YR5/4 にぶい赤褐	雲母 長石 黒色鉱物粒	1600
1253	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石・雲母 赤色酸化粒	1599
1254	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1598
1255	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1595
1256	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR5/6 明褐 外面7.5YR5/6 明褐	黒色鉱物粒 長石 雲母	1602
1257	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母	1601
1258	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.6 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	1596
1259	SH702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1597
1260	SH702	土師質土器 小皿	(8.2) 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	雲母 黒色鉱物粒 長石	1692
1261	SH702	土師質土器 小皿	(8.0) 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 チャート	1691
1262	SH702	土師質土器 小皿	8.0 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石	1693
1263	SH702	土師質土器 小皿	(7.8) 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 長石	1694
1264	SH702	土師質土器 小皿	7.0 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1803
1265	SH604	土師質土器 小皿	8.2 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石・雲母 黒色鉱物粒 チャート	1757
1266	SH702	瓦質土器 碗	(13.2) 2.8 –	内外面ロクロナデ	内面暗文 外面ロクロナデ	欠損	内面N4/0 灰 外面N4/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1682
1267	SH702	産地不明 輸入青磁 碗	(13.2) 2.5 –	内外面施釉	内外面施釉 劃花文	欠損	内面10Y6/2 オリーブ灰 外面10Y6/2 オリーブ灰	砂粒みえず	1669

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1268	SH702	瓦質土器 鍋	(14.8) 3.8 –	内外面ロクロナデ	内面暗文 外面ロクロナデ	内外面ナデ	内面N4/0 灰 外面N7/0 灰白	長石 黒色鉱物粒	1683
1269	SH702	産地不明 輸入青磁 碗	(18.6) 3.8 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面7.5Y7/1 灰白 外面7.5Y7/1 灰白	砂粒みえず	1670
1270	SH702	土師質土器 煮炊具	(36.0) 4.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR5/2 灰黄褐	チャート 長石・石英 赤色酸化粒	1689
1271	SH702	土師質土器 煮炊具	(19.4) 6.0 –	内外面ロクロナデ	内面へら削り 外面タタキ	欠損	内面10YR5/3 にぶい黄褐 外面10YR5/3 にぶい黄褐	長石 黒色鉱物粒	1688
1272	SH702	瓦質土器 羽釜	(25.6) 2.8 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	長石 黒色鉱物粒	1690
1273	SH702	東播系 須恵器 鉢	34.0 3.7 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N5/0 灰 外面N5/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1685
1274	SH702	東播系 須恵器 鉢	(39.0) 3.3 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面7.5Y5/1 灰 外面7.5Y5/1 灰	長石 黒色鉱物粒	1686
1275	SH702	東播系 須恵器 鉢	32.0 8.7 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面5Y7/1 灰白 外面5Y7/1 灰白	黒色鉱物粒 長石	1684
1276	SH702	備前焼 擂鉢	22.0 4.2 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1687
1277	SH702	土師質土器 擂鉢	(35.8) 4.5 –	内外面ロクロナデ	内面櫛目 外面ロクロナデ	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 チャート 黒色鉱物粒	1668
1278	SD701	土師質土器 中皿	10.5 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調整ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1391
1279	SD701	土師質土器 中皿	10.8 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調整ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	チャート 黒色鉱物粒 長石・雲母 石英	1392
1280	SD701	土師質土器 中皿	10.6 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 雲母 赤色酸化粒	1393
1281	SD701	土師質土器 中皿	11.0 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち横ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1389
1282	SD701	土師質土器 中皿	11.2 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1396
1283	SD701	土師質土器 中皿	11.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1397
1285	SD701	土師質土器 中皿	10.6 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石・雲母 赤色酸化粒	1394
1286	SD701	土師質土器 中皿	(11.0) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調整ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1395
1287	SD701	土師質土器 中皿	11.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調整ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1390
1288	SD701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.6 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1583
1289	SD701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.0) 1.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1587
1290	SD701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 雲母	1603
1291	SD701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 赤色酸化粒 雲母・チャート	1582
1292	SD701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.0) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 雲母 赤色酸化粒	1585
1293	SD701	土師質土器 小皿	(7.6) 1.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	雲母・チャート 長石 赤色酸化粒	1606
1294	SD701	土師質土器 小皿	8.0 1.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	雲母 黒色鉱物粒	1605
1295	SD701	土師質土器 小皿	(8.4) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	赤色酸化粒 長石	1584
1296	SD701	土師質土器 小皿	7.8 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	チャート 長石・雲母 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1586
1297	SD701	土師質土器 大皿	(16.8) 3.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	黒色鉱物粒	1591
1298	SD701	土師質土器 大皿	(18.4) 4.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒	1592
1299	SD701	瓦質土器 鍋	(16.0) 4.1 –	内外面ロクロナデ	内面暗文 外面ナデ・指頭圧痕	欠損	内面5Y8/1 灰白 外面N5/0 灰	雲母 黒色鉱物粒 長石	1334
1300	SD701	古瀬戸 天目茶碗	(3.6) 4.5 –	欠損	内外面施釉	内外面露胎	内面5YR4/2 灰褐(釉) 外面5YR4/2 灰褐(釉) 外面5YR3/2 暗赤灰(油滴)	黒色鉱物粒	1203
1301	SD701	土師質土器 煮炊具	(26.6) 10.1 –	内外面ロクロナデ	内面ナデ 外面タタキ	欠損	内面5YR6/6 橙 外面5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1271
1302	SD701	瓦質土器 羽釜	(24.8) 2.9 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N6/0 灰白 外面N6/0 灰白	黒色鉱物粒 長石	1333
1303	SD701	東播系 須恵器 鉢	(27.0) 6.0 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	黒色鉱物粒 長石	1329

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1304	SD701	東播系 須恵器 鉢	(26.8) 4.6 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1332
1305	SD701	東播系 須恵器 鉢	(30.0) 6.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N5/0 灰白 外面N5/0 灰白	黒色鉱物粒 長石 雲母	1330
1306	SD701	東播系 須恵器 鉢	(31.6) 4.8 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N3/0 暗灰 外面N3/0 暗灰	黒色鉱物粒 長石	1331
1307	SD701	古瀬戸 端折深皿	(21.0) 3.0 –	内外面施釉	内面オロシ目・釉 外面釉～露胎	欠損	内面5Y8/2 灰白(釉) 外面5Y8/2 灰白(釉) 外面5Y6/6 橙(露胎)	黒色鉱物粒	1202
1308	SD701 SK601	古瀬戸 端折深皿	(22.8) 5.2 –	内外面施釉	内外面釉～露胎	欠損	内面5Y7/2 灰白(釉) 内面10YR7/4 にぶい黄橙(素地) 外面2.5Y7/3 浅黄	黒色鉱物粒	1201
1309	SD701 SK601	古瀬戸 緑釉 卸皿	(19.8) 4.2 –	内外面施釉	内面オロシ目・釉 外面釉～露胎	糸切り	内外面5Y6/3 オリーブ黄(釉) 内外面5Y8/1 灰白(露胎)	黒色鉱物粒	1798
1310	SD701	瓦質土片 奈良火鉢	(36.0) 9.7 –	内外面ロクロナデ	内面横位ナデ・指頭圧痕 外面ロクロナデ	欠損	内面N4/0 灰 外面N4/0 灰	黒色鉱物粒	1200
1311	SP735	土師質土器 中皿	11.2 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調整ナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1399
1312	SP735	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち調整ナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面5YR6/3 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1406
1313	SP735	土師質土器 中皿	(11.6) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1402
1314	SP735	土師質土器 中皿	(10.8) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石 石英	1401
1315	SP735	土師質土器 中皿	11.1 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1400
1316	SP735	土師質土器 中皿	(11.6) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1405
1317	SP735	土師質土器 中皿	(11.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1403
1318	SP735	土師質土器 中皿	(10.6) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1404
1319	SP735	土師質土器 中皿	(12.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1802
1320	SP735	土師質土器 中皿	(12.2) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のち回転ナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒	1800
1321	SP735	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1514
1322	SP735	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.8) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1517
1323	SP735	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.6) 2.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/3 にぶい褐 外面7.5YR6/3 にぶい褐	黒色鉱物粒 長石	1515
1324	SP735	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.6) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石	1516
1325	SP735	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.6) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1518
1326	SP735	古瀬戸 天目茶?	(11.2) 6.3 4.0	内外面施釉	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内外面	内面N2/0 黒(釉) 外面N2/0 黒(釉) 外面2.5Y6/2 淡黄(露胎)	黒色鉱物粒 長石	1650
1327	SP735	瓦質土器 羽釜	(19.0) 3.3 –	内面横位ハケ 外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N8/0 灰白 外面2.5Y7/1 灰白	黒色鉱物粒	1648
1328	SP735	産地不明 輸入青磁 鉢	20.0 2.9 –	内外面施釉	欠損	欠損	内面2.5GY6/1 オリーブ灰 外面2.5GY6/1 オリーブ灰	砂粒みえず	1649
1330	SP735	土師質土器 中皿	11.4 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1611
1331	SH703	土師質土器 小皿	11.0 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 チャート	1610
1332	SH703	土師質土器 小皿	(11.0) 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1620
1333	SH703	土師質土器 小皿	(11.2) 2.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1616
1334	SH703	土師質土器 小皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1617
1335	SH703	土師質土器 小皿	8.2 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	1612
1336	SH703	土師質土器 小皿	8.2 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1613
1337	SH703	古瀬戸 天目茶?	(14.8) 7.7 –	内外面施釉	内外面施釉	内外面	内面N2/0 黒 外面N2/0 黒 外面2.5Y8/3 淡黄(露胎)	黒色鉱物粒	1626
1338	SH703	土師質土器 煮炊具	(22.4) 5.7 –	内外面ロクロナデ	内面ヘラ削り 外面ロクロナデ	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR5/2 灰黄褐	長石 チャート	1614
1339	SH703	東播系 須恵器 鉢	(35.6) 4.6 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N4/0 灰 外面N4/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1615

図版番号	出土地点	器種	法量 (口径) (器高) (底径)	口縁部	調整体部	底部 (脚部)	色調	胎土	実測番号
1340	SH703	東播系 須恵器 鉢	(40.0) 4.5 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N5/0 灰 外面N5/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1627
1341	SH703	東播系 須恵器 甕	(32.6) 4.1 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面肩部綾杉文	欠損	内面7.5YR7/2 明褐灰 外面7.5YR7/2 明褐灰	チャート 長石 黒色鉱物粒	1806
1342	SH704	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 雲母・長石 チャート	1339
1343	SH704	土師質土器 中皿	(13.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面7.5YR6/2 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1341
1344	SH704	土師質土器 中皿	(12.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1337
1345	SH704	土師質土器 中皿	11.4 2.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1338
1346	SH704	土師質土器 中皿	(12.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1340
1347	SH704	土師質土器 小皿	8.0 1.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/2 にぶい橙 外面7.5YR6/2 にぶい橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1296
1348	SH704	土師質土器 小皿	8.2 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1300
1349	SH704	土師質土器 小皿	8.4 1.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母 赤色酸化粒 長石	1301
1350	SH704	土師質土器 小皿	8.1 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1302
1351	SH704	土師質土器 小皿	7.7 1.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1297
1352	SH704	土師質土器 小皿	8.0 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1295
1353	SH704	土師質土器 小皿	(7.8) 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1298
1354	SH704	土師質土器 小皿	(8.0) 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石・雲母 赤色酸化粒	1299
1355	SH704	土師質土器 小皿	8.0 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1303
1356	SH704	古瀬戸 施釉?	(12.2) 4.7 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	黒色鉱物粒	1336
1357	SH704	産地不明 輸入青磁 杯	(19.6) 3.0 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面10Y7/1 灰白 外面10Y7/1 灰白	砂粒みえず	1335
1358	SX705	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1364
1359	SX705	土師質土器 小皿	8.3 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 チャート 黒色鉱物粒	1369
1360	SX705	土師質土器 小皿	8.4 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1367
1361	SX705	土師質土器 小皿	8.0 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1368
1362	SX705	土師質土器 小皿	8.0 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/2 にぶい橙 外面7.5YR7/2 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 石英・雲母	1366
1363	SX705-5	土師質土器 小皿	9.4 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1383
1364	SX705-5	瓦質土器 碗	(18.6) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面暗文 外面ナデ	欠損	内面N3/0 暗灰 外面N3/0 暗灰	長石	1384
1365	SX705	瓦質土器 碗	– 1.0 (5.2)	欠損	欠損	内外面ナデ	内面5Y7/1 灰白 外面5Y7/1 灰白	長石 黒色鉱物粒	1377
1366	SX705	土師質土器 煮炊具	(27.0) 8.2 –	内外面ロクロナデ	内面横位ハケ 外面指頭圧痕~横位ハケ	欠損	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石・雲母 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1365
1367	SX705	東播系 須恵器 鉢	12.0 4.8 –	欠損	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面糸切り	内面N8/0 灰白 外面N8/0 灰白	チャート 長石 黒色鉱物粒	1376
1368	SX705	東播系 須恵器 鉢	(30.6) 3.3 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5Y5/1 黄灰 外面2.5Y5/1 黄灰	長石 黒色鉱物粒	1375
1369	SX705	東播系 須恵器 鉢	27.0 5.8 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N4/0 灰 外面N4/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1371
1370	SX705	東播系 須恵器 鉢	(30.6) 3.3 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1373
1371	SX705	東播系 須恵器 鉢	(37.0) 6.8 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1372
1372	SX705	古瀬戸 おろし皿	(20.0) 4.3 –	内外面施釉	内面卸目 外面露胎	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1374
1373	SX705	東播系 須恵器 鉢	(25.6) 4.7 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内外面2.5Y8/2 灰白(釉) 内外面2.5Y8/3 浅黄(露胎)	黒色鉱物粒	1799
1374	SD704-1	土師質土器 中皿	(10.8) 2.9 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/3 にぶい橙 外面5YR6/3 にぶい橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 チャート	1698
1375	SD704	土師質土器 中皿	(11.8) 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	長石 黒色鉱物粒	1967
1376	SD704	土師質土器 小皿	7.6 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1385
1377	SD704	瓦質土器 碗	(11.8) 3.2 –	内外面ロクロナデ	内面暗文 外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	内面N8/0 灰白 外面N6/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1386
1378	SD704	瓦質土器 碗	(12.2) 4.0 –	内外面ロクロナデ	内面暗文 外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	内面N7/1 灰白 外面N7/1 灰白	長石 黒色鉱物粒 雲母	1966
1379	SD704	土師質土器 煮炊具	(19.4) 4.5 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面タタキ	欠損	内面5YR5/4 にぶい赤褐 外面5YR5/4 にぶい赤褐	雲母・長石 石英 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1384
1380	SD704-1	東播系 須恵器 鉢	(31.2) 4.2 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N3/0 暗灰 外面N3/0 暗灰	黒色鉱物粒 長石 雲母	1700
1381	SD704-1	東播系 須恵器 鉢	24.8 2.7 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面5Y7/1 灰白 外面5Y7/1 灰白	長石 黒色鉱物粒	1701
1382	SD704	東播系 須恵器 鉢	27.6 4.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面5Y7/1 灰白 外面5Y7/1 灰白	長石 黒色鉱物粒	1385
1383	SD704	瓦質土器 奈良火鉢 浅鉢型	(41.8) 19.0 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面ヘラ削り	内面N5/0 灰 外面N5/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1384
1384	SD702	土師質土器 中皿	(10.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	チャート 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1575
1385	SD702	土師質土器 中皿	(10.4) 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1573
1386	SD702	土師質土器 中皿	(11.6) 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR5/4 にぶい褐 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1576
1387	SD702	土師質土器 中皿	12.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1574
1388	SD702	土師質土器 中皿	10.8 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 長石 赤色酸化粒	1572
1389	SD702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.6 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1577
1390	SD702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1580
1391	SD702	土師質土器 小皿	(8.0) 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1579
1392	SD702	土師質土器 小皿	(8.0) 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	1578
1393	SD702	土師質土器 煮炊具	(30.0) 3.5 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR6/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1581
1394	SD702	古瀬戸 天目茶碗	(12.8) 4.8 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面N1.5/0 黒(釉) 外面N1.5/0 黒(釉) 外面2.5Y7/3 浅黄(露胎)	黒色鉱物粒	1323
1395	SD702	古瀬戸 深皿	(36.8) 7.1 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面7.5Y7/1 灰白 内面7.5Y7/2 灰白	長石 黒色鉱物粒	1651
1396	SD702	東播系 須恵器 鉢	(30.0) 7.3 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N5/0 灰 外面N5/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1652
1397	SX704	土師質土器 中皿	11.2 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1419
1398	SX704	土師質土器 中皿	11.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 チャート	1420
1399	SX704	土師質土器 中皿	11.2 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕		黒色鉱物粒 長石・雲母 赤色酸化粒	1416
1400	SX704	土師質土器 中皿	11.6 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒 チャート	1415
1401	SX704	土師質土器 中皿	11.2 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1418
1402	SX704	土師質土器 中皿	10.3 2.4 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・チャート	1422
1403	SX704	土師質土器 中皿	10.2 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1417
1404	SX704	土師質土器 中皿	11.7 2.3 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面指頭圧痕	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1421
1405	SX704	土師質土器 中皿	(10.8) 2.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 チャート	1743
1406	SX704	土師質土器 中皿	(11.8) 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石・雲母 チャート 黒色鉱物粒	1737
1407	SX704	土師質土器 中皿	(11.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1741
1408	SX704	土師質土器 中皿	(11.5) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1736
1409	SX704	土師質土器 中皿	(11.2) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート	1739

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1410	SX704	土師質土器 中皿	(11.2) 2.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・チャート	1738
1411	SX704	土師質土器 中皿	(10.8) 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	赤色酸化粒 長石 チャート	1742
1412	SX704	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 2.2 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	赤色酸化粒 長石 雲母	1219
1413	SX704	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.6 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 橙 外面7.5YR6/4 橙	赤色酸化粒 長石・雲母 チャート	1214
1414	SX704	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.9 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	赤色酸化粒 長石 雲母	1218
1415	SX704	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.3) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	チャート 赤色酸化粒 雲母・長石	1220
1416	SX704	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.7) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面指頭圧痕のちナデ 外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	赤色酸化粒 長石 雲母	1221
1417	SX704	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 内面5YR6/6 橙	赤色酸化粒 雲母・長石 黒色鉱物粒	1217
1418	SX704	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.8 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 チャート・雲母	1216
1419	SX704	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.3 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/2 にぶい橙 外面7.5YR6/2 にぶい橙	赤色酸化粒 長石・雲母 チャート	1215
1420	SX704	土師質土器 小皿	8.2 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	1229
1421	SX704	土師質土器 小皿	(7.8) 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/3 にぶい黄橙 外面10YR5/3 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1234
1422	SX704	土師質土器 小皿	(8.2) 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート・長石	1231
1423	SX704	土師質土器 小皿	(8.1) 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1236
1424	SX704	土師質土器 小皿	(8.4) 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1235
1425	SX704	土師質土器 小皿	(8.2) 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石・チャート 赤色酸化粒 雲母	1225
1426	SX704	土師質土器 小皿	8.0 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒 長石	1227
1427	SX704	土師質土器 小皿	(8.4) 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	雲母	1233
1428	SX704	土師質土器 小皿	7.8 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・チャート	1230
1429	SX704	土師質土器 小皿	(8.3) 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	1232
1430	SX704	土師質土器 小皿	7.6 1.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石 赤色酸化粒 雲母	1222
1431	SX704	土師質土器 小皿	(8.0) 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・チャート	1238
1432	SX704	土師質土器 小皿	7.9 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・石英	1228
1433	SX704	土師質土器 小皿	(8.1) 1.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1237
1434	SX704	土師質土器 小皿	(8.2) 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1224
1435	SX704	土師質土器 小皿	(8.1) 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・石英	1226
1436	SX704	土師質土器 大皿	(19.6) 4.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒	1130
1437	SX704	瓦質土器 碗	(12.8) 2.5 –	内外面ロクロナデ	内面暗文 外面ロクロナデ	欠損	内面N3/0 暗灰 外面N3/0 暗灰	長石・石英 チャート 雲母	1127
1438	SX704	東播系 須恵器 碗	(13.8) 4.2 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N6/0 灰 外面N5/0 灰	長石 石英 黒色鉱物粒	1128
1439	SX704	産地不明 輸入青磁 碗	(9.2) 3.3 –	内外面施釉	内外面施釉薬 剣頭文	欠損	内面5GY7/1 明オリーブ灰 外面5GY7/1 明オリーブ灰	砂粒みえず	1131
1440	SX704	土師質土器 煮炊具	(24.8) 8.0 –	内外面ロクロナデ	内外面ヘラ削り	欠損	内面5YR6/6 橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 赤色酸化粒 黒色鉱物粒 長石・チャート	1129
1441	SX704	土師質土器 煮炊具	(21.6) 11.0 –	内外面ロクロナデ	内面ナデ 外面タタキ	欠損	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR2/1 黒	黒色鉱物粒 長石・石英 赤色酸化粒	1125
1442	SX704	瓦質土器 鍋	(28.0) 3.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5Y7/1 灰白 外面2.5Y2/1 黒	雲母 黒色鉱物粒	1126
1443	SX704	瓦質土器 羽釜	(34.0) 8.8 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面5Y8/1 灰白 外面N6/0 灰	黒色鉱物粒 チャート	1133
1444	SX704	石鍋	(30.0) 4.0 –	内面平滑 外面削り痕	欠損	欠損	—	—	1807
1445	SX704	石鍋	30.0 4.0 –	内面平滑 外面削り痕	欠損	欠損	—	—	1810
1446	SX704	東播系 須恵器 鉢	(23.0) 5.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面5Y5/1 灰 外面5Y5/1 灰	黒色鉱物粒 長石	1784
1447	SX704	東播系 須恵器 鉢	(26.6) 9.6 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	糸切り	内面N4/0 灰 外面N4/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1783
1448	SX704	備前焼 擂鉢	(34.6) 5.4 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロナデ	欠損	内面2.5Y5/1 黄灰 外面2.5Y4/1 黄灰	長石 黒色鉱物粒	667
1449	SK719	土師質土器 中皿	(11.5) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	1671
1450	SK719	土師質土器 中皿	(11.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 チャート・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1715
1451	SK719	土師質土器 中皿	(10.6) 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1672
1452	SK719	土師質土器 小皿	7.8 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒 石英・チャート	1713
1453	SK719	土師質土器 小皿	(8.0) 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	赤色酸化粒 長石・石英 チャート 黒色鉱物粒	1714
1454	SK721	土師質土器 煮炊具	(29.4) 2.9 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面10YR5/2 灰黄褐色 外面10YR3/1 黒褐色	長石 チャート 黒色鉱物粒	1710
1455	SK719	瓦質土器 鍋	(34.8) 5.8 –	内外面ロクロナデ	内面横位ヘラ削り 外面縦位ヘラ削り	欠損	内面5Y7/1 灰白 外面N4/0 灰	黒色鉱物粒 長石 雲母	1709
1456	SK719	備前焼 擂鉢	(33.8) 10.8 –	内外面ロクロナデ	内面擂目 外面ロクロナデ	欠損	内面5YR4/2 灰褐 外面2.5YR4/3 にぶい赤褐	長石 赤色酸化粒	1673
1457	SK719	東播系 須恵器 鉢	14.3 4.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N5/0 灰 外面N5/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1674
1458	SK723	瓦質土器 擂鉢	(26.0) 3.2 –	内面横位ハケ目 外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N3/0 暗灰 外面N3/0 暗灰	長石 黒色鉱物粒	1711
1459	SK719	瓦質土器 奈良火鉢	(30.0) 13.3 –	欠損	内面ロクロナデ～指頭圧痕 外面ロクロナデ	内外面ナデ	内面N3/0 暗灰 外面7.5YR7/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1804
1460	SH706-7	土師質土器 中皿	(12.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/2 灰黄褐 外面10YR5/2 灰黄褐	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1703
1461	SH706-07	土師質土器 中皿	(12.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1702
1462	SH706-04	土師質土器 中皿	(11.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/3 浅黄橙 外面7.5YR7/3 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1705
1463	SH706	土師質土器 中皿	12.0 2.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1760
1464	SH706	土師質土器 中皿	(11.0) 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石 チャート 雲母	1759
1465	SH706	土師質土器 中皿	(11.4) 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1761
1466	SH706	土師質土器 中皿	(11.4) 2.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/3 にぶい橙 外面7.5YR6/3 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1361
1467	SH706	土師質土器 中皿	(11.8) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1359
1468	SH706	土師質土器 中皿	(11.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石・石英 雲母 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1360
1469	SH706	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.3) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1358
1470	SH706-04	土師質土器 小皿	8.2 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	雲母 赤色酸化粒 黒色鉱物粒 長石	1707
1471	SH706-07	土師質土器 小皿	(9.0) 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	雲母 黒色鉱物粒 長石	1704
1472	SH706	土師質土器 小皿	8.4 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1357
1473	SH706	土師質土器 小皿	8.4 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1355
1474	SH706	土師質土器 小皿	8.4 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1354
1475	SH706	土師質土器 小皿	(8.4) 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1356
1476	SH706	土師質土器 小皿	(8.4) 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 内面10YR7/4 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1758
1477	SH706-04	土師質土器 小皿	8.0 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	雲母 黒色鉱物粒 長石	1706
1478	SH706	産地不明 輸入青磁 鉢	(18.0) 4.3 –	内外面施釉	内外面施釉 剣頭文	欠損	内面7.5GY6/1 灰 外面7.5GY6/1 灰	砂粒みえず	1363
1479	SH706	土師質土器 煮炊具	(18.0) 6.0 –	内外面ロクロナデ	内面横位ハケ 外面指頭圧痕～ハケ	欠損	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石・石英 赤色酸化粒	1756

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1480	SH706	土師質土器 釜炊具 (羽釜)	(19.0) 6.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面7.5YR5/3 にぶい褐	黒色鉱物粒 長石・石英 赤色酸化粒 雲母	1362
1481	SH706-03	土師質土器 釜炊具 (羽釜)	27.6 8.0 –	内外面ロクロナデ	内面横位ヘラ削り 外面ロクロナデ～指頭圧痕	欠損	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR5/2 灰黄褐	長石・雲母 黒色鉱物粒 石英	1708
1482	SH706	東播系 須恵器 鉢	– 5.7 (12.6)	欠損	内外面ロクロナデ	糸切り	内面N8/1 灰白 外面7.5Y8/1 灰白	黒色鉱物粒 長石・チャート 石英	1364
1483	SX702	土師質土器 中皿	12.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1499
1484	SX702	土師質土器 中皿	(11.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1771
1485	SX702	土師質土器 中皿	(10.4) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1501
1486	SX702	土師質土器 中皿	10.2 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1500
1487	SX702	土師質土器 中皿	10.6 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	1496
1488	SX702	土師質土器 中皿	12.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1498
1489	SX702	土師質土器 中皿	10.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1497
1490	SX702	土師質土器 中皿	(10.0) 2.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1767
1491	SX702	土師質土器 中皿	11.6 2.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石 チャート・石英 黒色鉱物粒	1718
1492	SX702	土師質土器 中皿	(10.6) 2.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1766
1493	SX702	土師質土器 中皿	(10.2) 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1772
1494	SX702	土師質土器 中皿	(10.6) 2.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	雲母 黒色鉱物粒 長石	1502
1495	SX702	土師質土器 小皿	(8.5) 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1773
1496	SX702	土師質土器 小皿	8.6 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1503
1497	SX702	土師質土器 小皿	8.4 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1774
1499	SX702	土師質土器 釜炊具	(16.6) 10.3 –	内外面ロクロナデ	内面横位ヘラ削り 外面タタキ	欠損	内面10YR6/2 灰黄褐 外面2.5Y7/1 灰白	長石 黒色鉱物粒	1654
1500	SX702	土師質土器 釜炊具	(25.4) 14.4 –	内外面ロクロナデ	内面横位ヘラ削り 外面タタキ	欠損	内面5YR7/6 橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1653
1501	SX702	土師質土器 釜炊具 (羽釜)	(24.8) 5.4 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面ロクロナデ～指頭圧痕	欠損	内面7.5YR7/3 にぶい橙 外面5YR6/2 灰褐	黒色鉱物粒 長石	1770
1502	SX702	東播系 須恵器 鉢	(24.0) 3.6 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面2.5Y7/2 灰黄 外面2.5Y7/2 灰黄	長石 黒色鉱物粒	1769
1503	SX702	土師質土器 中皿	10.8 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1436
1504	SX702	土師質土器 中皿	(10.6) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1437
1505	SX702	土師質土器 中皿	10.4 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1431
1506	SX702	土師質土器 中皿	10.6 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1434
1507	SX702	土師質土器 中皿	11.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1438
1508	SX702	土師質土器 中皿	11.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 チャート	1433
1509	SX702	土師質土器 中皿	(10.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・チャート	1435
1510	SX702	土師質土器 中皿	10.8 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1432
1511	SX702	土師質土器 大皿	(36.8) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石	1524
1512	SX702	土師質土器 大皿	(16.0) 3.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	長石 雲母	1525
1513	SX702	土師質土器 大皿	(17.0) 3.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	1523
1514	SX702	土師質土器 小皿	8.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1520
1515	SX702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.6) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1521

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1516	SK702	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.3 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1519
1517	SK702	東播系 須恵器 片口小鉢	(8.8) 2.5 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面2.5Y8/1 灰白 外面2.5Y8/1 灰白	黒色鉱物粒 雲母 長石	1522
1518	SK713	土師質土器 中皿	(11.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR8/4 浅黄橙	チャート・長石 雲母・石英 黒色鉱物粒	1764
1519	SK713	土師質土器 中皿	(10.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR5/4 にぶい赤褐 外面5YR5/4 にぶい赤褐	長石 黒色鉱物粒 雲母	1765
1520	SK713	土師質土器 小皿	7.8 1.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	雲母・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1763
1521	SK713	東播系 須恵器 鉢	(37.2) 3.1 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1768
1522	SK701	土師質土器 中皿	11.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1508
1523	SK701	土師質土器 中皿	(10.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1506
1524	SK701	土師質土器 中皿	(12.2) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	1504
1525	SK701	土師質土器 中皿	11.0 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1507
1526	SK701	土師質土器 中皿	(10.0) 2.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1506
1527	SK701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 黒色鉱物粒 長石・チャート	1528
1528	SK701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1539
1529	SK701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1529
1530	SK701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.2) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1530
1531	SK701	土師質土器 小皿	(8.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	1531
1532	SK701	土師質土器 小皿	7.6 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート 長石・雲母 黒色鉱物粒	1527
1533	SK701	土師質土器 大皿	(18.8) 2.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒	1526
1534	SK714	土師質土器 中皿	10.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR8/3 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート	1667
1535	SK714	土師質土器 ちゅ	11.0 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1658
1536	SK714	東播系 須恵器 鉢	(25.8) 4.0 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	長石 雲母 黒色鉱物粒	1656
1537	SK714	瓦質土器 擂鉢	(30.6) 5.8 –	内外面ロクロナデ	内面櫛目 外面縦位ヘラ削り	欠損	内面5Y5/1 灰 外面N4/0 灰	長石 雲母 黒色鉱物粒	1655
1538	SK703	土師質土器 中皿	(10.8) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1724
1539	SK703	土師質土器 中皿	(11.6) 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1727
1540	SK703	土師質土器 中皿	(11.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1512
1541	SK703	土師質土器 中皿	(11.0) 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1509
1542	SK703	土師質土器 中皿	(10.2) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1513
1543	SK703	土師質土器 中皿	(10.8) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1722
1544	SK703	土師質土器 中皿	(12.8) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1510
1545	SK703	土師質土器 中皿	(11.8) 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1723
1546	SK703	土師質土器 中皿	(10.2) 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1511
1547	SK703	土師質土器 中皿	(11.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1721
1548	SK703	土師質土器 中皿	(11.0) 2.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/3 にぶい褐 外面7.5YR6/3 にぶい褐	長石 黒色鉱物粒	1725
1549	SK703	土師質土器 中皿	11.2 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/3 にぶい褐 外面7.5YR6/3 にぶい褐	長石 黒色鉱物粒	1726
1550	SK703	土師質土器 大皿	(17.6) 3.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	黒色鉱物粒 長石	1745

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1551	SK703	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.9 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 雲母 赤色酸化粒	1479
1552	SK703	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 雲母	1744
1553	SK703	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石・雲母 赤色酸化粒	1748
1554	SK703	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/3 にぶい褐 外面7.5YR6/3 にぶい褐	雲母・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1746
1555	SP718	土師質土器 中皿	10.0 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 灰黄褐 外面10YR6/3 灰黄褐	雲母 長石 黒色鉱物粒	1625
1556	SK708	土師質土器 中皿	(11.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒 石英	1632
1557	SP708	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石・雲母 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1777
1558	SP708	土師質土器 小皿 (へそ痕)	8.0 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1778
1559	SP708	土師質土器 小皿 (へそ痕)	7.8 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 黒色鉱物粒 長石	1776
1560	SP718	土師質土器 小皿	7.2 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 雲母	1624
1561	SP718	土師質土器 小皿	(8.2) 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1623
1562	SK708	底地不明 輸入青磁 碗	(17.2) 4.3 –	内外面施釉	内外面施釉 剣頭文	欠損	内面5Y5/2 灰オリーブ 外面5Y5/2 灰オリーブ	砂粒みえず	1631
1563	SK709	東播系 須恵器 鉢	(37.2) 5.2 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N4/0 灰 外面N4/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1665
1564	SK709	東播系 須恵器 鉢	(31.4) 3.4 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面5Y5/1 灰 外面5Y5/1 灰	長石 黒色鉱物粒	1666
1565	SK709	土師質土器 煮炊具	21.0 5.7 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面タタキ	欠損	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1664
1566	SX701	土師質土器 中皿	10.8 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1408
1567	SX701	土師質土器 中皿	10.4 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 石英 黒色鉱物粒	1407
1568	SX701	土師質土器 中皿	11.4 2.4 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1413
1569	SX701	土師質土器 中皿	11.2 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 雲母・長石 赤色酸化粒	1412
1570	SX701	土師質土器 中皿	10.7 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	1410
1571	SX701	土師質土器 中皿	10.4 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1411
1572	SX701	土師質土器 中皿	10.6 2.3 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1414
1573	SX701	土師質土器 中皿	10.6 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1409
1574	SX701	土師質土器 大皿	(12.4) 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 チャート	1554
1575	SX701	土師質土器 大皿	(12.6) 3.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1555
1576	SX701	土師質土器 大皿	(12.8) 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1559
1577	SX701	土師質土器 大皿	(13.4) 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	赤色酸化粒 黒色鉱物粒 雲母・チャート	1558
1578	SX701	土師質土器 大皿	(14.0) 3.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1556
1579	SX701	土師質土器 大皿	(15.6) 3.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y8/2 灰白 外面2.5Y8/2 灰白	雲母 赤色酸化粒 チャート	1557
1580	SX701	土師質土器 大皿	(15.0) 3.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	黒色鉱物粒	1553
1581	SX701	土師質土器 大皿	(18.2) 3.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/4 浅黄橙 外面7.5YR8/4 浅黄橙	黒色鉱物粒	1552
1582	SX701	土師質土器 小皿 (へそ皿)	6.8 1.9 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/2 灰白 外面7.5YR8/2 灰白	黒色鉱物粒 チャート 長石	1608
1583	SX701	土師質土器 小皿 (へそ痕)	(8.1) 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1590
1584	SX701	土師質土器 小皿 (へそ痕)	(6.2) 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/2 灰白 外面10YR8/2 灰白	黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1609
1585	SX701	土師質土器 小皿	8.2 1.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石・チャート 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母	1589

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(脚部)	色調	胎土	実測番号
1586	SX701	土師質土器 小皿	8.4 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1588
1587	SX701	土師質土器 小皿	8.0 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR7/6 橙 外面5YR7/6 橙	長石 黒色鉱物粒	1604
1588	SX701	土師質土器 小皿	(7.8) 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 赤色酸化粒	1607
1589	SX701	瓦質土器 鉢	(32.4) 11.7 –	内面横位ハケ 外面ロクロナデ	内面横位ハケ 外面斜位ヘラ削り	欠損			1628
1590	SK711 ②	土師質土器 中皿	10.6 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	長石 黒色鉱物粒	1464
1591	SK711 ⑨	土師質土器 中皿	(10.6) 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1481
1592	SK711	土師質土器 中皿	10.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1467
1593	SK711	土師質土器 中皿	10.3 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1466
1594	SK711 ①	土師質土器 中皿	10.6 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR7/3 にぶい橙 外面5YR7/3 にぶい橙	長石・石英 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1465
1595	SK711	土師質土器 中皿	10.8 2.1 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1468
1596	SK711 ⑥	土師質土器 中皿	(10.8) 2.2 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1484
1597	SK711 ③	土師質土器 中皿	11.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR2/1 黒色 外面10YR4/1 褐灰	雲母 黒色鉱物粒	1482
1598	SK711 ⑥	土師質土器 中皿	(10.6) 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	雲母・長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1480
1599	SK711 ⑱	土師質土器 中皿	11.1 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1462
1600	SK711 ③	土師質土器 中皿	11.2 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒 雲母・チャート	1460
1601	SK711 ⑧	土師質土器 中皿	(10.8) 2.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1479
1602	SK711 ②	土師質土器 中皿	11.4 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒 チャート	1461
1603	SK711 ②	土師質土器 中皿	(11.2) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1485
1604	SK711 ②	土師質土器 中皿	11.6 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石	1483
1605	SK711 ⑨	土師質土器 中皿	11.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母・長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1463
1606	SK711 ⑤	土師質土器 中皿	(11.2) 2.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/2 灰黄褐 外面10YR5/2 灰黄褐	長石	1486
1607	SK711	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.6) 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1546
1608	SK711	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.4 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR8/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1545
1609	SK711 ⑧	土師質土器 小皿 (へそ痕)	8.2 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1541
1610	SK711	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1543
1611	SK711	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(7.6) 1.8 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1548
1612	SK711	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.2 1.7 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/4 にぶい橙 外面5YR6/4 にぶい橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1549
1613	SK711 ⑦	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.0 1.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	雲母 長石 黒色鉱物粒	1542
1614	SK711	土師質土器 小皿 (へそ皿)	(8.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 赤色酸化粒	1547
1615	SK711 ⑪	土師質土器 小皿 (へそ皿)	7.6 2.0 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 雲母・長石	1544
1616	SK711	土師質土器 小皿	7.3 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1551
1617	SK711	土師質土器 小皿	8.4 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 赤色酸化粒 長石・雲母	1550
1618	SK711	土師質土器 小皿	8.0 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 チャート・石英 黒色鉱物粒	1712
1619	SK711 ④	瓦質土器 鍋	(11.0) 3.2 –	内外面ロクロナデ	内面略文 外面ロクロナデ	内外面ナデ	内面N4/0 灰 外面N8/0 灰白	長石 黒色鉱物粒	1487
1620	SP701	土師質土器 中皿	12.0 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR6/4 にぶい黄橙	長石・雲母 チャート 黒色鉱物粒	1781

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(胴部)	色調	胎土	実測番号
1621	SK731	土師質土器 中皿	(12.2) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	雲母 黒色鉱物粒 長石	1676
1622	SK731	土師質土器 小皿	(7.6) 1.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1677
1623	SK731	土師質土器 小皿	(8.0) 1.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1678
1624	SP736	瓦質土器 鍋	12.4 2.7 –	内外面ロクロナデ	内面暗文 外面ロクロナデ	欠損	内面10YR8/3 浅黄橙 外面10YR8/3 浅黄橙	長石 黒色鉱物粒	1675
1625	SK718	産地不明 輸入青磁 碗	(17.2) 3.8 –	内外面施釉	内外面施釉 劃花文	欠損	内面7.5Y5/2 灰オリーブ 外面7.5Y5/2 灰オリーブ	砂粒みえず	1762
1626	SP701	土師質土器 煮炊具 (羽釜)	(31.0) 12.2 –	内面横位ハケ 外面ロクロナデ	内面横位ハケ 外面ロクロナデ・指頭圧痕	欠損	内面10YR7/3 にぶい黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 石英	1780
1627	SK727	瓦質土器 羽釜	(25.6) 5.2 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面ロクロナデ・指頭圧痕	欠損	内面2.5Y8/1 灰白 外面2.5Y6/1 黄灰	黒色鉱物粒 長石	1720
1628	SP701	東播系 須恵器 鉢	(29.4) 4.6 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	黒色鉱物粒 長石	1782
1629	SP719	東播系 須恵器 鉢	(28.8) 7.8 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面N6/0 灰 外面N6/0 灰	黒色鉱物粒 長石 チャート	1622
1630	SK717 ①	土師質土器 中皿	10.8 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	1426
1631	SK717 ①	土師質土器 中皿	11.0 2.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/4 にぶい黄橙 外面10YR5/4 にぶい黄褐	長石 雲母 黒色鉱物粒	1423
1632	SK717 ②	土師質土器 中皿	(11.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1751
1633	SK717 ③	土師質土器 中皿	11.2 2.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 チャート	1425
1634	SK717 ④	土師質土器 中皿	10.4 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1424
1635	SK717 ⑤	土師質土器 中皿	11.0 2.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1427
1636	SK717	土師質土器 中皿	11.2 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 チャート	1429
1637	SK717	土師質土器 中皿	11.6 2.6 –	内外面回転ナデ	内面回転ナデ 外面指頭圧痕のちナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 黒色鉱物粒 長石	1428
1638	SK717	土師質土器 中皿	(12.0) 2.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5YR6/6 橙 外面5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	1750
1639	SK717	土師質土器 中皿	11.0 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1430
1640	SK717	土師質土器 中皿	(11.6) 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石 黒色鉱物粒	1752
1641	SK717	土師質土器 中皿	(11.8) 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1752
1642	SK717 ⑦	土師質土器 小皿	8.3 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外　面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1286
1643	SK717 ⑥	土師質土器 小皿	4.2 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 雲母 長石	1285
1644	SK717 ⑧	土師質土器 小皿	8.4 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1291
1645	SK717	土師質土器 小皿	8.6 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1284
1646	SK717	土師質土器 小皿	(8.4) 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1293
1647	SK717	土師質土器 小皿	8.4 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1288
1648	SK717	土師質土器 小皿	8.2 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石 チャート・雲母 黒色鉱物粒	1283
1649	SK717	土師質土器 小皿	8.2 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石	1289
1650	SK717	土師質土器 小皿	(8.6) 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR5/4 にぶい褐	長石 雲母 黒色鉱物粒	1292
1651	SK717	土師質土器 小皿	8.0 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1294
1652	SK717	土師質土器 小皿	8.4 1.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1290
1653	SK717	土師質土器 小皿	8.4 1.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/6 橙 外面7.5YR7/6 橙	長石 チャート・雲母 黒色鉱物粒	1287
1654	SK717	土師質土器 煮炊具	(27.0) 3.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面10YR7/2 にぶい黄橙 外面10YR7/2 にぶい黄橙	長石 黒色鉱物粒	1755
1655	SK717	瓦質土器 鍋	(15.8) 9.5 –	内外面ロクロナデ	内面ロクロナデ 外面ロクロナデ・指頭圧痕	欠損	内面N4/0 灰 外面10YR3/1 黒褐	黒色鉱物粒 長石 雲母	1753
1656	SK728	土師質土器 皿	(11.8) 3.1 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒	1733

図版番号	出土地点	器種	法量(口径)(器高)(底径)	口縁部	調整体部	底部(胴部)	色調	胎土	実測番号
1657	SK728	土師質土器 中皿	(11.2) 2.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	1729
1658	SK728	土師質土器 中皿	(11.6) 2.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	1731
1659	SK728	土師質土器 中皿	(11.8) 2.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	チャート 長石・雲母 黒色鉱物粒 赤色酸化粒	1732
1660	SK728	土師質土器 中皿	12.4 2.6 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/6 橙 外面7.5YR6/6 橙	黒色鉱物粒 長石	1728
1661	SK728	土師質土器 中皿	11.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	チャート 黒色鉱物粒 長石	1730
1662	SK728	土師質土器 小皿	(8.4) 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 チャート・長石 赤色酸化粒	1735
1663	SK728	瓦質土器 鍋	13.8 3.2 –	内外面ロクロナデ	内面暗文 外面ロクロナデ	内外面ナデ	内面N4/0 灰 外面N4/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1734
1664	SK732	土師質土器 中皿	12.6 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	チャート 長石 黒色鉱物粒	1276
1665	SK732	土師質土器 中皿	11.6 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR6/3 にぶい黄橙 外面10YR6/3 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1277
1666	SK732	土師質土器 小皿 (へそ皿)	8.8 1.9 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 チャート 長石	1275
1667	SK732	土師質土器 小皿 (へそ皿)	9.0 2.0 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1273
1668	SK732	産地不明 輸入青磁 杯	(13.8) 2.7 –	内外面施釉	内外面施釉	欠損	内面2.5Y5/3 黄褐 外面2.5Y5/3 黄褐	砂粒みえず	1270
1669	SK732	東播系 須恵器 鉢	(24.0) 5.0 –	内外面ロクロナデ	内外面ロクロナデ	欠損	内面10YR6/2 灰黄褐 外面2.5Y8/1 灰白	長石 黒色鉱物粒	1269
1670	SP731	土師質土器 中皿	(10.6) 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	長石 黒色鉱物粒 雲母	1561
1671	SP731	土師質土器 中皿	(11.8) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 雲母	1563
1672	SP731	土師質土器 中皿	(11.8) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1560
1673	SP731	土師質土器 中皿	(10.8) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石・チャート 雲母	1562
1674	SP731	土師質土器 小皿	(8.1) 1.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR5/2 灰黄褐 外面10YR5/2 灰黄褐	雲母 長石 赤色酸化粒	1565
1675	SP731	土師質土器 小皿	(8.0) 1.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR6/4 にぶい橙 外面7.5YR6/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母 チャート	1564
1676	SP731	土師質土器 小皿	(9.4) 1.8 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 雲母	1566
1677	SP730	土師質土器 中皿	11.2 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面2.5Y7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒	1278
1678	SP730	土師質土器 中皿	(11.4) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1279
1679	SP730	土師質土器 小皿	8.0 1.9 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1280
1680	SP730	土師質土器 小皿	(8.0) 1.9 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1281
1681	SP730	土師質土器 小皿	8.0 1.9 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母	1282
1682	SP730	土師質土器 煮炊具	(21.4) 11.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR8/4 浅黄橙 外面10YR7/3 にぶい黄橙	チャート 長石・雲母 黒色鉱物粒	1272
1683	SP746	土師質土器 中皿	(12.0) 2.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 雲母 黒色鉱物粒	1569
1684	SP746	土師質土器 中皿	(12.0) 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 雲母	1567
1685	SP746	土師質土器 中皿	(12.8) 2.2 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	黒色鉱物粒 長石	1568
1686	SP746	土師質土器 中皿	(12.0) 2.3 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	黒色鉱物粒 長石 赤色酸化粒	1679
1687	SP746	土師質土器 中皿	(12.2) 2.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	雲母 長石 黒色鉱物粒	1699
1688	SP746	土師質土器 小皿	7.8 1.7 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面10YR7/4 にぶい黄橙 外面10YR7/4 にぶい黄橙	長石 チャート 黒色鉱物粒	1570
1689	SP746	土師質土器 小皿	7.6 1.4 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面7.5YR7/4 にぶい橙 外面7.5YR7/4 にぶい橙	雲母 黒色鉱物粒 長石	1571
1690	SP733	瓦質土器 鍋	22.6 2.5 –	内外面回転ナデ	内外面回転ナデ	内面横位ナデ 外面指頭圧痕	内面5Y6/1 灰 外面5Y4/1 灰	黒色鉱物粒 長石	1680
1691	SP732	土師質土器 煮炊具	(20.6) 11.7 –	内外面ロクロナデ	内面斜位ヘラ削り 外面タタキ	欠損	内面10YR5/2 灰黄褐 外面10YR6/2 灰黄褐	長石 赤色酸化粒 黒色鉱物粒	1268
1692	SP733	東播系 須恵器 鉢	(33.8) 3.0 –	内外面ロクロナデ	欠損	欠損	内面N5/0 灰 外面N5/0 灰	長石 黒色鉱物粒	1681

11. 瓦　図149～図151

a. 出土瓦の種類

本調査では、近世・中世を問わず各遺構面から瓦が出土しており、総量にして28リットルコンテナ約35箱分を測る。量的には近世瓦が圧倒的に多いが、中世瓦も一定量認められる。正確な計量は行っていないが、出土した瓦の大半は、第１整地層と第２整地層から出土したものである。その層を超えると、瓦の出土が極端に減少する。

種別としては軒丸瓦・軒平瓦・平瓦・丸瓦のほか、桟瓦、雁振瓦、隅瓦などが確認できる。そのほか瓦製品として、近世土管も数点出土している。

b. 瓦当文様

軒瓦のうち、瓦当文様が確認できたのは軒丸瓦15点、軒平瓦７点、桟瓦１点である。軒丸瓦瓦当文様に関しては、第三整地層から出土した1707が「巨」の文字瓦である以外、すべて三巴文である。三巴文のうち、1693だけが左巴で、その他はすべて右巴。

軒平瓦の瓦当文様は、近世のものはすべて橘宝珠の中心飾りに、上、上、上と三転する均整唐草を配する。中世軒平瓦は、1714が連珠に似た構成で半月様の文様が連なる。1715は摩滅が著しいが波状文系と考えられる。

c. 軒瓦の調整痕および時期

軒丸瓦15点中、近世瓦は11点（1693～1701、1703、1704）、中世瓦は４点（1702、1705、1706）である。

軒丸瓦のうち、瓦当裏面下部の円周に沿ってナデ観察できるものは1693・1694・1695・1700・1701・1704。逆に裏面下部円周にナデを施していないものは1705・1706となる。それ以外のものは、下部が欠損しているか摩滅で不明瞭になっており確認できていない。

軒丸瓦の瓦当貼り付けに際して、カキメを施しているかどうかを確認できる個体は、残念なことに今回出土した資料では、欠損状況などが観察に不向きなものばかりで、ほとんど不明瞭であった。SE302から出土した三巴文軒丸瓦で、図化できないほど小さな破片にではあるが一点、瓦当側にカキメが認められた。瓦当部・丸瓦部両者とも明らかにカキメを施していないものは、1707および1705である。1695と1704にも、瓦当側にカキメ様のものが見られるが、ごく一部分しか露呈しておらず、断言できない。瓦当側にカキメのある瓦は近世特有の瓦である。瓦文様からもその判断で差し支えはなかろう。一方、接合に際してカキメを施さないものについては、カキメを施すものより古相となる。

中世瓦のうち、三巴文に内区圏線を有する1706を最古相と設定して、1705・1706がそれに続く。それ以外のものについては共伴する土器の年代観から1698と1697が1693他のSP234出土の瓦より古相と設定される。神戸市内出土の瓦で、瓦当側に接合カキメが見られるのは17世紀以降の傾向

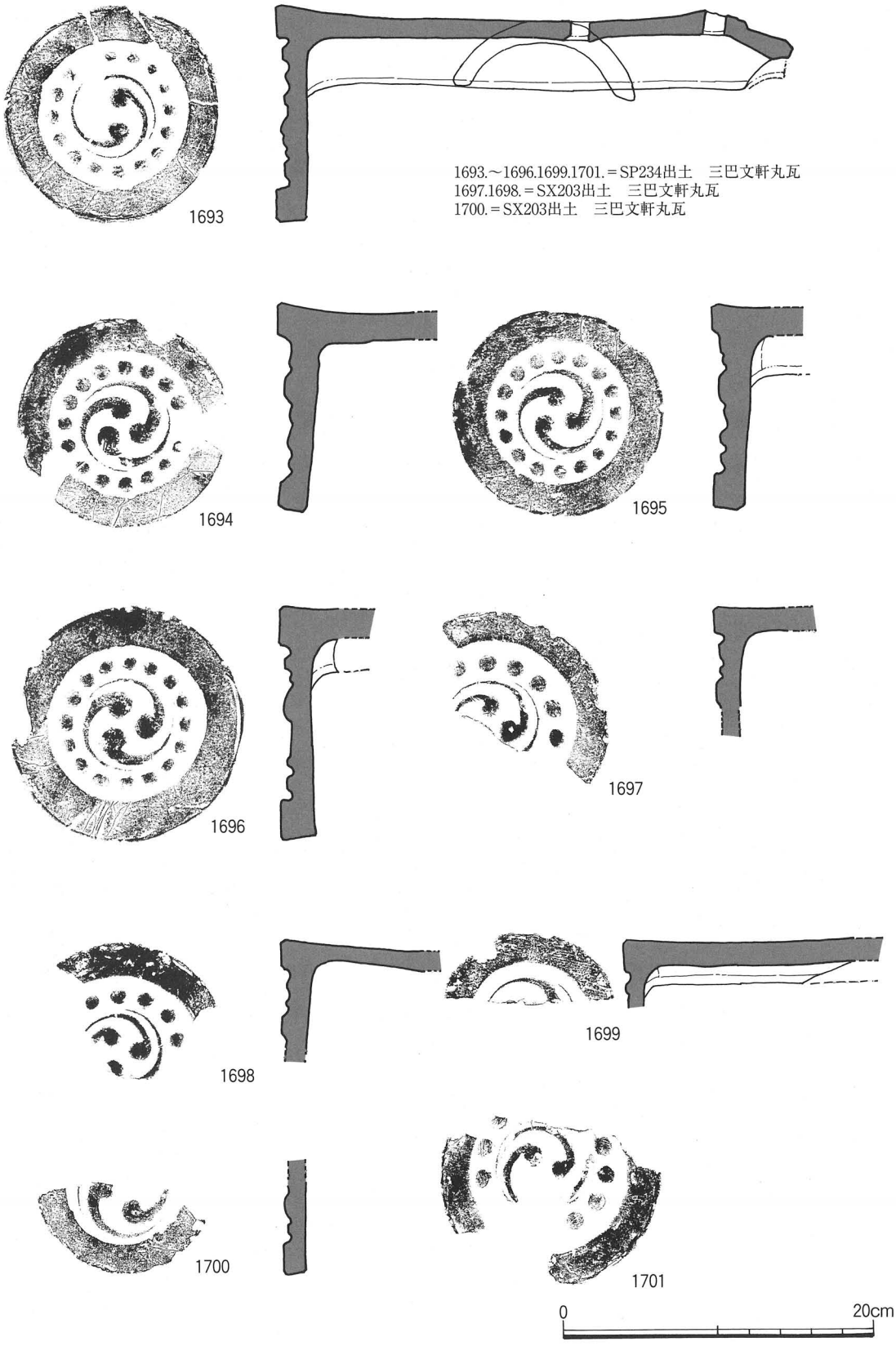
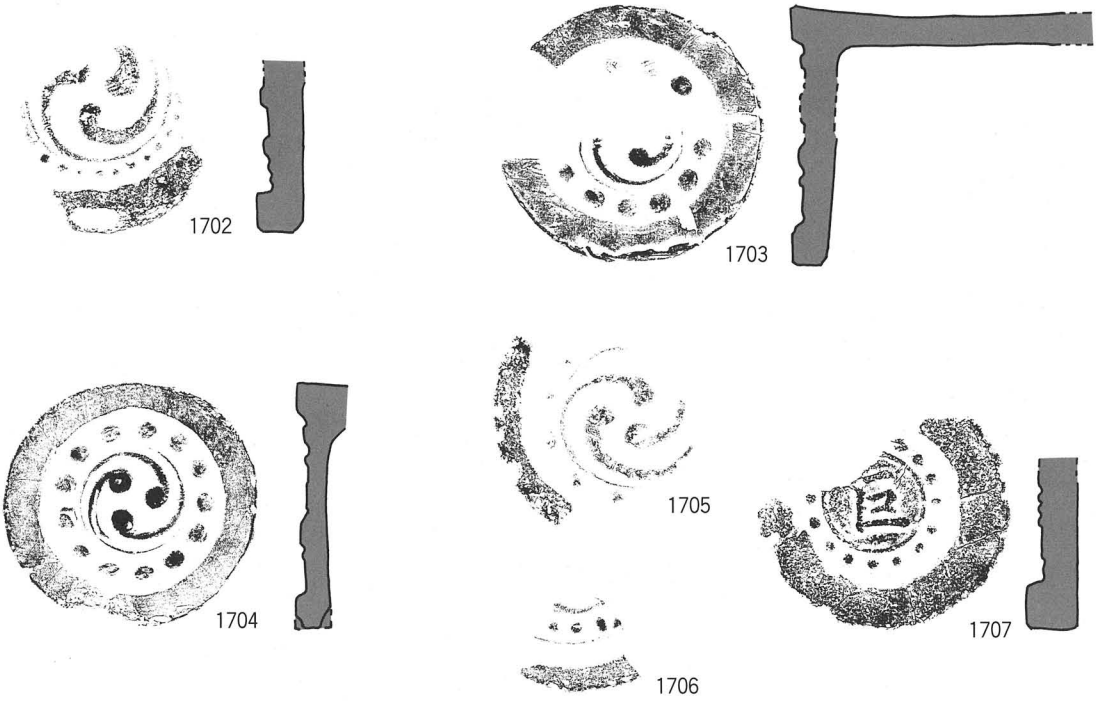
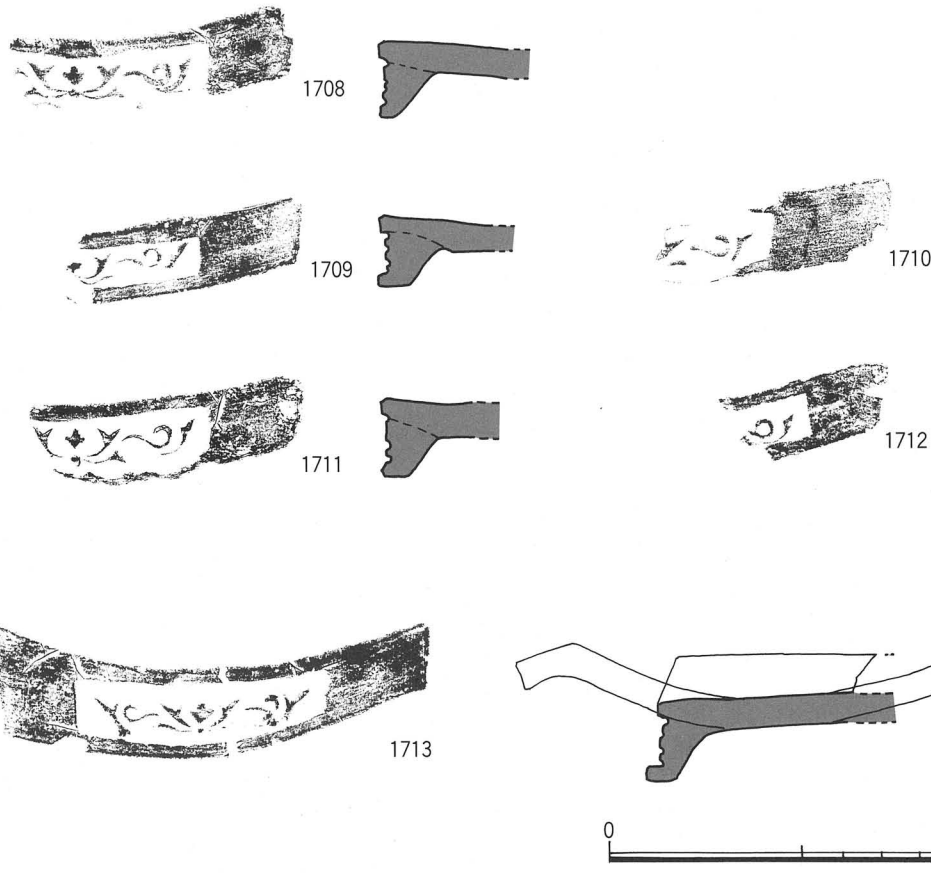


図149　軒丸軒　拓影及び断面図



1702.＝SE302出土　三巴文軒丸瓦　1703.＝SK416出土　軒丸瓦
1704.＝SK418出土　三巴文軒丸瓦　1705.＝SK731出土　軒丸瓦
1706.＝SK734出土　三巴文軒丸瓦　1707.＝第三整地層出土「巨」字瓦



1708.＝SK210出土　橘唐草文軒平瓦　1709.1710.＝SD201出土　橘唐草文軒平瓦
1711.1712.＝SX201出土　橘唐草文軒平瓦　1713.＝SK409出土　橘唐草文軒平瓦

図150　軒丸瓦・軒平瓦　拓影及び実測図

1714.＝SX401出土　連珠文軒平瓦
1715.＝SH702出土　波状文系軒平瓦

図151　軒平瓦　拓影及び実測図

が強い。SP234については、共伴する土器から18世紀後半ないし19世紀の時期が与えられる。同じくSX203も、共伴する土器から18世紀前半の年代が与えられる。

今回出土した軒丸瓦のうち、最新相をSP234のもの、その年代を18世紀後半から19世紀と設定し、一段階下がるものがSX203出土の瓦となる。さらに段階の下がったものとしてSK731から出土した1705があるが、年代が判定できうるだけの土器が共伴していない。ただ接合部カキメの傾向としては、室町前半ころまでは、カキメを施さずに瓦当を接合する傾向が強いように思われる。最古段階の内区に圏線を有するSK701出土の1706も、やはり年代が判定できうるだけの土器が共伴していない。圏線の消滅をいつごろに持ってくるかが判断の分かれ目ではあるが、少なくとも鎌倉時代のある時期には、確実に内区圏線は存在していたといえる。

d. 軒平瓦顎形態と調整および時期

軒平瓦７点中、近世瓦は５点（1708～1712）、中世瓦は２点（1714、1715）、1713は桟瓦だが、巴の付かないタイプである。

軒平瓦顎形態については、近世瓦のほうが鋭角で、厚さも薄くなっている。対して中世瓦では、鈍角で接合後充填がなされている。接合技法そのものは、中世・近世にかかわらずすべて顎貼り付けである。裏面のナデ方向もすべて、瓦当部は横位、平瓦部は縦位である。

近世瓦は中世瓦に比べてかなり薄さが増しており、軽量化が進んでいる。

軒平瓦のうち、SD201から出土した1709と1710については、19世紀の年代が共伴する土器から与えられる。SX201から出土した1711については、共伴する土器は18世紀の年代を示している。しかし、両者に明瞭な型式差が認めうるかというと、部分破片であることも手伝ってかなり困難であるといわざるを得ない。

e. 瓦の年代観と瓦葺建物

正確に年代が確定できるのは第２遺構面出土のもののみで、それ以外は相対的な前後関係にとどまる。今回の調査では第２整地層以上の層で、瓦の出土量が急激に増加する傾向がある。第２遺構面の示す18世紀以前のどこかに、瓦葺建物の普及した時期を求めたい。

12. 金属製品・鉄製品製作関連遺物

今回出土した金属製品とその製作に関連する遺物は全部で648点を数える。内訳は鉄製品が462点、銅製品145点、鉱滓など生産関連遺物が41点である。また鉄製品の内419点は釘で、銅製品は125点が銅銭で占められる。過去の50次にわたる発掘調査においても金属製品の出土量は他の遺跡を凌駕しており、その多彩な遺物構成が兵庫津遺跡の特徴の一つといえる。

鉄製品　鉄製品には工具、漁労具、調理具、建築材などがある。以下に概要について記述する。

〔工具〕1716、1717は鎌である。1716は撹乱からの出土ではあるが、唯一の完形品であるため記述しておく。本品は刃鎌で、棟、刃は弧を描き、刃部半ばで捻りを加えている。茎は厚さ3.7㎜、幅1.2～2.0cmを測る。刃最大幅3.1cm、棟の厚さ2.6㎜を測る。

1717はⅣ区SK204より出土した鎌の茎の破片と考えられる。茎尻の形状は不明であるが、厚さ4.3㎜、刃部に接合する屈曲部までの破片である。

1718～1721は大小の刀子である。1718はSX701出土の完形品の小型刀子で、全体に舟形を呈する。全長8.0cm、厚さ2.3㎜、刃部の長さは3.2cmを測る。1719はSK703より出土した、刀子の刃部破片である。残存長は10.7cm、幅は1.3cm、厚さ3.0㎜を測る細長い刃部である。1720はⅢ区第６遺構面ベース層より出土した、刀子の刃部破片で、残存長15.0cm、最大幅2.4cm、厚さ2.5㎜を測る。1721はSH611より出土した完形品の刀子であり、全長17.7cm、幅1.1cm、厚さ2.5㎜、刃部長7.5cmを測る。茎は刃部幅のまま直線的に茎尻に至る。茎には直径2㎜内外の目釘穴が２箇所穿たれる。

1722、1723は剣形品であり、片面の中軸上に鎬を認める。また裏面には中軸線に沿って「すき」が施される。この形状からはヤリガンナの可能性が考えられる。1722はSK705出土の刃部破片で、先後両端を欠く。残存長9.0cm、幅1.3cm、厚さ3.0㎜を測る。1723はⅢ区第４遺構面ベース層出土の刃部下半～基部にかけての残欠で、1722に類似した製品と考えられる。残存長は9.8cm、幅1.5cm、厚さ3.2㎜を測り、茎は長さ4.9cm、茎尻の幅9.5㎜の長方形を呈する。

1724はSK730より出土した完形品の鑿で、全長13.9cmを測る。長さ12.4cmの身部に1.5cmの茎が付く。身部の断面形は一辺7.2㎜のほぼ正方形を呈する。その先端には幅8.2㎜に打ち延ばした刃部を形成している。先端形状は平刃である。

1725は鉄製の棒状品でSD701より出土している。断面は直径約5.0㎜の円形である。残存長は18.6cmで一方は折損するが、もう一方は先端を尖らせる。火箸のような製品の可能性もある。

1726はSK703より出土した、完形品の火箸と考えられる棒状品である。全長は27.6cmで、断面は一辺4.5㎜程度の正方形を呈する。また持ち手側の端部付近は断面円形で、端より約1.0cmを直角に折り曲げている。

〔漁労具〕1727、1728は釣針である。1727はSP344より出土したフトコロのみの破片である。直径約2.1㎜の円形断面の針金を滑らかに曲げて作られている。復元できるフトコロ幅は1.9cm程度である。

1728はSP636出土の完形品の釣針で、高さ6.8cm、フトコロ幅1.9cm、軸太さ2.1㎜を測る。フトコロ幅、軸の太さについては1727と規格が類似するもののようである。全体の形状はフトコロ幅に

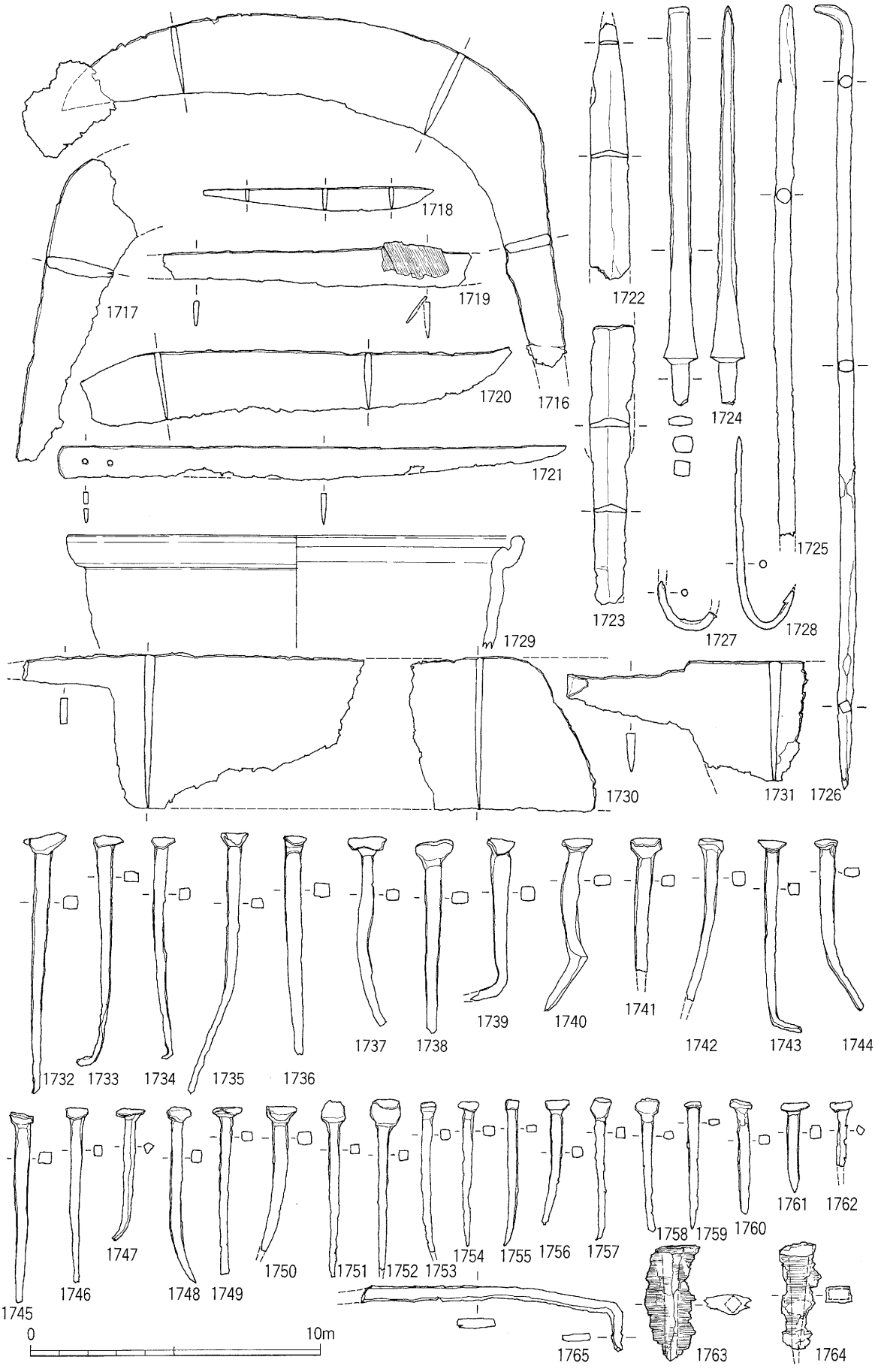

1718
1717
1719
1720
1716
1721
1722
1724
1725
1723
1727
1728
1729
1730
1731
1726
1732
1733
1734
1735
1736
1737
1738
1739
1740
1741
1742
1743
1744
1745
1746
1747
1748
1749
1750
1751
1752
1753
1754
1755
1756
1757
1758
1759
1760
1761
1762
1763
1764
1765
0
10m

図152　鉄製品

対して高さが高く細長い印象で、腰も直線的な作りである。針先にはカエシが付けられている。

〔調理具〕1729はSK406より出土した、鉄鍋の口縁部を含む破片である。X線透過観察では縦横に微細なクラックを内包しており、鋳造品であることがわかる。復元できる直径は16cm、器高は4.0cm以上を測る。

1730、1731はSK204より出土した柄付き片刃の刃物で、刃部形状から包丁であると考え、刀子とは区別した。1730は刃部が基部から同じ幅で延びるため、菜切包丁的な器種であると考えられる。刃部幅は約5.4cm、棟の厚さ約2.8mmを測る。破片での出土のため、刃部長は不明である。関はほぼ直角で、厚みは刃部に等しく2.8mm、長さは3.0cm以上を測る。茎は先端を欠損し残存長3.0cm、厚さ2.8mmで、最大幅は1.3cmを測り端にむけて緩やかに幅を減ずる。

1731は同様に包丁の基部である。刃部の棟厚さは4.4mmで、幅は4.2cm以上を測る。両関に接合する茎は現状長さ4.2cm、関部分の幅2.1cmの細長い三角形を呈するが、端部が折り畳まれている。これはオリジナルの形状ではないものと考えられる。

〔建築材〕鉄製品に含まれる建築材は、鉄釘（1732～1764）、鎹（1765）がある。鉄釘は全部で419点、遺構出土のものだけでも252点を数える。これらは全て角釘で、身の断面形は正方形が中心となる。頭部形状は「頭巻釘」と呼ばれるもので占められ、頭部を平たく打ち延ばした上で手前に巻き込んである。一部、巻き込みの浅いものがあり、未製品の可能性がある。なお、1763と1764には打ち込まれた材の残欠が残存している。釘を出土した遺構は第2～第7遺構面まで存在するが、5点以上出土を見た遺構はSP314（12点）、SK412（12点）、SK505（6点）、SK506（9点）、SK512（7点）、SK516（9点）、SP569（8点）、SK610（16点）、SH604（7点）、SD701（23点）、SD704（7点）、SK703（7点）、SX702（5点）がある。他にも1、2点出土した遺構は数多く存在する。法量には大小あり、身部の幅が計測できたものだけを見ると1.3mm～7.9mmと幅があるが、2.8mm～4.3mmにピークがある。

釘出土遺構
1732：SK715、1733・1744・1747・1750・1751・1756・1758：SD701、1734・1741：SD704、1735：SD702、1736：SP416、1737：SK511、1738：SK610、1739・1742・1743・1752：SK703、1740・1748：SH705、1745：SK717、1746・1753：SX704、1749：SX701、1754：SP701、1755：SP569、1757：SP524、1759・1762：SK412、1760：SH611、1761：SP569、1763：SX401、1764：SK406

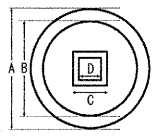
1765は鎹で、幅1.4cm、厚さ3.1cmの端部を直角に折り曲げ、先端を楔形に打ち出している。

銅製品　先述のとおり、銅製品の多くは銭貨であり、今回出土したもので銭文の判別が可能であったものは表4、写真図版99、101に挙げた。当遺跡における既往調査の出土例に比して、寛永銭の数量（19点）を渡来銭（73点）が凌駕している。ほとんどが新旧の各包含層出土であることから、出土状況に特徴を見出すことは困難であった。また1点のみであるが、皇朝銭である長年大寶（初鋳848年）がSK202より出土している。

1859～1865は煙管の部品である。1859はSH701出土の雁首である。火皿が欠損しており、残存長6.7cmを測る。肩はない。脂反しは長く、身の中央部付近から滑らかに湾曲し、火皿との接合部にいたる。

表4　出土銅銭一覧

遺物番号	地区	遺構・層位	銭種	初鋳年	法量(mm)				重量(g)
					A	B	C	D	
1768	Ⅲ区	SK705	開元通寶	621	23.48	20.08	7.85	6.77	3.08
1829	Ⅲ区	第2面ベース層	開元通寶	621	–	–	–	–	0.86
1766	Ⅱ区	第5面ベース層	開元通寶	621	23.89	21.8	8.1	6.95	8.99
1767	Ⅱ区	第6面ベース層	開元通寶	621	24.39	20.2	8.04	6.58	3.33
1769	Ⅳ区	第6面ベース層	開元通寶	621	21.07	19.2	7.56	5.72	1.8
1770	Ⅲ区	第6面ベース層	乾元重寶	759	24	20.32	8.06	7.06	2.24
1830	Ⅱ区	第4面ベース層	乾德元寶	920	–	–	–	–	1.68
1831	Ⅲ区	第4面ベース層	太平通寶	976	–	–	–	–	1.44
1771	Ⅲ区	SK705	至道元寶(真書体)	995	24.97	19.38	6.82	6.01	3.34
1823	Ⅱ区	第7面ベース整地層	咸平元寶	998	24.52	19.38	6.92	5.87	3.08
1773	Ⅰ区	第3面ベース層	景德元寶	1004	25.24	20.44	6.73	5.14	3.03
1774	Ⅱ区	第6面ベース層	景德元寶	1004	24.94	19.28	6.94	5.94	2.81
1832	Ⅱ区	第6面ベース層	景德元寶	1004	–	–	–	–	1.68
1775		SD704	祥符元寶	1008	25.03	19.6	7.07	6.25	3.18
1776	Ⅱ区	第2面ベース層	天禧通寶	1017	25.67	21.35	7.29	6.43	2.85
1777	Ⅱ区	第4面ベース層	天禧通寶	1017	23.58	18.84	7.69	6.14	14.53
1782	Ⅲ区	SP313	天聖元寶(篆書体)	1023	24.86	20.96	8.52	6.94	3.25
1778	Ⅲ区	SP416	天聖元寶(真書体)	1023	25.25	21.17	8.25	6.79	3.48
1779	Ⅲ区	SP540	天聖元豊(真書体)	1023	24.83	20.87	8.1	6.9	2.82
1780	Ⅰ区	第3面ベース層	天聖元寶(篆書体)	1023	24.3	19.77	7.37	5.39	2.95
1781	Ⅱ区	第5面ベース層	天聖元寶(篆書体)	1023	25.44	21	8.29	6.61	3.55
1836	Ⅳ区	SX201	皇宋通寶(篆書体)	1039	–	–	–	–	0.8
1784	Ⅱ区	撹乱	皇宋通寶(真書体)	1039	22.23	18.15	8.03	6.13	1.91
1785	Ⅳ区	撹乱	皇宋通寶(真書体)	1039	24.8	20.51	9.13	7.5	2.35
1835	Ⅲ区	第2面ベース層	皇宋通寶(真書体)	1039	–	–	–	–	0.59
1788	Ⅲ区	第2面ベース層	皇宋通寶(篆書体)	1039	25.2	20.44	8.51	7.19	2.18
1793	Ⅰ区	第3面ベース層	皇宋通寶(真書体)	1039	24.73	20.37	8.14	6.68	3.01
1789	Ⅳ区	第3面ベース層	皇宋通寶(真書体)	1039	24.63	20.37	9.54	7.08	3.74
1833	Ⅰ区	第3面ベース層	皇宋通寶(真書体)	1039	–	–	9.36	7.37	2.38
1786	Ⅱ区	第4面ベース層	皇宋通寶(篆書体)	1039	24.77	20.85	8.58	7.28	6.11
1787	Ⅱ区	第5面ベース層	皇宋通寶(篆書体)	1039	25.2	18.96	7.67	6.91	3.36
1834	Ⅱ区	第6面ベース層	皇宋通寶(真書体)	1039	–	–	–	–	0.99
1790	Ⅳ区	第6面ベース層	皇宋通寶(篆書体)	1039	24.99	20.1	8.61	7.7	2.9
1791	Ⅲ区	第2面ベース層	嘉裕通寶(篆書体)	1056	24.59	19.94	8.78	7.67	3.06
1792	Ⅱ区	撹乱	治平元寶(篆書体)	1064	24.82	20.61	7.7	6.62	2.31
1837	Ⅳ区	SK203	熙寧元寶(真書体)	1068	23.88	19.29	7.75	6.27	1.73
1798	Ⅲ区	撹乱	熙寧元寶(篆書体)	1068	23.32	19.43	7.55	6.17	3.68
1797	Ⅲ区	第2面ベース層	熙寧元寶(篆書体)	1068	23.72	18.58	7.23	6.17	2.88
1795	Ⅲ，Ⅳ区	第3面以上層	熙寧元寶(真書体)	1068	24.3	20.35	8.21	6.8	2.71
1793	Ⅰ区	第3面ベース層	熙寧元寶(真書体)	1068	24.55	19.89	7.75	6.73	3.4
1796	Ⅲ区	第4面ベース層	熙寧元寶(真書体)	1068	25.7	21.36	8.13	6.85	2.98
1794	Ⅱ区	第5面ベース層	熙寧元寶(真書体)	1068	23.91	20.36	8.13	7.28	3.44
1800	Ⅳ区	第3面ベース層	元豊通寶(真書体)	1078	25.12	20.09	8.09	6.83	3.47
1801	Ⅳ区	第3面ベース層	元豊通寶(真書体)	1078	24.32	19.44	7.49	6.49	3.54
1803	Ⅰ区	第3面ベース層	元豊通寶(篆書体)	1078	24.7	19.25	8.04	6.59	2.85
1804	Ⅳ区	第3面ベース層	元豊通寶(篆書体)	1078	25.08	18.94	7.63	6.48	3.79
1802	Ⅲ区	第5面ベース層	元豊通寶(真書体)	1078	24.74	19.23	7.69	6.54	2.35
1799	Ⅱ区	第6面ベース層	元豊通寶(真書体)	1078	24.61	19.1	7.22	5.5	3.5
1805	Ⅲ区	第6面ベース層	元豊通寶(篆書体)	1078	24.69	19.26	7.81	6.56	2.88
1810	Ⅱ区	SK512	元裕通寶(篆書体)	1086	25.21	20.7	8.11	6.88	3.21
1807	Ⅱ区	撹乱	元裕通寶(真書体)	1086	24.59	20.12	8.01	6.62	3.2
1808	Ⅲ区	第2面ベース層	元裕通寶(真書体)	1086	25	19.35	6.57	5.77	3.48
1813	Ⅲ，Ⅳ区	第3面以上層	元裕通寶(篆書体)	1086	24.19	20.33	8.31	6.81	2.67
1809	Ⅳ区	第3面ベース層	元裕通寶(真書体)	1086	24.39	19.95	7.92	6.81	3.06
1812	Ⅲ，Ⅳ区	第3面ベース層	元裕通寶(篆書体)	1086	23.79	19.75	8.17	6.66	3.09
1806	Ⅱ区	第5面ベース層	元裕通寶(真書体)	1086	24.66	20.01	8.33	6.95	3.24
1811	Ⅱ区	第6面ベース層	元裕通寶(篆書体)	1086	23.98	19.67	7.88	6.6	3.76
1815	Ⅳ区	SK505	紹聖元寶(真書体)	1094	24.61	17.22	6.82	5.9	2.9
1816	Ⅳ区	SK603	紹聖元寶(真書体)	1094	23.89	17.98	6.86	6.29	3.55
1814	Ⅲ区	第4面ベース層	紹聖元寶(真書体)	1094	23.11	18.58	7.37	6.46	2.96
1818	Ⅱ区	第6面ベース層	紹聖元寶(篆書体)	1094	23.36	18.92	6.89	5.9	3.37
1819	Ⅲ区	第6面ベース層	紹聖元寶(篆書体)	1094	–	17.23	6.82	5.65	1.38
1817	Ⅰ区	土間1埋土	紹聖元寶(篆書体)	1094	24.14	19.78	8.31	6.72	2.81
1821	Ⅲ区	SK306	元符通寶(篆書体)	1098	23.38	18.76	7.51	6.2	2.94
1822	Ⅲ区	SK707	元符通寶(篆書体)	1098	23.84	18.39	6.96	6.22	3.67
1820	Ⅱ区	第6面ベース層	元符通寶(真書体)	1098	25.16	20.25	7.22	6.18	2.51
1772	Ⅱ区	第7面ベース整地層	聖宋元寶(真書体)	1101	23.56	18.67	7.83	6.9	9.19
1824	Ⅱ区	第6面ベース層	政和通寶(篆書体)	1111	23.96	20.89	7.94	6.46	3.01
1825	Ⅱ区	第6面ベース層	政和通寶(篆書体)	1111	23.85	20.83	7.44	6.46	2.54
1826	Ⅳ区	SK512	宣和通寶(篆書体)	1119	24.85	20.83	6.31	5.62	2.6
1827	Ⅲ区	第5面ベース層	淳熙元寶	1174	23.99	18.05	7.66	6	3.94
1828	Ⅲ区	第2面ベース層	洪武通寶	1368	22.92	18.71	7.01	5.44	2.99
1839	Ⅲ区	第2面ベース層	永楽通寶	1408	25.33	21.29	7.54	5.55	2.98
1838	Ⅳ区	SK202	長年大寶	848	20.11	16.51	7.34	5.92	1.55
1840	Ⅱ区	SP345	寛永通寶(古)	1626	24.87	20.47	6.79	5.42	3.37
1843	Ⅳ区	撹乱	寛永通寶(古)	1626	24.36	19.6	6.83	5.43	2.53
1841	Ⅲ区	第2面ベース層	寛永通寶(古)	1626	24.41	19.73	7.34	5.75	2.48
1842	Ⅲ，Ⅳ区	第3面以上層	寛永通寶(古)	1626	24.33	20.43	7.08	5.29	3.4
1844	Ⅱ区	SD101/焼土粘土	寛永通寶(新)	1668	22.42	17.78	7.56	6.23	2.18
1858	Ⅳ区	SD701	寛永通寶(新)	1668	24.77	20.59	7.18	5.39	2.84
1856	Ⅳ区	SK209	寛永通寶(新)	1668	24.92	20.05	8.07	6.99	1.78
1857	Ⅳ区	SK412	寛永通寶(新)	1668	26.22	–	7.29	5.76	2.61
1855	Ⅳ区	SK311	寛永通寶(新)	1668	22.81	19.46	7.74	6.58	1.53
1854	Ⅳ区	SX201	寛永通寶(新)	1668	23.17	19.21	7.82	6.21	2.63
1845	Ⅰ区	第2面ベース層直上層	寛永通寶(新)	1668	25.1	19.73	7.29	5.72	3.77
1846	Ⅰ区	第2面ベース層直上層	寛永通寶(新)	1668	24.51	19.8	7.11	5.68	2.92
1847	Ⅱ区	第2面ベース層直上層	寛永通寶(新)	1668	23.83	18.87	7.21	5.76	2.43
1848	Ⅰ区	第2面ベース層直上層	寛永通寶(新)	1668	24.38	19.71	7.45	6.1	2.68
1849	Ⅰ区	第2面ベース層直上層	寛永通寶(新)	1668	22.97	17.47	7.69	6.29	2.02
1852	Ⅲ，Ⅳ区	第3面以上層	寛永通寶(新)	1668	23.97	19.84	8	6.23	2.54
1853	Ⅲ，Ⅳ区	第3面以上層	寛永通寶(新)	1668	25.08	20.64	7.64	6.19	3.44
1850	Ⅰ区	第5面ベース層	寛永通寶(新)	1668	25.47	20.3	7.49	5.75	3.61
1851	Ⅱ区	第6面ベース層	寛永通寶(新)	1668	24.98	20.61	7.46	6.1	3.64



法量計測部位

1860～1865は吸口である。1860、1864はⅢ・Ⅳ区の第3遺構面上面包含層、1861はSX303、1862、1863はそれぞれⅡ区、Ⅰ区の第２遺構面直上包含層、1865はSK206より出土している。1860、1862、1864は肩や装飾の無いシンプルな製品である。1861、1865は肩を形成するもので、1861については肩部から吸口にいたる部分を、滑らかなラッパ状に作り、装飾効果を付加している。1865は肩と吸口の段差を明確に持つもので、長さが3.7cmと、他に比して小型の品である。1863は肩を持たないものであるが、小口から身部中央付近にかけてネジ状の溝を切るもので、装飾的効果を狙ったものと考えられる。

1866はSX203出土の吊手状銅製品である。断面長方形の銅棒を滑らかな台状に湾曲させており、両端を鉤状に内屈させて薄い銅板製の割りピンを取り付けている。何らかの器物に取り付けていたものであろう。ただし、台状の頂部に直径3mmの孔を穿っており、さらに何らかの付属物があったようで、土瓶の弦のような使用状況は想定しづらい。

1867はSK210より出土した獅子図目貫である。銅版から打ち出されたものであろう。

1868はSK701出土の厚さ0.6mmの弧状を呈する銅版で、縁辺を肥厚させる。容器の口縁部の可能性もある。

1869はⅡ区第４遺構面ベース層出土の環付金具である。本体は10弁の蓮華を表しており、両端が箱型に折り曲げられている。折り曲げた内部は1.2cmの隙間を持ち、中央に固定のための心棒が存在する。環の取り付く部品は花托を模したものである。

1870はⅢ・Ⅳ区の第３遺構面上面包含層より出土した小柄の残欠である。内部には刀身が残存し、周囲に銅板製の柄が巻かれている。表面には装飾は確認できなかった。

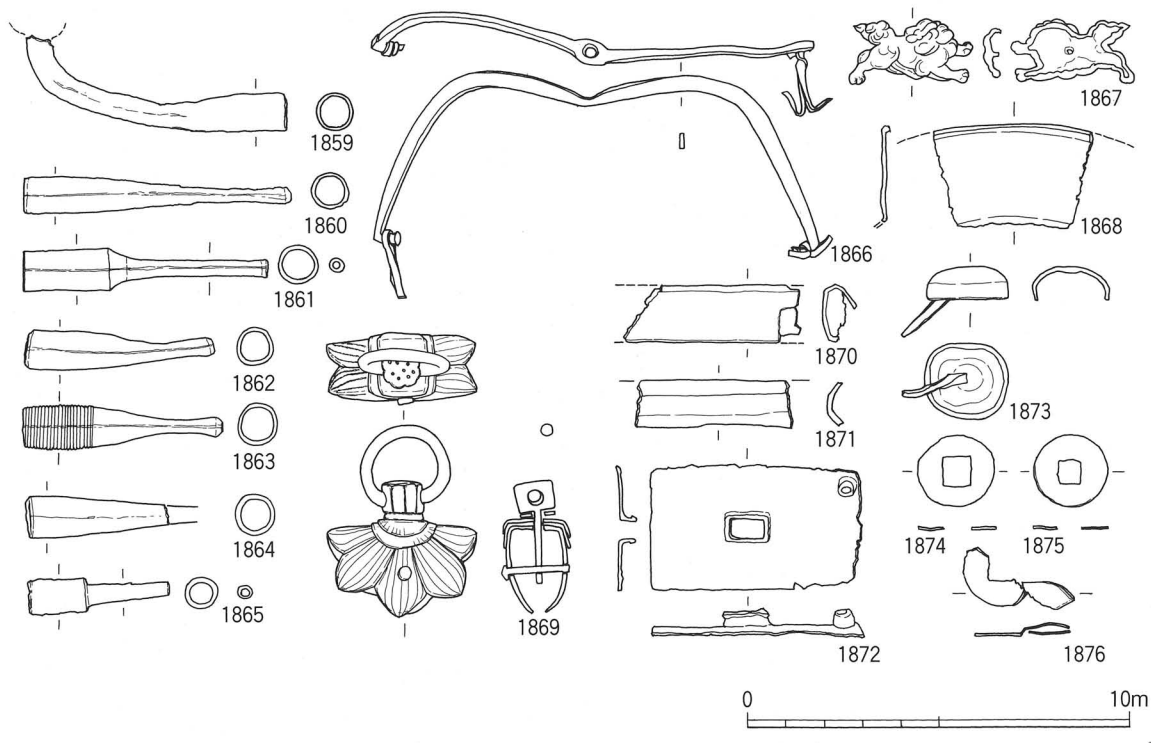


図153　銅製品

1871はⅢ区第４遺構面ベース層より出土した銅版で、意図的な折り曲げ加工がなされる。

1872はSK418出土の銅版で、長辺5.5cm、短辺3.3cmの長方形を呈する。中央部と一角の隅に孔が開けられる。中央部の孔は長方形で、煙突状の縁が立ち上がる。隅の孔にも煙突状突起があるが、こちらは円形である。おそらく水滴の上部板の残欠と考えられる。

1873はSD701出土の銅製鋲で、方形に打ち出された釘部に、直径2.1cm、高さ7.7mmの中空の頭部が溶接されている。

1874～1876は銅版製の円形座金である。それぞれⅢ区第2遺構面ベース層、SX702、SE302よりの出土である。1876は破損し変形しているが、いずれも厚さ0.4mm、直径約2.0cm程度を測る。なお中央に開けられた孔は方形で、1874が一辺7.7mm、1875が6.8mmであり、やや異なる。

鉄製品製作関連遺物　製作関連遺物は鞴羽口（1877）、鋳型片（1878）、鉱滓（1879～1884）などがある。図示していないものを含め、これらのうち鞴羽口、鉱滓については顕著な着磁性が認められたことから、鉄製品の製作に関連するものと考えられる。総点数は39点、重量は4336ｇを測る。これらはほとんどが第2遺構面・第5遺構面のベース層に包含されていたものであり、まとまって出土した遺構としては、SX204（5点：467.5ｇ）、SD701（3点：101.2ｇ）などがある。これらについても廃棄されたものと考えられ、製作行為にそのまま結びつく遺構とは考えがたいが、第２遺構面、第５遺構面の周辺時期において鉄製品製作工房が操業されていた可能性が高い。

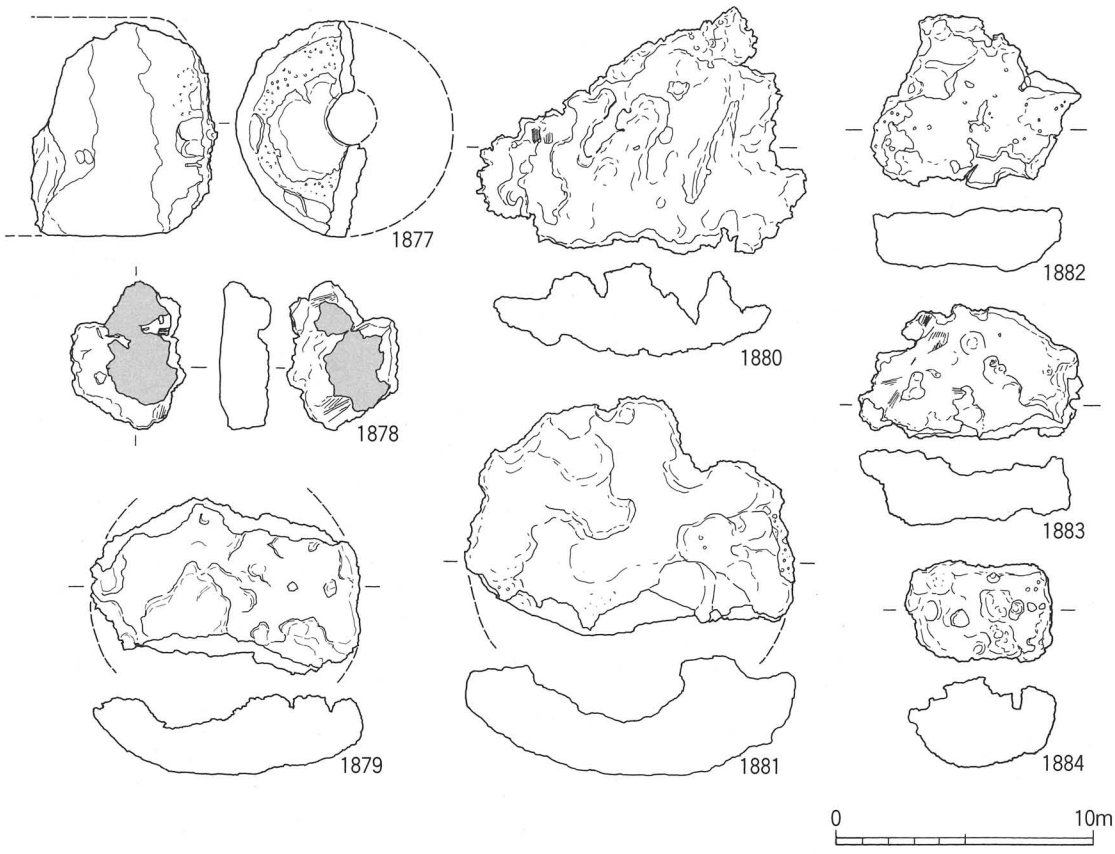


図154　鉄製品製作関連遺物

第５章　兵庫津遺跡第51次調査出土の動物遺存体

丸山真史（奈良文化財研究所・客員研究員）

１）概要

兵庫津遺跡では第２・14・42・44次調査において近世を主体とする動物遺存体が出土しており、第２次調査では牛馬骨を使用した骨細工にともなう廃材が、第14次調査では水産業に関連する町屋跡のゴミ穴から大量の魚貝類遺存体が出土している（丸山・松井2006、2010）。また、第42次、44次調査では、町屋跡における魚貝類を中心とした食料残滓が出土している（丸山・松井2008）。当調査では中世から近世にかけての遺構が検出され、ゴミ穴や土師器が大量に埋納された土坑などから289点が出土している（表５・６）。出土した動物遺存体のうち種類や部位などを同定したものは、サンゴ類１点、貝類52点、魚類63点、爬虫類１点、鳥類１点、哺乳類24点、計142点にのぼる（図155）。資料には、発掘中に肉眼で確認したもの以外に、遺構の土壌を１㎜目のフルイを用いて水洗選別したものが含まれる。なお、以下で記述する魚類の体長は、奈良文化財研究所所蔵の現生骨格標本との比較から推定した値である。

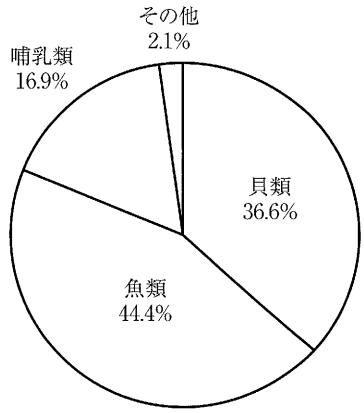


図155　動物遺存体組成（N＝142）

２）種類別の特徴

a）サンゴ類

サンゴ類　SX201から、１点が出土している。

b）貝類

ミミガイ科（アワビ類）　SX201、SX203から１点ずつ、計２点が出土している。

サザエ　土間１、SK204、SP205から１点ずつ、第２面、第３面より上層から２点ずつ、計７点が出土している。第３面より上層から出土している１点は、殻体が割られている。

アカニシ　SK415、SK211、SX203、SX204から１点ずつ、第２面から２点、第３面より上層、第５面、第６面から１点ずつ、計９点が出土している。また、SP420からアカニシと思われるものが１点出土している。

バイ　SD201から1点出土している。

テングニシ　第４面から、１点が出土している。

マイマイ類　SX203から１点が出土しており、いわゆる陸産のカタツムリの仲間である。

フネガイ科　第４面から、１点（左右不明）が出土している。

イタボガキ科　第２面から、１点（右）が出土している。また、SK411からイタボガキ科と思われるものが１点出土している。

表5　動物遺存体集計表

時　期	層位/遺構	大分類	小分類	部位	左	右	－	計
14世紀後半	SH703	硬骨魚綱	マダイ	上擬鎖骨	1			1
		哺乳綱	ニホンジカ	大腿骨	1			1
	SK505	硬骨魚綱	ニシン科？	椎骨			1	1
			ハモ属	遊離歯			1	1
			タイ科	遊離歯			1	1
				歯骨			1	1
		哺乳綱	ネズミ科	椎骨			1	1
	SK711	硬骨魚綱	タイ科	歯骨		1		1
		鳥綱	カモ科	上腕骨		1		1
	SX702	哺乳綱	ニホンジカ	大腿骨	1			1
			イノシシ/ブタ	下顎骨	1			1
14世紀後半～15世紀初頭	SX704	哺乳綱	イノシシ/ニホンジカ	肋骨			1	1
14世紀後半～15世紀前半	第5面	腹足綱	アカニシ	殻質			1	1
	第6面	腹足綱	アカニシ	殻質			1	1
14世紀後半～15世紀	SK608	哺乳綱	イノシシ/ニホンジカ	四肢骨			1	1
	SP639	硬骨魚綱	エソ科	椎骨			1	1
			タイ科	前上顎骨		1		1
				遊離歯			2	2
			カレイ科	鋤骨			1	1
14世紀～15世紀	SK506	硬骨魚綱	タイ科	遊離歯			3	3
	SP569・SK517	硬骨魚綱	コイ科？	椎骨			1	1
	SP570	硬骨魚綱	タイ科	遊離歯			1	1
			マダイ	方骨	1			1
14世紀後半～16世紀	SP418	哺乳綱	ニホンジカ	大腿骨	1			1
				踵骨	1			1
			ニホンジカ？	脛骨？	？			1
15世紀前半	SK610	硬骨魚綱	タイ科	遊離歯			12	12
	SH701	軟骨魚綱	ネズミザメ科	椎骨			1	1
		硬骨魚綱	フサカサゴ科	歯骨		1		1
			マダイ	歯骨		1		1
				主鰓蓋骨		1		1
		哺乳綱	イノシシ/ニホンジカ	肋骨			1	1
	SH701	硬骨魚綱	ハモ属	主鰓蓋骨		1		1
			マダイ	擬鎖骨		1		1
			ヒラメ	擬鎖骨	1			1
		哺乳綱	ウマ	遊離歯			1	1
			イノシシ/ニホンジカ	肋骨	1			1
	SD701	角細工	ニホンジカ	枝角			1	1
		哺乳綱	イノシシ/ニホンジカ	四肢骨			1	1
				脛骨？			1	1
	SK513	硬骨魚綱	ハモ属	椎骨			1	1
			フサカサゴ科	主上顎骨	1			1
			コチ科	基後頭骨			1	1
				指骨		1		1
				主鰓蓋骨		1		1
			タイ科	遊離歯			3	3
			マダイ	前上顎骨		1		1
				前鰓蓋骨		1		1
				椎骨			3	3
				翼耳骨	1			1
		哺乳綱	イノシシ/ニホンジカ？	肩甲骨			1	1
	SK610	硬骨魚綱	マダイ	椎骨			1	1
	SD701	硬骨魚綱	コチ科	椎骨			1	1

時　期	層位/遺構	大分類	小分類	部位	左	右	－	計
15世紀後半	SK408	硬骨魚綱	コチ科	角骨		1		1
		哺乳綱	イノシシ/ニホンジカ	肋骨	1			1
	第4面	腹足綱	テングニシ	殻質			1	1
		斧足綱	フネガイ科	殻質			1	1
		硬骨魚綱	マダイ	上後頭骨			1	1
15世紀	SK517	硬骨魚綱	タイ科	遊離歯			1	1
			ハモ属	前上顎骨-篩骨-鋤骨板			1	1
15世紀前半～17世紀	SP420	腹足綱	アカニシ？	殻質			1	1
16世紀前半	SK511	哺乳綱	ニホンジカ	橈骨	1			1
16世紀	SK414下層	硬骨魚綱	フグ科	歯骨		1		1
	SP411下層	斧足綱	イタボガキ科？	殻質			1	1
		硬骨魚綱	マダイ	上後頭骨			1	1
		哺乳綱	イノシシ/ニホンジカ	肋骨			1	1
	土間1埋土	腹足綱	サザエ	殻質			1	1
16世紀～19世紀	第3面より上層	斧足綱	ハマグリ	殻質		1		1
		腹足綱	アカニシ	殻質			1	1
			サザエ	殻質			2	2
17世紀半ば	SK415	腹足綱	アカニシ	殻質			1	1
18世紀前半	SK211	腹足綱	アカニシ	殻質			1	1
	SX201	花虫綱	サンゴ類	－			1	1
		腹足綱	アワビ類	殻質			1	1
		斧足綱	ハマグリ	殻質	2			2
		硬骨魚綱	ブリ属	椎骨			1	1
		哺乳綱	ニホンジカ	橈骨	1			1
	SX203	腹足綱	アカニシ	殻質			1	1
			アワビ類	殻質			1	1
			マイマイ類	殻質			1	1
		硬骨魚綱	ハモ属	角骨		1		1
		哺乳綱	ネズミ科	尺骨	1			1
				上腕骨	1			1
				橈骨	1			1
	SX204	腹足綱	アカニシ	殻質			1	1
		哺乳綱	イノシシ/ニホンジカ	四肢骨			1	1
18世紀	SK204	腹足綱	サザエ	殻質			1	1
	第2面	腹足綱	サザエ	殻質			2	2
			アカニシ	殻質			2	2
		斧足綱	イタボガキ科	殻質		1		1
			ハマグリ	殻質	2	3	4	9
18世紀～19世紀	第1面	斧足綱	ハマグリ	殻質	4	4	1	9
		硬骨魚綱	マグロ属	椎骨			2	2
		爬虫綱	スッポン	背甲板			1	1
18世紀後半～19世紀	SP350	斧足綱	ハマグリ	殻質	1	1		2
19世紀	SD201	腹足綱	バイ	殻質			1	1
		斧足綱	ハマグリ	殻質	1		1	2
	SP344	硬骨魚綱	ニシン科	主鰓蓋骨		1		1
			マダイ	翼耳骨		1		1
	SP344	腹足綱	サザエ	殻質			1	1
中世	SP711	哺乳綱	イノシシ/ニホンジカ	上腕骨	1			1
総計								142

ハマグリ　SP350から２点（左１右１）、SX201から２点（左）、SD201から２点（左１不明１）、SK221から１点（左右不明）、第１面から９点（左４右４不明１）、第２面から９点（左２右３不明４）、第３面より上層から１点（右）、計26点が出土している。

表6　種名表

刺胞動物門　Cnidaria
花虫綱　Anthozoa
花虫綱の一種　Anthozoa fam., gen, et sp. indet.
軟体動物門　Mollusca
腹足綱　Gastropoda
原始腹足目　Archaeogastropoda
原始腹足目の一種
Archaeogastropoda fam., gen. et sp. indet.
古腹足目　Vetigastropoda
ミミガイ科　Hiliotidae
ミミガイ科の一種　Haliotidae gen. et sp. indet.
サザエ科　Turbnidae
サザエ　*Turbo cornutus*
新腹足目　Neogastropoda
アッキガイ科　Muricidae
アカニシ　*Rapana venosa*
エゾバイ科　Buccinidae
バイ　*Balylonia japonica*
テングニシ科　Melongenidae
テングニシ　*Hemifusus tuba*
斧足綱　Bivalvia
フネガイ目　Arcoida
フネガイ科　Arcidae
フネガイ科の一種　Arcidae gen. et sp. indet.
カキ目　Ostreoidae
イタボガキ科　Ostreidae
イタボガキ科の一種　Ostreidae gen. et sp. indet.
マルスダレガイ目　Veneroida
マルスダレガイ科　Veneridae
ハマグリ　*Meretrix lusoria*
脊椎動物門　Vertebrata
軟骨魚綱　Chondrichthyes
ネズミザメ目　Lmniformes
ネズミザメ科　Lamnidae
ネズミザメ科の一種　Lamnidae gen. et sp. indet.
硬骨魚綱　Osteichthyes
ウナギ目　Anguilliformes
ハモ科　Muraenesocidae
ハモ属の一種　*Muraenesox* sp.
ニシン目　Cluperiformes
ニシン科　Clupeidae
ニシン科の一種　Clupeidae gen. et sp. indet.
コイ目　Cypriniformes
コイ科　Cyprinidae
コイ科の一種？　Cyprinidae gen. et sp. indet.?
ヒメ目　Aulopiformes
エソ科　Synodontidae
エソ科の一種　Synodontidae gen. et sp. indet.
カサゴ目　Scorpaeniformes
フサカサゴ科　Scorpaenidae
フサカサゴ科の一種　Scorpaenidae gen. et sp. indet.
コチ科　Platycephalidae
コチ科の一種　Platycephalidae gen. et sp. indet.
スズキ目　Perciformes
アジ科　Carangiae
ブリ属の一種　*Seriola* sp.
タイ科　Sparidae
マダイ　*Pagrus major*
タイ科の一種　Sparidae gen. et sp. indet..
サバ科　Scombridae
マグロ属の一種 *Thunnus* sp.
カレイ目　Pleuronectiformes
ヒラメ科　Bothidae
ヒラメ　*Paralichthys olivaceus*
カレイ科　Pleuronectidae
カレイ科の一種　Pleuronectidae gen. et sp. Indet.
フグ目 Tetraodonitiformes
フグ科　Tetraodonitidae
フグ科の一種　Tetraodonitidae gen. et sp. indet.

c）魚類

ネズミザメ科　SH701から椎骨１点が出土しており、椎体横径42.6㎜を測る。

ハモ属　SK505から遊離歯、SK517から前上顎骨-篩骨-鋤骨板、SH701から主鰓蓋骨（右）、SK513から椎骨、SX203から角骨（右）が１点ずつ、計５点が出土している。椎骨と角骨は体長50cm以下の小型、主鰓蓋骨は体長100cm以上の大型と推定され、その他の大きさは不明である。前上顎骨-篩骨-鋤骨板と椎骨は、強く被熱して白色を呈する。

ニシン科　SP344から主鰓蓋骨（右）１点が出土しており、体長15cm以下と推定される。また、SK505からニシン科と思われる椎骨１点が出土している。

コイ科？　コイ科と思われる椎骨１点が出土しており、強く被熱して白色を呈する。

エソ科　SP639から椎骨１点が出土しており、体長20～30cm程度と推定される。

フサカサゴ科　SH701から歯骨（右）、SK513から主上顎骨（左）が１点ずつ、計２点が出土しており、いずれも体長20cm程度と推定される。

コチ科　SK408から角骨（右）１点、SK513から基後頭骨、歯骨（右）、主鰓蓋骨（右）１点ずつ、SD701から椎骨１点、計５点が出土している。大きさは、基後頭骨と椎骨が30～40cm程度、その他は40～50cm程度と推定される。

ブリ属　SX201から椎骨１点が出土しており、体長80cm以上と推定される。

タイ科　SK505から歯骨（左右不明）、遊離歯１点ずつ、SK711から歯骨（右）１点、SP639から前上顎骨（右）１点、遊離歯２点、SK506から遊離歯３点、SK516から遊離歯１点、SK610から遊離歯12点、SK513から遊離歯３点、SK517から遊離歯１点が出土している、計26点が出土している。大きさは、遊離歯では体長を推定することが困難であるが、20cm以上と思われる個体が大部分である。また、歯骨、前上顎骨は被熱して白色を呈する。

マダイ　SH703から上擬鎖骨（左）１点、SK516から方骨（左）１点、SH701から歯骨（右）、主鰓蓋骨（右）、擬鎖骨（右）が１点ずつ、SK513から椎骨３点、翼耳骨（左）、前上顎骨（右）、前鰓蓋骨（右）が１点ずつ、SK610から被熱して白色を呈する椎骨１点、SK411から上後頭骨１点、SK344から翼耳骨（右）１点、第４面から上後頭骨１点、計15点が出土している。大きさは体長30cm以上の大型が大部分を占めるが、20～30cmのものも少量含まれる。また、切断された椎骨、前鰓蓋骨や、被熱して白色を呈する椎骨、方骨が含まれる。

マグロ属　第１面から椎骨２点が出土しており、いずれも体長100cm以上と推定される。

ヒラメ　SH701から擬鎖骨（左）１点が出土しており、体長60cm程度と推定される。

カレイ科　SP639から鋤骨１点が出土しており、体長20cm程度と推定される

フグ科　SK414から歯骨（右）１点が出土しており、大きさは体長30～40cmと推定される。

d）爬虫類

スッポン　第１面から背甲板（肋骨板）が１点出土しており、肋骨と椎骨の関節部である突起が切断されている。

e）鳥綱

カモ科　SK711から、遠位端の関節面が切断されたカモ科の上腕骨（右）が１点出土している。上腕骨の遠位端最大幅（Bd）は13.5㎜を測り、現生骨格標本との比較ではマガモに相当する大きさである。

f）哺乳綱

ウマ　SH701から、遊離歯が１点出土している。

イノシシ/ブタ　SX702から、第３後臼歯の咬耗が進行した成獣の下顎骨（左）が１点出土している。

ニホンジカ　SP418から大腿骨（左）、踵骨（左）が１点ずつ出土しており、ニホンジカの脛骨（左？）と思われるものが１点出土している。SH703から大腿骨（左）が１点、SK511から橈骨（左）が１点出土している。SX702から大腿骨（左）が１点出土しており、イヌなどの咬痕が見られる。SD701から枝角が１点出土しており、加工痕が見られる。SX201から橈骨（左）が１点出土しており、遠位端が癒合していない若獣である。

イノシシ/ニホンジカ　SX704から肋骨（左右不明）１点、SK608から部位が特定できない長管骨（左右不明）11点、SH701から肋骨（左１不明１）２点、SD701から部位が特定できない長管骨（左右不明）２点、SK408から肋骨（左）１点、SK411から肋骨（左右不明）１点、SX204から部位が特定できない長管骨（左右不明）１点、SP711から上腕骨（左）１点、計10が出土している。また、SK513からイノシシ/ニホンジカと思われる肩甲骨（左右不明）１点が出土している。

ネズミ科　SK505から椎骨（軸椎）が１点出土しており、大型の個体でクマネズミ属の可能性がある。SX203から同一個体と思われる上腕骨（左）、尺骨（左）、橈骨（左）が１点ずつ、計３点が出土している。

３）兵庫津遺跡に見る動物利用

a）水産物の利用

当調査で出土した魚貝類は海水産が卓越しており、瀬戸内海で漁獲でき、食用となる種類が大部分を占める。貝類ではハマグリが最も多く、アカニシ、サザエなどが続き、いずれも遺跡から一般的に出土する貝種である。ハマグリは中・近世の消費地遺跡では頻繁に出土し、近世の京都や大坂城下町跡で多く出土する。アカニシは中世の都市・城館遺跡で多く出土する傾向がみられるが（樋泉2001）、当遺跡第14次調査における近世遺構からの出土比率は低い。サザエには棘の発達したものとそうでないものが混在しており、捕獲地が異なる可能性がある。サザエやアワビ類は岩礁域で捕獲されることから淡路島あるいは和歌山といった地域からの搬入品と考えられる。そのほか出土量が少ないが、マイマイ類を除いてテングニシ、バイ、イタボガキ科は食用と考えられる。

従来の兵庫津遺跡の発掘調査では、近世の遺構から出土した魚類が主体であったが、当調査では中世の遺構から魚類が出土していることが特筆される。魚類ではタイ科が最多の出土量を示す

が、１個体に多数存在する丸みを帯びた歯が大部分を占め、これらの歯を除くと出土量は少なくなる。タイ科に次いでマダイが多く、切断された椎骨や前鰓蓋骨が含まれることから、解体、調理されたことは明らかである。これらマダイを含むタイ科は、縄文時代以来、貝塚などの遺跡から頻繁に出土する魚種の一つである。中世以降、タイ科のなかでマダイへの志向が顕著になることが指摘されており（久保1999）、中世の兵庫津でもマダイへの志向が高まっていた可能性がある。夏を代表する魚類のハモ属がタイ科、マダイに続く出土量を示す。ハモ属は瀬戸内海で多く漁獲され、現代の京都、大阪を中心とする関西地方で特に好まれており、近世の兵庫津、大坂、京都における出土頻度は高い。本資料から中世にもハモ属を食用としていることが判明し、現代の食文化の基層を窺うことができる。現代では賞味することが少ないコチ科が比較的多く出土しており、ニシン科（イワシ類）、エソ科、フサカサゴ科、ブリ属、マグロ属、ヒラメ、フグ科といった現代でも馴染みのある魚種の出土量は少ない。マグロ属は瀬戸内海で漁獲されることは稀で、近隣では紀州灘などの漁獲地が推定され、兵庫津に搬入されたと考えられる。

b）鳥獣類の利用

鳥類はカモ科１点だけに留まり、一見すると鳥類利用が低調であったように見えるが、鳥類の骨は薄く、脆弱であるために遺跡に保存されなかったことが考えられる。出土したカモ科は、マガモなどの中型のカモ類であり、解体痕が見られることから、食用と考えられる。

哺乳類はニホンジカ、イノシシ/ブタ、ウマ、ネズミ科が出土している。また、イノシシ/ニホンジカ程度の大きさの哺乳類が出土している。兵庫津遺跡第44次調査では、イヌ、イノシシ、ニホンジカが食用とされており、近世町屋において肉食が行われていたことが明らかになっている。当資料ではイノシシ/ブタ、ニホンジカが出土しており、それらは食用と考えられるが、ウマやネズミ科が食用であるか定かではない。ニホンジカは食用以外に骨角製品の素材となる。当調査のSD701（15c前半）から加工途中の鹿角が出土しており、付近で角製品の製作が行われたと考えられるが、出土量が乏しく専門的な工房が存在したのかは明らかでない。

c）かわらけ埋納遺構に伴う動物遺存体

以上に貝類、魚類、鳥類、哺乳類の大部分が食用となったことを述べたが、ここではかわらけ埋納遺構から出土している動物遺存体を取り上げ、どのような利用が考えられるのか検討する。

動物遺存体が出土しているかわらけ埋納遺構は、SK711（14世紀）、SK505（14世紀後）、SK608（14後～15世紀）、SK506・SP639（14～15世紀）、SP418（14後～16世紀）、SK513・SK610（15世紀前）、SP411・SK414（16世紀）の10基である。かわらけ埋納遺構は、（Ⅰ類）貝類と魚類が出土する土坑（SP411）１基、（Ⅱ類）魚類だけが出土する土坑（SK506・SK610・SK414・SP639）４基、（Ⅲ類）魚類と鳥類が出土する土坑（SK711）１基、（Ⅳ類）魚類と哺乳類が出土する土坑（SK505、SK513）２基、（Ⅴ類）哺乳類だけが出土する土坑（SP418、SK608）の４つに分類できる（表７）。Ⅲ類のSK505からネズミ科が出土しており、祭祀との関連性は窺えず、混入した可能

表7　かわらけ埋納遺構の分類

分類		Ⅰ類	Ⅱ類				Ⅲ類	Ⅳ類		Ⅴ類		計
時期（世紀）		16	14-15	16	15前	14-15	14	14後	15前	14後-15	14後-16	
大分類	小分類	SP411	SK506	SK414	SK610	SP639	SK711	SK505	SK513	SK608	SP418	
斧足綱	不明	3										3
硬骨魚綱	ハモ属							1	1			2
	エソ科					1						1
	フサカサゴ科								1			1
	コチ科								3			3
	マダイ	1			1				6			8
	タイ科		3		12	3	1	2	3			24
	ニシン科？							1				1
	カレイ科					1						1
	フグ科			1								1
	不明		3		1			3	8			15
鳥類	カモ科						1					1
哺乳綱	ニホンジカ										2	2
	ニホンジカ？										1	1
	イノシシ/ニホンジカ									1		1
	イノシシ/ニホンジカ？								1			1
	ネズミ科							1				1
計		4	6	1	14	5	2	8	23	1	3	67

性も考えられる。これらのかわらけ埋納遺構から出土している動物遺存体は、埋土を水洗選別して採集しており、サンプリングエラーが生じている可能性は低い。しかしながら、微細な魚類、鳥類の骨が埋没中に腐朽していることを考慮すると、遺構別に魚類、哺乳類が選択的に投棄されたとは即断できない。

魚類が出土しているⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ類では、SK414を除く遺構からマダイあるいはタイ科が出土している。タイは藤原宮や平城宮から出土した木簡から贄とされたことが窺え、神饌にもよく用いられる魚種である。魚類は部分的な骨格部位が出土し、SK505・513・506・601には被熱して白色を呈するものや、解体痕が見られるものが含まれる。被熱した魚骨は火中に投じられた可能性が高いうえに、解体した魚類を祭祀に用いたのか疑問である。鳥類が出土しているⅢ類はカモ科の上腕骨が１点にとどまり、食材として利用された際に一般的な解体痕が見られる。哺乳類が出土しているⅣ、Ⅴ類ではネズミ科を除いて、ニホンジカとイノシシかニホンジカのどちらかと思われるものが出土している。SP418では、ニホンジカの左の大腿骨、踵骨と、ニホンジカのものと思われる左の脛骨が積み重なったかわらけの隙間から出土しており、祭祀に関連してかわらけに供えられたことが推測される。『延喜式』大学寮には、釈奠の三牲に大鹿と小鹿の各一頭を供することが記されていることや、諏訪大社では鹿の頭部が神前に供えられる御頭祭が行われてきたことからもわかるように、シカの供儀は古代から近現代まで見られる。出土したニホンジカの

各部位が同一個体であるとすれば、ニホンジカの左後肢１本があったことになるが、長径約80cm、深さ44cmという遺構の規模や、かわらけの隙間から出土していることを考えれば、これらニホンジカの後肢骨が交連状態では収まらず、解体された状態であったと言える。このように解体した状態を供儀の一形態と断定することは難しい。

大部分のかわらけ埋納遺構では動物遺存体が散乱状態で出土しており、一般的なゴミ穴に投棄された食料残滓の出土状況と同様に思われる。ただ、大阪府池島・福万寺遺跡では、12世紀の条里水田の水路の底に掘った土坑にウシの頭蓋骨や下顎骨を埋納するだけでなく、食用にしたウシ、イヌ、サギ科の骨が水路に投棄されており、犠牲にした動物の肉を賞味する饗宴が行われたとされている（松井1995）。当遺跡とは時期的にも、祭祀の目的も異なるであろうが、池島・福万寺遺跡に見られるような肉食を含む饗宴が当地でも行われていた可能性も推測されるだろう。

４）まとめ

当調査では中・近世の兵庫津における食生活やかわらけ祭祀に伴う動物利用の一端を明らかにすることができた。魚類ではマダイなどのタイ科を中心に、ハモ属などの消費も見られ、現代の魚食の基層が窺える。また、近世には貝類が多く出土しており、ハマグリなど眼前の砂浜で捕獲できるものや、サザエやアワビ類といった岩礁域で捕獲される搬入品が出土している。また、魚類ではマグロ属の流通が近世になって見られる。

かわらけ祭祀にともなってニホンジカを供した可能性や、祭祀にともなう饗宴でイノシシやニホンジカなどの獣類、マダイなどの魚類を賞味し、その残滓である骨をかわらけと同じ遺構に投棄した可能性も考えられる。こういったかわらけ祭祀に関連する遺構から出土する動物遺存体の出土例は少なく、どのような性格のものであるのか明らかにすることは容易ではない。今後、類例の増加を待って、結論を導く必要があるだろう。

《参考文献》

久保和士1999「近世大坂における水産物の流通と消費」『動物と人間の考古学』真陽社pp.137-179

樋泉岳二2001「食物」『日本の中世遺跡』小野正敏編　東京大学出版会pp.162-163

松井章1995「池島・福万寺遺跡出土の動物遺存体」『池島・福万寺遺跡発掘調査概要XI90-3調査区（1992年度）の概要』㈶大阪文化財センターpp.99-104

丸山真史・松井章2006「兵庫津遺跡（御崎本町地点）出土の脊椎動物遺存体」大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター研究報告第１号　大手前大学史学研究所pp.195-209

丸山真史・松井章2008「兵庫津遺跡から出土した動物遺存体」『兵庫津遺跡第42次発掘調査報告書』神戸市教育委員会、pp.31-34

丸山真史・松井章2010「兵庫津遺跡第14次調査出土の動物遺存体」『兵庫津遺跡発掘調査報告書第14・20・21次調査』第１分冊　神戸市教育委員会　pp.353-386

《写真図版解説》

図版１　貝類

1アワビ類　2・3アカニシ　4～6ハマグリ　7イタボガキ科　8・9サザエ

図版２　魚類・鳥類・哺乳類

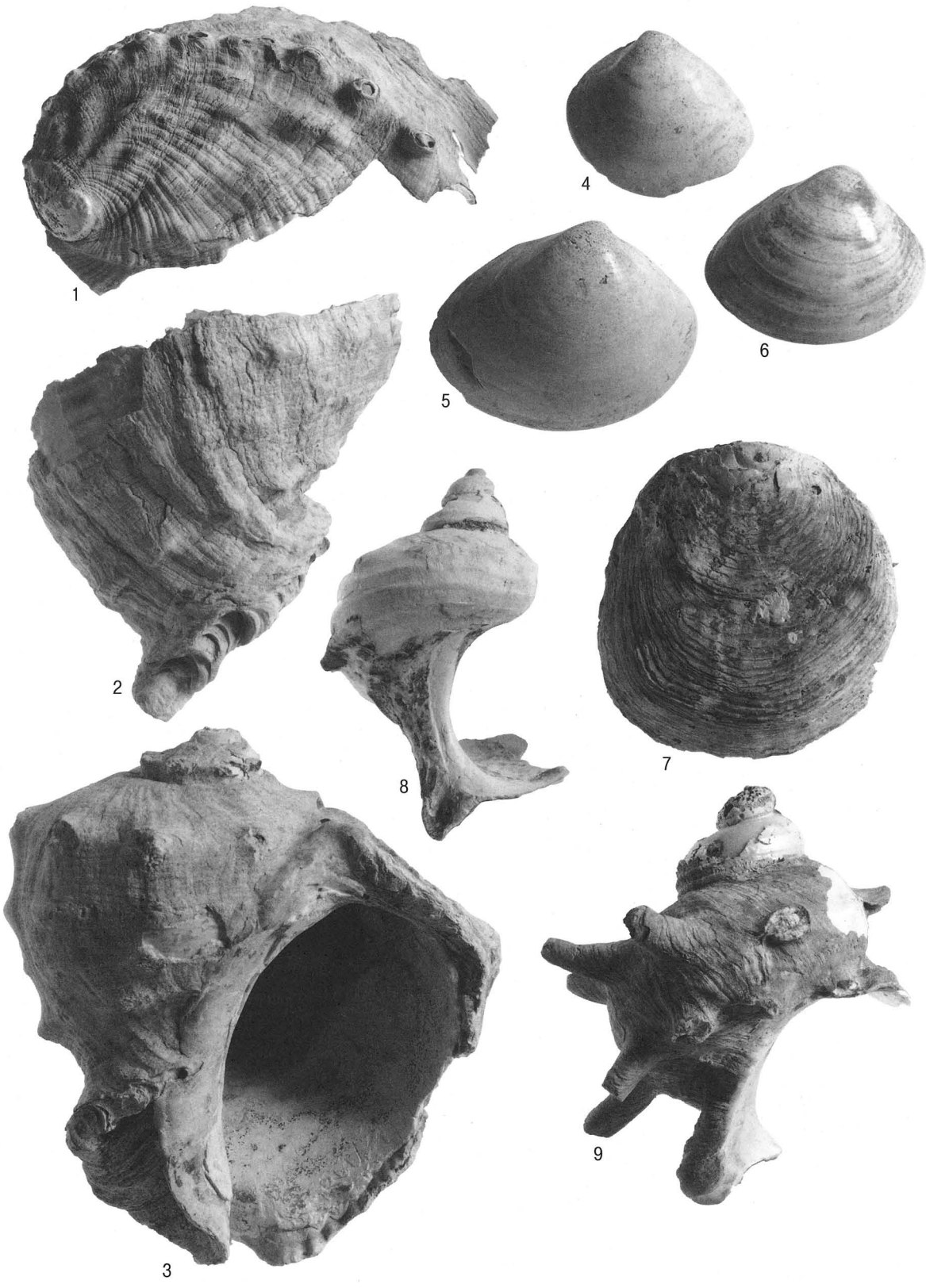
1コチ科（角骨）2ハモ属（主鰓蓋骨）3マダイ（擬鎖骨）4ブリ属（椎骨）5フグ科（歯骨）6ヒラメ（擬鎖骨）　7・8マグロ属（椎骨）9ネズミザメ科（椎骨）10カモ科（上腕骨）11～16ニホンジカ（11・12橈骨13・14大腿骨15枝角16踵骨）17イノシシ（下顎骨）

表8　動物遺存体計測値

単位：mm

地区	層位・遺構	時期	大分類	小分類	左右	計測
Ⅰ区	第２面ベース層直上層	18世紀	腹足綱	アカニシ	－	殻長141.9+殻幅117.8
Ⅰ区	第２面ベース層直上層	18世紀	腹足綱	サザエ	－	殻長97.1+
Ⅱ区	第２面ベース層直上層	18世紀	斧足綱	ハマグリ	右	殻高31.4殻長38.4
Ⅱ区	SD101/焼土粘土	19世紀	斧足綱	ハマグリ	左	殻高61.0殻長81.4
Ⅱ区	SP205	19世紀	腹足綱	サザエ	－	殻長104.4
Ⅲ区	第1面直上	18世紀～19世紀	斧足綱	ハマグリ	右	殻高54.0殻長66.0
Ⅲ区	第1面直上	18世紀～19世紀	斧足綱	ハマグリ	左	殻高45.2殻長55.0
Ⅲ区	第1面直上	18世紀～19世紀	斧足綱	ハマグリ	右	殻高44.9殻長55.0
Ⅲ区	第1面直上	18世紀～19世紀	斧足綱	ハマグリ	左	殻高40.7
Ⅲ区	第1面直上	18世紀～19世紀	斧足綱	ハマグリ	左	殻高36.3
Ⅲ区	第1面直上	18世紀～19世紀	斧足綱	ハマグリ	右	殻高33.8
Ⅲ区	第1面直上	18世紀～19世紀	斧足綱	ハマグリ	左	殻高29.4殻長36.0
Ⅲ区	第1面直上	18世紀～19世紀	斧足綱	ハマグリ	右	殻高30.3+
Ⅲ区	SX203	18世紀前半	腹足綱	アカニシ	－	殻長141.4+殻幅125.1
Ⅲ区	SX203	18世紀前半	哺乳綱	ネズミ科	左	Bd5.1
Ⅳ区	SK711	14世紀後半	鳥綱	カモ科	右	Bd13.5
Ⅳ区	SX702底	14世紀後半	哺乳綱	イノシシ/ブタ	左	M3歯冠長34.2歯冠幅15.0
Ⅳ区	SH701	15世紀前半	軟骨魚綱	ネズミザメ科	－	椎体横径42.6縦径40.8厚20.0
Ⅳ区	SK511	16世紀前半	哺乳綱	ニホンジカ	左	Bd29.6＋
Ⅳ区	SX201第2層～	18世紀前半	斧足綱	ハマグリ	左	高44.7

Bd：遠位端最大幅



図版1　貝類

図版2　魚類・鳥類・哺乳類

第６章　中世都市の消費と再生　－考察にかえて－

１．はじめに

かつてスキナーは、その都市理論の中で都市の階層性について語った。雑駁に表現すると、都市の規模を人口値で統計処理した場合、上位の都市から一定の数値で次の階層の都市、という風に順序良く分化し、一定の規則性をもって数字が分れる、という考えである(1)。いわば都市をランク付けする試みである。そしてこの理論を、中世日本に当てはめた論文も存在する。原田伴彦による『中世における都市の研究』がそれである(2)。

この研究によって我々は、一口に中世都市といってもその実態は様々で、あくまで人口規模という切り口で見た場合という条件付きながら、互いの都市の間には明確な階層が存在するという側面に気づかされる。

しかし残念ながら、後世の人間がある意味「おぼろげな」数字を処理して弾き出した都市階層が、そのまま当時の社会常識であったかを検証するのは難しい。また、中世ヴェネチアのように、人口規模は小さいが圧倒的な経済力で地中海世界に君臨した例もある。蜜柑を縦に切るか横に切るかで断面の模様が異なるのにも似て、切り口を変えれば同じ都市でも「大きさ」の評価は異なる、という真実である。それでも中世びとの常識に果敢にアプローチした研究として、原田の研究は興味深い。

これも残念なことに、1942年になされた原田の研究には、兵庫津遺跡は登場しない。この時代、まだ当該遺跡の存在が認知されていなかったせいである。ただ、堺環濠都市遺跡が京都・博多に次ぐ第三位、今で言えば東京・大阪・名古屋に近い位置づけでランクインしていることから、近世近代の人口規模で堺と競り合っていたかやや上位の兵庫津も、逆説的にはその辺りに評価するのが妥当と思われる。

現代の名古屋と大阪それぞれに個性があるように、堺とも大坂とも博多とも違うありようと心性が、当時の兵庫にも存在したに違いない。発掘調査という行為を通して我々が追い求めるのは、その実態がいかなるものか、ということに尽きる。多様と普遍の混在する人間社会の姿である。

中世とは、まさに都市文化が花開いた時代であった。都市を都市たらしめる市場経済が社会に定着したのが室町時代。今回の調査によって、そういった時代を生きたある地方都市の輪郭が我々の前に提示された。結語に変えて、港湾都市神戸のルーツ・中世兵庫津について、遺構・遺物の両側面から至らぬ考察を試みる。

２．土器の消費

都市という存在を特徴付けるもののひとつに、消費行為がある。都市遺跡の調査では出土遺物の圧倒的な物量に、いかに立ち向かうかが調査員を常に悩ませるほどである。その背景には、社会構造の進化、流通網の整備、手工業の発展から人びとの心の変化まで多彩な要因が隠されている。

今回の調査地では、13世紀から19世紀まで、中世から近世にいたる長期間の土器消費のありようを概観することができた。以下時代毎にその概略を記すが、第4章で述べたように先学によって整えられた編年・分類体系を基調として羅列するものである。

土師質土器皿類および東播系須恵器鉢についてのみ、若干の分類と考察を試みたうえでこれら編年の網に対置した。

a. 土師質土器小皿の分類

土師質土器皿類については、これまで京都産のものを中心に研究が深化しており、特に伊野近富の研究が広く知られている(3)。兵庫津遺跡独自のものとしては、兵庫県教育委員会が2004年に発行した『兵庫津遺跡Ⅱ』において、詳細な分類と編年が試みられている(4)。

本調査で出土した膨大な土師質土器皿類を概観すると、中世には手捏ね成型のもののみで、近世には手捏ね成型と轆轤成型のものが混在している。中世のものを中心に、その特徴を列記する。

色調的には白色系、橙色系、褐色系の三つに分類できる。法量的には、大皿（15cm以上20cm以内)、中皿（11cm～12cm前後)、小皿（８cm前後）に分類可能である。法量と色調の関連性として、大皿はすべて白色系である点が挙げられる。中皿、小皿においては明確な関連性が見出しえなかったが、白色系のものは存在せず、小皿では橙色系に比重が傾き、中皿では両者が混在しているといった印象を受ける。調整技法にはかなり一貫性があり、大きさ・色調にかかわらず外面体部はユビオサエ、口縁部は回転ナデによって成型し、内面底部は横位ナデ、外面底部はユビオサエを基本とする。京都系土師皿の製作技法影響下にあると見てよいだろう。バリエーションとして体部外面･底面をユビオサエののちナデるものがある。胎土に関しては、大皿が精製されて微細であるのに対して、中皿、小皿は粗製である。

東播系須恵器鉢については、完形品がほとんどなく、全体的な器形の変化は捉えられなかったが、口縁部に特長的な変化が集中しており、口縁部のみで分類を試みた。

土師質土器　小皿

A類　内湾気味に立ち上がり、器高が浅い。体部外面･底面をユビオサエののちナデる。口縁部は内外面を挟んで回転ナデを施し、内面体部もこの延長で回転ナデで仕上げる。底部内面は横位ナデ。

B1類　外反あるいは直線的に立ち上がり、A類に比べて器高が深い。体部外面･底面はユビオサエ。口縁部は内面を挟んで回転ナデを施し、内面体部はユビオサエ。底部は内外面ユビオサエ。

B2類　調整と器形は基本的にB1類と同じだが、底部を外面から指で押し込んで明瞭な突出部を作る。いわゆる「ヘソ皿」。

C類　轆轤成型土師皿。橙色系を中心とし、尖り気味に外反する口縁で、底部が厚く、糸切り痕があり、器高は浅い。

D類　轆轤成型土師皿。丸い端部で、立ち上がりも内湾気味で丸い器形をなす。底部はナデ。

土師質土器　中皿

A類　器高が深いが、立ち上がりは内湾するものとやや外反気味に肥厚するものがある。体部外面･底面をナデて仕上げ、口縁部は内外面を挟んで回転ナデを施す。内面体部もこの延長で回転ナデで仕上げる。底部内面は横位ナデ。全体に古代的な杯に似た器形を呈する。

B1類　A類に比して器高が浅い。屈曲して外反あるいは直線的に立ち上がる。体部外面･底面はユビオサエ。口縁部は内面を挟んで回転ナデを施し、内面体部にユビオサエの指頭圧痕が明瞭に残る。底部は内面横位ナデ、外面ユビオサエ。

B2類　調整と器形は基本的にB1類と同じだが、体部内面指頭圧痕を消すためにきついナデを施しており、底周縁部に溝状の凹みが残る。

土師質土器　大皿

A類　屈曲して立ち上がり、端部を内側に丸く収める。器高は浅い。体部外面･底面はユビオサエのちナデ。口縁部は内面を挟んで回転ナデを施し、内面体部に底部は内面横位ナデ、外面ユビオサエのちナデ。小皿・中皿に比べ全体に丁寧・精緻で器厚も薄い精製品である。色調は白色系のみ。

B類　調整・色調はA類と同じだが、器高がAに比べて深く碗状の器形を呈する。丁寧・精緻で器厚も薄い精製品である。色調は白色系のみ。

b．東播系須恵器鉢・口縁端部の分類

A類　端部が上下両方向に発達し、口縁帯状になったもの。

B類　端部が下方のみに発達したもの。

C類　端部が上方のみに発達したもの。

D類　端部は上方に発達傾向をしめすが、極めて緩いもの。

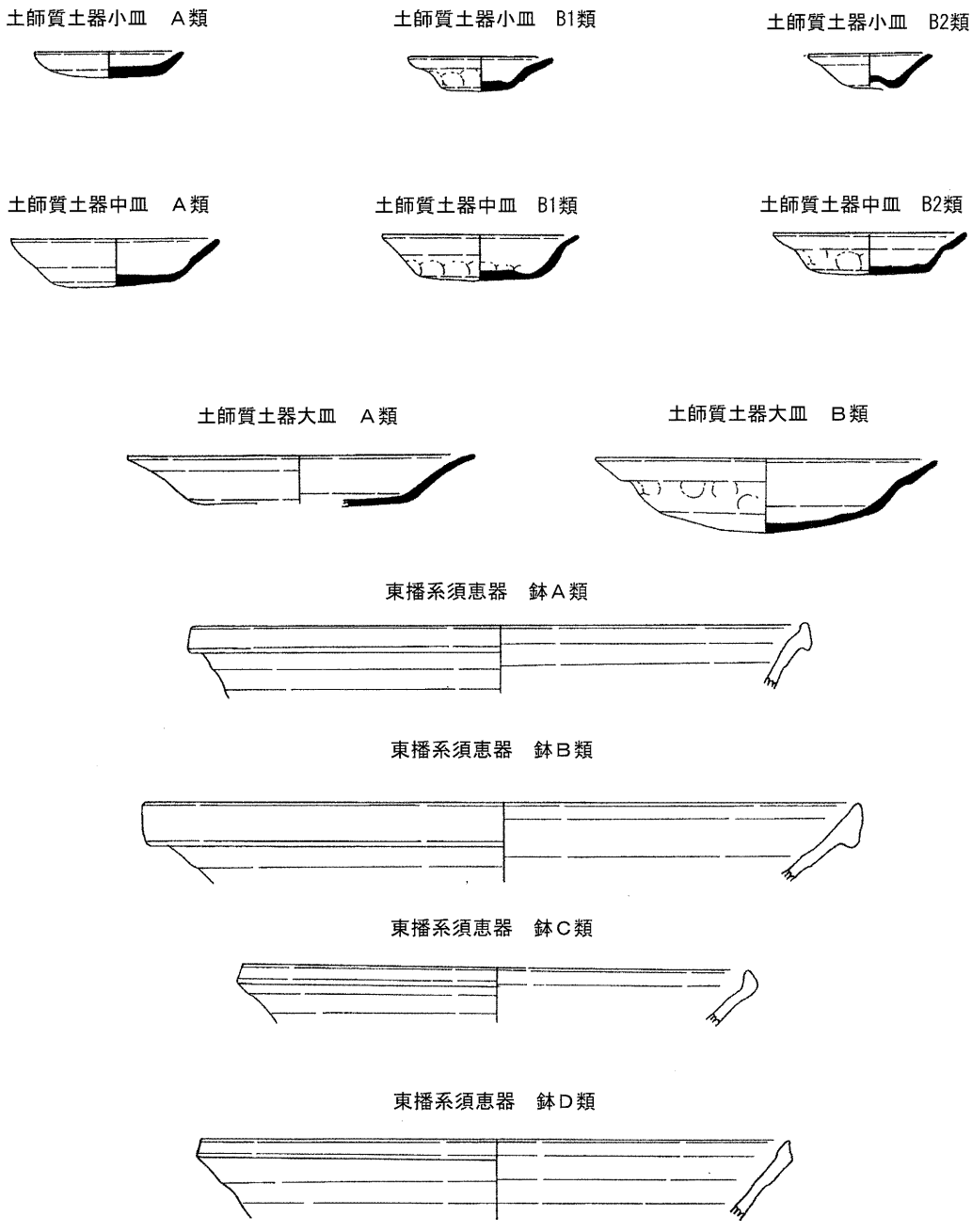


図156　土師質土器皿類および東播系須恵器口縁の分類

C．土器組成

中世１期（13世紀）

在地系土器としては土師質土器煮炊具鍋形、甕形・播丹型、土師質土器小皿・中皿が認められる。土師質土器大皿はまだ出現していない。土師質土器中皿・小皿ともにA類のみで、古代の杯的なフォルムの名残を思わせる。

土師質土器煮炊具のうち、１期前半は鍋形のみで後半になると甕形・播丹型が登場するが、鍋形の祖形のような、寸胴で内外面に縦位ヘラケズリを施したものが１点出土している。

他産地系土器としては和泉形瓦質土器碗や同じく瓦質土器の鍋、常滑焼甕、備前焼壷がある。瓦質土器碗は、高台が消失する寸前から、消失直後の鈍い尖底のものである。瓦質土器鍋は京都系で口縁の立ち上がりが深い。常滑焼は受け口状を示しており、５型式相当、備前焼壷は口縁が玉縁化する以前の中世１ないし2期相当である。

中世２期（14世紀）

在地系土器としては土師質土器煮炊具甕形・播丹型の他に、羽釜形B、羽釜型・播磨型が登場する。羽釜形B羽釜型の口縁立ち上がりは長く直線的。羽釜型・播磨型は突帯化以前の形態で、体部外面に明瞭な指頭圧痕が何段も残る。

土師質土器皿類は、１期に引き続き小皿・中皿のみ認められる。土師質土器大皿はまだ出現していない。土師質土器中皿はA類のほか、B2類が２期前半から認められる。小皿はA類のほかにB1類が２期前半に、B2類が後半に登場する。

東播系須恵器にもこの時期、鉢口縁部A類とB類が認められる他、魚住窯系の綾杉紋甕が存在する。

他産地系土器としては備前焼甕と擂鉢、奈良火鉢、古瀬戸卸皿と天目茶碗が認められる。備前焼甕は口縁が玉縁化する以前の中世２期相当、擂鉢は端部断面が四角い中世３期a相当のもの。奈良火鉢は浅鉢Ⅲ型。古瀬戸卸皿は中期様式１相当。

中世３期（15世紀）

在地系土器としては土師質土器煮炊具が鍋型、甕形・播丹型、羽釜形B、羽釜型・播磨型が羽釜形と、ほぼ全種出揃う。羽釜型Bの口縁立ち上がりは内傾する。羽釜型・播磨型は突帯化しはじめる。

土師質土器皿類は、大皿が３期前半に登場するが、A類B類が混在する。土師質土器中皿はA類が前半で姿を消すほか、B2類が２期前半から認められる。小皿はA類・B1類の他B2類が３期前半に認められる。

東播系須恵器はこの時期、鉢口縁部C類が認められるようになる。

他産地系土器としては瓦質土器羽釜、瓦質土器風炉、瓦質土器擂鉢、備前焼甕、壷と擂鉢、古瀬戸卸皿、深折端皿、天目茶碗がある。備前焼甕は口縁が短く玉縁化して直線的に立ち上がる中

世４期相当、擂鉢は口縁帯端部が下に発達した中世５期相当のもの。瓦質土器風炉は風炉Ⅱ型。瓦質土器擂鉢は、体部外面に斜位のヘラ削りで口縁帯が上方に発達する。

中世４期（16世紀）

在地系土器としては土師質土器煮炊具が羽釜型・播磨型を残して認められなくなる。口縁下突帯が段化した状態。

土師質土器皿類は、大皿A類・B類、中皿はB1類、B2類が認められるが、前段階に比べて立ち上がりの屈曲が著しくなる。小皿はA類・B1・B2類が認められるが、B類が主流。

東播系須恵器はこの時期が最終段階で、鉢口縁部E類が認められる。

他産地系土器として備前焼擂鉢がある。口縁帯に沈線の入る中世６期相当。外区圏線を欠いた珠文の小さい三巴文軒丸瓦が認められるが、瓦当側、丸瓦側両方にカキ目は施されない。これより型式的に先行する外区に圏線のある三巴文丸瓦も第７遺構面より出土しており、中世４期以前の型式と思われるが、時期については詳細不明である。

近世１期（17世紀）

在地系土器としては土師質土器煮炊具が羽釜型・播磨型が突帯を喪失しほうらく化した状態になる。土師質土器皿類は手捏系はすべて消失し、かわりに轆轤系小皿A類・B類が出現する。

他産地系土器がこの時期から豊富になる。丹波焼甕、擂鉢、火入、瀬戸・美濃系折縁皿、袴腰形香炉、備前焼擂鉢がある。丹波焼甕は条線が肩のみに巡る。

近世２期（18世紀）

在地系土器としては土師質土器煮炊具のほうらく、土師質土器皿類轆轤系小皿A類・B類。他産地系土器は肥前系陶磁が顕著になり、唐津や三島手なども見られる。瓦質土器風炉、丹波焼甕、擂鉢、火入、盤、備前焼擂鉢があるほか、堺・明石産擂鉢が登場する。軒瓦は三巴軒丸瓦と橘唐草の定型化したセット。

近世・近代過渡期（18～19世紀）

在地系土器としては土師質土器煮炊具のほうらくが底部に明瞭な稜を持ち、耳が付く。土師質土器皿類轆轤系小皿A類が消失しB類が残る。

他産地系土器は瓦質土器焜炉が現れるほか、産地不明の灰釉土瓶が顕著になる。軒瓦は三巴軒丸瓦と橘唐草の定型化したセット。

中世から近世を通して、以上のように土器組成は変化するが、ひとつのメルクマールとして中世を通して存続した土師質皿類の消失および肥前系陶磁の流行があげられる。特に土師質皿のセット関係について、中皿A類小皿A類という組み合わせを最古段階とし、そこにへそ皿と大皿

	土師質土器煮炊具 羽釜形B	土師質土器煮炊具 羽釜形・播磨型	土師質土器煮炊具 鍋形	土師質土器煮炊具 甕形・播丹型	土師質土器　小皿	土師質土器　中皿	土師質土器　大皿
近世・近代 過渡期 19世紀		157 178 169			轆轤系 170 183		
近世２期 18世紀後半							
近世２期 18世紀前半		69 74 75 77			轆轤系 65 61 80 31 63 32 86 450 449		
近世１期 17世紀		76				571 572	575 576 577
中世４期 16世紀		311 310 717 203 190			非轆轤系 308 385 549 341 550 305 340	302 348 714 332 352 713 317	188 189 716
中世３期 15世紀後半	578 228	191		1379 666 1301 1441 1565 875	1617 1618 239 665	229 661 233 662	555 556
中世３期 15世紀前半	1227	889 559 395 668 551 225		1170 1338 1226 1270	1168 886 1093 872 1587 694 1588 1094 699	671 1163 885 675 1076 882 679 1080 1165	873 887 888 1578 1581
中世２期 14世紀後半		80 1481 1501		1499 1271 1654	1263 1360 1252 1264 1361 1265	1246 1358 1251 1334	
中世２期 14世紀前半	1626 1228	1627		1682 1691 1393	1642 1647 1652 1475 1497 1469	1630 1483 1634 1491 1330 1331	
中世１期 13世紀後半				1454 1500	1662	1657 1658 1661	
中世１期 13世紀前半			1479 1366 1440				

図158　兵庫津遺跡第51次調査出土土器　編年表1

	東播系須恵器	その他土器・陶磁器（産地不明含む）	火舎	肥前系陶磁器　染付	その他土器
近世・近代 過渡期 19世紀		179産地不明灰釉土瓶 155産地不明灰釉土瓶 165産地不明灰釉土瓶 173産地不明鉄釉徳利 180産地不明鉄釉徳利 74備前焼植木鉢 1327瓦質土器羽釜 1329瓦質土器羽釜 1655瓦質土器鍋	177土師質土器火鉢 156瓦質土器焜炉 1145瓦質土器風炉 150瓦質土器風炉 1383瓦質土器茶釜火鉢	161土師質土器焜炉 1537瓦質土器擂鉢 1589瓦質土器擂鉢 1459瓦質土器茶釜火鉢	168土師質土器跑炎壷 1458土師質土器擂鉢
近世２期 18世紀後半		147萩焼ひさ掛碗			
近世１期 17世紀	101唐津砂引徳利 43唐津京焼含蓋碗 98唐津三島手碗 25唐津砂引片口鉢 24瀬戸美濃徳利 114唐津三島手擂木鉢		55瓦質土器焜炉	99肥前系白磁皿付鉢 93肥前系白磁皿付碗 94肥前系白磁皿付碗蓋 97肥前系白磁型押小皿	90土師質土器焼塩壷
中世４期 16世紀後半					447土師質土器灯明皿脚
中世４期 16世紀前半	273				
中世３期 15世紀後半	1303 1304 1305 1306 241 242		1310瓦質土器茶釜火鉢	1327土師質土器擂鉢	
中世２期 14世紀後半	1339 1502 1341線刻文甕	1455瓦質土器鍋	1244瓦質土器茶釜火鉢 985瓦質土器茶釜火鉢	1619瓦質土器碗	
中世２期 14世紀前半	1340 1304 1305 1273 1274 1275				
中世１期 13世紀後半	1446 1447 1396 1098			1268瓦質土器碗	
中世１期 13世紀前半					

図159　兵庫津遺跡第51次調査出土土器　編年表2

	丹波焼　甕・その他	備前焼　壷・甕	常滑焼・甕	丹波焼・擂鉢	備前焼・擂鉢	堺・明石産擂鉢	瀬戸・美濃および古瀬戸	瓦
近世・近代過渡期 19世紀								1695 1694 1710
近世２期 18世紀後半						117		
近世２期 18世紀前半	8盤 56 9盤 12 13火入 58火入			2	3 4	5 108 6 109 102 103		1697 1698 1711
近世１期 17世紀	448火入 431			582 583 399	580		434袴腰形香炉 429緑釉深皿	
中世４期 16世紀					284 298 299			1702
中世３期 15世紀後半	301				243 1456 1125 1119			
中世３期 15世紀前半	670 274		1017		1236		1394天目茶碗 1099天目茶碗 1326天目茶碗 1309端折深皿 1308端折深皿 1395緑釉深皿	
中世２期 14世紀後半			726				1498天目茶碗 1337天目茶碗 1373卸皿	
中世２期 14世紀前半	858		984 295		1372 1276 722 196			1715
中世１期 13世紀後半	296		241 1242					
中世１期 13世紀前半								

図160　兵庫津遺跡第51次調査出土土器　編年表3

が登場してバリエーションをなす。へそ皿の登場により土師質小皿はこの器形が主流を占めていく。ヘソ皿が京都系土師質土器であることはいうまでもないが、大皿のように精製品でなく、粗雑で在地胎土である。色調、胎土、調整技法的に見れば、白色系で薄く精緻な大皿を扱っていた集団、橙色系の皿を製作していた集団、褐色系の皿を製作していた集団と、最低でも３つのかわらけ売りのグループがいた可能性がある。想像を許されるなら、白色精緻な大皿を扱っていた集団が、より京都に近い流通網の中にいたとも思えるのである。

３．中世竪穴建物について

今回調査における検出遺構の白眉は、前節で中世１期とした時期の半地下式遺構であろう。これを建物址＝竪穴建物と解釈した点については、①上位遺構群における建物址と共通の軸方向を持つ②埋土からの土器・金属器類の出土状況②従来の竪穴建物定義と類似性が高い構造③鉄釘が一定量出土しており、遺構上屋に使用された建築材の可能性が考えられる。④現時点では他に妥当な解釈を見出しえない、というやや消極的な論旨を含みつつそう評価した。同時に、出土土器による時期認定に多少ブレを含む印象がぬぐえない疑問も残しながらではあるが、これが間違いなく現時点で確認しうる中世兵庫津の最も古い姿ともいえる。

考察の第一歩として、これを竪穴建物と呼ぶべきかという議論がまず尽くされるのが本筋であるが、工程的限界から調査は極めて雑駁に終始し、ほとんど平面形や壁の立ち上がりなどを確認しただけで調査を終えてしまっている。反証と実証両面で素材不足の観が拭えない。

今回検出した遺構が竪穴建物と判断するに足るか、改めて振り返るにあたり、最初に中世竪穴建物の定義を確認しておこう。

中世竪穴建物論については、こんにち鎌倉での事例を中心として研究が進んでいるが[(5)]、当初は「方形竪穴建築址」「竪穴状遺構」「土倉」などと名称が定まらず、定義も不明確で、その名残か考察がある程度進んだ現在でも、広義には地下室的なものから倉庫、工房や住宅まで多種多様な建物の総称となっている。また類例も東北から九州までの広範な地域に及び、機能や形態もかなり変化に富み、半地下構造の建築物の総称といった観がある。

長らく西国では竪穴建物という建築様式は古代のうちに廃絶したと考えられてきたが、これは山城、堺、京、草戸千軒町遺跡、博多などでの発見例の増加により、今では研究史上の概念と考えてよいだろう。半地下構造の建物遺構＝竪穴建物と呼ぶことが妥当であるなら、西日本にも間違いなくそれは存在したのである。

竪穴建物論において最も有名な鎌倉由比ガ浜南遺跡での事例では、その立地や遺跡の構成要素から都市周縁部に独特の特殊な建物群として評価され、その背景に職能民の工房や賤視の思想を据えているが、『信貴山縁起』や『粉河寺縁起』における壁のない家の表現をして、竪穴建物と考えた宮本常一の研究もこれに近い[(6)]。社会の周縁に位置する非日常空間として竪穴建物を捉えた事例である。

一方同じ鎌倉でも、若宮大路周辺遺跡群では床面の木組み構造が良好な残存状態で確認されて

おり、都市周縁ではない内陸部での発見例となったが、この例については倉庫として理解されている。博多、堺、山城における事例についても、「倉庫論」が優勢である。この場合非日常という概念は当てはまらないが、工房・賤民論でも倉庫論でも、大筋では鎌倉に祖形を求め、鎌倉幕府の勢力浸透とともに全国に拡散していくという見方が主流である。鎌倉幕府が主導した物資の流通や蓄積法、あるいは物資調達の過程で東国御家人の下向という現象が起こった結果、全国的に半地下式構造の建物の需要が広がったという歴史的理解である(7)。

次に具体的な形態の定義についてだが、斎木秀雄が①平面方形②壁が垂直で床面が平坦③中世に属する④上部建物を推測できる基礎施設が認められる、の４つを挙げて、かなり明確な定義を提唱した上で、そのバリエーションとして、１類・掘り方壁直下四周に石を並べる　２類・掘り方壁直下四周底面上に杭を打ち壁板を支える　３類・掘り方四周に柄柱で壁板を支える　４類・平面方形、掘り方壁はほぼ垂直、底面上に柱穴や木材痕が認められない、という四分類を行っており、狭義の意味においてはこの分類が最も端的かつ現実に即していると思われる(8)。今回の調査で検出した遺構も④以外この斎木の定義におおむね当てはまる。

今回の調査で最も明瞭にその構造を捉え得たのはSH701であるが、中央部にくびれがあり、方形二連棟とでもいうような形状を呈している。床面（長）方形、垂直に壁が立ち上がる点、壁体の深さが30cm以上という点はすべての竪穴建物と分類した遺構共通であった。

斎木の分類に掘り方壁直下四周に切り石を並べるというものがあるが、これについても今回いくつかの遺構で、壁体周辺を巡る石材痕のような土坑状の穴を確認している。ただしどの遺構も配置が不規則で、壁基礎としてはいささか不十分であるように思われる。本来的には堺環濠集落の例のように美しく規則的に礎石が壁に沿って配置されるべきであろう。石材の抜き取りなどの可能性もあるが、詳細は不明である。なおSH701では北西妻側平面に溝とその両端に礎石様の石材を配しており、扉等開閉施設を思わせる（写真図版16参照）。

機能については、倉庫説、職能民工房説、両説ともに証明に足る材料不足であるが、特に職能民を思わせる遺物などは確認されず、その可能性は低いと思われる。倉庫説については、たとえば若宮大路周辺遺跡のように、輸入陶磁が大量に一括出土でもしていれば積極的な物資集積施設と判断しうるが、これも本調査では積極的に支援できる素材がない。出土土器は煮炊具・調理具・調度具と多様だが、どちらかといえば一般住宅的な構成である。この点については既存の竪穴建物の理解では説明不可能の要素として残される。たとえば貯蔵具の集中出土などを計量的に観察することで、何らかの解決を見出せないかと考えている。

これが建物であるという点に関しては、ある程度支持出来る要素が見出せるが、「何のための」建物かというところまでは踏み込めなかったというのが実情である。建物の廃絶に伴い、南東妻側でかわらけ祭祀を行った痕跡があったことだけを明記しておく。

今回の調査地に、上位の遺構面で検出した建物群と同じ軸方向で竪穴建物が並んでおり、それが倉庫ではなく住空間であったとすれば、鎌倉の例から逆説的にこの場所は周縁部＝非日常空だったのかという疑問も湧いてくるのだが、地形的にここは周辺部とは言いがたい。ただし遺構

の示す13世紀から15世紀までの段階において、兵庫津という都市空間がどような広がりを見せていたかに関しては、ほとんど未知の研究分野である。今後は都市領域論、無縁と周縁といった視点を含めた地理学的考察・浜堤帯の形成過程に関する地学的観察法を導入することが、中世兵庫津を語る上で必須である事を指摘しておきたい。

また、竪穴建物という前提に立てば、既存の論旨からこれも逆説的に兵庫津という町が、ある時期鎌倉幕府の勢力化に強く置かれていたのかという疑問も浮かぶ。遺構の時期認定ともあわせ、今後もう少し精密な議論がなされるべきであろう。

4．建物構造に見る中世と近世の境界

今回の調査では、第２遺構面から第７遺構面まで六つの異なる時期の遺構面を確認した。各面で街路および建物跡を検出しており、その様子から第２遺構面の示す18世紀ないし19世紀から、第７遺構面が示す最古段階の13世紀まで、町割りの軸方向が不変だったことが明らかになった。なお、ごく一部ながら第１遺構面として検出した明治期の土管水路も同じ方向に走っており、中世のある時期に決定された町割りが明治時代までは確実に踏襲されていたことがわかる。さらに、今回検出した街路は近世絵図に表された大路であり、それが現在の道路とほぼ一致する位置にあったことも間違いない。つまり、兵庫津の基本的町割りは13世紀にすでに決定し、現在もその名残を留めているのである。

同様に中・近世町屋の位置についても、最古段階の第７遺構面を除いてほぼ同じ場所を踏襲していたことが今回の調査で明らかになった。町割りのみならず、町並みも長らく受け継がれたようである。一方、建屋の構造・建築技法的には、以下に纏めたような四度の画期があったと考えられる。

①１期（第７遺構面）

竪穴建物の時代である。浜堤帯（砂丘）の上で竪穴建物およびそれと切りあう90度に屈曲する堀状遺構が検出されたことから、建物と前後して屋敷地の周りを堀で区画した建物もあった可能性が高い。堀の外側に一部石列を確認しているのは、柵も伴った可能性が考えられる。砂丘の上には13世紀から人が集住し始め、もっとも新しいもので15世紀まで存続した場合もあったことが想定される。

②２期（第６遺構面）

掘立柱建物の時代である。砂丘の上に初めて整地層（盛土）が知行されたのち、それまでの竪穴建物は完全に姿を消す。代わりに、竪穴建物と同じ軸方向で、総柱の掘立柱建物が建てられる。街路の明確な痕跡は確認できなかった。14・15世紀代を想定している。

③３期（第５・第４遺構面）

礎石立建物の時代である。この時期、柵列を設けて建物と街路の境界が明確化している。15世紀代が中心と考えられる。

④４期（第３・第２遺構面）

壁立建物の時代である。薄い層をくりかえし突き固めた土間を持ち、栗石列を外壁に沿って並べ、おそらくその上に長方形の切り石を据えて基礎とする壁立ち構造の建物である（当初栗石自体が壁基礎ではないかと筆者は想像したが、建築史を専門とする建築士に意見を求めたところ、工法的には考えにくく、そのような例もないとの回答があり、今回はこういう形で復元提案する）。

土間部分を砂利を敷き詰めた暗渠構造にしている場合もある。それまでの建物構造とはまったく異なるこれらの形態が登場するのは、遺構面の示す時期から16世紀前半以降と想定している。この構造は基本的には近世にも踏襲された。街路も土間同様、堅牢な地盤を知行して造られている。この時代、町屋と通りを隔てる柵は作られず、街路に比して町屋部分が一段高く盛られる。

以上のような変化は建築技術の革新に他ならないが、この小さな調査区においてさえ、３期から４期への変化は実に鮮やかである。演繹とは一切無縁の飛躍さえ感じさせる。しかしそれを促進した要因が何であるかを突き止めることは、今回の調査の枠をはるかに超えた問題に思える。より厳密に、かつ多くの事例を踏まえた上で、改めて議論の俎上に上げるべきであろう。

残念なことに中世兵庫津の姿を正確に広域で捉えた調査事例は、現在のところ存在しない。細いトレンチによる断片的な情報が散在するのみである。今後事例の増加によって、再度検証と反証の機会が与えられることを痛切に願っている。特に第７遺構面で確認した「竪穴建物」については、今回の調査に与えられた諸条件が原因となり、雑駁に過ぎる調査結果に終わっている。仮説に対する反証材料さえ十分に集められていない。本調査単体では、「竪穴建物の存在」という概念は、永遠に仮説の域を超えることはない。

ただ、民家構造における近世化の萌芽は室町の終わり頃すでに現れていたという程度のことは指摘しても許されるだろうか。この問題に関して考慮しておきたい点は、建物構造の変化と屋根構造の変化の関連性についてである。

兵庫津遺跡において瓦葺屋根がいつ普及したかという問題に関しては、近世絵図からのアプローチを試みた高久智宏の研究が挙げられる(9)。高久によると寛文八年（1668）の時点で瓦葺と見られる建物はわずかに和田岬番所および兵庫陣屋のみである。これは近世江戸における瓦葺建物の普及率（初期江戸では大名屋敷さえも桧皮葺であった）と比較しても、何ら驚くにあたらない。江戸の瓦葺普及に先んじて、兵庫津という一地方都市に甍の波が翻っていたとしたら、それこそ常識を覆す出来事である。

瓦屋根の普及には、当然ながら建物骨格の堅牢化が前提となる。掘立柱はもとより脆弱な礎石立建物では、総瓦屋根など望むべくもないというのが建築学的には常識であろう。本調査で16世紀以降と想定した壁立建物の登場を受けて瓦屋根が普及したと考えるのが、考古学的にも妥当な推論ではないだろうか。

そしてこの問題は、瓦生産の近世化とも不可分な関係にある。瓦生産の近世化を、瓦当文様の

画一化＝橘唐草軒平瓦と三つ巴軒丸瓦のセットによるストック生産方式の誕生と捉えることが許されるとしたら、当然ながら両者は相互補完の関係を保ちながら進化していったはずである。今回の調査では中世遺構が主となったため逆に良好な瓦資料の出土が少なく、この問題にアプローチできるまでに至らなかった。

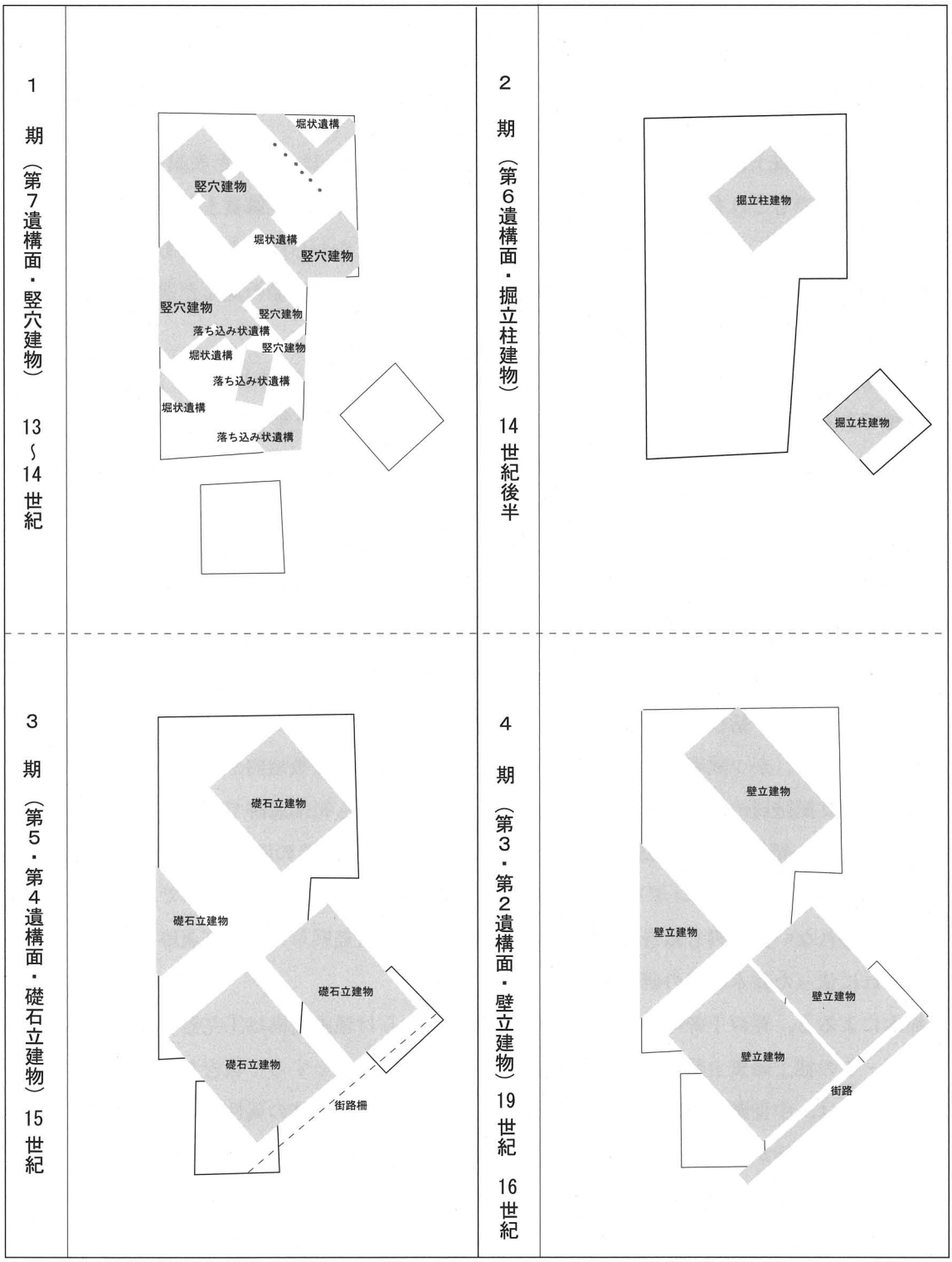


図157　調査地内建物変遷概念図

しかし兵庫津における瓦当文様の均一化がいつ始まったのかを見極めていく努力が、今後の必須作業である。同時に瓦そのものの軽量化現象の有無を確かめることも求められる。総瓦葺き建物の普及に伴って桟瓦が登場するという大きな流れとは別に、そこにいたるまでの試行錯誤の段階として、平瓦・丸瓦の軽量化という試みがあった可能性を指摘したい。この問題に関しては、たとえば顎形態の変化、法量の変化というような瓦の質量的変化を厳密に観察していく試みを提案しておく。過去の資料の計量的再精査も含め、筆者個人の今後の課題でもある。

5．かわらけのまつり

本書で「土師質土器・皿類」と呼んだものは、文献史料に「かはらけ」と表記されることから、考古学の世界でもこれをかわらけと呼ぶ研究者がいる。かわらけと土師質土器・皿類は同義ととらえてよい。また、本調査で検出したのと同質の、大量に「かわらけ」を投棄あるいは埋納した土坑は、日本各地の中世都市遺跡で広く確認されており、比較的議論の進んだ遺構であるといえるだろう。

中世遺跡から出土するかわらけをもっとも特徴付ける点は、その出土量の多さと「一括投棄」の痕跡である。奥州平泉では15トンが出土し、13世紀の鎌倉では百年で2,160万個が消費されたとも言われている(10)。今回の調査で定量的分析は行わなかったが、出土遺物の大半がかわらけであることは疑いようがない。

優れた先学の研究によって、こんにち考古学では「中世都市部で」「民衆の日常的な「ケ」＝「私」の食器として大量に消費された」ものとして、かわらけの認識は一定程度定着している。日常雑器としての位置づけである。同時にこれを単なる消耗品としては理解せず、そこに何らかの呪的意味・非日常性を見出そうとする研究も盛んに行われてきた。

既存のかわらけ一括投棄論を整理すると、大きく二論に分かれる。その一方は、都市遺跡に特有の現象であり、かつ武家屋敷・公家屋敷といった特定階層の屋敷地内からの発見例が多いことからこれを支配階層の習俗とみなすものである。神戸市内でも祇園遺跡で福原京内の苑池遺構からかわらけの一括投棄痕が確認されているが、あるいはこれもその流れの中で理解しうるだろう。「権力表徴と儀礼のシンボリック」な存在としてかわらけを理解する試みであるが、他方でこれと相容れない出土例も報告されている。その代表例が広島県草戸千軒町遺跡における検出例と、それに依った鈴木康之の研究である。

鈴木によると、草戸千軒町遺跡で多く確認されたかわらけ埋納遺構は①完器を集中投棄②伴う陶磁器・その他土師質土器の破損状況とは異質、の二点を特徴とすると報告されている。ここで留意すべきは、中世瀬戸内における地域門前という草戸千軒町遺跡の属性である。支配階層ではない、庶民の生活が息づく遺跡である。そういった場にあっても、やはりかわらけ一括出土土坑は存在するのである。遺跡の属性および、出土状況の類似性から見れば、本調査で確認されたかわらけ埋納遺構は、基本的に草戸千軒町遺跡と同質と考えてよいだろう。

鈴木はこれを遺構整地の際の儀器＝廃棄儀礼と解釈している(11)。

これに対し吉岡康暢の反論が存在するが、その論拠として「鈴木が想定するような大量投棄は一般的に認知されておらず」と指摘する。また、祭祀的性格というより、ごみの一括投棄として、建物の廃絶時にまとめて棄てた可能性を指摘している。引越しのときに不要な食器を棄てて行ったということだ。

鈴木論への指摘と別に、吉岡自身はおもに京におけるかわらけ埋納遺構を例にとって、11世紀から13世紀ごろのかわらけ埋納遺構の位置づけとして「君臣秩序の確認の場としての饗応空間」を設定している。これは多分に政治的側面を掘り下げた解釈であるが、その前提が京という都市の持つ政治性であることはいうまでもない。一方で吉岡は「貴賤共有の基層信仰」としての、中世びとのかわらけ観をも説いている。饗宴・儀礼的性格と使い捨て雑器としての二面性である。吉岡の論で留意すべき点は、主に10世紀から13世紀までの、初期かわらけ埋納遺構について論じている点である。鈴木・吉岡の両論は本論の展開に大きく関るため、まず以上の点を整理・確認しておく。

次に本調査で確認したかわらけ埋納遺構を、その出土状況から大きく三つに分類する。

かわらけ埋納遺構A類

完器の土師質皿類を、八ないし十枚を一単位として上向きに重ねた複数セット土坑内一杯に充填するように納めるもの。動物遺体・銭貨を伴う。多くの皿のうち、一、二枚だけに穿穴あるいはタールの付着が認められる場合がある。タールの付着は皿口縁をぐるっと一周するもので、まれに口縁だけでなく体部、底部まで認められるものもある。

かわらけ埋納遺構B類

完器の土師質皿類を、A類の一単位だけ、あるいはこれを簡略化してさらに枚数を減らしたものを一組だけ上向きに重ねたもの。埋没時の土圧で倒置している例が多い。獣骨片・銭貨を伴う。

かわらけ埋納遺構C類

破損した状態のものがほとんどで、ランダムに散らばって出土するもの。破片の陶磁器・土器類金属などと混在する。

筆者はこのうちA類とB類が祭祀行為に伴うもので、C類は単純な使用済み食器の投棄と考えている。C類の場合も、ごみとしての動物遺存体・銭貨が共伴する。

AおよびBを単純な投棄と考えない一義的理由は、①使用痕跡のない完器が主体である②ある一定単位の枚数を丁寧に重ね、かつ土坑に充填するように並べる③穿孔④灯明皿の使用痕としては著しいタールの付着状況が、一枚ないし二枚にのみ見られる、などがある。

二義的理由としてこれに動物遺存体が共伴する点を考えるが、動物遺存体の共伴＝祭祀とならないことは、廃棄的出土状況を示すC類の例で明らかである。

なお、動物遺存体分析によると、筆者が祭祀遺構とするものから出土した動物遺存体種の出土傾向に一貫性はなく、動物遺存体の出土を持って単純に祭祀的性質と結びつけることは難しい。埋土の堆積過程でのコンタミネーションと原位置での出土とをどこまで厳密に分けうるかが、祭祀遺構としての実証性を高めていく上での今後の課題であるといえよう。シカ・タイというような祭祀儀礼に供される動物種が含まれるが、今回の調査精度では一般的な食材残滓との違いを証拠立てることは難しい。この点も調査の段階から動物遺存体の厳密な計量化を前提として遺構検出を行うことで、今後もう少し掘り下げた議論が可能になるのではないかと考える。この指摘は真摯に取り組むべき課題として、ここ明記しておく。

さて、以上の分類を前提として、再び吉岡のかわらけ遺構論に立ち戻ろう。

「一般的に類例がない」という指摘には、本報告そのものが類例である。

次に「町割りや建物の造改時に土器類を更新した可能性がある」という指摘については、ならばなぜ、丁寧に重ねて、かためて、穴を穿ち、かわらけに特化して棄てるのか、という説明が必要である。ただし草戸千軒町の例では、本調査で取り上げた要素四つの内三つ（重ねる・かわらけに特化する・穿孔する）が議論の対象とされていないことから、本調査例を草戸のかわらけ遺構に対する吉岡論への直接の反証とするのはフェアでない。本調査の例は完全な同質類例というより、草戸例の発展型あるいは変形と捉えるべきであろう。

ただ、吉岡の「建物の造改時に」という指摘については、本調査SH701に伴うかわらけ出土状況で顕著なように、その可能性が高いと考えられる。実はこの部分に関しては、鈴木の論考も同質である。今回単体の土坑として検出した例も、礎石建物の範囲内で確認したものの中には、建物に伴う場合があるのではなかろうか。特に建物南東端（兵庫津の町割りでは南東の妻部分）に位置するものが多い事から、この場所を選んで建物の更新時に祭祀行為を行った可能性を考える。

具体的な儀式の手順は不明である。単純に皿を重ねて埋める行為そのものが儀礼でなさそうなのは、SP418での動物遺体共伴例から明確である。つまり皿は「物を盛る」という本来的役割を祭儀の中で果たしていた可能性が高い。

妄想を逞しくすれば、神道の祭壇のように獣肉、穀類などを盛るのに用いられたとも想像される。祭壇で祭りを行ったあと、皿は大地に穿った穴に片付けられる。だとすると正確には、「祭祀後片付け土坑」と呼ぶべきなのかもしれない。神饌は共食されたか皿とともに土に返されたか。

多くのかわらけの中に一枚ないし二枚程度、タール痕が著しく付着するものが認められる事例がままあることから、埋められたかわらけの中には、油を満たして火を燈す皿もあったようである。穿孔例があるものについては、器に穴を穿つという行為は古代以来のまつりとして広く認識されている。中には直接土坑に供物した可能性を残すものもある。皿の出土状態が、重なり合わず比較的ばらけている場合である。この場合のみが、直接的な祭祀土坑と評価されて適切であろう。

表9　かわらけ埋納遺構一覧表

番号	遺構番号	平面形	時期	分類	金属器	動物遺存体	出土土器
1	SK301	楕円形	16世紀	A類			土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿　土師質土器・煮炊具（羽釜）
2	SP319	円形	不明	B類			土師質土器・皿
3	SP344	瓢箪型	15世紀	A類	鉄釘		土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿　東播系須恵器　鉢
4	SP348	不整円形	14-15世紀	不明			土師質土器・小皿　土師質土器・中皿
5	SK411	楕円形	16世紀	A類	鉄釘・銭	イタボガキ科	土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿
6	SK412	円形？	16世紀	A類	鉄釘		土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿
7	SK414下層	不整円形	16世紀	不明		フグ科	土師質土器・小皿　土師質土器・中皿
8	SP418	円形？	14-16世紀	B類		ニホンジカ	
9	SK505	楕円形	14世紀	A類		タイ科・ネズミ科・	土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿　東播系須恵器　鉢　石鍋
10	SK506	円形？	14-15世紀	A類	鉄釘	タイ科	土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿
11	SK512・SP569	瓢箪型	14-15世紀	C類	鉄釘		土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　東播系須恵器　鉢　東播系須恵器　鉢　備前焼壺　輸入青磁　碗
12	SK513	楕円形	15世紀	A類		ハモ属・フサカサゴ科・タイ科・マダイ・イノシシ/ニホンジカ	土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿　東播系須恵器　鉢　古瀬戸卸皿
13	SK516	円形	14-15世紀	A類		マダイ	土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿
16	SP555	円形	14-15世紀	B類			土師質土器・小皿　土師質土器・中皿
17	SK604	不整円形？	14-15世紀	A類			土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿
14	SK606	楕円形？	15世紀	B類			土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿　瓦質土器　羽釜
5	SK607	円形	14-15世紀	A類			土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿　瓦質土器　鉢
15	SK608	楕円形？	14-15世紀	B類？		イノシシ/ニホンジカ	土師質土器・小皿　土師質土器・中皿
18	SK610	円形？	15世紀	C類	鉄釘	マダイ・	土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿　東播系須恵器　鉢　輸入青磁碗　古瀬戸天目茶碗
19	SP639	瓢箪型	14-15世紀	B類		エソ科・タイ科・カレイ科	
20	SK711	不整方形	14世紀	C類	鉄釘	タイ科・カモ科	土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿　瓦質土器　碗
21	SK717	円形	14世紀	A類	鉄釘		土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿　土師質土器　煮炊具　瓦質土器　鍋
22	SX701	楕円形？	15世紀	A類？	鉄釘		土師質土器・小皿　土師質土器・中皿　土師質土器・大皿　瓦質土器　摺鉢
23	SH701土器溜り	土器溜	15世紀	A類			土師質土器・小皿　土師質土器・中皿
24	SH703土器溜り	土器溜	14世紀	A類			土師質土器・小皿　土師質土器・中皿

また、用いられたかわらけには一定のサイズ規格があった。それぞれ小皿（８cm前後）・中皿（11cm前後）・大皿（15～18cm前後）と分類したものである。これは生産段階での規格であり、祭祀の作法と直接のかかわりはないのだろうが、儀礼にはこの三種類の皿が混在して用いられたことがわかる。

以上、今回の調査で見るかわらけ埋納遺構には、いくつかの類型があることを指摘した。このことから導き出されるものは、中世祭事場でのかわらけの多様な用法であり、儀礼の締めくくりに一括で土中に納められるという一貫性でもある。

かわらけのもつ呪的意義は、ここから生まれる。祭祀という非日常の一瞬のためだけの、持続しない存在。そこから大量消費・大量流通という現象が起きる。鈴木の言う「かりそめの器」であり、清少納言の語る「きよし」存在である。

今回の調査では、13世紀から16世紀までの、かわらけ埋納遺構を確認することができた。このことから、少なくともかわらけのまつりは中世を通して兵庫津で盛行していたと考えられる。兵庫津での初源については明らかではない。織豊期にいっせいに姿を消すのは、社会構造の変化を要因とすると考えられる。中世的心性の喪失である。17世紀以降の遺構から出土するかわらけは、出土量も少なく、その役割は灯明皿という実用に特化され、呪的・非日常的意義は遠く失われている。

最後に、もう一度吉岡・鈴木のかわらけ論に立ち戻ろう。吉岡は主に権力的側面から儀礼を解釈しているが、それは取り上げている事例が鈴木のよって立つ遺構と異質だからである。鈴木の事例は庶民のもの、吉岡の事例は支配階層のものである。それは貿易都市と政治都市という、まつりの行為された土地そのものの差異であり、吉岡自身がかわらけの二面性として指摘するとおりでもある。

両者は広義にはどちらもかわらけのまつりだが、その意味するところは、行われる場の属性に左右された。一方でかわらけの非日常性、かりそめの存在という、中世人に共通の理解も存在する。

大前提として、かわらけの持つ祭器としての意義は中世びと共通である。しかしその人の社会的地位によって、あるいは行われた時代によって、かわらけのまつりが願うところは多様に変化したのではなかろうか。なお今回の調査では遺構毎に出土状況に微差があるが、これは庶民化したあとの祭儀の手順にいくつか類型が存在した可能性を示している。人々の願いとありようは一律でなく、振れ幅があったと捉えたうえで今後分類・考察を進めていくべきではないか。

今回の調査事例は草戸例の類例であるとともに、吉岡論の発展型でもあると筆者は考える。すなわち、10世紀に始まり13世紀ごろまでに支配階級の儀礼として確立されたかわらけの習俗が、社会の中世化に伴い庶民の域にまで拡大し、より多様化していった形ではないかと見る。当初の政治的意義が脱落して、13世紀以降はかわらけの持つ再生や復活という呪的性格の部分が強調され、庶民の間に拡散していく社会現象である。鈴木も10世紀初頭の広島県ザブ遺跡での例に関しては、草戸千軒町遺跡と異なりその政治性を明確に指摘している。

13世紀以降16世紀までを中心とした本調査の事例は、出土状況から鈴木の言うような整地・建物の廃絶に伴う儀礼という解釈が現時点で最も妥当と思われる。しかし、そこに権力的意義はない。恙ない日常を土地神に祈る、中世庶民のささやかな心がある。あるいは草戸千軒町遺跡と兵庫津遺跡、ともに中世湊町・瀬戸内航路の門前という共通性を思えば、海辻の町に多く例を求めることのできる習俗かも知れない。

6．小結

以上、土器消費、兵庫津初源期の建物構造、町屋構造の変化、祭祀行為、についてそれぞれ雑駁な考察を試みた。

このうち竪穴建物の問題については、時期認定のブレという問題も含めて今後事例が増加した時点で再考したい。その中には竪穴建物＝鎌倉幕府系の建築様式という理解が兵庫津にも適用できるのか、13世紀ごろ兵庫津という都市空間がどのような地理的広がりを見せていたのか、職能民の集住区などが存在したのかなど、都市そのものの歴史的評価に大きく関わる問題も多数含まれる。具体的な中世兵庫津像を描き出していく上で、反証なり実証なりが必須なテーマである。

その他、土器消費という切り口から見れば、17世紀と16世紀の間に明瞭な画期がある。中世的な手捏土師質皿類の消失と丹波焼の拡散に始まり、肥前系陶磁器の爆発的流行である。

それに比べると町屋構造の変遷はもう少し細かく把握できているが、やはり16世紀前半あたりで画期的な飛躍を遂げる。

かわらけ祭祀の終焉という形で兵庫津の住人たちが中世的な心性を失っていくのも、16世紀を境とする。

これらの変化の背景にあるものは、織豊期を経て近世への扉を開いていった社会構造の変化そのものであろう。かつて網野善彦が鮮やかに描き出した原初的日本人から、近世的日本人への変化がそこにある。

これまで兵庫津遺跡については兵庫県教育委員会による優れた土器研究を除き、中世の姿を振り返る機会があまりなかったのではないかと思われる。司馬が見出した軽やかな嘉平像とも重なって、近世遺跡としてのイメージが先んじて一人歩きしてきた感もある。しかし、そこに至るまでには千年以上の文化的蓄積があったことを我々は忘れてはならない。長い長い兵庫津の物語の中で、近世は大いなる一幕ではあるが、序破急の作法で言えば急の部分にあたる。序があり破を越えて初めて、すべて人も物も必然としての急に辿り着く。

《謝辞》

本書の作成にあたり、丸山潔、丸山真史、黒田恭正、中村大介の諸氏より教示と指導を賜った。特に現場での遺構写真撮影に関して丸山潔から、土器の観察に関して黒田から多くのものを与えられた。また奈良文化財研究所の丸山真史氏から、今後の兵庫津遺跡における動物遺存体調査のあり方を考えさせられる教示を得た。筆者の力量不足が原因となって、これら先達から投げかけられたものに値する成果を残せたかは、はなはだ疑問であり、発掘調査報告書としてあまりにも雑駁かつ拙い出来ながら、ともかくも諸氏の導きなしに本書が刊行にいたることはなかったであろう。この場を借りまして心より御礼申し上げます。

《注》

（１）Ｇ・Ｗ・スキナー『中国王朝末期の都市：都市と地方組織の階層構造』　晃洋書房　1989

（２）原田伴彦「中世における都市の研究」『原田伴彦論集第一巻』　思文閣　1984

（３）伊野近富「かわらけ考」『京都府埋蔵文化財論集　第１集』（財）京都府埋蔵文化財調査研究センター　1987

伊野近富「土師器皿」『概説　中世の土器・陶磁器』　真陽社　1995

（４）『兵庫津遺跡Ⅱ』　兵庫県教育委員会　2004

（５）『よみがえる中世　３　武士の都鎌倉』　平凡社　1989

（６）宮本常一『絵巻物による日本庶民の生活誌』　中公新書

梅津次郎編　「粉河寺縁起・吉備大臣入唐絵」『新修日本絵巻物全集　６』　1977　角川書店

奥平英雄編「信貴山縁起」『新修日本絵巻物全集　３』　1976　角川書店

（７）堂込秀人「竪穴建物」『季刊考古学』第85号　雄山閣　2003

堀内明博「穴蔵に関する遺構群を巡って」『関西近世考古学研究』Ⅲ　関西近世考古学研究会　1992

（８）斎木秀雄「方形竪穴建築址の構造」『よみがえる中世　３　武士の都鎌倉』　平凡社　1989

（９）高久智広「江戸時代の港湾都市・兵庫津の都市空間を読む」『特別展　よみがえる兵庫津－港湾都市の命脈をたどる－』　2004　神戸市立博物館　図録

(10)吉岡康暢「カワラケ小考」『国立歴史民俗博物館研究報告』第74集　国立歴史民俗博物館　1997

(11)鈴木康之「土師器系土器－中世土器に与えられた意味―」『季刊考古学』第85号　雄山閣　2003

鈴木康之「カワラケとその用途」『よみがえる中世』８　平凡社　1994

鈴木康之「土師質土器の用途に関する研究ノート」『草戸千軒』197・198　1989

《参考文献》

堀内明博「都市の機能と住人」『図解・日本の中世遺跡』東京大学出版会　2001

宇佐見隆之「港町の成立過程をめぐって」『国立歴史民俗博物館研究報告』第113集　国立歴史民俗博物館　2004

宇野隆夫「中世食器様式の意味するもの」『国立歴史民俗博物館研究報告』第71集　国立歴史民俗博物館　1997

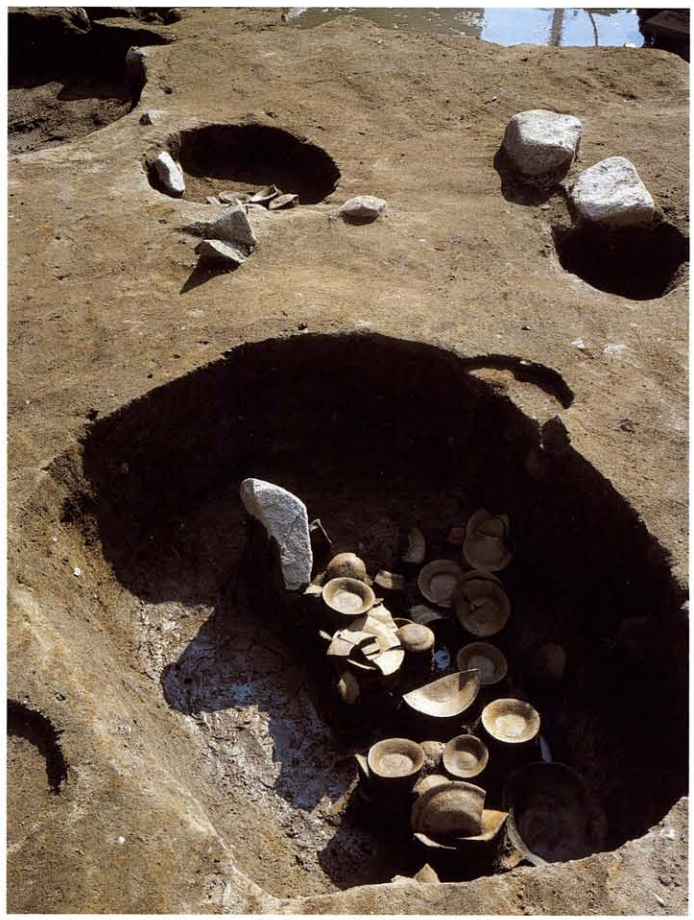
網野善彦「無縁・公界・楽」『網野善彦著作集　第12巻』　岩波書店　2007

写　真　図　版

1. 第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK505)
土器出土状況(北から)

2. 第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SP555手前・SK513奥)
土器出土状況(東から)

3. 第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK516)
土器出土状況(南から)



4. 第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK508)
土器出土状況(東から)

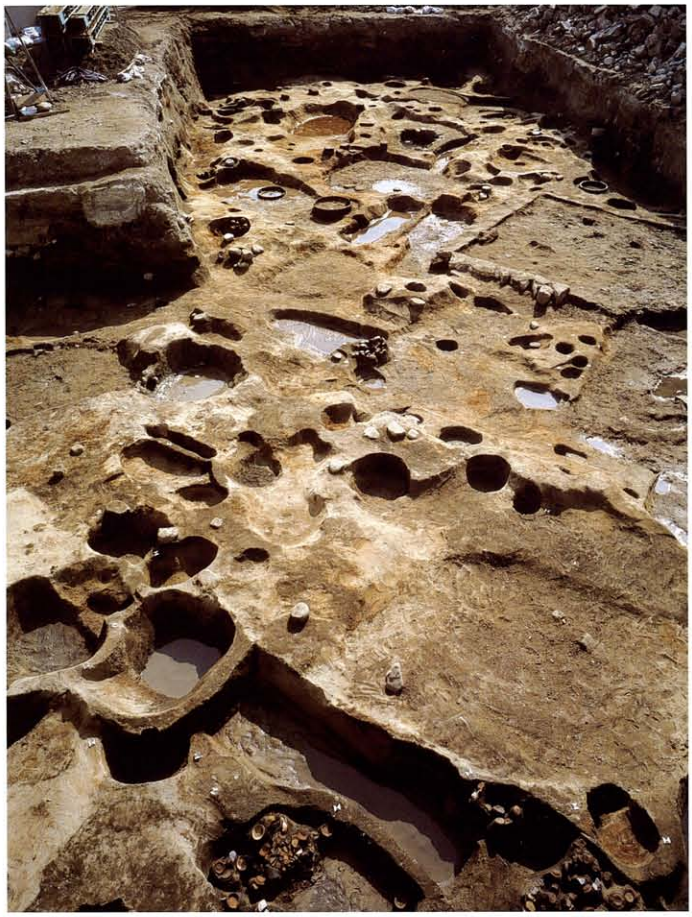
5. 第5遺構面　かわらけ埋納遺構
(SK512・左　SP569・右)土器出土状況
(北東から)

6. 第5遺構面　かわらけ埋納遺構
(SK512・奥　SP569・手前)土器出土状況
(北西から)

7. 第5遺構面　かわらけ埋納遺構
(SK513)土器出土状況(北から)

8. 第5遺構面　かわらけ埋納遺構(SK505)土器出土状況(北から)

9. 第5遺構面　かわらけ埋納遺構
(SK506手前・SK505奥)土器出土状況(北から)



10. 第7遺構面全景（北から）

11. 第7遺構面　堀状遺構（SD701）かわらけ埋納遺構（SK711）土器出土状況（北から）

12. かわらけ埋納遺構（SK711）土器出土状況（北から）

13. 第7遺構面　落ち込み状遺構（SX704）検出状況（北から）

14. 第7遺構面Ⅳ区全景（南から）

15. 第7遺構面Ⅳ区全景（北西から）

16. 第7遺構面　竪穴建物（SH701）
北西部検出状況（北から）

17. 第7遺構面　落ち込み状遺構(SX704)
壁体周辺ピットおよび礎石検出状況
(南西から)

18. 第7遺構面　かわらけ埋納遺構
(SK717・手前)竪穴建物(SH703・奥)
検出状況(北東から)

19. 第7遺構面　竪穴建物(SH704)土器溜
土器出土状況(北西から)

20. SX201出土土器

21. SX203出土土器

22. SX204出土土器

23. SD201出土土器

24. SP203出土土器

25. SP234出土土器

26. SP205出土土器

27. SK204出土土器

28. SK505出土土器

29. SK513出土土器

30. SK516出土土器

31. SP639出土土器

32. SK607出土土器

33. SH703出土土器

34. SD701出土土器

35. SX704出土土器

36. Ⅰ区第1遺構面　全景（南から）

37. Ⅰ区第2遺構面
（SP204左・SP205右）
胞衣壷出土状況（南から）

38. Ⅰ区第3遺構面　壁立建物
（SH301）および街路検出状況
（東から）

39. Ⅰ区第3遺構面　井戸(SE301)検出状況(東から)

40. Ⅰ区第3遺構面　井戸(SE301)断ち割り状況

41. 第4遺構面　全景(南東から)

42. Ⅰ区第5遺構面　礎石立建物(SH501)
検出状況(東から)

43. Ⅰ区第6遺構面　掘立柱建物
(SH601)検出状況(東から)

44. Ⅰ区第7遺構面　全景(南から)

45. Ⅱ区第1遺構面　全景(南東から)

46. Ⅱ区第2遺構面　全景(南東から)

47. Ⅱ区第2遺構面　(SP230左・SP231右)(南から)

48. Ⅱ区第3遺構面　全景（北西から）

49. Ⅱ区第3遺構面　円形石組遺構（SX401）
検出状況（北西から）

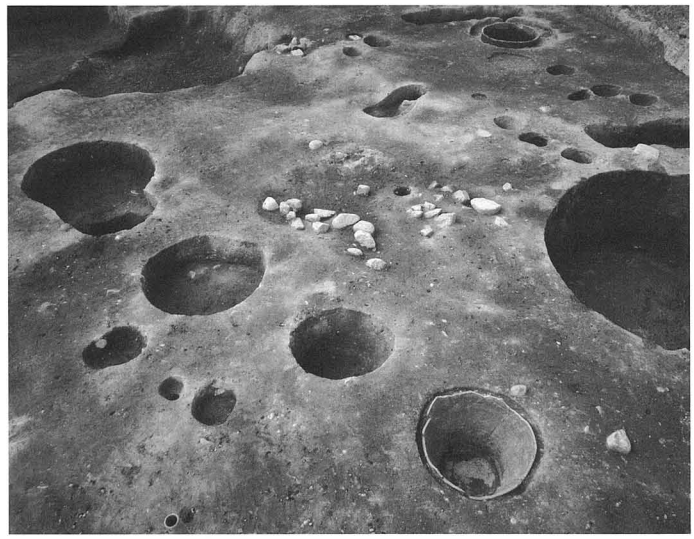
50. Ⅱ区第4遺構面　全景（北西から）

51. Ⅱ区第5遺構面　全景（北西から）

52. Ⅱ区第7遺構面　全景（北西から）

53. 第2遺構面　全景（南東から）

54. 第3遺構面　全景（南東から）



55. 第2遺構面　便所遺構
手前からSK204・203・202・206・201（南西から）

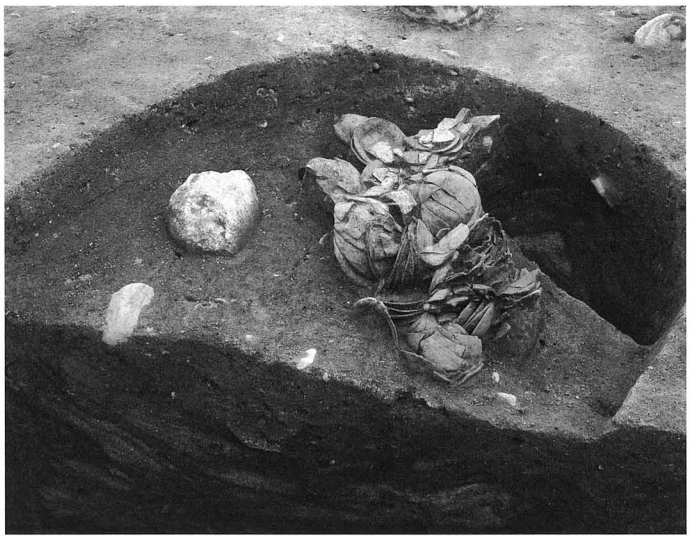
56. 第3遺構面　床に暗渠構造のある壁立建物（SH303）
（南東から）

57. 第3遺構面　井戸(SE302・手前)　壁立建物(SH303・奥)(南東から)

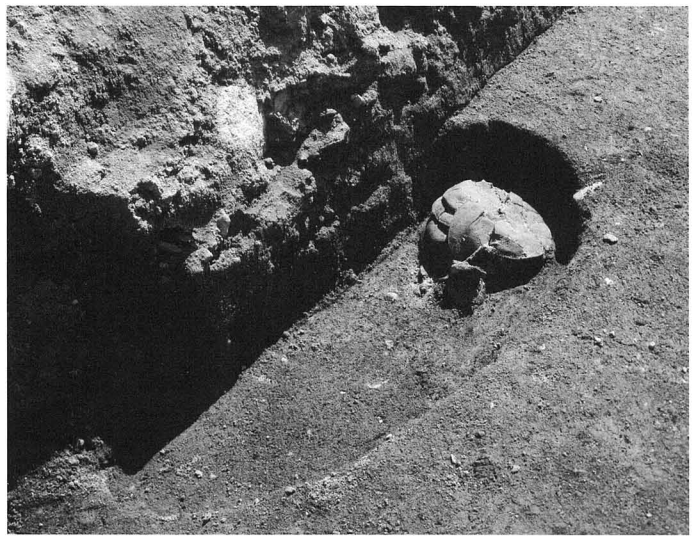
58. 第3遺構面　井戸(SE302)断ち割り状況

59. 第3遺構面　かわらけ埋納遺構(SP319左・SK301右)土器出土状況(東から)

60. 第4遺構面　全景(南東から)

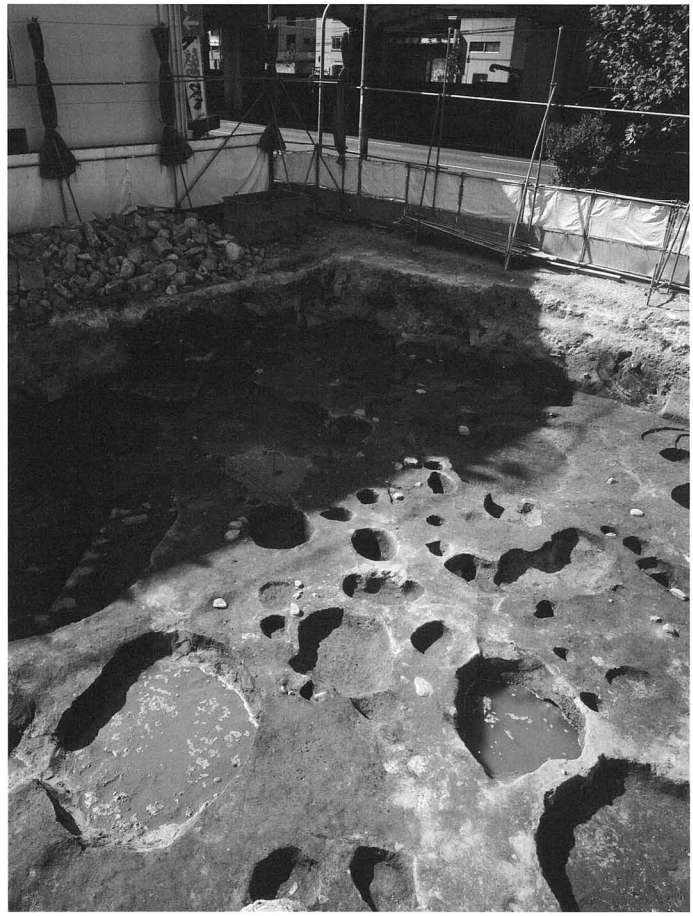


61. 第4遺構面　かわらけ埋納遺構(SK412)
土器出土状況(西から)

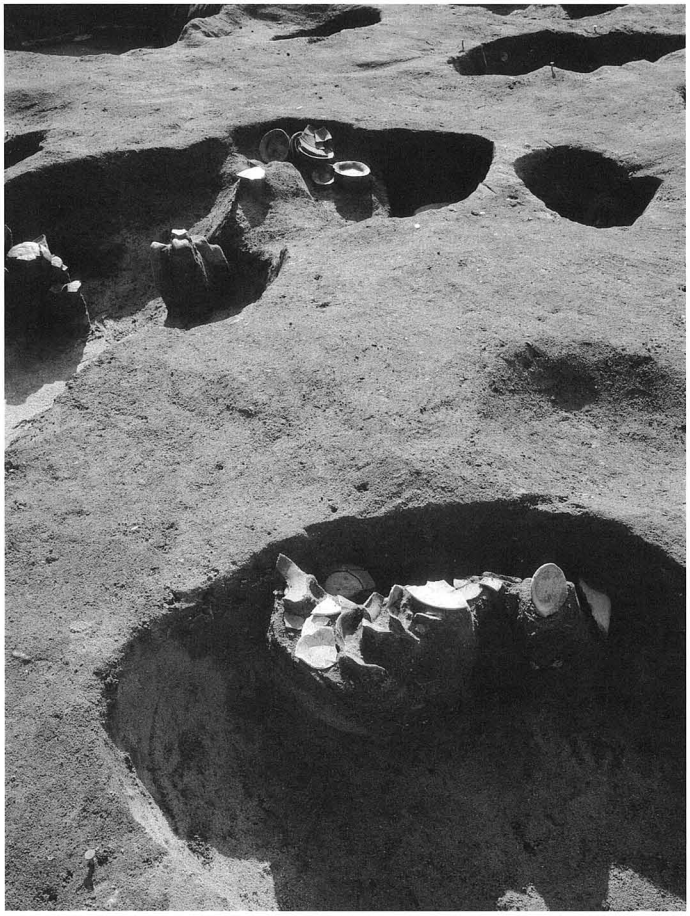


62. 第4遺構面　かわらけ埋納遺構(SP418)
土器出土状況(北西から)

63. 第5遺構面　全景(南東から)

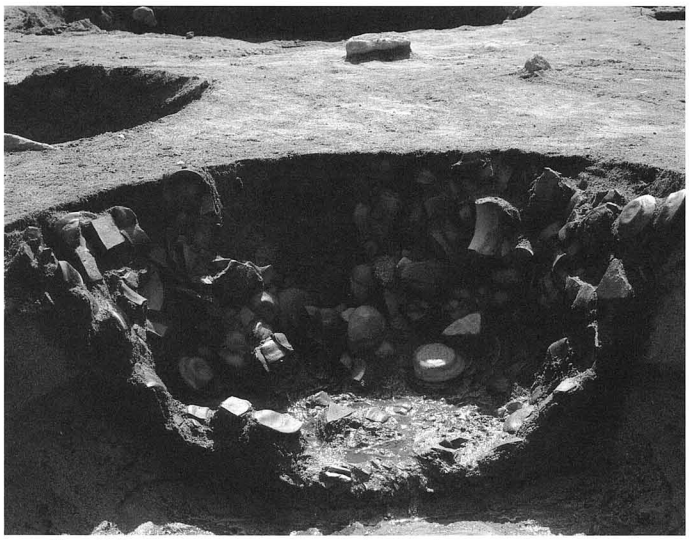


64. 第6遺構面　全景(南東から)

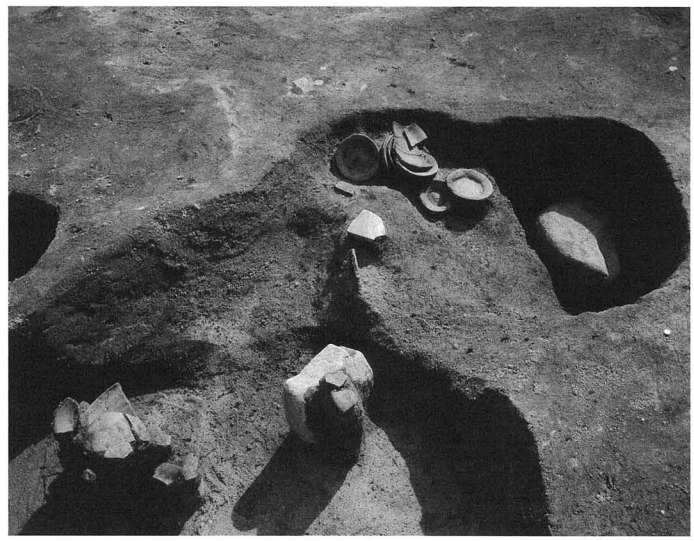


65. 第6遺構面　かわらけ埋納遺構(SK604手前・SK639奥)
土器出土状況(北西から)

66. 第6遺構面　かわらけ埋納遺構(SK607)
土器出土状況(南東から)



67. 第6遺構面　かわらけ埋納遺構(SK610)土器出土状況
(北東から)



68. 第6遺構面　かわらけ埋納遺構(SP630)
土器出土状況(北西から)

69. 土器質小皿A類

70. 土器質小皿B1類

71. 土器質小皿B2類

72. 土器質中皿A類

73. 土器質中皿B1類

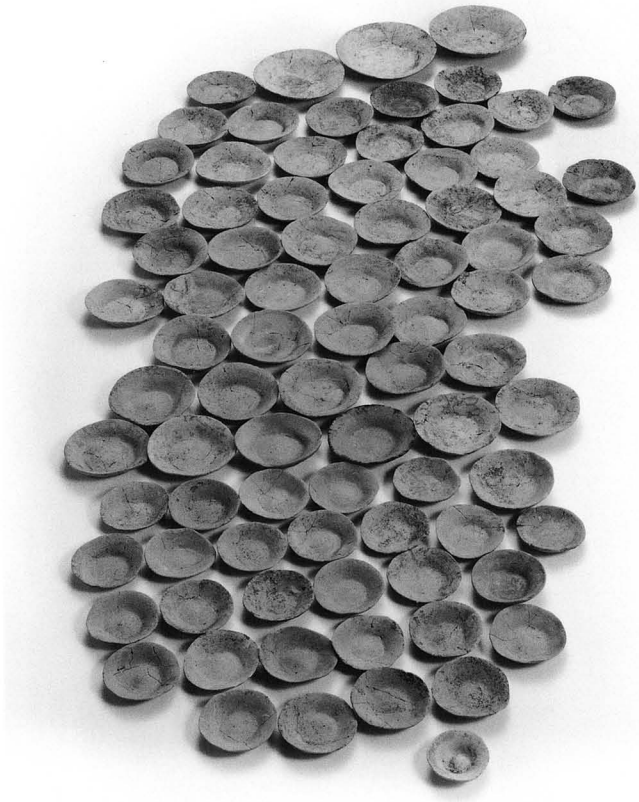
74. 土器質中皿B2類

75. 土器質大皿A類

76. 土器質大皿B類

77. SP208出土土器

78. SP418出土土器



79. SK412出土土器

80. SP438出土土器

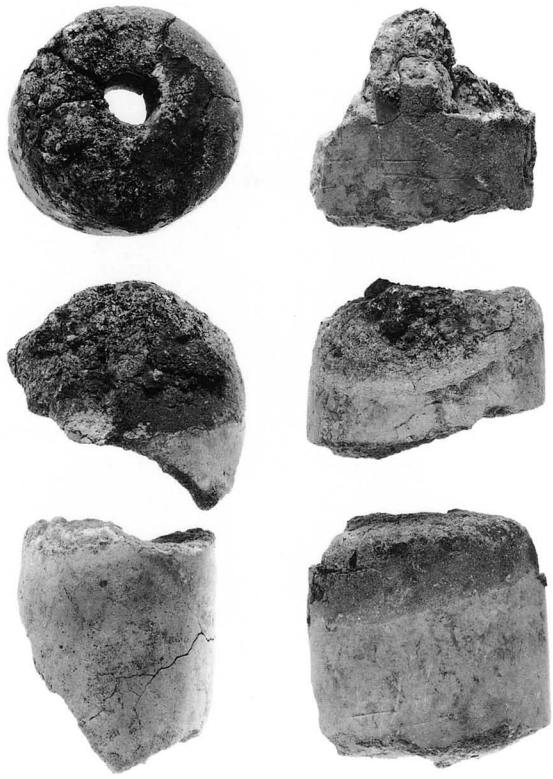
81. SK502出土土器

82. SK717出土土器

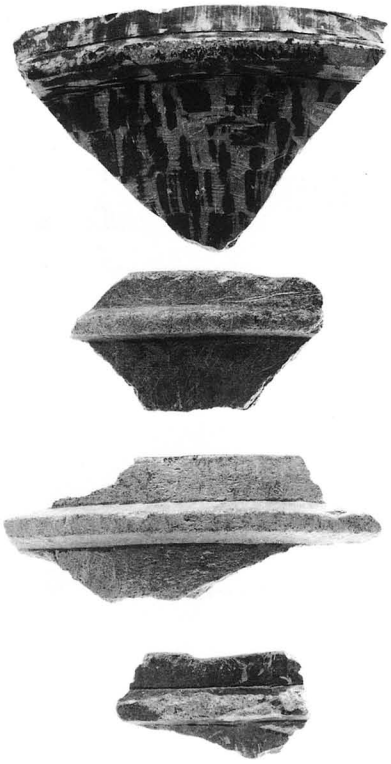
83. SK728出土土器

84. SH704出土土器

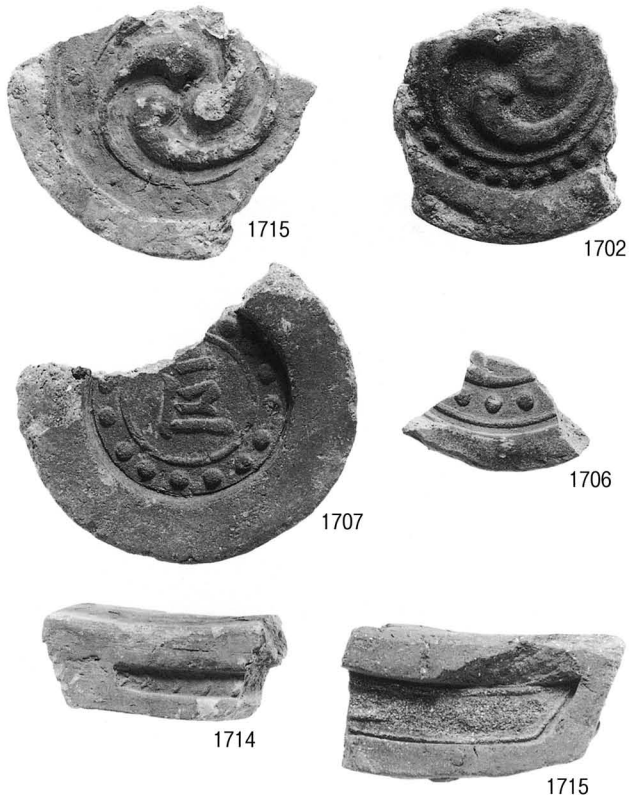
85. SH706出土土器



86. 整地層ほか出土・鞴羽口

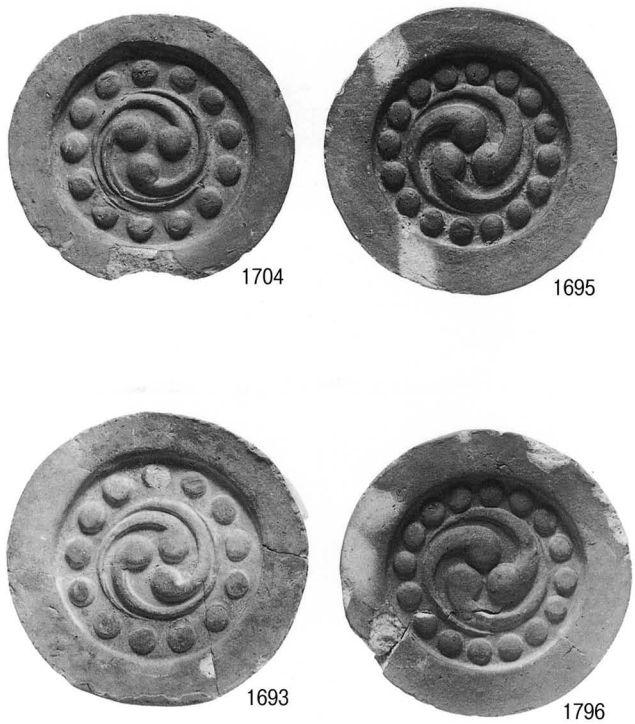


87. 石鍋

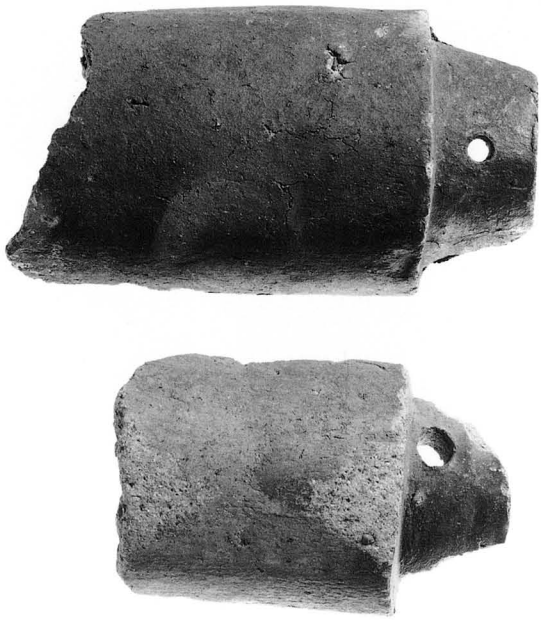


88. 中世軒丸瓦および軒平瓦

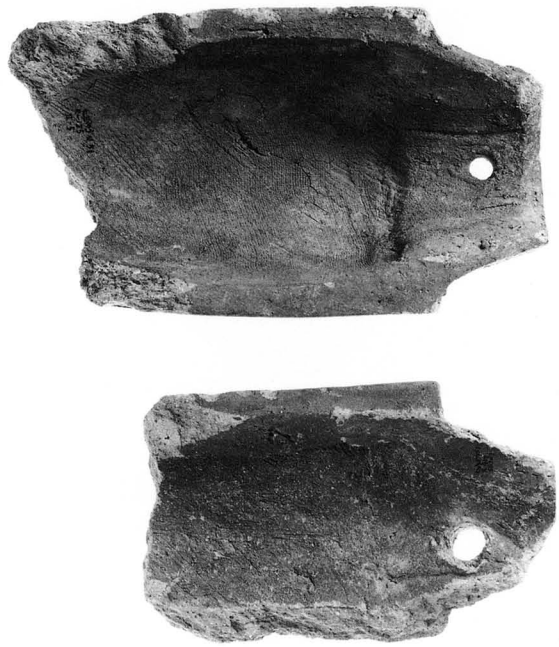
89. 近世軒丸瓦



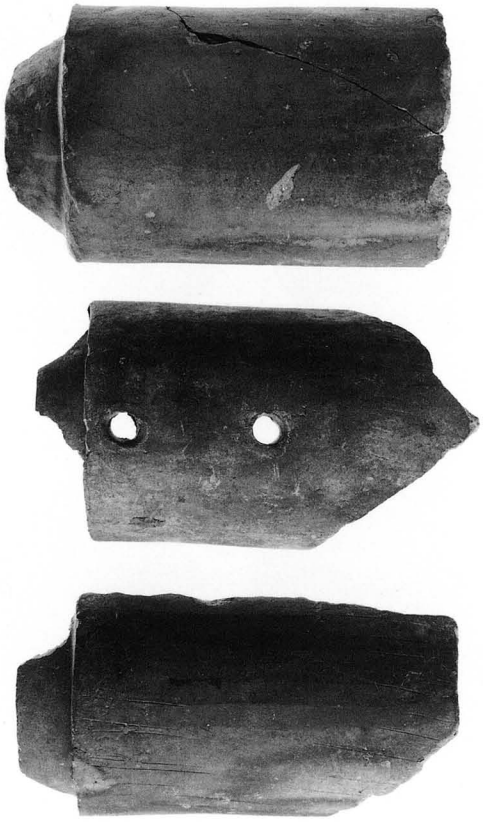
90. 近世軒丸瓦



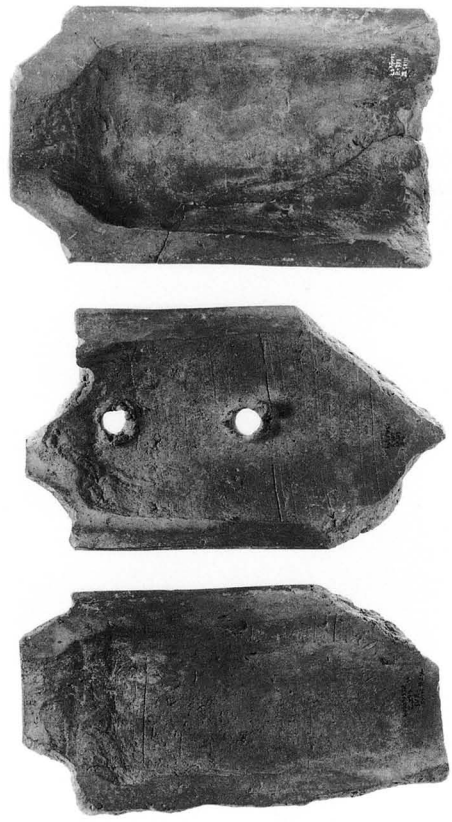
91. 中世丸瓦凸面



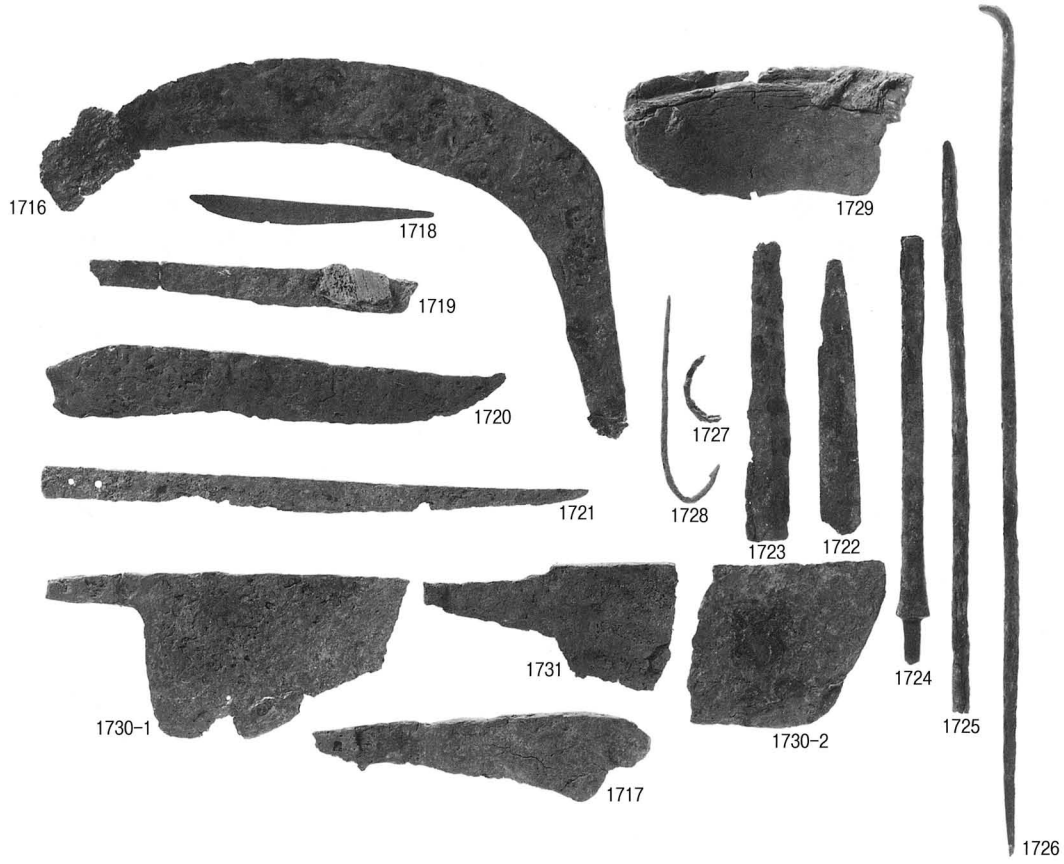
92. 中世丸瓦凹面



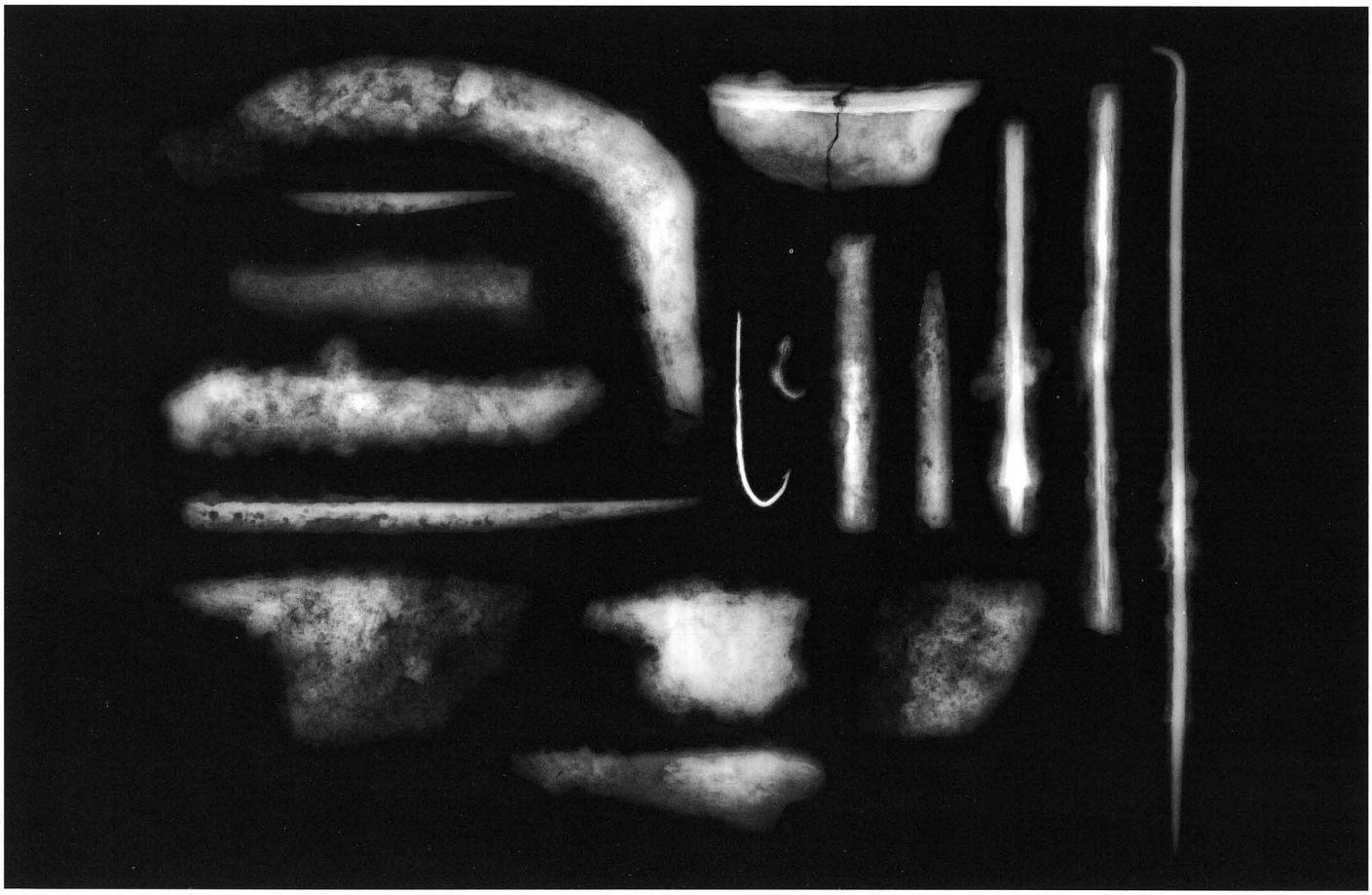
93. 近世丸瓦凸面



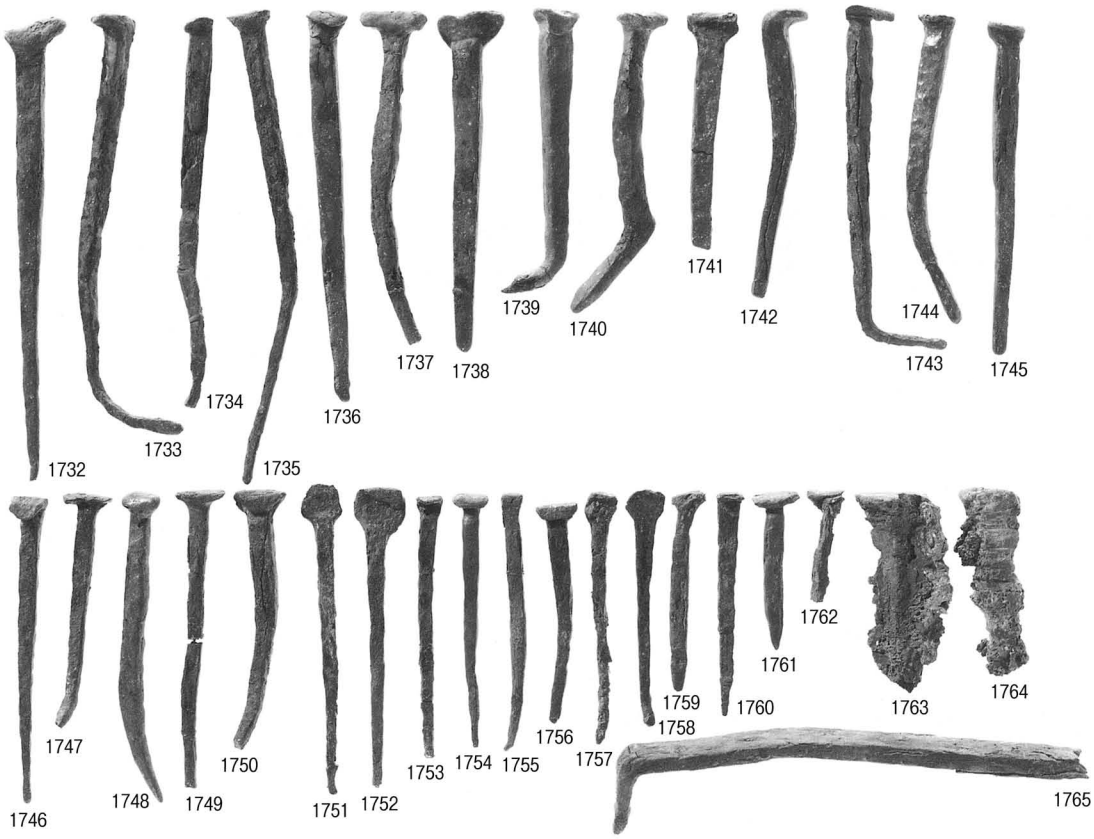
94. 近世丸瓦凹面



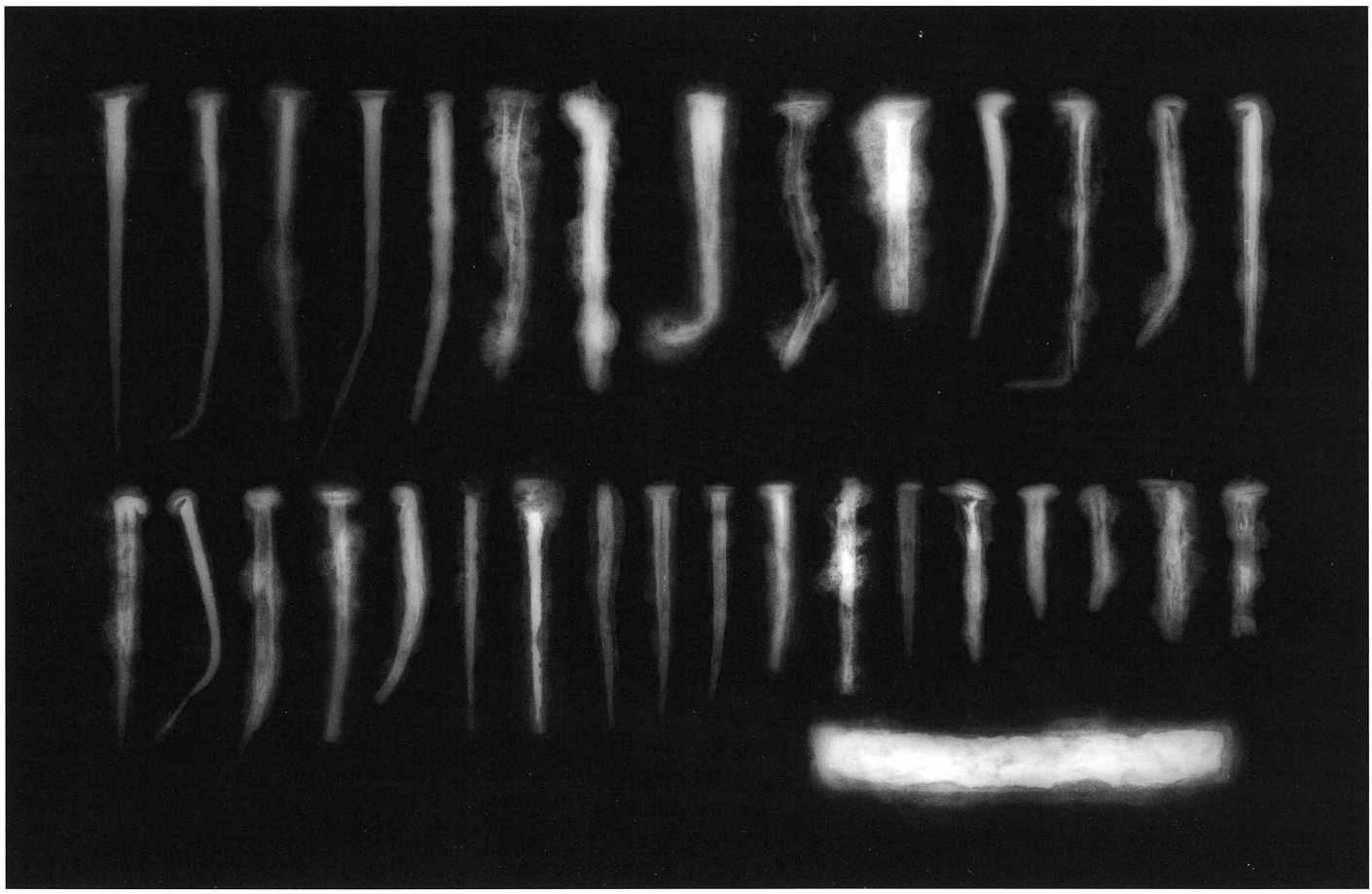
95. 兵庫津遺跡第51次調査出土　鉄製品



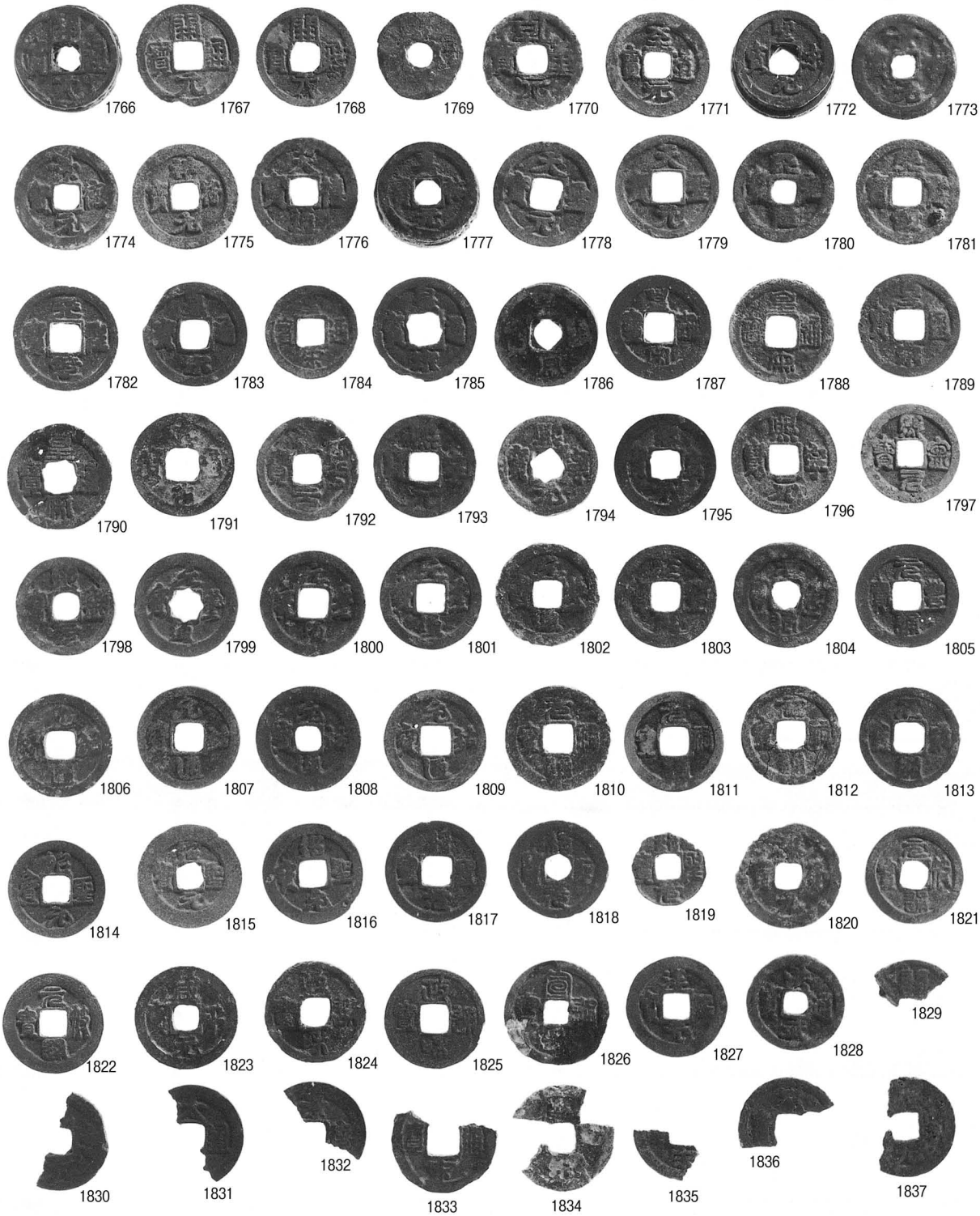
96. 同上　X線透過像



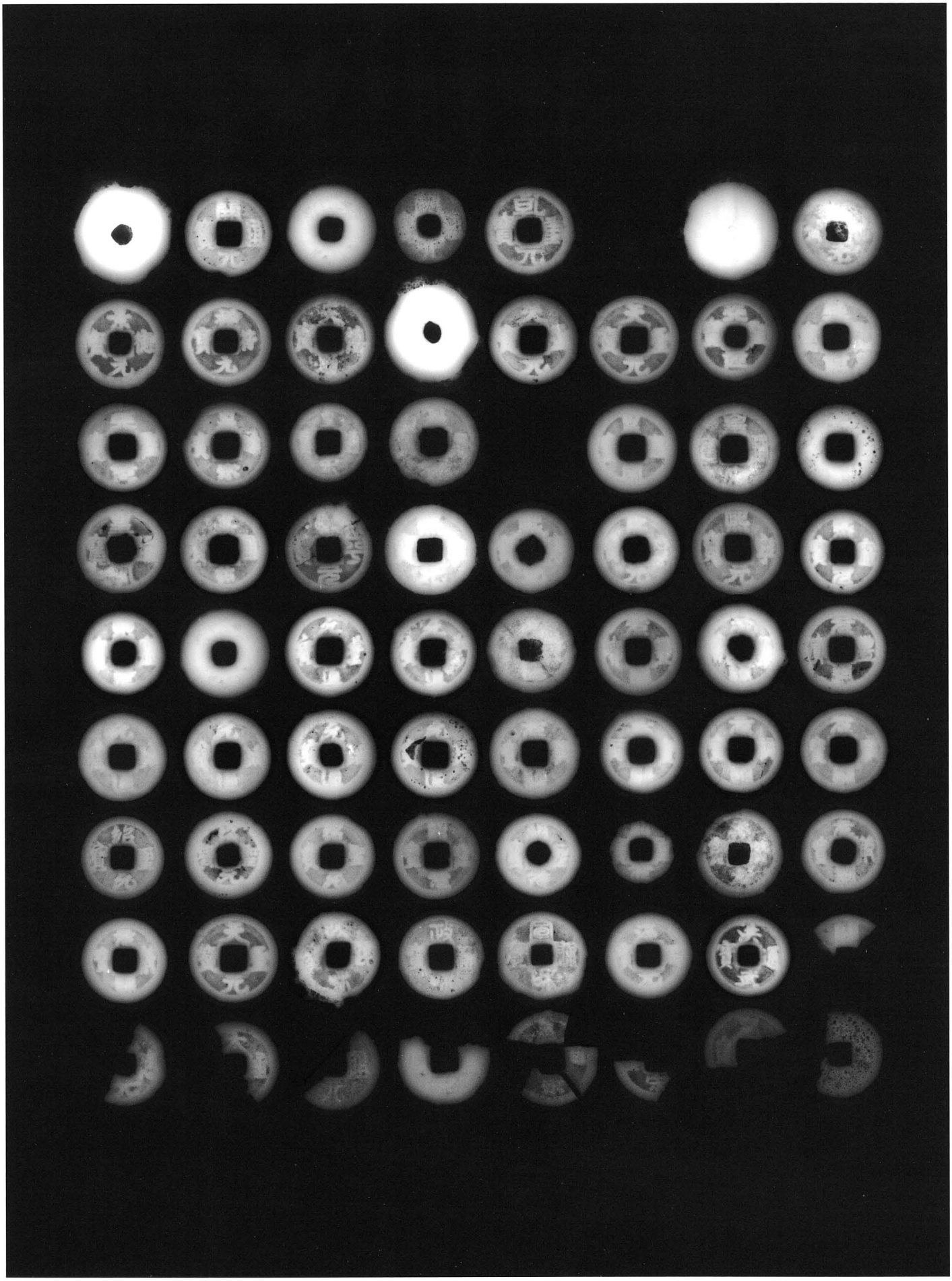
97. 兵庫津遺跡第51次調査出土　鉄製建築材



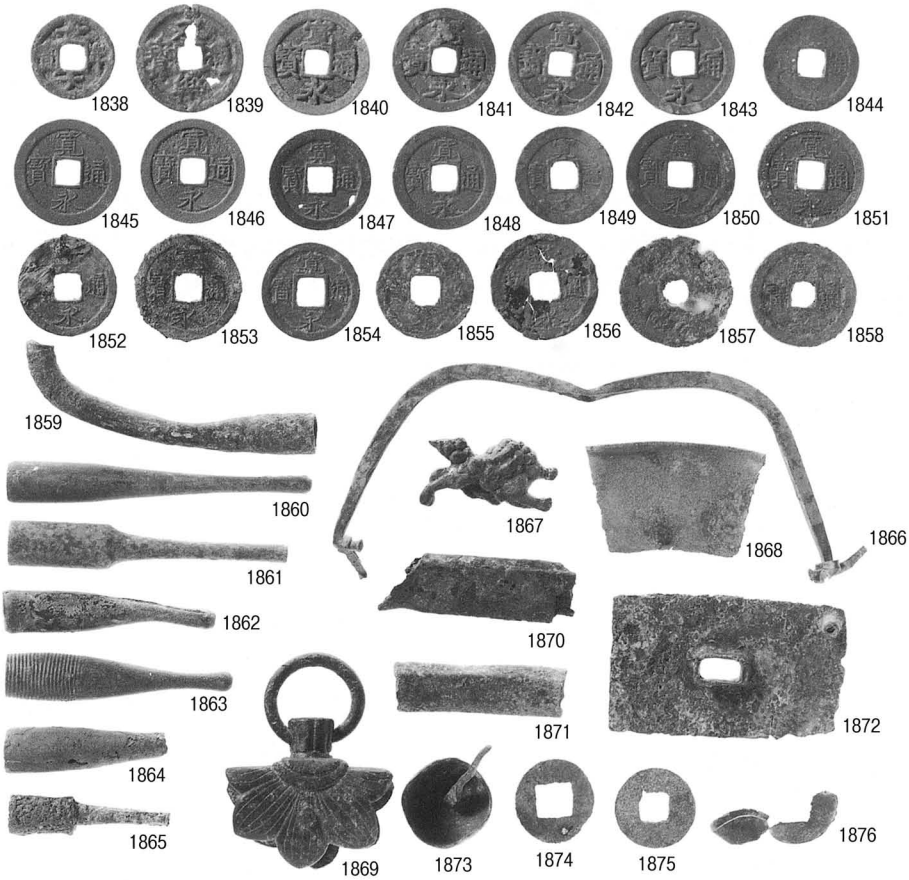
98. 同上　X線透過像



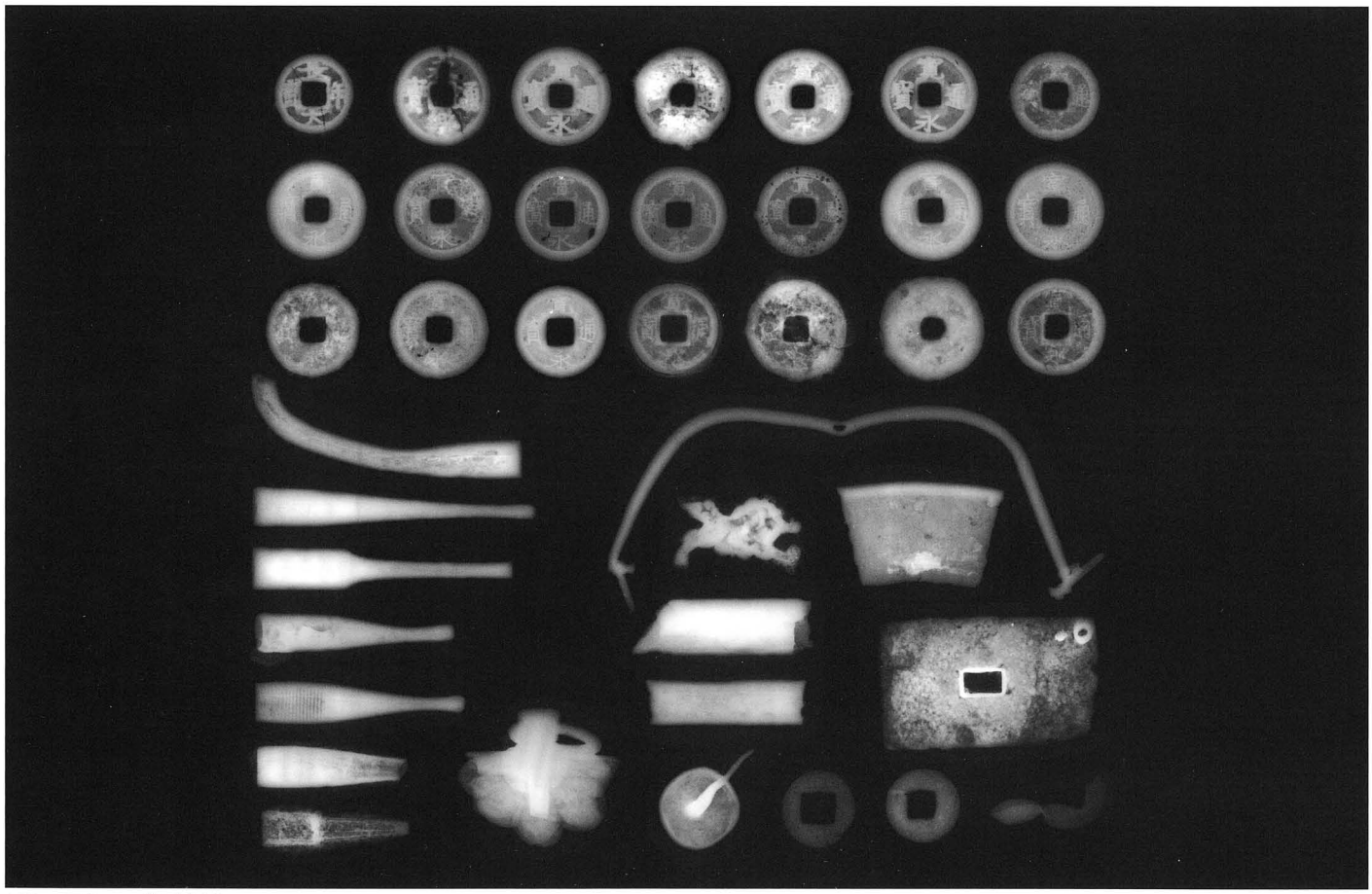
99. 兵庫津遺跡第51次調査出土　銅銭



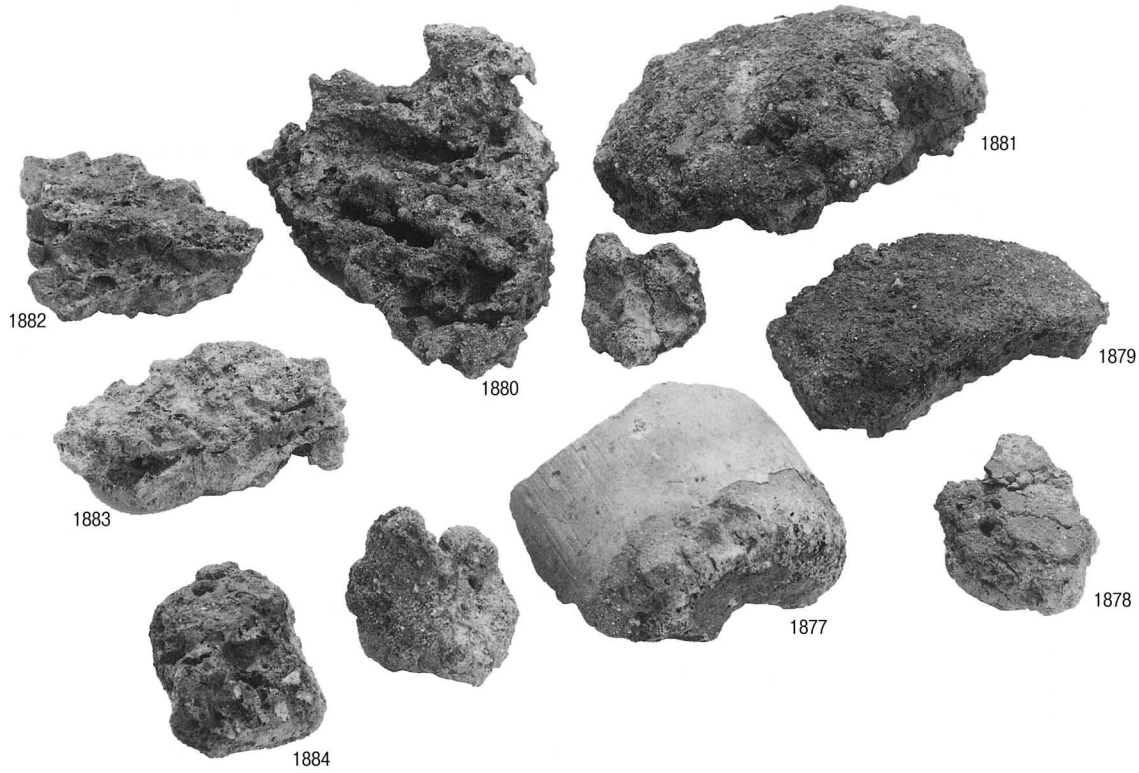
100. 兵庫津遺跡第51次調査出土　銅銭X線透過像



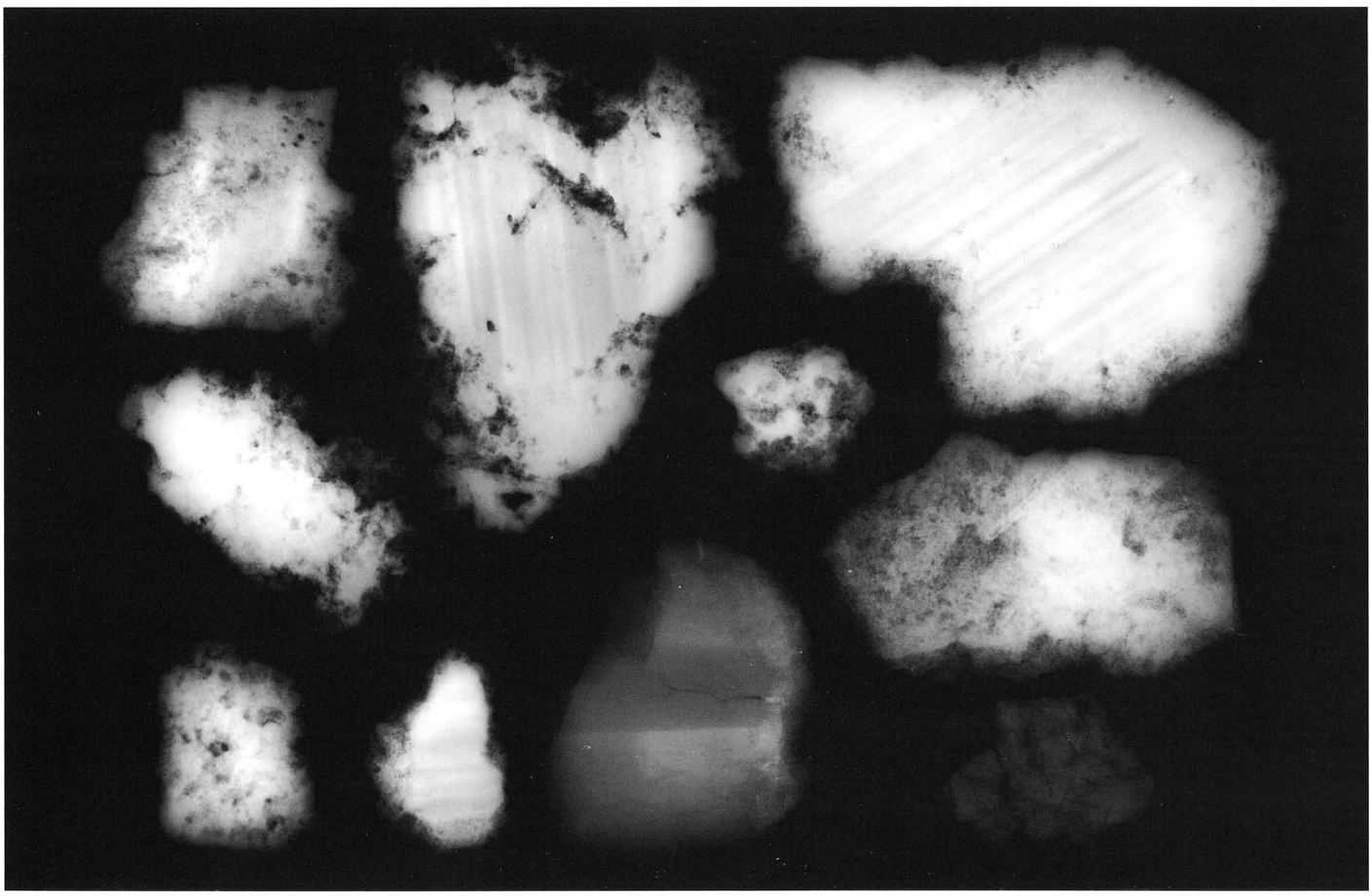
101. 兵庫津遺跡第51次調査出土　銅製品



102. 同上　X線透過像



103. 兵庫津遺跡第51次調査出土　銅製品製作関連遺物



104. 同上　X線透過像

報告書抄録

ふりがな	ひょうごついせき　はっくつちょうさほうこくしょ　－だい51じちょうさ－
書名	兵庫津遺跡　発掘調査報告書　－第51次調査－
編著者名	石島　三和（編著）　中村　大介　丸山　真史
編集機関	神戸市教育委員会
所在地	〒650-8570　神戸市中央区加納町６丁目５番１号　TEL078－322－6480
発行年月日	2011年３月31日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積（㎡）	調査原因
		市町村	遺跡番号					
兵庫津遺跡（ひょうごつ）	兵庫県神戸市兵庫区西宮内町３丁目（ひょうごけんこうべしひょうごくにしみやうちちょう）	28111	90-267	34度66分92秒	171度73分01秒	2009年７月17日～2010年12月28日	延べ3,152㎡	集合住宅建設

種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中世および近世集落遺跡	鎌倉時代～江戸時代	町屋・かわらけ埋納土坑・竪穴建物址	土師質土器・陶磁器・銅銭・金属製品	

要約

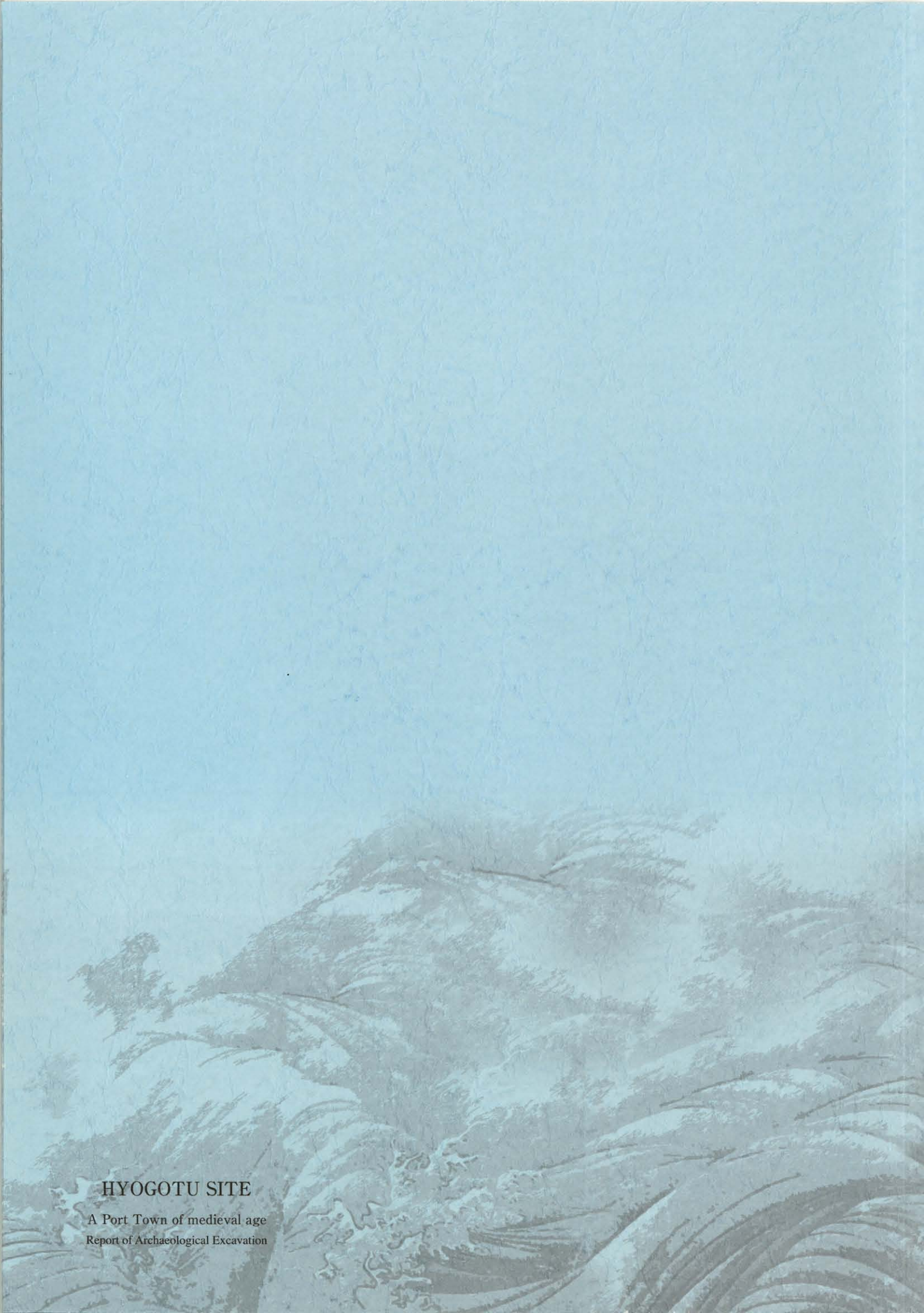
神戸市兵庫区所在の兵庫津遺跡は古代に初源をもつ港湾都市遺跡である。本調査では鎌倉時代から江戸時代まで７面の遺構面を確認している。
最終遺構面である第７面では13世紀～15世紀までの竪穴建物の可能性が高い遺構を複数検出しているほか、第３面から第７面までで計23基におよぶかわらけ集中投棄土坑を検出している。

兵庫津遺跡　発掘調査報告書
－第51次調査－

発行　　神戸市教育委員会
神戸市中央区加納町６丁目５番１号
TEL ０７８－３２２－６４８０

発行日　2010年12月28日
印　刷　デジタルグラフィック㈱

神戸市広報印刷物登録　平成22年度　第239号（広報印刷物規格　A-6類）



HYOGOTU SITE

A Port Town of medieval age

Report of Archaeological Excavation